東京国立文化研究所蔵

音　盤　目　録

Ⅰ・Ⅱ

東京国立文化財研究所

序

１９６０年度、当研究所芸能部は「浄瑠璃の音楽的理法の研究」の課題で文部省から機関研究費の交付を受け、その際、神戸在住の故安原仙三氏所蔵の邦楽レコード約６,０００枚を研究資料として購入した。

このコレクションは、明治・大正・昭和三代にわたって刊行された各種邦楽レコードを網羅したもので、その中には、いまは亡き諸名人の演奏が数多く含まれ、近代における邦楽の実態とその変遷を知る上で貴重な資料となるものである。

芸能部では、この安原コレクション目録の作成を計画し、多年にわたる共同作業により、まず１９６６年にⅠ「義太夫節」の部、７１年にⅡ「演劇」の部の目録を刊行した。次いで、７８年にⅢ「音楽」の部を、８４年に同書の改訂版を、８６年にⅣ「巷間芸能・郷土芸能・その他」の部の目録を刊行した。また、９６年にはⅤとして、安原コレクション以外のＳＰレコード４４０余枚についての目録も刊行した。

この間、幸いにも『音盤目録』は各方面で有効に活用され、これを検索した上でレコード試聴のために当研究所を訪れる研究者は年々多くなっている。また、歌舞伎、義太夫、落語などの古いＳＰレコードを復刻した各社のＬＰやＣＤの中にも、安原コレクションを取り入れたものが少なくない。

ところが、刊行からすでに３０年を経て、もともと発行部数も少なかったため、特にⅠ「義太夫節」の部とⅡ「演劇」の部は在庫が底をついて久しくなった。この二冊はもっとも需要が多く、コレクションのうちの主要部分を占める分野でもあるので、ここにⅠとⅡを合本して復刻することとした。ただし、レコードの検索本位に考えて、主体である音盤目録そのものに限定し、原本にあった付載論考、付録の類はほとんど割愛した。また、合本に伴って、索引の類は新たに作成し直した。

作成に当たっては先学の諸研究の恩恵を受けるとともに、各方面の方々のご教示を仰いだ。重ねて感謝の意を表する次第である。

東京国立文化財研究所所長
渡邊　明義

和漢書
第30588號
美術研究所圖書
1999年6月30日受入

目　　次

序

音盤目録 Ⅰ（義太夫節）

凡　例 …… 2

2 音 楽

24 三味線楽

243 義太夫節

0．義太夫 節と手順 …… 6

1．明烏六花曙 …… 8

2．芦屋道満大内鑑 …… 10

3．伊賀越道中双六 …… 12

4．伊勢音頭恋寝刃 …… 24

5．一谷嫩軍記 …… 26

6．妹背山婦女庭訓 …… 32

7．絵本太功記 …… 32

8．奥州安達原 …… 54

9．近江源氏先陣館 …… 60

10．女舞剣紅楓 …… 60

11．加賀見山旧錦絵 …… 62

12．重 井 筒 …… 64

13．敵討襤褸錦 …… 64

14．桂川連理柵 …… 66

15．仮名手本忠臣蔵 …… 68

16．鎌倉三代記 …… 86

17．紙子仕立両面鑑 …… 88

18. 勧　進　帳 …… 88
19. 鬼一法眼三略巻 …… 90
20. 岸姫松轡鑑 …… 92
21. 義士銘々伝 …… 94
22. 楠　昔　噺 …… 96
23. 廓　文　章 …… 96
24. 傾城阿波の鳴戸 …… 98
25. 傾城反魂香 …… 106
26. 源平布引滝 …… 108
27. 恋女房染分手綱 …… 110
28. 恋娘昔八丈 …… 112
29. 国性爺合戦 …… 116
30. 御所桜堀川夜討 …… 118
31. 碁太平記白石噺 …… 126
32. 寿式三番叟 …… 130
33. 寿連理の松 …… 132
34. 金毘羅利生記 …… 134
35. 桜　時　雨 …… 134
36. 桜鍔恨鮫鞘 …… 136
37. 卅三間堂棟由来 …… 138
38. 七福神宝の入船 …… 148
39. 修禅寺物語 …… 148
40. 出世太平記 …… 148
41. 酒呑童子枕言葉 …… 148
42. 生写朝顔話 …… 150
43. 心中天網島 …… 162
44. 新版歌祭文 …… 170
45. 菅原伝授手習鑑 …… 178

46. 勢州阿漕浦 …… 196
47. 関取千両幟 …… 198
48. 摂州合邦辻 …… 200
49. 摂津国長柄人柱 …… 210
50. 増補大江山 …… 210
51. 増補菅原伝授手習鑑 …… 212
52. 増補忠臣蔵 …… 214
53. 染模様妹背門松 …… 218
54. 太平記忠臣講釈 …… 220
55. 伊達娘恋緋鹿子 …… 220
56. 玉藻前曦袂 …… 222
57. 壇浦兜軍記 …… 224
58. 近頃河原の達引 …… 230
59. 壺坂観音霊験記 …… 248
60. 日蓮聖人御法海 …… 264
61. 箱根霊験躄仇討 …… 264
62. 八陣守護城 …… 266
63. 艶容女舞衣 …… 268
64. 花上野誉碑 …… 284
65. 花雲佐倉曙 …… 286
66. 彦山権現誓助剣 …… 286
67. 鷸山古跡松 …… 288
68. 日吉丸稚桜 …… 288
69. ひらかな盛衰記 …… 292
70. 双蝶々曲輪日記 …… 294
71. 本朝廿四孝 …… 296
72. 迎駕野中の井戸 …… 306
73. 嬢景清八島日記 …… 306

74. 冥途の飛脚 …… 306
75. 伽羅先代萩 …… 312
76. 由良湊千軒長者 …… 326
77. 義経千本桜 …… 326

番　外　曲
相　生　松 …… 336
面影如月帖 …… 336
か　さ　ね …… 336
日露戦記歓迎会余興 …… 336
のらこや猫実見 …… 336
文楽糸の調べ …… 336
万歳の曲 …… 338

義太夫入門 …… 338
三世津太夫の逆櫓 …… 340

特殊再生装置を要する音盤
明烏六花曙 …… 340
絵本太功記 …… 340
卅三間堂棟由来 …… 340
心中天網島 …… 340
新版歌祭文 …… 340
菅原伝授手習鑑 …… 340
玉藻前曦袂 …… 340
壇浦兜軍記 …… 342
近頃河原の達引 …… 342
壺坂観音霊験記 …… 342

艶容女舞衣 …… 342
冥途の飛脚 …… 342
伽羅先代萩 …… 342
恋女房染分手綱 …… 342
生写朝顔話 …… 342
艶容女舞衣 …… 342
広助さわり集 …… 342

付　録

題名場名表（義太夫節） …… 344
奏演者代数表（義太夫節） …… 350
主奏演者配列表（義太夫節） …… 354

音盤目録 II（演劇）

凡　例 …… 362
1 演　劇
11 能
1. 嵐　山 …… 366
2. 蟻　通 …… 366
3. 杜　若 …… 366
4. 加　茂 …… 366
5. 鞍馬天狗 …… 366
6. 小　督 …… 366
7. 胡　蝶 …… 366
8. 桜　川 …… 368
9. 隅田川 …… 368

10. 殺生石 …… 368
11. 高　砂 …… 368
12. 竹生島 …… 368
13. 忠　霊 …… 368
14. 鶴　亀 …… 368
15. 天　鼓 …… 370
16. 融 …… 370
17. 難　波 …… 370
18. 羽　衣 …… 370
19. 鉢　木 …… 370
20. 花　筐 …… 372
21. 船弁慶 …… 372
22. 松　風 …… 372
23. 松　虫 …… 372
24. 三井寺 …… 372
25. 紅葉狩 …… 374
26. 山　姥 …… 374
27. 熊　野 …… 374
28. 弱法師 …… 374
早　舞 …… 374
名人のおもかげ …… 374

12 狂　言
1. 鞆　猿 …… 374
2. 柿山伏 …… 374
3. 不聞座頭 …… 374
狂言小舞
1. 暁 …… 376

2. 七 つ 子 …… 376
3. 子 の 日 …… 376
4. 福 の 神 …… 376

13 歌 舞 伎
1. 青砥稿花紅彩画 …… 378
2. 明烏夢泡雪 …… 378
3. 赤穂義士伝 …… 378
4. 伊賀越道中双六 …… 380
5. 伊勢音頭恋寝刃 …… 380
6. 一谷嫩軍記 …… 382
7. 茨　　木 …… 382
8. 妹背山婦女庭訓 …… 384
9. いろは仮名四十七訓 …… 384
10. 江戸育お祭佐七 …… 384
11. 絵本太功記 …… 384
12. 大杯觴酒戦強者 …… 386
13. 近江源氏先陣館 …… 386
14. 大森彦七 …… 386
15. 女殺油地獄 …… 386
16. 鏡山錦楓葉 …… 386
17. 籠釣瓶花街酔醒 …… 386
18. 梶原平三誉石切 …… 386
19. 復讐談高田馬場 …… 388
20. 敵討檻褸錦 …… 388
21. 仮名手本忠臣蔵 …… 396
22. 鐘もろとも恨鮫鞘 …… 396
23. 神明恵和合取組 …… 396

24. 勧 進 帳 …… 396
25. 勧善懲悪覗機関 …… 398
26. 鬼一法眼三略巻 …… 398
27. 木曾街道膝栗毛 …… 398
28. 吉様参由縁音信 …… 398
29. 侠客春雨傘 …… 398
30. 桐 一 葉 …… 398
31. 極付幡随長兵衛 …… 400
32. 天衣紛上野初花 …… 400
33. 鞍馬山だんまり …… 402
34. 黒手組曲輪達引 …… 402
35. 慶安太平記 …… 402
36. 傾城阿波の鳴門 …… 402
37. 恋女房染分手綱 …… 402
38. 恋飛脚大和往来 …… 402
39. 勾当内侍 …… 404
40. 小袖曾我薊色縫 …… 404
41. 寿曾我対面 …… 404
42. 西郷と豚姫 …… 404
43. 三千両黄金蔵入 …… 404
44. 三人吉三廓初買 …… 406
45. 楼門五三桐 …… 406
46. 錣　　引 …… 408
47. 実録先代萩 …… 408
48. 忍夜恋曲者 …… 408
49. 暫 …… 408
50. 島衛月白浪 …… 410
51. 十二時会稽曾我 …… 410

52. 修禅寺物語 …… 410
53. 新皿屋舗月雨暈 …… 410
54. 心中天網島 …… 410
55. 水滸伝雪挑 …… 412
56. 菅原伝授手習鑑 …… 412
57. 鈴ヶ森 …… 414
58. 増補桃山譚 …… 414
59. 曾我綉侠御所染 …… 414
60. 伊達競曲輪鞘当 …… 416
61. 壇浦兜軍記 …… 416
62. 忠臣いろは実記 …… 416
63. 忠臣蔵後日建前 …… 416
64. 土蜘 …… 418
65. 土屋主税 …… 418
66. 壺坂霊験記 …… 418
67. 積恋雪関扉 …… 418
68. 梅雨小袖昔八丈 …… 418
69. 東海道四谷怪談 …… 420
70. 藤十郎の恋 …… 420
71. 唐人塚 …… 420
72. 時今也桔梗旗揚 …… 420
73. 鳥辺山心中 …… 420
74. 博多小女郎浪枕 …… 420
75. 橋弁慶 …… 420
76. 番町皿屋敷 …… 422
77. 一つ家 …… 422
78. 双蝶々曲輪日記 …… 422
79. 二つの櫓 …… 422

80．沓手鳥孤城落月 …… 422
81．本朝廿四孝 …… 422
82．宮島だんまり …… 424
83．処女翫浮名横櫛 …… 424
84．紫被布千鳥浮織 …… 424
85．伽羅先代萩 …… 424
86．戻　　橋 …… 424
87．夜討曾我狩場曙 …… 426
88．義経千本桜 …… 426
89．与話情浮名横櫛 …… 428
90．若木仇名草 …… 430

陰 囃 子
(1).芝居囃子の色々 …… 430
(2).春・夏・秋・冬 …… 430
(3).歌舞伎合方集 …… 432
(4).長唄芝居之囃子 …… 432
(5).正月～十二月 …… 432
(6).忠臣蔵十二ヶ月 …… 432
(7).十二ヶ月 …… 434
(8).正月～十二月 …… 434
(9).宮嶋だんまり・御所五郎蔵・三人吉三 …… 436
(10).十二ヶ月 …… 436
(11).しゃぎり …… 436

15 新　派
1．己 が 罪 …… 438
2．婦 系 図 …… 438

3．仮名屋小梅 …… 438
4．酒中日記 …… 438
5．塵　　境 …… 438
6．大尉の娘 …… 438
7．通夜物語 …… 440
8．流るる星 …… 440
9．生さぬ仲 …… 440
10．春 の 潮 …… 440
11．二 筋 道 …… 440
12．不 如 帰 …… 440
13．名人長次 …… 440

16　新　劇
1．秀吉と淀君 …… 442
2．マ　　ッ …… 442

18　大 衆 劇
181　軽 演 劇
1．愛の終点 …… 442
2．吾妻草紙 …… 442
3．アラビヤ夜話 …… 442
4．欧洲みやげ …… 442
5．唖の旅行 …… 442
6．乙 女 心 …… 444
7．京 人 形 …… 444
8．喧嘩友達 …… 444
9．木枯らし …… 444
10．心の脱線 …… 444

11．堺の富蔵 …… 444
12．震災の五郎 …… 444
13．短慮の刃 …… 444
14．茶 音 頭 …… 444
15．茶屋違い …… 446
16．日 本 橋 …… 446
17．旗行列の歌 …… 446
18．晩 餐 会 …… 446
19．百行の基 …… 446
20．良　　心 …… 446
21．若き日の影 …… 446

182　剣　劇
1．会津の小鉄 …… 448
2．清水治郎長 …… 448

183　中間演劇
1．国定忠治 …… 448
2．白野弁十郎 …… 448
3．城山の月 …… 450
4．大菩薩峠 …… 450
5．月形半平太 …… 450
6．富岡先生 …… 450
7．箕輪の心中 …… 450

189　博多ニワカ
1．先祖の抵当 …… 452

19　脚本朗読
1．ハムレット …… 452
2．沓手鳥孤城落月 …… 452

付　録

題名場名表（演劇）…… 454
奏演者代数表（歌舞伎）…… 466

索　引

1　題名場名索引 …… 472
2　奏演者索引 …… 488

後　記 …… 506

音　盤　目　録

I

（義太夫節）

凡　例

1　東京国立文化財研究所に所蔵する音盤のうち、故安原仙三氏旧蔵の音盤（安原コレクション）の義太夫節を本巻に収めた。

2　音盤目録の配列は次の順位に拠った。

第一順位　題名番号順。

第二順位　奏演者のうち太夫の種別により本流義太夫・女義太夫・素人義太夫の順。ただし、同題名の中では、段・巻・冊等の異なるごとに配列順位を改めた。

第三順位　本流義太夫は主奏演者の年齢順（生年不明の者は末尾に一括して五十音順）、女義太夫・素人義太夫は太夫名の五十音順（354 ページ参照）。

ただし、特殊再生装置を要するため、普通の器械では聴取不能のものは、本巻目録の末尾に一括した。

3　普通曲以外の音盤は次のように配列した。

(1)　義太夫節一般に関する「義太夫 節と手順」は題名番号を 0 として、本巻目録の冒頭に置いた。

(2)　人形浄瑠璃として上演されたことのない新曲・小曲・雑曲の類は、番外曲として題名番号を付けず、題名番号 77 の次に、題紙記載の題名の五十音順に配列した。

(3)　義太夫節鑑賞のための解説的音盤も題名番号を付けず、(2)の次に配列した。

4　常用漢字および現代かなづかいを用いることを原則とし、題名・人名その他の固有名詞にかぎり、常用漢字以外の文字を用いた。

5　題名番号欄・題名欄・奏演者欄・題紙欄・整理番号欄・詞章欄・音盤番号欄・備考欄を設けた。

各欄の記入事項は下記のとおりである。

(1)　題名番号欄

所蔵音盤の義太夫節の題名を五十音順に配列して付けた番号を記入した。

(2)　題　名　欄

（Ⅰ）　題紙の記載にかかわりなく、統一した題名を用い、本来二場以上にわたる演目においては場名を記入した。(344 ページ参照)

（Ⅱ）　題名は、現行の上演外題名を基準として定めた。

(Ⅲ) 場名は、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いなかった。また浄瑠璃の本文を尊重し、従来の慣用には従わなかった。ただし、道行の場合は、道行の外題を用いた。

(Ⅳ) 奏演部分が二場以上に及ぶ場合は、場名にA・B等と頭記した。

(3) 奏 演 者 欄

(Ⅰ) 太夫・三味線・その他の奏演者の順に各別行で記入し、その役割を頭記した。

(Ⅱ) 本流義太夫・女義太夫の奏演者は、芸名の姓は省略するが、代数の明らかなものや区別を要するものは、ローマ数字でⅡ・Ⅲ等と頭記した。(350 ページ参照)

(Ⅲ) 題紙の記載の不備や誤りを、他の資料によって記入し、または訂正したものは〈 〉を付けた。

(Ⅳ) 太夫・三味線の主奏演者名が不明の場合は「？」とするが、その他の奏演者名が不明の場合は、〔ツレ弾入〕〔琴入〕〔胡弓入〕〔笛入〕〔囃子入〕〔下座入〕〔合方入〕〔洋楽入〕等と付記した。また〔口上入〕〔柝入〕等も人名の明らかなものを除き同様に付記した。

(Ⅴ) 奏演者名に頭記した役割で、本欄に用いた略号は下記のとおりである。

(歌) 歌唱者　(三) 三味線　(胡) 胡　弓　(尺) 尺　八
(大) 大　鼓　(小) 小　鼓　(太) 太　鼓　(囃) 囃　子

(Ⅵ) 掛合の場合、太夫の演劇的役割の判明したものは、前項の音楽的役割と奏演者名との間に(　)を付けて記入した。

(4) 題　紙　欄

(Ⅰ) まず音盤名を下記の略記号によって記入した。ただし、下記以外の音盤名は省略せずに、カタカナで発音どおりに(促音・拗音は小字にせず)記入した。

オリ＝オリエント	ビク＝ビクタア
コロ＝コロンビア	ヒコ＝ヒコオキ
タイ＝タイヘイ	ホガ＝ホオガク
テイ＝テイチク	ポリ＝ポリドオル
トキ＝トオキヨオ	ライ＝ライロホン
ニト＝ニツトオ	リガ＝リイガル
ニポ＝ニツポノホン	

（Ⅱ） 次に、音盤題紙識別表（別表５。『音盤目録』Ⅰ～Ⅳ所載。本巻には省略）の様式記号欄に設けた分類記号を記入した。

（Ⅲ） 次の行に、音盤題紙の地色を下記の色名を用いて記入した。

白・桃・赤・橙・黄・緑・青・紫・茶・灰・黒

ただし、地色に二色以上を使用したものは「多色」とした。また、盤の表裏の色名が異なる場合は、Ａ面Ｂ面の順に二色を並記した。

(5) 整理番号欄

本研究所の音盤収蔵箱の番号と各箱の中の番号との組み合わせによる整理番号を記入した。また音盤の表裏ともに音がはいっているものは、表面をＡ、裏面をＢとして区別した。

(6) 詞　章　欄

（Ⅰ） まず面の順序を(1)(2)等と頭記した。ただし、欠面のある場合は、(＊)で示した。また「義太夫 節と手順」「義太夫入門」など解説盤の中から演奏の一部を分出したものは、(　) のみで、面の順序を記入しなかった。

（Ⅱ） 次に、各面における初めの五･七音節分、七･五音節分程度の詞章を、奏演のとおりに記入した。ただし、句読点は用いず、二人以上の会話の替り目だけに 」印を用いた。また欠面の場合は……と記入した。

（Ⅲ） 二場以上を収めた演目においては、題名欄と関連づけて、各場の冒頭の部分を収めた面に、Ａ・Ｂ等と頭記した。

（Ⅳ） 一面の途中、または次の面との間に、奏演を省略した部分がある場合は、詞章の末尾に＊印を付けた。

（Ⅴ） 詞章が全く聴き取れないものは空欄とし、一部が不分明なものは、その音節の数ほど○を記入した。また同音源盤などから推定されるものは、(　) の中に詞章を記入した。

（Ⅵ） 詞章以外、初めに口上・解説等がはいっている場合は(序)、長い合方や囃子があるものは(合)(囃)、笑い声や泣き声がある場合は(笑)(泣)等と記入した。

（Ⅶ） 解説を主とするものや、詞章のない場合は、その内容を要約して記入したが、器楽の演奏だけで内容を表現しがたいものは空欄にした。

(7) 音盤番号欄

（Ⅰ） 題紙記載の番号のうち、発行番号を記入し、そのあとに題紙の周辺等に打ち込まれた番号のうち、製作番号を (　) の中に記入した。

（Ⅱ） 発行番号と製作番号とが同じ場合は、製作番号は(〃)と略記した。

(Ⅲ) 二種以上の番号がある場合は、主要なものだけを記入したが、その主要度の差が認めにくいときは、「,」でくぎって並記した。

(Ⅳ) 発行番号または製作番号がない場合は、ナシと記入した。

(8) 備 考 欄

(Ⅰ) 同種音盤との相互関係を、下記の記号と整理番号とを用いて示した。

≡ 全く同じ音盤

＝ 同原版の異版または異装

≒ 同音源の別原版

⟷ 同原版の異版または異装同士で相互に欠面を補い得るもの

ただし、二面以上にわたる場合は、最初の盤の整理番号を〔 〕の中に記入して、他を省略した。また、上の関係が二種以上に及ぶ繁雑な場合は、一種をもって代表させα印を付けた。

(Ⅱ) 音盤の方式・規格等を記入した。本巻ではほとんどがＳＰ盤なので、ＬＰ盤だけを指摘した。また大部分が直径 25 センチ盤なので、その他の大きさのものだけ、30 cm・17 cm・14 cm 等と記入した。さらに、盤面の中央部から外縁部へ向かって針が移動する方式の音盤を、「遠心式」と記して区別した。

(Ⅲ) 音盤の破損状態を下記の略称を用いて記入した。

カケ 盤の縁の欠けているもの

カビ 盤面のかびの除き得ないもの

キズ 盤面に傷のあるもの

スレ 盤面のすり減っているもの

ソリ 盤のそっているもの

ヒビ 盤にひびがはいっているもの

(Ⅳ) その他、作詞・作曲者名、題紙の記載との相違点、特殊音盤の指摘等特記事項を記入した。

5 本目録では、現行文楽で用いる「大夫」の文字は用いず、すべて「太夫」に統一した。また三味線弾きの「澤」「沢」の区別はせず、「沢」に統一した。

6 その他の細部については、本研究所の音盤カード記入規定（『音盤目録』Ⅰ～Ⅳ所載。本巻には省略）ならびに細則に準拠した。

2 音　　楽

24 三 味 線 楽

243 義 太 夫 節

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　紙	整理番号
0	**義太夫　節と手順　上巻**	(歌) (三)　Ⅶ広助	ハンプカイ　Ⅰa 緑	2—262A B 263A B 264A B 265A B 266A B
0	**義太夫　節と手順　下巻**	(歌) (三)　Ⅶ広助	ハンプカイ　Ⅰa 緑	2—267A 269A 268A B 267B 269B 270A B 271A

詞章		音盤番号	備考
(1)	オクリ	6399(〃)	
(2)	小オクリ・ウキオクリ・ギンオクリ・武者オクリ・林清オクリ・イロオクリ	6400(〃)	
(3)	ナカオクリ・アミトオクリ・フシオクリ・相ノ山オクリ・引取三重・錣三重	6401(〃)	
(4)	上ノ三重・大三重・ウレイ三重・ウレイ三重カカリ	6402(〃)	
(5)	ウレイ三重・ウレイワリ三重・キオイ三重・ハリマ	6403(〃)	
(6)	ハルブシ・フシハル・ユリナガシ・ユリギン・三ツユリ・四ツユリ	6404(〃)	
(7)	五ツユリ・七ツユリ・九ツユリ・ギョオギ・八ツグリ	6405(〃)	
(8)	上八ツグリ・アゲギン・ハズミ・江戸ハズミ・モロハズミ・ナゲコミ・セリコミ・イサミコミ・タタキ	6406(〃)	
(9)	タタキ・表具・文弥・長地・錦	6407(〃)	
(10)	本ブシ・ワリミツブシ・ヒロイ・道具屋・スエ・スエテ	6408(〃)	
(1)	○○○カカリ・○○○カカリ・キリフシ・ワリコミ・○○○・スリアゲ・スリサゲ・平家	01251(〃)	(3)(4)ヒビ (6)カケ
(2)	舞・冷泉・江戸冷泉・ザンカイ・説経	01255(〃)	題紙記載面順は(5)
(3)	説経・岡崎・海道・鼓歌・相ノ山・地蔵経	01253(〃)	
(4)	江戸・子守・小室節・放下僧・六法・ウラ六法・ウレイ六法	01254(〃)	
(5)	半太夫・繁太夫	01252(〃)	題紙記載面順は(2)
(6)	繁太夫・組太夫・宮園	01256(〃)	
(7)	宮園・ウレイハルブシ・半太夫ハルブシ・ハズミハルブシ・ウキブシ・ヨツブシ・ウキギン	01257(〃)	
(8)	ウキギン・ハリギン・中ギン・ワリギン・江戸ギン・説経ギン・ユリギン・ノルギン・ウラギン・スエギン・ハズミ・ノリハズミ	01258(〃)	
(9)	鹿オドリ・タタキ・ハチタタキ・説経・ツナギ・四ツオリ・オロシ	01259(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 272A B 273A B 274A B

1	**明烏六花曙** 山名屋奥庭の場	(歌) Ⅱ相生太夫 (三) 弥七	コロ Ⅱa 黒	1— 27
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) 叶太夫 (三) 吉松	ライ Ⅰa 緑・赤	2— 48A B
1	**明烏六花曙** A. 山名屋浦里部屋の場 B. 奥庭の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門・吉男 〔胡弓入〕	ビク Ⅴb 黒	2— 74A B 75A B 76A B 77A B 78A B
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 政二郎	ライジングサン Ⅰa 赤	2—150
1	**明烏六花曙** A. 山名屋浦里部屋の場 B. 奥庭の場	(歌) Ⅶ広助 〔合方入〕 (三) 〔胡弓入〕	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—275A B 276A B 277A B 278A

詞章	音盤番号	備考
(10) オロシ・ユリブシ・大オトシ・中オトシ・文弥オトシ	01260(〃)	
(11) 上総オトシ・筑前オトシ・キオイオトシ・三ツ間オトシ・四ツ間オトシ・五ツ間オトシ・四ツグリオトシ	01261(〃)	
(12) セキオトシ・ハズミオトシ・ウキユリ・ツキユリ・六ツユリ・ウキ・ギンユリ・○○○ユリ	01262(〃)	
(13) ハネユリ・オルユリ・キオイユリ・祭文	01263(〃)	
(14) 祭文・ミダレ	01264(〃)	
(15) 音頭・伊勢音頭・外記・シャリセン・ヒナガタブシ・長持	01265(〃)	
(16) オオマワシ・九ツオクリ・ハリオクリ・ハズミオクリ・二ツユリ・クラサワブシノオクリ・ミヤトオクリ・土佐節	01266(〃)	

(1) 浦里重き顔を上げ	2096(2096-1-D)	
(1) 人の情けに引き入れられ	70825(〃)	
(2) 死なねばならぬ覚悟なら	70826(〃)	
(1) A. 雪はまだ残りて寒き	52136-A(2959)	
(2) 浦里にさえ恨めしく＊	52136-B(2960)	
(3) 状の取りやりたくさんに＊	52137-A(2961)	
(4) 涙ながらに時次郎	52137-B(2962)	
(5) B. なぜに言うてはくださんせぬ＊	52138-A(2963)	
(6) むむもうよいわ必ず言うな＊	52138-B(2964)	
(7) 浦里見るより走り寄り	52139-A(2965)	
(8) おまえはまあなんでなんで浦里が	52139-B(2966)	
(9) これほどまでに思うもの	52140-A(2967)	
(10) 見やるあなたの二階より	52140-B(2968)	
(1) そなたもともにと言いたいが	1360(〃)	
(1) A. 座敷も静かなる雪はまだ	1907(〃)	
(2) それと緑がたばこ盆	1908(〃)	
(3) ああうき世の中とはいいながら	1909(〃)	
(4) のう時次郎さんよう会いに来て＊	1910(〃)	
(5) おおそうじゃててそのまあつとの	1911(〃)	
(6) お辰もさすがものなれし	1912(〃)	
(7) ことにまたそのうち＊	1913(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 279A B 280A B 281A B 282A B 283A B
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—162A B
1	**明烏六花曙** 山名屋奥庭の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—163A B
1	**明烏六花曙** 山名屋奥庭の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅳa 緑	6— 7A B 8A B
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) 重寿太夫 (三) 猿七	テイ Ⅳa 緑	6—133A B
1	**明烏六花曙** A. 山名屋浦里部屋の場 B. 奥庭の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—284A B
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 58A
1	**明烏六花曙** 山名屋浦里部屋の場	(歌) 貴若 (三) Ⅷ三二	ライ Ⅱa 赤	8—209A
2	**芦屋道満大内鑑** 保名内の場	(歌) 山域少掾 (三) Ⅳ清六	コロ Ⅻb 紫	17—60A B 61A B 62A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(8) かわいやこの緑は	1914(〃)	
(9) 気強い男とばかりにて	1915(〃)	
(10) B. あたりをにらむかやが目の	1916(〃)	
(11) 今を限りのうき思い	1917(〃)	
(12) 庭にあり合う竹ぼうき	1918(〃)	
(13) やあかようにきびしくせっかん	1919(〃)	
(14) あいやいやおまえのそばに	1920(〃)	
(15) 会いたい見たいとしどもなき	1921(〃)	
(16) ふすま押し明け入りにけり	1922(〃)	
(17) おかやが腰骨めった打ち	1923(〃)	
(18) ええかたじけないと人なきを	1924(〃)	
(1) どれどれこれから向かいの	129-A(〃)	
(2) 今死ぬる身をながらえて	129-B(〃)	
(1) 浦里重き顔を上げ	1188-A(〃)	
(2) てもしぶとい子やのう	1188-B(〃)	
(1) 行く空のやみはあやなき	X-70209(5456)	
(2) 障子あければあるじの勘兵衛	X-70209(5457)	
(3) かみ付くごとくののしるおかや＊	X-70210(5458)	
(4) 浦里重き顔を上げ	X-70210(5459)	
(1) 人の情けに引き入れられ	15312(6552)	
(2) 死なねばならぬ覚悟なら＊	15312(6553)	
(1) A. そなたもともにと言いたいが＊	1778(〃)	
(2) B. 浦里重き顔を上げ	1779(〃)	
(1) 涙ながらに時次郎	A295(〃)	
(1) あとでかわいやこの緑は	70351(J 70351)	
(1) ついたるおりからに	G19, 155660 (M55660)	30 cm
(2) これはこれは拙者がるすのうち	G19, 255661 (M55661)	
(3) こはこはいかにと転倒し	G20, 155662 (M55662)	
(4) きっとしるしを見せ申さん	G20, 255663 (M55663)	
(5) この衆をかたづけ日暮れには	G21, 155664 (M55664)	
(6) 妻は衣服を改めて	G21, 255665 (M55665-1)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				63A B 64A B 65A B
3	**伊賀越道中双六** 政右衛門内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ニト Ⅱa 黒	4—238A B 239A B 240A B 241A B 242A B 243A B 244A B
3	**伊賀越道中双六** 政右衛門内の場	(歌) 尾上元太郎 (三) 吉左		8—222A B 223A B
3	**伊賀越道中双六** 沼津宿はずれの場	(歌) Ⅱ津太夫 (三) Ⅳ猿糸	コロ Ⅲa 黒	1— 13
3	**伊賀越道中双六** A. 沼津宿はずれの場 B. 平作内の場 C. 千本松原の場	(歌) Ⅱ観西翁 (三) Ⅲ寛治郎	ホガ Ⅱb 紫	1—186A B 187A B 188A B 189A B 190A B 191A

詞章	音盤番号	備考
(7) 別れねばならぬ品になる	G22, 155666 (M55666)	
(8) ことにおことをもうけしより	G22, 255667 (M55667-1)	
(9) 道理よきつねの子じゃものと	G23, 155668 (M55668)	
(10) 保名ひと間を走りいで	G23, 255669 (M55669)	
(11) はあさては一首のかたみを残し	G24, 155670 (M55670-2)	
(12) 巻き竹よちきりひおさよ	G24,255671 (M55671)	
(1) 忍び入りにけり心がけある侍は	2729-A(〃)	
(2) もうしおだんなことのほか	2729-B(〃)	
(3) ほう奉公人じゃな見かけから	2730-A(〃)	
(4) とねめつけられて是非なくも	2730-B(〃)	
(5) いやもう重重ごもっとも千万	2731-A(〃)	
(6) おっつけ新しい女房が参る	2731-B(〃)	
(7) こりゃ新参の女新参の女	2732-A(〃)	
(8) うばこれ取ってこれ取って	2732-B(〃)	
(9) 主人上杉宇内様より	2733-A(〃)	
(10) 義理という色に迷うて	2733-B(〃)	
(11) これは娘としたことが	2734-A(〃)	
(12) そもじとはなさぬ仲	2734-B(〃)	
(13) 政右衛門宇佐美が前に	2735-A(〃)	
(14) いかにも命進上申す	2735-B(〃)	
(1) 浜松の音はざざんざ	ナシ(55)	題紙は白紙に墨書
(2) 夜もふけわたれば幼子が	ナシ(56)	
(3) 知れてある林左衛門が手の内	ナシ(57)	(1)(3)ヒビ
(4) まことある侍のために	ナシ(58)	
(*) ……		
(4) あいたあいたあいたた	ナシ(2912-A-1-1)	キズ
(1) A. あずま路にここも名高き	5495(〃)	
(2) おかごおかごといなむらの	5496(〃)	
(3) だんなもしお泊まりまで	5497(〃)	
(4) だんなもうし向こうの立て場に	5498(〃)	
(5) なんとどうじゃ痛みは	5499(〃)	
(6) B. 道のとぎする笑い草	5500(〃)	
(7) おり悪う湯も沸かず	5501(〃)	
(8) 目のさや抜けしあきうども	5502(〃)	
(9) 何心なき話の合い紋	5503(〃)	
(10) たしなめよい女房と言われるが	5504(〃)	
(11) お米はひとり物思い	5505(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 192 A B 193 A B 194 A B 195 A B 196 A B 197 A B
3	**伊賀越道中双六** A．平作内の場 B．千本松原の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎 (胡) 〈友若〉	ニポ Ⅰa 赤	1—263 A B 264 A B 265 A B 266 A B
3	**伊賀越道中双六** A．平作内の場 B．千本松原の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎 (胡) 〈友若〉	ニポ Ⅰa 赤	1—267 A B 268 A B 269 A B 270 A B
3	**伊賀越道中双六** A．沼津宿はずれの場 B．平作内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎・〈Ⅲ友之助〉	ニポ Ⅰb 赤	1—274 A B 275 A B 276 A B 277 A B 278 A B
3	**伊賀越道中双六** 沼津宿はずれの場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎・〈Ⅲ友之助〉	ニポ Ⅰb 赤	1—279 A B

詞章	音盤番号	備考
(12) ひの消えたるは天の与え	5506(〃)	
(13) 恥ずかしながら聞いて	5507(〃)	
(14) あの妙薬をどうがなと	5508(〃)	
(15) 嘆きのはしばしつくずくと	5509(〃)	
(16) あとに親子は顔見合わせ	5510(〃)	
(17) C. お米は印ろう手に取って	5511(〃)	
(18) げに人心さまざまに	5512(〃)	
(19) してその頼みの様子は	5513(〃)	
(20) わけて血の緒の三界に	5514(〃)	
(21) やっぱり拾うた薬にして	5515(〃)	
(22) 今死ぬる者に遠慮はあるまい	5516(〃)	
(23) 聞いたはこの親じひとり	5517(〃)	
(24) 親じ様平三郎でござります	5518(〃)	
(1) A. お米はひとり物思い	2581(〃)	=〔1—267〕
(2) 付け木にうつし顔見合わせ	2582(〃)	
(3) さきほどのお話に＊	2583(〃)	
(4) B. 慕い行くげに人心さまざまに	2584(〃)	
(5) してその頼みの様子は	2585(〃)	
(6) ささそれほどお慈悲のあるお方	2586(〃)	
(7) 今死ぬる者に遠慮はあるまい	2587(〃)	
(8) 早う早う苦痛をとめてくだされ	2588(〃)	
(1) A. お米はひとり物思い	2581(〃)	=〔1—263〕
(2) 付け木にうつし顔見合わせ	2582(〃)	
(3) さきほどのお話に＊	2583(〃)	
(4) B. 慕い行くげに人心さまざまに	2584(〃)	
(5) してその頼みの様子は	2585(〃)	
(6) ささそれほどお慈悲のあるお方	2586(〃)	
(7) 今死ぬる者に遠慮はあるまい	2587(〃)	
(8) 早う早う苦痛をとめてくだされ	2588(〃)	
(1) A. あずま路にここも名高き	4801, 9030(4816)	=1—279A
(2) おかごやろかい参ろうか	4802, 9030(？)	= B
(3) だんなもしお泊まりまで	4803(？)	
(4) だんなもうし向こうの立て場に	4804(？)	
(5) なんとどうじゃ痛みは	4805(？)	
(6) B. 道のとぎする笑い草	4806(〃)	
(7) おおいやいやもう行きまする	4807(？)	
(8) 目のさや抜けしあきうども	4808(ナシ)	
(9) 何心なき話の合い紋	4809(〃)	
(10) いやもうしあなた様え	4810(？)	
(1) あずま路にここも名高き	4801(4816)	=1—274A
(2) おかごやろかい参ろうか	4802(？)	= B
		カケ

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
3	**伊賀越道中双六**	(歌) Ⅲ津太夫	コロ Xa	1—305A
	A. 沼津宿はずれの場	(三) Ⅵ友次郎・Ⅲ友之助	青	B
	B. 平作内の場			306A
	C. 千本松原の場	(胡) 友駒		B
				307A
				B
				308A
				B
				309A
				B
				310A
				B
				311A
				B
				312A
				B
				313A
				B
				314A
				B
				315A
				B
				316A
				B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　A．あずま路にここも名高き	35087-A (NE40354)	
(2)　おかごやろかい参ろうか	35087-B (NE40355)	
(3)　だんなもしお泊まりまで	35088-A (NE40356)	
(4)　だんなもうし向こうの立て場に	35088-B (NE40357)	
(5)　なんとどうじゃ痛みは止まろが	35089-A (NE40358)	
(6)　B．道のとぎする笑い草	35089-B (NE40359)	
(7)　おおいやいやもう行きまする	35090-A (NE40360)	
(8)　目のさや抜けしあきうども	35090-B (NE40361)	
(9)　何心なき話の合い紋	35091-A (NE40362)	
(10)　いやもうしあなた様え	35091-B (NE40363)	
(11)　お米はひとり物思い	35092-A (NE40364)	
(12)　印ろう取り上げ立ちのく足	35092-B (NE40365)	
(13)　いったん本復あったれど	35093-A (NE40366)	
(14)　お年寄られたおまえにまで	35093-B (NE40367)	
(15)　嘆きのはしばしつくずくと	35094-A (NE40368)	
(16)　姉御さらばとばかりにて	35094-B (NE40369)	
(17)　お米は印ろう手に取って	35095-A (NE40370)	
(18)　C．慕い行くげに人心さまざまに	35095-B (NE40371)	
(19)　かたずをのんで聞きいたる	35096-A (NE40372)	
(20)　わけて血の緒の三界に	35096-B (NE40373)	
(21)　やっぱり拾うた薬にして	35097-A (NE40374)	
(22)　ほかに聞く者はだれもない	35097-B (NE40375)	
(23)　聞いたはこの親じひとり	35098-A (NE40376)	
(24)　やい親じ様親じ様お念仏を	35098-B (NE40377)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
3	**伊賀越道中双六** A．沼津宿はずれの場 B．平作内の場 C．千本松原の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅳ叶・叶太郎	ナイガイ Ⅰa 青	1—351A B 352A B 353A B 354A B 355A B 356A B 357A B 358A B 359A B 360A B 2— 1A B 2A B
3	**伊賀越道中双六** A．沼津宿はずれの場 B．平作内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六・芳之助	ニポ Ⅰa 赤	4— 68A B 69A B
3	**伊賀越道中双六** 平作内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 70A B 71A B
3	**伊賀越道中双六** 沼津宿はずれの場	(歌) 米太夫 (三) 新次郎・〈新二〉	スヒンクス Ⅰa 橙	5—107A B
3	**伊賀越道中双六** 沼津宿はずれの場	(歌) 米太夫 (三) ?	ツルジルシ Ⅰa 赤	5—109A B
3	**伊賀越道中双六** 千本松原の場	(歌) 東広 (三) 東重 (胡) 〈東歌〉	リガ Ⅰa 黒	7— 67A B 68A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　A．あずま路にここも名高き	3315(〃)	(21)カケ
(2)　浮き世渡りはさまざまに	3316(〃)	
(3)　さそんなら吉原まで	3317(〃)	
(4)　これ親じ殿ちっと持って	3318(〃)	
(5)　しんどが利になるこんにゃくの	3319(〃)	
(6)　B．しばらくお休み遊ばしませ	3320(〃)	
(7)　それでわたしが年寄っての	3321(〃)	
(8)　目印当てに内に入り	3322(〃)	
(9)　何心なき話の合い紋	3323(〃)	
(10)　ええたしなめたしなめやい	3324(〃)	
(11)　お米はひとり物思い	3715(〃)	
(12)　印ろう取り上げ立ちのく足	3716(〃)	
(13)　いったん本復あったれど	3717(〃)	
(14)　お年寄られたおまえにまで	3718(〃)	
(15)　嘆きのはしばしつくずくと	3719(〃)	
(16)　姉御さらばとばかりにて	3720(〃)	
(17)　お米は印ろう手に取って	3721(〃)	
(18)　C．慕い行くげに人心さまざまに	3722(〃)	
(19)　してその頼みの様子は	3723(〃)	
(20)　わけて血の緒の三界に	3724(〃)	
(21)　やっぱり拾うた薬にして	3725(〃)	
(22)　ほかに聞く者はだれもない	3726(〃)	
(23)　聞いたは聞いたはこの親じひとり	3727(〃)	
(24)　親じ様もしお念仏を	3728(〃)	
(1)　A．あずま路にここも名高き	832(〃)	
(2)　泊まりを急ぐふたり連れ	833(〃)	
(3)　だんなもうし向こうの立て場に	834(〃)	
(4)　B．砂になるかと悲しさに	835(〃)	
(＊)　……		
(5)　おり悪う湯も沸かず	8602(2794)	
(6)　大事なくばいっそ泊めて	8602(2795)	
(7)　何心なき話の合い紋	8603(2796)	
(8)　われが器量がよいゆえじゃと	8603(2797)	
(1)　あずま路にここも名高き	4203(〃)	題紙には「ツレ新三」カケ
(2)　浮き世渡りはさまざまに	4204(〃)	
(1)　あずま路にここも名高き	659-A(〃)	
(2)　浮き世渡りはさまざまに	659-B(〃)	
(1)　慕い行くげに人心さまざまに	66988(62476)	
(2)　はてもひと夜さ泊まるも＊	66988(62477)	
(3)　親の心を察しやり	66989(62478)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 69A B
3	**伊賀越道中双六** 平作内の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—109A B
3	**伊賀越道中双六** 千本松原の場	(歌) 東広 (三) 東重 (胡) 雛寿	ヒコ Ⅲb 青	7—121A B 122A B 123A B
3	**伊賀越道中双六** 平作内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	ポリ Ⅰa 茶	7—128A B
3	**伊賀越道中双六** 千本松原の場	(歌) 東広 (三) 仙平 (胡) 東歌	ポリ Ⅰa 茶	7—129A B 130A B
3	**伊賀越道中双六** 平作内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅴb 黒	8— 74A B
3	**伊賀越道中双六** 千本松原の場	(歌) (三) 和広	コロ Ⅳa 青	8—170
3	**伊賀越道中双六** 千本松原の場	(歌) 大音湖州 (三) 叶太郎 (胡) 友駒	ホガ Ⅱa 赤	8—226A B 227A B 228A B 229A B
3	**伊賀越道中双六** A. 沼津宿はずれの場 B. 平作内の場 C. 千本松原の場	(歌) 三木三木 (三) Ⅳ叶・叶太郎 (胡) 叶太郎	ニト Ⅰa 黒	8—245A B 246A B 247A B 248A B 249A

詞　　章	音盤番号	備　　考
（4）　だんな様おさらばと （5）　これが一生の別れ一生の頼み （6）　親子一世の会い始めの	66989(62479) 66990(62480) 66990(62481)	
（1）　恥ずかしながら聞いて （2）　あすの夜はわが身の瀬川に	B270(〃) B271(A271)	
（1）　慕い行くげに人心さまざまに （2）　はてもひと夜さ泊まるも （3）　これもうしだんな様と （4）　聞いて平作感じ入り （5）　これが一生の別れ一生の頼み （6）　親じ様平三郎でございます	7152-A(〃) 7152-B(〃) 7153-A(〃) 7153-B(〃) 7154-A(〃) 7154-B(〃)	カビ
（1）　問われてお米は顔を上げ （2）　どうぞお慈悲にこれもうし	8447-A(5843BF) 8447-B(5844BF)	
（1）　慕い行くげに人心さまざまに （2）　七十になって雲助が＊ （3）　はてこなたとおれとは＊ （4）　名僧知識の引導より	8471-A(5845BF) 8471-B(5846BF) 8472-A(5847BF) 8472-B(5848BF)	（4）カビ
（1）　問われてお米は顔を上げ （2）　あの妙薬をどうがなと	1671-A(〃) 1671-B(〃)	
（1）　慕い行くげに人心さまざまに＊	2413(2413-1-X-1)	
（1）　慕い行くげに人心さまざまに （2）　これをお返し申しまする代わりに （3）　それはまだ休みもする （4）　親の心を察しやり （5）　さようならもう帰りましょ （6）　今死ぬる者に遠慮はあるまい （7）　聞いたは聞いたはこの親じひとり （8）　ごもっともでございます	7443(〃) 7444(〃) 7445(〃) 7446(〃) 7447(〃) 7448(〃) 7449(〃) 7450(〃)	
（1）　A．あずま路にここも名高き （2）　浮き世渡りはさまざまに （3）　ひと肩いては立ち止まり （4）　おおおおそれそれそれそれそれ （5）　B．もうしだんなひと肩 （6）　おり悪う湯も沸かず （7）　目印当てに内に入り＊ （8）　お米はひとり物思い （9）　印ろう取り上げ立ちのく足	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 250 A B 251 A B 252 A B 253 A B 254 A
3	**伊賀越道中双六** 藤川新関休み茶屋の場	(歌) (三) 糸吉	ビク Ⅰb 黒	6—263
3	**伊賀越道中双六** 幸兵衛内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—284 A B 285 A B 286 A B 287 A B 288 A B 289 A B 290 A B 291 A B 292 A B
3	**伊賀越道中双六** 幸兵衛内の場	(歌) 新靱太夫 (三) 直三郎	ビク Ⅰa 黒	6—137
3	**伊賀越道中双六** 幸兵衛内の場	(歌) 小西い京 (三) 寛市	ホガ Ⅱb 赤	8—183 A B 184 A B 185 A B 186 A B 187 A B

詞章	音盤番号	備考
(10) この近所で御養生	ナシ	
(11) 死んだあとでもおまえの嘆きと	ナシ	
(12) これ必ず頼んだぞや	ナシ	
(13) お米は印ろう手に取って	ナシ	
(14) C. 慕い行くげに人心さまざまに	ナシ	
(15) はてひと夜さ泊まるも	ナシ	
(16) これもうしだんな様と	ナシ	
(17) ああそうじゃあった	ナシ	
(18) これ拝んます拝んます	ナシ	
(19) 早う苦痛をとめてくだされ	ナシ	
(1) 黒谷のおしょう人鎌倉へ	11215(B11215)	
(1) 引き立て入りにける	2947(〃)	(18)の盤末に「メリヤス」あり
(2) はや九つのかねてより	2948(〃)	
(3) すきまを得たりと二番手が	2949(〃)	
(4) しずしずと歩み寄り	2950(〃)	
(5) 御免とうち通ればかどの戸	2951(〃)	
(6) 遠州あんどかき立てかき立て	2952(〃)	
(7) はは親にもまさる大恩の	2953(〃)	
(8) こは幸兵衛が片腕にもたらぬ	2954(〃)	
(9) はあまた関破りのせん議であろう	2955(〃)	
(10) ああいえいえもったいない師匠の	2956(〃)	
(11) 国に残りし女房の	2957(〃)	
(12) としかられてはいはいはい	2958(〃)	
(13) あったらものを見のがすことと	2959(〃)	
(14) 言うて引き出す糸車	2960(〃)	
(15) はるばるの海山も	2961(〃)	
(16) 知らぬふびんさくいしばる	2962(〃)	
(17) ああもうしそりゃ御無用に	2963(〃)	
(18) かたきのありか手がかりに	2964(〃)	
(1) やあ子細も言わず理不尽に	11115(B11115)	
(1) すでにその夜もしんしんと	ナシ(9797)	
(2) すきまを得たりと二番手が	ナシ(9798)	
(3) 苦いあいさつ気の付くとり手	ナシ(9799)	
(4) まさしく拙者が流儀に同じき	ナシ(9800)	
(5) 十五以げにてそう術剣術	ナシ(9801)	
(6) 余の人千人万人にも	ナシ(9802)	
(7) はあまた関破りのせん議であろう	ナシ(9803)	
(8) 幸いここに切り台ほうちょう	ナシ(9804)	
(9) 宿より先に日は暮れて	ナシ(9805)	
(10) ふう見たところが小盗みする	ナシ(9806)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				8—188 A B 189 A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2— 79 A B 80 A B 81 A B 82 A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—134 A
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—293 A B 294 A B 295 A B 296 A B 297 A B 298 A B 299 A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰb 黒	4—280
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—284 A B
4	伊勢音頭恋寝刃 A. 油屋の場 B. 奥庭の場	(歌) 米太夫 (三) ?	ツルジルシ Ⅰa 赤	5—110 A B 111 A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—316 A B 317 A B

詞章	音盤番号	備考
(11) いて寝やしゃれとやわらかに (12) 鐘が鳴れば寝ることにして (13) 雪みぞれ子をぬらさじと (14) 付け木のあかり見とがめて	ナシ(9807) ナシ(9808) ナシ(9809) ナシ(9810)	
(1) あとにお紺はうっとりと (2) 一夜流れのあだ夢も＊ (3) も今も今とてお鹿さんが (4) それに引きかえ心ならぬは＊ (5) こなたの障子引きあけて (6) さあさあなこうど役はこの北六 (7) 最前から聞いていれば＊ (8) なんどに始終立ち聞く喜助	52667-A(5086) 52667-B(5087) 52668-A(5088) 52668-B(5089) 52669-A(5090) 52669-B(5091) 52670-A(5092) 52670-B(5093)	
(1) あとにお紺はうっとりと＊	411(〃)	
(1) こそは別れ行く (2) 胸のやみややあって (3) むごいつれない胴欲な (4) 言いつついで来るやり手の万野 (5) 隠して入りにけり (6) ずいぶんともに心をつけて (7) あないに連れて福岡貢 (8) めいめいにたずさえて (9) これいし貢さん最前から (10) あいそう思うてくださんせと (11) ええ見違うたあのここな (12) こらえかねて刀のつか (13) 足を踏みしめ段ばしご (14) からだはあとに心も空	2861(〃) 2862(〃) 2863(〃) 2864(〃) 2865(〃) 2866(〃) 2867(〃) 2868(〃) 2869(〃) 2870(〃) 2871(〃) 2872(〃) 2873(〃) 2874(〃)	(14)の盤末に「メリヤス」あり
(1) ややあって顔を上げ	11113-A(F11113)	
(1) お紺さんお紺さんはどこにぞ＊ (2) むうすりゃそちは喜兵衛が	343(〃) 344(〃)	
(1) A. おりしも奥より北六岩次 (2) 音もわからぬ寝とぼけの (3) B. ああいっぱいきげんに＊ (4) 喜助は心ならざれば＊	628-A(〃) 628-B(〃) 629-A(〃) 629-B(〃)	
(1) 言ううち奥に声高砂 (2) こりゃ万野ま味なこと言うな (3) ええさまざまのたわこと＊ (4) 岩次も片ほにせせら笑い	6302-A(〃) 6302-B(〃) 6303-A(〃) 6303-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) (三) 団路 〔口上入〕	ライ Ⅰa 緑・赤	7— 62A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—110A B
4	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(歌) 笹村分銅 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—315 316
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	ライ Ⅰa 緑・赤	1— 49A B
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) 殿太夫 (三) <Ⅲ和佐太夫>	コロ Ⅱa 黒	1—212
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—300A B 301A B 302A B 303A B 304A B 305A B
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 33A B 34A B 35A B
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅳa 青	6—153A B
5	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 赤	6—168A B 169A B
5	一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲa 青	1— 89
5	一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲb 黒	1— 96 97

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　(序)ややあって顔を上げ (2)　むごいつれない胴欲な	70708(〃) 70709(〃)	
(1)　万野はそばへ立ち寄って＊ (2)　万野はにわかに騒ぎ出し	B796(〃) B797(A797)	スレ・カビ
(1)　ややあって顔を上げ＊ (2)　お紺さんお紺さんおおお紺さん	11113(G11113) 11114(J 11114)	
(1)　さるほどにみ船をはじめて (2)　やあそれへ打たせたもうは	71117(〃) 71118(〃)	
(1)　かかりける所へ後ろより	2294(2294-1B)	17cm
(1)　さるほどにみ船をはじめて (2)　やあやあそれへ打たせたもうは (3)　群れいる千鳥むら千鳥 (4)　そも戦場におもむくより (5)　くれけるが何思いけん (6)　おん目を閉じて待ちたまえば (7)　ねじむきたもうおん顔を (8)　なむあみだ仏なむあみだ仏 (9)　いまわの苦しきこわねにて (10)　悲しい最期せめて別れに (11)　声かぎり泣く音は須磨の (12)　ほろをほどいて敦盛の	2669(〃) 2670(〃) 2671(〃) 2672(〃) 2673(〃) 2674(〃) 2675(〃) 2676(〃) 2677(〃) 2678(〃) 2679(〃) 2680(〃)	
(1)　無官の太夫敦盛は (2)　かく申すそれがしは (3)　群れいる千鳥むら千鳥 (4)　敦盛おん声さわやかに＊ (5)　順縁逆縁ともにぼだい＊ (6)　め手にくつわの哀れげに	53010-A(5953) 53010-B(5954) 53011-A(5955) 53011-B(5956) 53012-A(5957) 53012-B(5958)	
(1)　無官の太夫敦盛は (2)　敵に声をかけられて	2658-A(2658-A-1-1) 2658-B(2658-B-1-1)	
(1)　延びたもう無官の太夫敦盛は (2)　かく申すそれがしは (3)　すわやと見る間に熊谷は＊ (4)　ほろをほどいて敦盛の	1119(〃) 1120(〃) 1129(〃) 1138(〃)	
(＊)　…… (7)　もうし藤の方様お嘆きあった	2878-G(2878-G-1-1)	≒1—99
(1)　鐘は無常の時を打つ (＊)　…… (5)　実検に供えし後は	2878-A(2878-A-1-1) 2878-E(2878-E-1-1)	 ≒1—100

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				98 99
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲb 黒	1—100 101
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰc・Ⅰa 赤	1—271A B 272A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—306A B 307A B 308A B 309A B 310A B 311A B 312A B 313A B 314A B 315A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) 山城少掾 (三) 藤蔵	ビク Ⅶb 赤	17—50A B 51A B 52A B 53A B 54A B 55A B

詞章	音盤番号	備考
(6) あいとばかり女房(泣)	2878-F(2878-F-1-1)	≡1—101
(7) もうし藤の方様お嘆きあった	2878-G(2878-G-1-2)	≒1—89
(＊) ……		
(5) 実検に供えし後は	2878-E (2878-E-1-X-1)	≒1—97
(6) あいとばかり女房(泣)	2878-F(2878-F-1-1)	≡1—98
(1) 物語らんと座を構え	3140(〃)	
(2) こまのかしらを立て直し＊	3141(〃)	
(3) 逃げ去ったる平山が	3142(〃)	
(4) 話すうちより藤のつぼね	3143(〃)	
(1) 奥へ連れて行く相模は障子	2413(〃)	
(2) 花の盛りの敦盛を	2414(〃)	
(3) あと見送りて熊谷は	2415(〃)	
(4) 夫の心に従いし	2416(〃)	
(5) き敬い奉ればこりゃ熊谷	2417(〃)	
(6) 物語らんと座を構え	2418(〃)	
(7) やあやあなんとその若武者を	2419(〃)	
(8) 抜きかねしに逃げ去ったる	2420(〃)	
(9) なぜ都へは身を隠さず	2421(〃)	
(10) 呼ばわる声ともろともに	2422(〃)	
(11) 魂ぱくこの世にあるならば	2423(〃)	
(12) 音をぞ澄ましける親子の縁の	2424(〃)	
(13) はあはっとばかりに藤の方	2425(〃)	
(14) 義経席につきたまい	2426(〃)	
(15) 花によそえし制札のおもて	2427(〃)	
(16) 変わるわが子の死に顔に	2428(〃)	
(17) 国を隔てて十六年＊	2429(〃)	
(18) もうおいとまといで行くを	2430(〃)	
(19) 平家の一門先だちたもう＊	2431(〃)	
(20) おおさこの弥陀六はおりを得て	2432(〃)	
(1) 奥へ連れて行く相模は障子	NH-2036(M279)	30cm
(2) さすがにたけきもののふも	NH-2036(M280)	
(3) 女の身で陣中へきたること	NH-2037(M281)	
(4) ほほまず小次郎が手柄といっぱ	NH-2037(M282)	
(5) こりゃ熊谷いくさのならいとは	NH-2038(M283)	
(6) さても去んぬるむゆかの夜	NH-2038(M284)	
(7) そのお嘆きはいかばかりと	NH-2039(M285)	
(8) 父は波とうへおもむきたまい	NH-2039(M286)	
(9) へんしも早くいずかたへも	NH-2040(M287)	
(10) 魂ぱくこの世にあるならば	NH-2040(M288)	
(11) 親子の縁のきずなにや	NH-2041(M289)	
(12) あいや実検に供えぬうち	NH-2041(M290)	

題番	名号	題名	奏演者	題紙	整理番号
					56A B 57A B 58A B 59A B
5		一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ鶴太郎	ナショナル Ⅲa 青	4—349A B
5		一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(歌) Ⅹ若太夫 (三) Ⅳ綱造	タイ Ⅴa 赤	5—117A B 118A B 119A B 120A B 121A B 122A B 123A B 124A B 125A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(13)　やあその首はと駆け寄る女房	NH-2042(M291)	
(14)　あいあいとばかり女房は	NH-2042(M292)	
(15)　両方ながらおなかに持ち＊	NH-2043(M293)	
(16)　その昔母常磐のふところに	NH-2043(M294)	
(17)　へっえいかに天命帰すればとて	NH-2044(M295)	
(18)　はて最前も話いたとおり	NH-2044(M296)	
(19)　一念みだ仏即滅無量罪＊	NH-2045(M297)	
(20)　御縁があらばとおなごどし	NH-2045(M298)	
(1)　さても去んぬるむゆかの夜＊	5217(1030)	
(2)　はや落ちたまえと勧め＊	ナシ(1031)	
(1)　奥へ連れて行く相模は障子	M-690 (X-1421)	
(2)　熊谷の次郎直実花の盛りの	M-690 (X-1422)	
(3)　あと見送りて熊谷	M-691 (X-1423)	
(4)　小次郎がうい陣に	M-691 (X-1424)	
(5)　やあかたき呼ばわり何やつ	M-692 (X-1425)	
(6)　やあ愚か愚かこのたびの戦い	M-692 (X-1426)	
(7)　熊谷これに控えたり	M-693 (X-1427)	
(8)　いとどなお涙は胸に	M-693 (X-1428)	
(9)　熊谷頼むの御一言	M-694 (X-1429)	
(10)　やあやあ軍次はおらぬか	M-694 (X-1430)	
(11)　魂ぱくこの世にあるならば	M-695 (X-1431)	
(12)　音をぞ澄ましける親子の縁の	M-695 (X-1432)	
(13)　時刻移ると次郎直実	M-696 (X-1433)	
(14)　急ぎ敦盛の首実検せん	M-696 (X-1434)	
(15)　義経きん然と実検ましまし	M-697 (X-1435)	
(16)　持ったる首のゆるぐのを＊	M-697 (X-1436)	
(17)　最前より様子聞きいる	M-698 (X-1437)	
(18)　老子は生まれながらにさとく＊	M-698 (X-1438)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				126A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) 鏡太夫 (三) 市之助	ビク Ⅴd 黒	5—266A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 70A B 71A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅰa 黒	7—107B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—111A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	ポリ Ⅰa 黒	7—131A B
5	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(歌) 原田常次郎 (三) Ⅶ広助	エジソン Ⅰa 赤	8—297A B 298A B
6	**妹背山婦女庭訓** 道行恋のおだまき	(歌) 文楽座若手連〈Ⅱつばめ太夫・Ⅱ越名太夫・越登太夫〉 (三) 文楽座若手連〈Ⅵ団六・Ⅳ浅造・友衛門・Ⅲ団二郎〉 (囃) 〈文楽社中〉	ニト Ⅰa 赤	6— 90A B 91A B 92A B
7	**絵本太功記** 妙心寺の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—316A B 317A B 318A B 319A B

詞章	音盤番号	備考
(19) 心をくんでおん大将	M-699 (X-1439)	
(20) おおそれこそは義経や	M-699 (X-1440)	
(1) やあ愚か愚かこのたびの戦い	J-54166(9276)	
(2) はてけなげなる若武者や	J-54166(9277)	
(1) その日のいくさのあらましと	65071-A (63559)	
(2) こまのかしらを立て直し	65071-B (63560)	
(3) さそのおん仰せにいとどなお	65072-A (63561)	
(4) 熊谷頼むの御一言＊	65072-B (63562)	
(1) やあ愚か愚かこのたびの戦い	A257(〃)	≒7—111A
(1) やあ愚か愚かこのたびの戦い	B256(〃)	≒7—107B
(2) やあやあなんとその若武者を	B257(〃)	スレ
(1) あいと返事も胸に迫りながら	2042-A(5839BF)	(2)カビ
(2) さしもの平山あしらいかね	2042-B(5840BF)	
(＊) ……		
(3) 敦盛に紛れなきその首	E-419(〃)	
(4) 門出の時に振り返り＊	E-420(〃)	
(5) すわ何者といううちに	E-421(〃)	
(6) その時こなたを見のがさずば	E-422(〃)	
(1) 暗きくれ竹の茂れる中を＊	1260-A(ヒ38)	
(2) かなえてやろとのお心か	1260-B(ヒ39)	
(3) 語るにつらき葛城の	1261-A(ヒ40)	
(4) 思い乱るるすすきかげ	1261-B(ヒ41)	
(5) 共にすがりつ手を取りて	1262-A(ヒ42)	
(6) この手がしわのふたりの女	1262-B(ヒ43)	
(1) ゆゆしけれさても逆賊	6025(〃)	
(2) 時を得てその機にのぞむは＊	6026(〃)	
(3) 立ち帰る武智十兵衛光秀	6027(〃)	
(4) ほほかたじけなくも清和源氏の	6028(〃)	
(5) 光秀は黙然とさしうつむいて	6029(〃)	
(6) いでて行くわっと泣き出す	6030(〃)	
(7) 鐘が無常を告げわたる	6031(〃)	
(8) もろはだくつろげ差し添えを	6032(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				320A B
7	絵本太功記 杉の森砦の場	(歌) 鶴登太夫 (三) Ⅲ燕四・綱之助 (小) 山村金奴	オリ Ⅲa 黄	6—140A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲa 青	1— 32 33 34 35 36 37 38
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲa 黒	1— 39 40 41
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲb 黒	1— 48
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作 〔口上入〕	ライ Ⅰa 緑・赤	1— 50A B 51A B 52A B 53A B 54A B 55A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作 〔口上入〕	パアロホン Ⅰa 黒	1— 61A B 62A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(9)　一天の君のおんためには (10)　ことばにはっと四王天	6033(〃) 6034(〃)	
(1)　じい様謡をうとうてや (2)　その一曲は末の世に	A1273(〃) A1274(〃)	
(＊)　…… (2)　先だつ不孝は許してたべ (＊)　…… (4)　時延びるほど不覚の元 (5)　この世の縁やわりこざね (6)　胸は胸は八千代の玉つばき (7)　のう初菊十次郎が討ち死にの (＊)　…… (10)　不義の富貴は浮かべる雲 (11)　これ見たまえ光秀殿	 2804-B (2804-B-1-X-1) 2804-D (2804-D-1-X-1) 2804-E (2804-E-1-X-1) 2804-F (2804-F-1-1) 2804-G (2804-G-1-1) 2804-J (2804-J-1-1) 2804-K (2804-K-1-X-1)	↔〔1—39〕 ＝1—48
(＊)　…… (3)　二世も三世もみょおとじゃと (＊)　…… (8)　みたりは涙おしつつみ (9)　ひっそぎやり小田のかわずの	 ナシ(2804-C-1-1) ナシ(2804-H-1-1) ナシ(2804-I-1-1)	↔〔1—32〕
(＊)　…… (10)　不義の富貴は浮かべる雲	 2804-J (2804-J-1-X-1)	＝1—37
(1)　(序)残るつぼみの花一つ (2)　わけられて先だつ不孝は (3)　夫の討ち死に遊ばすを (4)　さ早う時延びるほど (5)　りく具かたむる三三九度 (6)　随分お手柄功名して＊ (7)　おおそれは御苦労ながら (8)　必定久吉この内に (9)　ただぼう然たるばかりなり (10)　おのれが心ただ一つで (11)　思い止まってたまわらば＊ (12)　二世を固めの別れの涙	70831(〃) 70832(〃) 70833(〃) 70834(〃) 70835(〃) 70836(〃) 70837(〃) 70838(〃) 70839(〃) 70840(〃) 70841(〃) 70842(〃)	＝〔1—61〕
(1)　(序)残るつぼみの花一つ (2)　わけられて先だつ不孝は (3)　夫の討ち死に遊ばすを	E1500-A (70831) E1500-B (70832) E1501-A (70833)	＝〔1—50〕

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 63A B 64A B 65A B 66A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅸ染太夫 (三) <Ⅳ広作>	ダイニツポンセルロイド Ⅱa 多色	1— 67
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅸ染太夫 (三) Ⅳ広作	ミカド Ⅰa 赤	1— 68A B 69A B 70A B 71
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅸ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅳa 青	17—22
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰb 黒	1—132
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 殿太夫 (三) <Ⅲ和佐太夫>	コロ Ⅲb 黒	1—217B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	コロ Ⅸb・Ⅹa 青	1—299A B 300A B 301A B 302A B

詞章	音盤番号	備考
(4) さ早う時延びるほど	E1501-B(70834)	
(5) りく具かたむる三三九度	E1502-A(70835)	
(6) 随分お手柄功名して＊	E1502-B(70836)	
(7) おおそれは御苦労ながら	E1503-A(70837)	
(8) 必定久吉この内に	E1503-B(70838)	
(9) ただぼう然たるばかりなり	E1504-A(70839)	
(10) おのれが心ただ一つで	E1504-B(70840)	
(11) 思い止まってたまわらば＊	E1505-A(70841)	
(12) 二世を固めの別れの涙	E1505-B(70842)	
(1) わけられて先だつ不孝は	4161(ナシ)	題字は鉛筆書き 遠心式
(1) 残るつぼみの花一つ	2100(ナシ)	キズ
(2) 討ち死にと聞くならば	2101(ナシ)	
(3) わしゃなんぼうでも殺しはせぬ	2102(ナシ)	
(4) その骨柄おおあっぱれ武者ぶり	2103(ナシ)	
(5) 察しやったる十次郎	2104(ナシ)	
(6) 一度にどうど伏しまろび	2105(ナシ)	
(＊) ……		
(9) おのれが心ただ一つで	2108(ナシ)	
(＊) ……		30cm
(10) いさめつ泣いつ一筋に＊	2743-J(2743-J-1-1)	
(1) これ見たまえ光秀殿	11323(D11323)	
(1) ここに刈り取るましばがき	2284(2284-1-4)	
(1) 残るつぼみの花一つ	35226-A (NE41297)	〔1—317〕の前編
(2) 先だつ不孝は許してたべ	35226-B (NE41298)	
(3) 二世も三世もみょうとじゃと	35227-A (NE41299)	
(4) いとしい夫が討ち死にの	35227-B (NE41300)	
(5) おおあっぱれ武者ぶり勇ましし	35228-A (NE41301)	
(6) 察しやったる十次郎	35228-B (NE41302)	
(7) ばばが心のせつなさを	35229-A (NE41303)	
(8) ここに刈り取るましばがき	35229-B (NE41304)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				303A B 304A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	コロ Ⅹa 青	1—317A B 318A B 319A B 320A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造	リガ Ⅰb 黒	2— 5A B 6A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造	ポリ Ⅰa 黒	2— 22A B 23A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅰa 赤	2— 39A B 40A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 政二郎	ユニバアサル Ⅰa 青	2—131
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 政二郎	ロオヤル Ⅰa 黒	2—132

詞　　章	音盤番号	備　　考
(9) 差し足抜き足うかがい寄り	35230-A (NE41305)	
(10) 主君を討って功名顔	35230-B (NE41306)	
(11) 妻は涙にむせかえり	35231-A (NE41307)	
(12) 光秀は声荒らげ	35231-B (NE41308)	
(1) 耳を貫く金鼓の響き	35263-A (NE41309)	〔1—299〕の続編
(2) おいおい都へはせ上る	35263-B (NE41310)	
(3) 親人のお身の上	35264-A (NE41311)	
(4) なごり惜しやと手を取って	35264-B (NE41312)	
(5) 見るに目もくれ心消え	35265-A (NE41313)	
(6) 風をくらってこの家を逃げ延び	35265-B (NE41314)	
(7) はあわたしもお供いたしまする＊	35266-A (NE41315)	
(8) たとえ項羽が勇ありとも	35266-B (NE41316)	
(1) ここに刈り取るましばがき	65051-A (70465)	
(2) 差し足抜き足うかがい寄り	65051-B (70466)	
(3) 主君を討って功名顔	65052-A (70467)	
(4) 妻は涙にむせかえり	65052-B (70468)	
(1) ひと間へ入りにけり残るつぼみの	1172-A (2840BFI)	
(2) 母様にもばば様にも	1172-B (2841BFI)	
(3) はっと驚き口に手を当て	1173-A (2850BFI)	
(4) いとしい夫が討ち死にの	1173-B (2851BFI)	
(1) ここに刈り取るましばがき	819(〃)	
(2) ややややややこは母人か	820(〃)	
(3) おのれが心ただ一つで	821(〃)	
(4) せめて母御の御最期に	822(〃)	
(1) やあやあ武智光秀しばらく待て	1348(〃)	
(1) 光秀は声荒らげ	1356(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	ニポ Ⅰa 赤	2—135A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—136A B 137A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—138A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅴb・Ⅵb 黒	2—170A B 171A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅰa 赤	2—213A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	シヨオワ Ⅰa 紫	2—226A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ビク Ⅴb 赤	3—321A B 322A B 323A B 324A B 325A B 326A B 327A B 328A B 329A B 330A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六 〔口上入〕	ニポ Ⅰa・Ⅰb・Ⅰc 赤	4— 58A B 59A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　残るつぼみの花一つ	812(〃)	
(2)　隔つひと間に初菊が	813(〃)	
(1)　ここに刈り取るましばがき＊	615(〃)	
(2)　光秀は声荒らげ	616(〃)	
(3)　おりしも聞こゆる陣太鼓	617(〃)	
(4)　おいおい都へはせ上る	618(〃)	
(1)　やあやあ武智光秀しばらく待て＊	623(〃)	
(2)　たとえ項羽が勇あるとも	624(〃)	
(1)　おりしも聞こゆる陣太鼓	1898-A(197)	
(2)　浜手のかたに陣所を固め	1898-B(198)	
(3)　光秀怒りの髪さかだて＊	1899-A(ナシ)	
(4)　くどきたてくどきたつれば	1899-B(ナシ)	
(1)　不義の富貴は浮かべる雲	1451-A(ヒ20)	
(2)　妻は涙にむせかえり	1451-B(ヒ21)	
(1)　夫の討ち死に遊ばすを＊	830-A(〃)	
(2)　妻は涙にむせかえり	830-B(〃)	
(1)　ひと間へ入りにけり残るつぼみの	13151-A(1952)	
(2)　水上げかねしふぜいにて	13151-B(1953)	
(3)　討ち死にと聞くならば	13152-A(1954)	
(4)　二世も三世もみょうとじゃと	13152-B(1955)	
(5)　門出の物の具つけるのが	13153-A(1956)	
(6)　おおあっぱれ武者ぶり勇ましし	13153-B(1957)	
(7)　察しやったる十次郎	13154-A(1958)	
(8)　ふすま押し明け何げのう	13154-B(1959)	
(9)　必定久吉この内に	13155-A(1960)	
(10)　やこは母人かしなしたり	13155-B(1961)	
(11)　おのれが心ただ一つで	13156-A(1962)	
(12)　知らぬこととはいいながら	13156-B(1963)	
(13)　女わらべの知る事ならず	13157-A(1964)	
(14)　やあ不覚なり十次郎	13157-B(1965)	
(15)　真柴筑前守久吉の家臣	13158-A(1966)	
(16)　おのれが心ただ一つで	13158-B(1967)	
(17)　ほんに思えばこの身ほど	13159-A(1968)	
(18)　光秀聞くよりつっ立ち上がり＊	13159-B(1969)	
(19)　光秀にうち向かい	13160-A(1970)	
(20)　二世を固めの別れの涙	13160-B(1971)	
(1)　(序)残るつぼみの花一つ	3816(〃)	
(2)　習いとおぼし召し分けられて	3817(〃)	
(3)　夫の討ち死に遊ばすを	3818(〃)	
(4)　いとしい夫が討ち死にの	3819(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				60A B 61A B 62A B 63A B 64A B 65A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 66A B 67A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	トキ Ⅱa 赤	4— 91A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ニト Ⅰa 黒	4—100A B 101A B 102A B 103A B 104A B 105A B 106A B 107A B 108A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 〈Ⅳ仙糸〉	リガ Ⅰa 黒	4—334A B

詞章	音盤番号	備考
(5) なりしその骨柄おおあっぱれ	3820(〃)	
(6) はかなき心根を察しやったる	3821(〃)	
(7) 思い余った三三九度	3822(〃)	
(8) ここに刈り取るましばがき	3823(〃)	
(9) 差し足抜き足うかがい寄り	3824(〃)	
(10) 主君を討って功名顔	3825(〃)	
(11) 妻は涙にむせかえり	3826(〃)	
(12) 光秀は声荒らげ	3827(〃)	
(13) すかしょの手傷に血は滝つ瀬	3828(〃)	
(14) 不意を討たれて敵は敗もう	3829(〃)	
(15) 子はふびんにはないか	3830(〃)	
(16) いつ楽しみの暇ものう	3831(〃)	
(＊) ……		
(17) またも聞こゆる人馬の物音	2790(〃)	
(18) さんねに代わる陣羽織	2791(〃)	
(19) 末練残さぬもののふの	2792(〃)	
(20) ただ一戦にかけくずさん	2793(〃)	
(1) 妻は涙にむせかえり＊	1533(〃)	
(2) 互いの運は天王山	1534(〃)	
(1) ひと間へ入りにけり残るつぼみの	1840-A(？)	
(2) 母様にもばば様にも	1840-B(ナシ)	
(3) さては様子を」あい残らず	1841-A(ナシ)	
(4) いとしい夫が討ち死にの	1841-B(ナシ)	
(5) おおあっぱれ武者ぶり勇ましし	1842-A(J-64)	
(6) 哀れをここに吹き送る	1842-B(ナシ)	
(7) おおそれは御苦労さりながら	1843-A(？)	
(8) 小田のかわずの鳴く音をば	1843-B(J-67)	
(9) 不義の富貴は浮かべる雲	1844-A(J-68)	
(10) 妻は涙にむせかえり	1844-B(ナシ)	
(11) 武王は殷の紂王を討つ	1845-A(ナシ)	
(12) 光秀わざと声荒らげ	1845-B(ナシ)	
(13) 光秀怒りの髪さかだて	1846-A(？)	
(14) 今生のおいとまごい	1846-B(ナシ)	
(15) 二世を結ぶのまくらさえ	1847-A(ナシ)	
(16) またも聞こゆる人馬の物音	1847-B(ナシ)	
(17) 中を隔つる老鳥の	1848-A(？)	
(18) われも惟任将軍と	1848-B(ナシ)	
(1) 残るつぼみの花一つ	67378 (NE30514)	
(2) 討ち死にするはもののふの	67378 (NE30515)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				335A B 336A B 337A B 338A B 339A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ清二郎	ナイガイ Ⅰa 青	4—356A B 357A B 358A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 巌太夫 (三) 紋左衛門	スタアクトン Ⅱb 赤	5— 24A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) Ⅵ団六	ヒコ Ⅲb 青	5— 85A B 86A B 87A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱ源路太夫 (三) 友若	オリ Ⅵb 黒	5—104A B 105A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅹ若太夫 (三) Ⅳ綱造	タイ Ⅴa 黒	5—127A B 128A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　はっと驚き口に手を当て	67379 (NE30516)	
(4)　ああこれこなたも武士の	67379 (NE30517)	
(5)　しら木にかわらけしらがのばば	67380 (NE30518)	
(6)　こんな殿御を持ちながら	67380 (NE30519)	
(7)　哀れをここに吹き送る	67381 (NE30520)	
(8)　推量しやとばかりにて	67381 (NE30521)	
(9)　ここに刈り取るましばがき	67382 (NE30522)	
(10)　差し足抜き足うかがい寄り	67382 (NE30523)	
(11)　不義の富貴は浮かべる雲	67383 (NE30524)	
(12)　妻は涙にむせかえり	67383 (NE30525)	
(1)　残るつぼみの花一つ	5347(〃)	(1)(2)(5) (6)カケ
(2)　(討ち死にするはもののふの)	5348(〃)	
(3)　はっと驚き口に手を当て	5349(〃)	
(4)　ああこれこなたも武士の	5350(〃)	
(5)　しら木にかわらけしらがのばば	5351(〃)	
(6)　こんな殿御を持ちながら	5352(〃)	
(1)　声聞きつけて駆け出る操	5582(〃)	スレ
(2)　やりの穂先に手をかけて	5583(〃)	
(1)　残るつぼみの花一つ	8102-A(〃)	
(2)　討ち死にするはもののふの	8102-B(〃)	
(3)　はっと驚き口に手を当て	8103-A(〃)	
(4)　ああこれそなたも武士の	8103-B(〃)	
(5)　門出を祝うのしこんぶ	8104-A(〃)	
(6)　悲しさ隠す笑い顔	8104-B(〃)	
(1)　ここに刈り取るましばがき	3240-A(〃)	
(2)　聞こゆる物音心得たりと	3240-B(〃)	
(3)　主君を討って功名顔	3241-A(〃)	
(4)　妻は涙にむせかえり	3241-B(〃)	
(1)　ひと間へ入りにけり残るつぼみの	M-471(X-974)	
(2)　母様にもばば様にも	M-471(X-975)	
(3)　はっと驚き口に手を当て	M-472(X-976)	
(4)　いとしい夫が討ち死にの	M-472(X-977)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				129 A B 130 A B 131 A B 132 A B 133 A B 134 A B 135 A B 136 A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—164 A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅱa 赤	5—262 A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	リガ Ⅰb 黒	5—313 A B 314 A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲa 灰	5—354 A B 355 A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅱ観西翁	ホガ Ⅱb 紫	6— 12 A B 13 A B 14 A B 15 A B 16 A B

詞章	音盤番号	備考
(5) 喜ぶほどなおいや増すなごり	M-473(X-978)	
(6) 哀れをここに吹き送る	M-473(X-979)	
(7) ふすま押し明け何げのう	M-474(X-980)	
(8) 必定久吉この内に	M-474(X-981)	
(9) 声聞きつけて駆け出る操	M-475(X-982)	
(10) しゅうを殺した天罰の	M-475(X-983)	
(11) せめて母御の御最期に	M-476(X-984)	
(12) 女わらべの知る事ならず	M-476(X-985)	
(13) 光秀わざと声荒らげ	M-477(X-986)	
(14) 真柴筑前守久吉の家臣	M-477(X-987)	
(15) その身の手傷は苦にもせず	M-478(X-988)	
(16) 母は涙に正体なく	M-478(X-989)	
(17) りんねのきずなに締めつけられ	M-479(X-990)	
(18) ぞうりつかみの猿面冠者	M-479(X-991)	
(19) うるさのしゃばに残らんより	M-480(X-992)	
(20) たとえ項羽が勇ありとも	M-480(X-993)	
(1) ああこれこれ声が高い*	807-A(〃)	
(2) 喜ぶほどなおいや増すなごり	807-B(〃)	
(1) たとえがたなき人非人	808-A(〃)	
(2) 気丈の手負い妻は涙に	808-B(〃)	
(1) ここに刈り取るましばがき	65049-A (NE40548)	
(2) 差し足抜き足うかがい寄り	65049-B (NE40549)	
(3) 不義の富貴は浮かべる雲	65050-A (NE40550)	
(4) 妻は涙にむせかえり	65050-B (NE40551)	
(1) ここに刈り取るましばがき	10114-A(3943)	
(2) 差し足抜き足うかがい寄り	10114-B(3944)	
(3) しゅうにそむかず親に仕え	10115-A(3945)	
(4) これ見たまえ光秀殿	10115-B(3946)	
(1) ひと間へ入りにける残るつぼみの	5459(〃)	
(2) 水上げかねしふぜいにて	5460(〃)	
(3) 討ち死にするはもののふの	5461(〃)	
(4) はっと驚き口に手を当て	5462(〃)	
(5) 十次郎が討ち死には	5463(〃)	
(6) しら木にかわらけしらがのばば	5464(〃)	
(7) こんな殿御を持ちながら	5465(〃)	
(8) 察しやったる十次郎	5466(〃)	
(9) ばばが心のせつなさを	5467(〃)	
(10) ここに刈り取るましばがき	5468(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				17A B 18A B 19A B 20A B 21A B 22A B 23A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 36A B 37A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ユニバアサル Ⅰa 青	6—158
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—160
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 赤	6—170A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 朝重 (三) 昇菊	スピンクス Ⅱa 赤	6—244A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 小仙 (三) 鶴栄	リガ Ⅰa 黒	6—278A B 279A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 小仙	オデオン Ⅰa 青	6—280A B 281A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(11)　差し足抜き足うかがい寄り	5469(〃)	
(12)　不義の富貴は浮かべる雲	5470(〃)	
(13)　妻は涙にむせかえり	5471(〃)	
(14)　光秀は声荒らげ	5472(〃)	
(15)　おりしも聞こゆる陣太鼓	5473(〃)	
(16)　親人のさしずに任せ	5474(〃)	
(17)　光秀怒りの髪さかだて	5475(〃)	
(18)　今生のおいとまごい	5476(〃)	
(19)　くどきたつれば初菊も	5477(〃)	
(20)　さすが勇気の光秀も	5478(〃)	
(21)　眼下の村手をきっと見下し	5479(〃)	
(22)　わが子に代わるこの母も	5480(〃)	
(23)　哀れをよそに真柴久吉	5481(〃)	
(24)　二世を固めの別れの涙	5482(〃)	
(1)　月漏る片びさしここに刈り取る	50343-A(〃)	
(2)　差し足抜き足うかがい寄り	50343-B(〃)	
(3)　不義の富貴は浮かべる雲	50344-A(〃)	
(4)　妻は涙にむせかえり	50344-B(〃)	
(*)　……		
(2)　聞こゆる物音心得たりと	1127(〃)	=6—170A
(1)　ここに刈り取るましばがき	1117(〃)	
(*)　……		
(2)　聞こゆる物音心得たりと	1127(〃)	=6—158
(3)　おのれが心ただ一つで	1128(〃)	
(1)　孝と恋との思いの海*	2062(〃)	
(2)　ここに刈り取るましばがき	2053(2063)	
(1)　母様にもばば様にも	67734(80136)	
(2)　はっと驚き口に手を当て	67734(80137)	
(3)　いとしい夫が討ち死にの	67735(80138)	
(4)　おおあっぱれ武者ぶり勇ましし	67735(80139)	
(1)　ここに刈り取るましばがき	U-2110A (JP125)	
(2)　ややこは母人かしなしたり	U-2110B (JP151)	
(3)　おのれが心ただ一つで	U-2111A (JP152)	
(4)　知らぬこととはいいながら*	U-2111B (JP153)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—286A B 287A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	オリ Ⅵb 黒	6—359B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 13A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 住広 (三) 〈綱之助〉 (囃) 田中伝四郎社中	ナイガイ Ⅰa 赤	7— 25A B 26A B 27A B 28A B 29A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 団司	オリ Ⅴb 黒	7— 46A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7— 87A B 88A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7— 89A B 90A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 東広 (三) 〈仙平〉	キリン Ⅰa 黒	7—148A B 149A B

詞章	音盤番号	備考
(1) ここに刈り取るましばがき (2) 声聞きつけて駆け出る操 (3) 妻は涙にむせかえり＊ (4) 光秀わざと声荒らげ	2019-A(ナシ) 2019-B(ナシ) 2020-A(ナシ) 2020-B(M20)	
(1) 妻は涙にむせかえり	4719-B(9700)	
(1) 夫の討ち死に遊ばすを＊ (2) 妻は涙にむせかえり	2053-A(〃) 2053-B(〃)	
(＊) …… (7) 哀れをここに吹き送る (8) ふすま押し明け何げのう (9) 必定久吉この内に (10) 声聞きつけて駆け出る操 (11) しゅうを殺した天罰の (12) せめて母御の御最期に (13) 取りつくしまもなかりける (14) はっと心を取り直し (15) 真柴筑前守久吉の家臣 (16) その身の手傷は苦にもせず	 3147(〃) 3148(〃) 3149(〃) 3150(〃) 3151(〃) 3152(〃) 3153(〃) 3154(〃) 3155(〃) 3156(〃)	
(1) ここに刈り取るましばがき＊ (2) 妻は涙にむせかえり	1851-A(京185) 1851-B(京186)	(1)カケ・スレ
(1) 母様にもばば様にも (2) はっと驚き口に手を当て (3) さ早う時延びるほど (4) おおあっぱれ武者ぶり勇ましし	65997-A (63259) 65997-B (63260) 65998-A (63261) 65998-B (63262)	
(1) ここに刈り取るましばがき (2) 差し足抜き足うかがい寄り (3) 不義の富貴は浮かべる雲 (4) 妻は涙にむせかえり	65057-A (61535) 65057-B (61536) 65058-A (61537) 65058-B (61538)	
(1) ここに刈り取るましばがき (2) 差し足抜き足うかがい寄り (3) 主君を討って功名顔 (4) 妻は涙にむせかえり	K.626-A(〃) K.626-B(〃) K.627-A(〃) K.627-B(〃)	(3)(4)カビ

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 友之助 (三) 福之助	グラモホンコンサアトⅠa 黒	7—161
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 長広	コロ Ⅲb 黒	7—169
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) 文福 (三) 土佐尾	ビク Ⅰa 黒	7—252
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ロオヤル Ⅱa 赤	7—280 A
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—280 B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—313 B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—315 B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—336 A B 337 A B 338 A B 339 A B 340 A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 38 A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 39 A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅳa 多色	8— 68 A B 69 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　何さ何さたとえ項羽が	G.C.13135(13135Ⅱ, E346)	
(1)　妻は涙にむせかえり	2897(2897-1-1)	カケ
(1)　やあ不覚なり十次郎	11408(A11408, E357)	
(1)　残らず聞いておりました	1682(〃)	
(1)　父上母様初菊殿	1683(〃)	
(1)　妻は涙にむせかえり	1263(〃)	≒[7—315]
(1)　妻は涙にむせかえり	1263(〃)	≒[7—313]
(1)　残るつぼみの花一つ (2)　二つにはまた初菊殿 (3)　杯せぬがしあわせとは (4)　泣く泣く取り出すひおどしの (5)　悲しさ隠す笑い顔 (6)　のう悲しやと泣き入る初菊 (7)　ここに刈り取るましばがき (8)　やややややこは母人かしなしたり (9)　おのれが心ただ一つで (10)　せめて母御の御最期に＊	15965-A(12878) 15965-B(12879) 15966-A(12880) 15966-B(12881) 15967-A(ナシ) 15967-B(ナシ) 15968-A(ナシ) 15968-B(ナシ) 15969-A(12886) 15969-B(ナシ)	
(1)　残らず聞いておりました (2)　さ早う時延びるほど	25669-A (NE40039) 25669-B (NE40040)	
(1)　たとえがたなき人非人 (2)　妻は涙にむせかえり	25646-A (NE40041) 25646-B (NE40042)	
(＊)　…… (5)　悲しさ隠す笑い顔＊ (6)　さようならば御遠慮なし＊ (7)　不義の富貴は浮かべる雲 (8)　妻は涙にむせかえり	 A405(〃) A406(〃) A407(〃) A408(〃)	↔[7—326] ＝8—73A ＝　　B

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅴa・Ⅴb・ Ⅵa 黒	8— 71A B 72A B 73A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ナシヨナル Ⅰa 青	8— 85A
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 89A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅲa 黒	17—111
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 呂之助 (三) 金昇	オリ Ⅵa 黒	8—163A B 164A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) (三) 和広	コロ Ⅳa 青	8—171
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 無閑居士 (三) Ⅱ観西翁	ホガ Ⅱb 紫	8—320A B
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) <井上>里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	アメリカン Ⅰa 黒	8—335
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	トオゴオ Ⅰa 緑	8—336A
7	**絵本太功記** さつき内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	トオゴオ Ⅰa 緑	8—336B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅲ和佐太夫 (三) 語左衛門	グラモホンコン サアト Ⅰa 黒	1—198
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲa 黒	1—239

詞章	音盤番号	備考
(1) 残るつぼみの花一つ (2) 二つにはまた初菊殿 (3) 杯せぬがしあわせとは (4) 泣く泣く取り出すひおどしの (*) …… (7) 不義の富貴は浮かべる雲 (8) 妻は涙にむせかえり	A401(〃) A402(402) A403(〃) A404(404) A407(〃) A408(408)	↔[8—68] (1)(7)カビ =8—69A = B
(1) 父上母様初菊殿	ナシ(1098)	
(1) 夫の討ち死に遊ばすを* (2) 妻は涙にむせかえり	1062A(〃) 1062B(〃)	
(1) おのれが心ただ一つで	12002(12002F)	30cm
(1) あい残らず聞いておりました (2) さ早う時延びるほど (3) おおあっぱれ武者ぶり勇ましし* (4) 妻は涙にむせかえり	2485-A(1050) 2485-B(1051A) 2486-A(1052) 2486-B(1053)	カビ
(1) ここに刈り取るましばがき	2414(2414-1-1)	
(*) …… (3) 追っ立て追っ詰めここを先途と (4) 深手を屈せずてて親を	 5449(〃) 5450(〃)	
(1) ああこれ声が高い初菊殿	2211(〃)	
(1) ここに刈り取るましばがき	ナシ(230)	
(1) 妻は涙にむせかえり	ナシ(231)	
(1) 今のうき身の恥ずかしさ	G.C.12320(12320Ⅱ,E418)	
(1) ぱちも慮外も顧みず	2907-A(2907-A-1-2)	

題番	名号	題名	奏演者	題紙	整理番号
8		**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅹa 黒	2—157A B 158A B
8		**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅵa・Ⅴb 黒	2—172A B 173A B 174A B
8		**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸	ヒコ Ⅲa 青	2—252A B 253A B
8		**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—321A B 322A B 323A B 324A B 325A B 326A B 327A B 328A B 329A B 330A B 331A B
8		**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 72A B

詞章	音盤番号	備考
(1) ふむここはお庭先の枝折り門	25746-A (NE32926)	
(2) 犬でもはいりましたかと	25746-B (NE32927)	
(3) やい物もらいおあしがほしくば	25747-A (NE32928)	
(4) 父上や母様のお気にそむきし	25747-B (NE32929)	
(1) やい物もらいおあしがほしくば	1901-A(〃)	
(2) 二世のつまにも引き別れ	1901-B(〃)	
(3) 孫と聞くより浜ゆうが＊	1902-A(〃)	
(4) 様子聞かねばなんぼでも	1902-B(〃)	
(5) わしがような不孝な者が＊	1903-A(〃)	
(6) おさらばさらばと敵みかた	1903-B(〃)	
(＊) ……		
(3) 門より高う心から	1442-A(〃)	
(4) 娘は声を聞き知れど	1442-B(〃)	
(5) ばちも慮外も顧みず	1443-A(〃)	
(6) ふたりが中のこれこのお君とて	1443-B(〃)	
(1) 立って入りにけるたださえ曇る	5149(〃)	
(2) 無常を急ぐ冬の風	5150(〃)	
(3) 雪道に力なくなく	5151(〃)	
(4) 泣く声さえもはばかりて	5152(〃)	
(5) 母は変わりしなりを見て	5153(〃)	
(6) 久しぶりの母の前	5154(〃)	
(7) 二世のつまにも引き別れ	5155(〃)	
(8) この子がいじらしさふびんと	5156(〃)	
(9) もったいないさりながら	5157(〃)	
(10) 生まれ落つるとこじきさす	5158(〃)	
(11) ええけがらわしいこの状	5159(〃)	
(12) 様子聞かねばなんぼでも	5160(〃)	
(13) そなたは寒うはないかや	5161(〃)	
(14) 行くおりしも庭の飛び石伝い	5162(〃)	
(15) 源義家これを放つと	5163(〃)	
(16) まだ女めはいにおらぬか	5164(〃)	
(17) 残して立ちいずるえもんに	5165(〃)	
(18) つくずく面体をうかがうに	5166(〃)	
(19) 最前からよう似た声とは	5167(〃)	
(20) 敷妙の身にはたいせつな	5168(〃)	
(21) おさらばさらばと敵みかた	5169(〃)	
(22) よるべ涙に立ちかねて	5170(〃)	
(1) たださえ曇る雪空に	838(〃)	
(2) かきの外もにああうれしや	839(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				73A B 74A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ニト Ⅱb・Ⅲa 黒	4—245A B 246A B 247A B 248A B 249A B 250A B 251A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—318A B 319A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 38A B 39A B 40A B 41A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ポリ Ⅰa 黒	6— 88A B 89A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	6—322A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　浜ゆうも庭に立ちいで	840(〃)	
(4)　やい物もらいおあしがほしくば	841(〃)	
(5)　二世のつまにも引き別れ＊	842(〃)	
(6)　雪持つささは源氏の旗ざお	843(〃)	
(1)　立って入りにけるたださえ曇る	3006-A(〃)	
(2)　身にこたゆるは血筋の縁	3006-B(〃)	
(3)　傍仗様はこの春から	3007-A(〃)	
(4)　と言いつつ自身庭の面	3007-B(〃)	
(5)　さっても慮外な物もらいなら	3008-A(〃)	
(6)　父上や母様のお気にそむきし	3008-B(〃)	
(＊)　……		
(9)　あんまり憎うておりゃものが	3010-A(〃)	
(10)　のうこれしばしもう会おうとは	3010-B(〃)	
(11)　持病のしゃくの差し込んで	3011-A(〃)	
(12)　わしがような不孝な者が	3011-B(〃)	
(＊)　……		
(15)　それとは言わぬいとまごい	3013-A(〃)	
(16)　天聴に達し申すべし	3013-B(〃)	
(＊)　……		
(19)　娘父上いざいっしょに	3015-A(〃)	
(20)　おさらばさらばと敵みかた	3015-B(〃)	
(1)　やい物もらいおあしがほしくば	5909-A(〃)	
(2)　父上や母様のお気にそむきし	5909-B(〃)	
(3)　子を持って知る親の恩＊	5910-A(〃)	
(4)　のうこれしばしもう会おうとは	5910-B(〃)	
(1)　たださえ曇る雪空に	50906-A(693)	
(2)　娘お君に手を引かれ＊	50906-B(694)	
(3)　ばちも慮外も顧みず	50907-A(695)	
(4)　ふたりが中のこれこのお君とて＊	50907-B(696)	
(5)　傍仗なおも声荒らか＊	51038-A(697)	
(6)　中を隔つる白たえも	51038-B(698)	
(7)　ようように顔を上げ	51039-A(699)	
(8)　町人の身の上ならば	51039-B(700)	
(1)　たださえ曇る雪空に	2149-A(6161BF)	
(2)　娘お君に手を引かれ＊	2149-B(6162BF)	
(3)　ばちも慮外も顧みず	2150-A(6163BF)	
(4)　ふたりが中のこれこのお君とて	2150-B(6164BF)	
(1)　たださえ曇る雪空に	65086-A (80322)	
(2)　ふむここはお庭先の枝折り門＊	65086-B (80323)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				323A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平 〔口上入〕	タイ Ⅱb 黒	6—345A B 346A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—285B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—341A B 342A B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) (三) 呂昇	ナシヨナル Ⅰa 青	8— 85B
8	**奥州安達原** 環の宮館の場	(歌) 呂之助 (三) 綱之助	ニポ Ⅰc 黒	8—131A B 132A B
9	**近江源氏先陣館** 盛綱陣屋の場	(歌) 尾上元太郎 (三) 吉左	ナイガイ Ⅰa 白	8—213A B 214A B 215A B 216A B 217A B
10	**女舞剣紅楓** 三勝内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—332A B 333A B 334A B 335A B 336A B

詞章	音盤番号	備考
(3) ばちも慮外も顧みず (4) ふたりが中のこれこのお君とて	65087-A (80324) 65087-B (80325)	
(1) (序)たださえ曇る雪空に (2) どうやらこうやらここまで＊ (3) うき身の恥ずかしさ父上や (4) ふたりが中のこれこのお君とて	3913-A(〃) 3913-B(〃) 3914-A(〃) 3914-B(〃)	(3)キズ
(1) ばちも慮外も顧みず	1681(〃)	キズ
(1) やい物もらいおあしがほしくば (2) 父上や母様のお気にそむきし (3) 知らぬじい様ばば様を＊ (4) (泣)見れど盲のかきのぞき	15293-A(ナシ) 15293-B(ナシ) 15294-A(5926B) 15294-B(5927)	
(1) ばちも慮外も顧みず	ナシ(1099)	
(1) あいとは言えど袖萩が (2) 二世のつまにも引き別れ＊ (3) のうこれしばしもう会おうとは＊ (4) さらばと敵みかた着するかむり	16395-A(14001) 16395-B(14002) 16396-A(14003) 16396-B(14004)	
(1) 盛綱はただぼう然と (2) 最前わが君よりの仰せ渡され (3) 現在のおいが命 (4) 世のたとえにも小の虫を＊ (5) ことさら長の浪人の (6) それまでは殺しもせず (7) わたしが命一つで (8) 小三郎が手柄したと (9) さては母親と内通して (10) おりからさっと山風の	1(S125) 2(S126) 3(S127) 4(S128) 5(S129) 6(S130) 7(S131) 8(S132) 9(S133) 10(S134)	(5)(6)ヒビ
(1) この広い大阪に住む所さえ (2) ちと御免なりませと (3) わしゃこなさんに礼言いに (4) さあ思うことままならぬこそ (5) 胸にしみじみ悲しいと (6) 義理と情けでせん方なく (7) ふっつり思い切りました (8) 恋の罪とが思いのしゅら (9) のいてくださる仏より (10) 礼とては言わねども	3135(〃) 3136(〃) 3137(〃) 3138(〃) 3139(〃) 3140(〃) 3141(〃) 3142(〃) 3143(〃) 3144(〃)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
11	**加賀見山旧錦絵** 又助内の場	(歌)　Ⅲ和佐太夫 (三)　語左衛門	グラモホンコンサアトⅠa　黒	1—199
11	**加賀見山旧錦絵** 又助内の場	(歌)　Ⅵ弥太夫 (三)　Ⅷ吉弥	オリ　Ⅴb 黒	1—225 A B 226 A B
11	**加賀見山旧錦絵** 又助内の場	(歌)　Ⅱ古靱太夫 (三)　Ⅲ清六	ニト　Ⅰa 黒	4—109 A B 110 A B 111 A B 112 A B 113 A B 114 A B 115 A B
11	**加賀見山旧錦絵** 又助内の場	(歌)　Ⅱ古靱太夫 (三)　Ⅲ清六	ニト　Ⅰa 黒	4—116 A B 117 A B
11	**加賀見山旧錦絵** A．足利館尾上部屋の場 B．門外の場 C．尾上部屋の場 D．奥庭の場	(歌)　越登太夫 (三)　Ⅳ浅造	ニト　Ⅰa 黒	5—165 A B 166 A B 167 A B 168 A B 169 A B 170 A B 171 A B 172 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　車軸を流す雨いかずち	G. C. 12322(E420)	
(1)　聞く又助は五ぞう六ぷ	1966-A(〃)	
(2)　求馬はなおも踏みうっつけ	1966-B(〃)	
(3)　先へ回って川岸に	1967-A(〃)	
(4)　みな底早瀬の大河	1967-B(〃)	
(1)　泣く泣くゆられ行く	335-A(〃)	=4—116A
(2)　六つと初夜とを隔てたる	335-B(〃)	=　　B
(3)　がたれあろう安田の御家門	336-A(〃)	=4—117A
(4)　ほほいかにも身どもが手に入る	336-B(〃)	
(5)　ななななんとそりゃあの殿様には	337-A(〃)	
(6)　聞く又助は五ぞう六ぷ	337-B(〃)	=4—117B
(7)　かくあらわれし上からは	338-A(〃)	
(8)　わが身の運命筑摩川	338-B(〃)	
(9)　忍ぶみな底早瀬の大河	339-A(〃)	
(10)　むむさてはねい人一角と	339-B(〃)	
(11)　かわいいわが子や夫を先だて	340-A(〃)	
(12)　嘆けば女房もむせ返り	340-B(〃)	
(13)　と慈愛の一言はあはっと	341-A(〃)	
(14)　御家老様へおみかたと	341-B(〃)	
(1)　泣く泣くゆられ行く	335-A(〃)	=4—109A
(2)　六つと初夜とを隔てたる	335-B(〃)	=　　B
(3)　がたれあろう安田の御家門	337-A(〃)	=4—110A
(*)　……		
(6)　聞く又助は五ぞう六ぷ	337-B(〃)	=4—111B
(1)　A. こそは立って行くあとに	ナシ(98)	
(2)　なき長ふみもあとや先	ナシ(99)	
(3)　こまごましくも小文庫に	ナシ(100)	
(4)　さあお薬と差しいだし	ナシ	
(5)　早う行きゃ」あい」何を	ナシ(2)	
(6)　ごきげんに違うても	ナシ	
(7)　大事に思うてくれる志	ナシ(4)	
(8)　なお浅く山より高き	ナシ(5)	
(9)　お礼奉公早うして	ナシ	
(10)　B. 何面ぼくに長らえて	ナシ(7)	
(11)　C. 空色もみがきたてたる	ナシ	
(12)　半狂乱のお初が仰天	ナシ(9)	
(13)　きのう鶴が岡で岩藤づらに	ナシ(10)	
(14)　お書き置きのこのおもて	ナシ(11)	
(15)　胸なでおろし手を組んで	ナシ(12)	
(16)　D. 駈けり行く奥御殿	ナシ(13)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
11	**加賀見山旧錦絵** A. 足利館長廊下の場 B. 尾上部屋の場 C. 門外の場 D. 屋上部屋の場 E. 奥庭の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰb 茶	5—207A B 208A B 209A B 210A B 211A B 212A B 213A B 214A B 215A B 216A B 217A B 218A B
11	**加賀見山旧錦絵** 足利館尾上部屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—320A B 321A B
12	**重井筒** 重井筒屋の場	(歌) Ⅷ綱太夫 (三) Ⅹ弥七	デンオン Ⅰa 青	6—196B 198A 199A 200A 201A
13	**敵討襤褸錦** 大安寺堤の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—337A B 338A B 339A B 340A B 341A

詞章		音盤番号	備考
(1)	A. こそは入りにけりあと見送り	ナシ(写298A)	鴻池家依嘱盤
(2)	差し足あたりをながめ	ナシ(写B298)	
(3)	さがる尾上それと見るより	ナシ(写A299)	
(4)	B. 神ならぬ身のそれぞとも	ナシ(写B299)	
(5)	そなたのてて御も武士と聞いたが	ナシ(写A300)	
(6)	おおそれなれば話が合う	ナシ(写B300)	
(7)	おほんにわたしとしたことが	ナシ(写A301)	
(8)	あとに尾上は胸迫り	ナシ(写B301)	
(9)	皮のふばこも浦島が	ナシ(写A302)	
(10)	今を限りの空結いに	ナシ(写B302)	
(11)	おおあれあれ御ろうじませ	ナシ(写A303)	
(12)	きょうに限ってこのお使い	ナシ(写B303)	
(13)	影見ゆるまで見送りて	ナシ(写A304)	
(14)	今別れたが一生の	ナシ(写B304)	
(15)	またその上に身用心	ナシ(写A305)	
(16)	今死ぬるこの身より	ナシ(写B305)	
(17)	C. 唱えんものとひと間なる	ナシ(写A306)	
(18)	D. 様子は知れるこのふばこ	ナシ(写B306)	
(19)	なに御前様御ひろう	ナシ(写A307)	
(20)	さっきにも浄るりの	ナシ(写B307)	
(21)	義女のその名を末の世に	ナシ(写A308)	
(22)	E. ひしゃく持つ手もわなわなと	ナシ(写B308)	
(23)	おりふし人もとだえしは	ナシ(写A309)	
(24)	いどみ合う念力通す	ナシ(写B309)	
(1)	何心なく勝手口	5835-A(〃)	
(2)	いやしゃっ気はもう直った	5835-B(〃)	
(3)	ああ心もとない心もとない	5836-A(〃)	
(4)	大恩受けた主人じゃと	5836-B(〃)	
(　)	月ははや渡りぞめして	ナシ	義太夫入門第三回の内遠心式
(　)	橋や六軒町のさよごうし*	ナシ	
(　)	なり内と外とに引き合いの	ナシ	
(　)	やとかもじほどけて身にさわる	ナシ	
(　)	踏むなふとんにとがもない	ナシ	
(1)	急ぎ行く春藤次郎右衛門兄弟は	3911(〃)	
(2)	ねろうぞけなげなるよい月に	3912(〃)	
(3)	兄弟が身のありさまぞ	3913(〃)	
(4)	おっつけ討たする」それでも	3914(〃)	
(5)	大事のお身を持ちながら	3915(〃)	
(6)	ああ兄弟は持つべいもの	3916(〃)	
(7)	家主がしからぬように	3917(〃)	
(8)	大安寺の堤伝い	3918(〃)	
(9)	尋ねておのれが何にする	3919(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 342A B 343A B
14	桂川連理柵 帯屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2— 83A B 84A B 85A B 86A B
14	桂川連理柵 帯屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—344A B 345A B 346A B 347A B 348A B 349A B 350A B 351A B 352A B 353A B
14	桂川連理柵 帯屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	4—272
14	桂川連理柵 帯屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸	ニポ Ⅲa 赤	4—326A B 327A B

詞章		音盤番号	備考
(10)	のめり死ににあうまでも	3920(〃)	
(11)	やい非人おのれ飲み込みの	3921(〃)	
(12)	かたき討ちとさえいえば	3922(〃)	
(13)	かたき討ちに偽りござらぬ	3923(〃)	
(14)	明日丹州へお越しならば	3924(〃)	
(1)	上がり行く柳の馬場を	52833-A(5553)	
(2)	おばば聞きづらい＊	52833-B(5554)	
(3)	見るより母はやんがん声＊	52834-A(5555)	
(4)	さあさあおとっつぁんおかはん	52834-B(5556)	
(5)	長右衛門ああ情けないこと	52835-A(5557)	
(6)	(笑)笑うとったらちゃんと隣の	52835-B(5558)	
(7)	その代わりもう笑わぬ	52836-A(5559)	
(8)	なんじゃえ聞こえはせんがな	52836-B(5560)	
(1)	上がり行く柳の馬場を	3071(〃)	
(2)	聞きかねて隠居繁斎	3072(〃)	
(3)	母じゃ人この五十両はの	3073(〃)	
(4)	やあ五十両の金がない	3074(〃)	
(5)	長右衛門ええ情けないこと	3075(〃)	
(6)	ちよっちよっちよっと門口から	3076(〃)	
(7)	とお絹が目まぜ飲み込む長吉	3077(〃)	
(8)	さあさあ五十両の行きはを言え	3078(〃)	
(9)	おれが名代にどずかして	3079(〃)	
(10)	ともす八方あんどのひ	3080(〃)	
(11)	遠州の御用も相変わらず	3081(〃)	
(12)	愚鈍な者でも女房じゃと	3082(〃)	
(13)	知らぬでなけれども	3083(〃)	
(14)	女房どもええかたじけない	3084(〃)	
(15)	そんならそうしょう	3085(〃)	
(16)	忍び泣きまくらも漂う涙なる	3086(〃)	
(17)	けさ下さんしたふみの返事	3087(〃)	
(18)	長右衛門もこの世の別れと	3088(〃)	
(19)	なまいだなまいだなまいだ	3089(〃)	
(20)	(解説)やいやいやいそりゃまあ	3090(〃)	
(1)	わたしもおなごの端じゃもの	11109(B11109)	
(1)	お絹はしゅうとのそばに寄り	17194-A (NE30510)	
(2)	(笑)どうぞまあ長吉が	17194-B (NE30511)	
(3)	なんじゃいな儀兵衛さん	17195-A (NE30512)	
(4)	これこれ長吉どんここじゃ	17195-B (NE30513)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ライ Ⅰa 緑	4—340A
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—322A B 323A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 錦太夫 (三) 仙市	ニポ Ⅰa 赤	6—141A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 錦太夫 (三) 仙市	ニポ Ⅰa 赤	6—142A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7— 91A B 92A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	オリ Ⅵb 黒	7—116A B 117A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 東広 (三) 東重	ヒコ Ⅲb 青	7—124A B 125A B
14	**桂川連理柵** 帯屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	ナイガイ Ⅱa 黒	7—139A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸	ヒコ Ⅲb 青	2— 14A B 15A B
15	**仮名手本忠臣蔵** A. 足利館長廊下の場 B. 裏門の場	(歌) 十文字楼 (三) 友花	ホガ Ⅱb 紫	2— 54A B 55A B 56A B 57A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　おおお盗人たけだけしい	71111(〃)	
(1)　同じ思いを信濃屋の (2)　なるほどおまえのおっしゃるとおり (3)　今まではようかわいがって (4)　ええおまえと縁切りほかほかへ	6050-A(〃) 6050-B(〃) 6051-A(〃) 6051-B(〃)	
(1)　上がり行く柳の馬場を＊ (2)　お絹はしゅうとのそばに寄り	2567(〃) 2568(〃)	
(1)　ええまだじゃまだじゃ (2)　もうしかかさん現在恋の＊	3114(〃) 3115(〃)	
(1)　柳の馬場を押小路＊ (2)　お絹さんもいかに夫を (3)　いやもうなんぼ時節柄じゃとて (4)　えっえらい事をしやがったな＊	65055-A (71059) 65055-B (71060) 65056-A (71061) 65056-B (71062)	(2)(4)カビ
(1)　柳の馬場を押小路＊ (2)　お絹さんもいかに夫を (3)　いやもうなんぼ時節柄じゃとて (4)　わたいこう口の座敷で	4242-A(ナシ) 4242-B(8548) 4243-A(ナシ) 4243-B(ナシ)	(1)(2)ヒビ
(1)　上がり行く柳の馬場を＊ (2)　いやいやまだまだせり合うより (3)　(笑)まあまあ長吉鼻をかめやい (4)　えらい事をしやがったな＊	7150-A(H7150A) 7150-B(H7150B) 7151-A(H7151A) 7151-B(H7151B,343)	
(1)　柳の馬場を押小路 (2)　お絹さんもいかに夫を	6111-A(〃) 6111-B(〃)	スレ
(1)　わき能過ぎておん楽屋に＊ (2)　てまえが和歌の道に心を (3)　貴公はなぜ遅かったの (4)　むむ」殿中だぞ」はっはっ	7347-A(?) 7347-B(0631) 7348-A(0632) 7348-B(0633)	
(1)　A．連れて行くわき能過ぎて (2)　その時はどうやらした (3)　こりゃここな粋め粋め粋様め (4)　ああさなきだに重きが上の (5)　御酒下されても飲まいでも (6)　いやこう申すうちお手前の顔が (7)　B．本性なれば」本性なりゃ	5827(〃) 5828(〃) 5829(〃) 5830(〃) 5831(〃) 5832(〃) 5833(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 58A B
15	**仮名手本忠臣蔵** A．足利館長廊下の場 B．裏門の場	（歌） （三） Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—354A B 355A B 356A B 357A B 358A B 359A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	（歌） Ⅶ源太夫 （三） Ⅳ勝市 （囃） 松川社中	ニポ Ⅰc 赤	4—300A B 301A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館裏門の場	（歌） Ⅶ源太夫 （三） <Ⅳ勝市>	ヒイロオベスト Ⅰa 多色	4—359A
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	（歌） Ⅰ静太夫 （三） 芳之助 〔囃子入〕	ニト Ⅰb 茶	5— 34A B 35A B 36A B 37
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	（歌） Ⅳ大隅太夫 （三） 道八 〔囃子入〕	ビク Ⅴb 黒	5— 56A B 57A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館裏門の場	（歌） 米太夫 （三） ? 〔下座入〕	ツルジルシ Ⅰa 赤	5—112A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 足利館裏門の場	（歌） Ⅱつばめ太夫 （三） Ⅳ仙糸	ビク Ⅴc 黒	6— 75A B 76A B

詞章	音盤番号	備考
(8) 御用あらば表へ回れ	5834(〃)	
(9) そうじゃもっともそちは新参	5835(〃)	
(10) 伴内いらって切りかくる	5836(〃)	
(1) A. 連れて行くわき能過ぎて	5901(〃)	(12)の盤末に解説あり
(2) これはこれは若狭介殿	5902(〃)	
(3) 力みし腕も拍子抜け	5903(〃)	
(4) ああもう楽じゃと本蔵は	5904(〃)	
(5) わがつまならぬつまな重ねそ	5905(〃)	
(6) 貴殿より若狭介殿	5906(〃)	
(7) むむ」殿中だわい」はっはっ	5907(〃)	
(8) B. おつぎに控えし本蔵	5908(〃)	
(9) 腰元おかるは道にてはぐれ	5909(〃)	
(10) さあいっときなりとも急がんと	5910(〃)	
(11) ああこれこれそいつ殺すと	5911(〃)	
(12) ねぐらを離れ飛ぶからす	5912(〃)	
(1) ほどもあらさず塩冶判官	15268-A(〃)	
(2) はあこれは新古今の歌	15268-B(〃)	
(3) いやまたそのもとの奥方は	15269-A(〃)	
(4) ふなが貴様か貴様がふなか*	15269-B(〃)	
(1) 鷺坂伴内家来引き連れ	ナシ	
(1) わき能過ぎておん楽屋に	ナシ(写208)	鴻池家依嘱盤
(2) その時はどうやらした	ナシ(写209)	
(3) いざいざ若狭殿御前へ	ナシ(写210)	
(4) たもとよりふばこ取りいだし	ナシ(写211)	
(5) そのもとはあやかり者	ナシ(写212)	
(6) わずか三尺四尺の井の中を	ナシ(写213)	
(7) 出放題判官腹に	ナシ(写214)	
(1) ほどもあらせず塩冶判官	51535-A(2191)	
(2) はあこりゃこれ新古今の歌	51535-B(2192)	
(3) これはこれは師直殿には	51536-A(2193)	
(4) 判官腹にすえかね	51536-B(2194)	
(1) 鷺坂伴内家来引き連れ	677-A(〃)	
(2) ああこれこれそいつ殺すと	677-B(〃)	
(1) 立ち騒ぐ表御門裏御門	53484(5959)	
(2) 腰元おかる道にてはぐれ	53484(5960)	
(3) 鷺坂伴内家来引き連れ	53485(5961)	
(4) ええ残念残念さりながら	53485(5962)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
15	仮名手本忠臣蔵 塩冶館の場	(歌) Ⅵ弥太夫 (三) Ⅵ源吉	ニポ Ⅰa 赤	1—221 A B
15	仮名手本忠臣蔵 塩冶館の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ヒコ Ⅲb 青	1—344 A B 345 A B 346 A B
15	仮名手本忠臣蔵 塩冶館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ニト Ⅱb 黒	4—252 A B 253 A B 254 A B 255 A B 256 A B 257 A B
15	仮名手本忠臣蔵 塩冶館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—360 A B 3— 1 A B 2 A B 3 A B 4 A B 5 A B 6 A B
15	仮名手本忠臣蔵 山崎街道の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸 〔囃子入〕	ヒコ Ⅲb 青	2— 16 A B 17 A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰb 赤	1—280 A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 力弥御意を承り	3108(〃)	
(2) ははあ委細承知つかまつる	3109(〃)	
(1) 浮き世なれ塩冶判官＊	7213-A(10113)	
(2) 師直がじっきん薬師寺	7213-B(10114)	
(3) 押し開けば判官も	7214-A(10115)	
(4) 上使に立ったる石堂殿	7214-B(?)	
(5) 湊川にて楠正成	7215-A(10117)	
(6) 力弥御意を承り	7215-B(10118)	
(1) 浮き世なれ塩冶判官	3276-A(〃)	
(2) かかるおりにもはなやかに	3276-B(〃)	
(＊) ……		
(5) はや御上使のおんいでと	3278-A(〃)	
(6) われわれ今日上使に立ったる	3278-B(〃)	
(7) それになんぞや当世様の	3279-A(〃)	
(8) 師直をうち漏らし無念	3279-B(〃)	
(9) 力弥御意を承り	3280-A(〃)	
(10) 国家老大星由良之助	3280-B(〃)	
(11) 由良之助この九寸五分は	3281-A(〃)	
(12) 判官の末期の一句	3281-B(〃)	
(13) この薬師寺も死がいかたづける	3282-A(〃)	
(14) ことばの下よりおん乗り物	3282-B(〃)	
(1) 浮き世なれ塩冶判官	9873(〃)	
(2) 奥はなまめく女中の遊び	9874(〃)	
(3) ごきげんのよいお顔ばせ	9875(〃)	
(4) 人にこびへつらうは	9876(〃)	
(5) 奥へかくと通じさせ	9877(〃)	
(6) 懐中より御書取りいだし	9878(〃)	
(7) ことにもって切腹には	9879(〃)	
(8) 湊川にて楠正成	9880(〃)	
(9) 心静かに肩ぎぬはねのけ	9881(〃)	
(10) 由良之助待ちかねたわやい	9882(〃)	
(11) 血に染まる切っ先を	9883(〃)	
(12) 用事あらば承らん	9884(〃)	
(13) 今までこらえていたわいの	9885(〃)	
(14) 涙とともに乗せ奉り	9886(〃)	
(1) またも降り来る雨の足	7349-A(0634)	
(2) さぞ女房子の待ちおろう	7349-B(ナシ)	
(3) これさ何か小石でも	7350-A(0635)	
(4) なにおこもじ様へおめえ様の	7350-B(ナシ)	
(1) 深編みがさの侍二人	4789(〃)	
(2) 石碑を営むは亡君の	4790, 9024(4790)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				281A B 282A B 283A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	コロ Ⅹa 青	1—321A B 322A B 323A B 324A B 325A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造 (下座唄) 富士田太郎 〔下座入〕	ニポ Ⅰa 赤	2— 36A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅵ雛太夫 (三) 新造 (囃) 田中伝二郎 〔下座入〕	ヒコ Ⅲb 青	2— 38A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅵa・Ⅴb 黒	2—175A B 176A B 177A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 7A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　渇しても盗泉の水を	9025(4791)	
(4)　山越すししに出会い	9025(4792)	
(5)　言うに手負いも見てびっくり	9026(4793)	
(6)　懐中より一巻な取りいだし＊	ナシ(4794)	
(7)　おおなるほどもっともなり＊	9027(4795)	
(8)　郷右衛門つっ立ち上がり	9027(4796)	
(1)　深編みがさの侍二人	35207-A (NE40926)	
(2)　郷右衛門とりあえず	35207-B (NE40927)	
(3)　聞くに驚く両人刀おっ取って	35208-A (NE40928)	
(4)　たまりかねて勘平もろはだ	35208-B (NE40929)	
(5)　かほどまでする事なす事	35209-A (NE40930)	
(6)　これ手を合わして拝みます	35209-B (NE40931)	
(7)　勘平これさ勘平血判	35210-A (NE41317)	
(8)　おおなるほどもっともなり	35210-B (NE41318)	
(9)　これ親じ殿与市兵衛殿	35211-A (NE41319)	
(10)　四十九日や五十両	35211-B (NE41320)	
(1)　隣かきの木は十六七と＊	3127(〃)	=[2—38]
(2)　おお婿殿夫婦の別れ	3128(〃)	
(1)　隣かきの木は十六七と＊	7351-A (3127)	=[2—36]
(2)　おお婿殿夫婦の別れ	7351-B (3128)	
(1)　深編みがさの侍二人	1678-A (234)	
(2)　郷右衛門とりあえず	1678-B (235)	
(3)　やい勘平非義非道の	1679-A (236)	
(4)　たまりかねて勘平もろはだ	1679-B (237)	
(5)　金は女房を売った金＊	1680-A (238)	
(6)　郷右衛門つっ立ち上がり	1680-B (239)	
(＊)　……		
(5)　しからばさようにいたさんと	3271(〃)	
(6)　なんで御用に立つものぞ	3272(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				8A B 9A B 10A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—118A B 119A B 120A B 121A B 122A B 123A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—285B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸 (囃) 松川社中	ニポ Ⅰc 赤	4—302A B 303A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—324A B 325A B
15	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(歌) 東広 (三) 仙平 〔笛入〕	リガ Ⅰa 黒	7— 72A B 73A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(7)　勘平これさ勘平お身ゃ	3273(〃)	
(8)　身の成り行き推量あれと	3274(〃)	
(9)　突っ込む刀引き回せば	3275(〃)	
(10)　一味徒党の御用金と	3276(〃)	
(11)　年寄ったこの母がひとり	3277(〃)	
(12)　あとねんごろに弔われよ	3278(〃)	
(1)　母はあとを見送り見送り	222-A(〃)	
(2)　かりゅうどども口口に	222-B(〃)	
(3)　これこのように血のついて	223-A(〃)	
(4)　遠慮会釈もあらおのこの	223-B(〃)	
(5)　これはこれは御両所ともに	224-A(〃)	
(6)　はっとばかりに気も転倒	224-B(〃)	
(7)　生得なんじが不忠不義の	225-A(〃)	
(8)　二つ玉にて撃ちとめ	225-B(〃)	
(9)　勘平早まりしと言うに	226-A(〃)	
(10)　このたび亡君のかたき	226-B(〃)	
(11)　勘平殿の魂の入った	227-A(〃)	
(12)　郷右衛門つっ立ち上がり	227-B(〃)	
(1)　たまりかねて勘平もろはだ	1793(〃)	
(1)　かごをかかせて急ぎ来るは	17022-A (14595)	(1)(2)ヒビ
(2)　おおないともことに一時も	17022-B (14596)	
(*)　……		
(5)　これ勘平殿もう今あっちへ	17024-A (14599)	
(6)　わずらわぬようにきゅうすえて	17024-B (14600)	
(1)　渇しても盗泉の水を	5680-A(〃)	
(2)　夜前弥五郎殿のおん目にかかり*	5680-B(〃)	
(3)　魂ぱくこの土にとどまって	5681-A(〃)	
(4)　郷右衛門つっ立ち上がり	5681-B(〃)	
(1)　聞くに驚き両人刀おっ取って	65059-A (61892)	(1)(2)カケ
(2)　たまりかねて勘平もろはだ	65059-B (61893)	
(3)　かほどまでする事なす事*	65060-A (61894)	
(4)　郷右衛門つっ立ち上がり	65060-B (61895)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
15	**仮名手本忠臣蔵** 与市兵衛内の場	(歌) 東広 (三) 仙平 〔笛入〕	ナイガイ Ⅰa 赤	7—137A B 138A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(歌) (三) Ⅶ広助 〔下座入〕	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 11A B 12A B 13A B 14A B 15A B 16A B 17A B 18A B 19A B 20A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(歌) (平右衛門)Ⅱ古靱太夫・(由良之助)Ⅵ弥太夫・(かおる)Ⅴ錣太夫・(伴内)Ⅶ八十太夫・(九太夫)Ⅰ静太夫・(重太郎)Ⅶ島太夫・(力弥)Ⅱつばめ太夫・(亭主)辰太夫・(弥五郎)越登太夫・(喜多八)Ⅱ越名太夫 (三) Ⅳ清六 〔下座入〕	ニト Ⅰa 黒	4—124A B 125A B 126A B 127A B 128A B 129A B 130A B 131A B 132A B 133A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 聞くに驚き両人刀おっ取って	5495(〃)	
(2) たまりかねて勘平もろはだ	5496(〃)	
(3) かほどまでする事なす事＊	5497(〃)	
(4) 郷右衛門つっ立ち上がり	5498(〃)	
(1) わたしゃこの町の浮かれがらす	3743(〃)	
(2) このあいだよりせっせつ迎いの	3744(〃)	
(3) いやこれ女郎たちわれわれは	3745(〃)	
(4) 奉公こそ足軽なれ	3746(〃)	
(5) ところでやめたな聞こえたかえ	3747(〃)	
(6) 酒でも無理にめえらずば	3748(〃)	
(7) ひが一つ見ゆる見ゆる	3749(〃)	
(8) これは久しや久しや	3750(〃)	
(9) 明日った主君塩冶判官の	3751(〃)	
(10) これさ九太夫殿まだここに	3752(〃)	
(11) 九太夫がかご抜けの計略は	3753(〃)	
(12) ああそれそれそれそちらの	3754(〃)	
(13) まいらせそろではかどらず	3755(〃)	
(14) ちょっと降りてたもらぬか	3756(〃)	
(15) (笑)なんの事じゃぞいな	3757(〃)	
(16) かわい男に幾世の思い	3758(〃)	
(17) したがまあ喜んでくださんせ	3759(〃)	
(18) 親与市兵衛殿は六月二十九日の夜	3760(〃)	
(19) これのうのうと取り付いて	3761(〃)	
(20) たよりのないは身のしろを＊	3762(〃)	
(1) 花に遊ばば祇園あたりの	1110-A(テ79)	
(2) 弥五郎殿喜多八殿	1110-B(テ80)	
(3) いやこれ女郎たちわれわれは	1111-A(テ81)	
(4) 三か月のあいだ非人となって	1111-B(テ82)	
(5) はっち坊主の報謝米ほど	1112-A(テ83)	
(6) つくずく思い回しますれば	1112-B(テ84)	
(7) 月の入る山科よりは一里半	1113-A(テ85)	
(8) ははっかたき高師直帰国の願い	1113-B(テ86)	
(9) やいかさまこの九太夫も	1114-A(テ87)	
(10) 始終を見届け鷺坂伴内	1114-B(テ88)	
(11) ああいやなに九太夫殿	1115-A(テ89)	
(12) ちょっといて来るぞや	1115-B(テ90)	
(13) よその恋よとうらやましく	1116-A(テ91)	
(14) おおこれこれ幸いここに	1116-B(テ92)	
(15) ええうれしゅうござんす	1117-A(テ93)	
(16) おわれは妹ではないか	1117-B(テ94)	
(17) 平右衛門抜き身を捨てて	1118-A(テ95)	
(18) その勘平はな」勘平殿はえ	1118-B(テ96)	
(19) おかるはしじゅうせき上げ	1119-A(テ97)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) (おかる)錦太夫・(由良之助)(平右衛門)Ⅳ雛太夫 (三) 新造 (下座唄) 富士田太郎 (囃)<田中社中>	ニポ Ⅰa 赤	6—143A B 144A B 145A B 146A B
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ヒコ Ⅴa 緑	7— 2A
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ポリ Ⅰb 黒	7— 7B
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—286A
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 堀井千隆 (三) 小住	ホガ Ⅱa 青	8—293A
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—327
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ニポ Ⅰa 赤	1—112B
15	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ニポ Ⅰb 赤	1—119B
15	仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸・Ⅳ清二郎 〔囃子入〕	ニポ Ⅰc 赤	4—304A B 305A B
15	仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入	(歌) Ⅶ島太夫 (三) Ⅲ歌助・勝三・稲丸 〔囃子入〕	ヒコ Ⅲb 青	5—113A B 114A B
15	仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸・仙三郎	タイ Ⅰa 赤	6— 98A B 99A B
15	仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入	(歌) 石子・いし・菊太郎 (三) 米二・扇ぶり・石之	コロ Ⅹa 黒	8—203A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(20)　やれ待てしばしととどむる人は	1119-B(テ98)	
(1)　おりに二階へ勘平が＊ (2)　あたり見回し由良之助 (3)　神ならずほどけかかりし＊ (4)　ああひくわひくわさすがは (5)　むむすりゃそのふみをたしかに (6)　これ兄さん勘平さんはえ (7)　聞き分けて命をくれ (8)　お手にかからばかかさんが＊	3120(〃) 3121(〃) 3122(〃) 3124(〃) 3125(〃) 3126(〃) 3123(〃) 3129(〃)	
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	70195-A (70527)	
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	729-B(3492BF)	
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	375(〃)	
(1)　事を分けたる兄のことば	4035(〃)	
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	11446(D11446)	
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	2208(〃)	=1—119B
(1)　おかるはしじゅうせき上げ	2208(〃)	=1—112B
(1)　浮き世とはたが言いそめて＊ (2)　志す＊富士の煙の＊ (3)　縁を結ばば清水寺へ＊ (4)　七里の渡し帆を上げて＊	16211-A(13529) 16211-B(13530) 16212-A(13531) 16212-B(13532)	
(1)　あの母様の差し合いを (2)　妻ゆえならば朝夕に＊ (3)　縁を結ばば清水寺へ＊ (4)　七里の渡し帆を上げて＊	1478-A(ナシ) 1478-B(ナシ) 1479-A(?) 1479-B(ナシ)	
(1)　浮き世とはたが言いそめて＊ (2)　志す＊富士の煙の＊ (3)　縁を結ばば清水寺へ＊ (4)　七里の渡し帆を上げて＊	56312-A(14929-1W) 56312-B(14930W) 56313-A(14931W) 56313-B(14932W)	
(1)　縁を結ばば清水寺へ＊	25793-A (NE40290)	≡[8—204]

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		助（堀江廓義太夫名妓連） （囃）望月連中		B
15.	**仮名手本忠臣蔵** 道行旅路の嫁入	（歌）石子・いし・菊太郎 （三）米二・扇ぶり・石之助（堀江廓義太夫名妓連） （囃）望月連中	コロ　Ⅹa 黒	8—204 A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場	（歌） （三）Ⅶ広助	ハンプカイ　Ⅰa 緑	3— 21 A B 22 A B 23 A B 24 A B 25 A B 26 A B 27 A B 28 A B 29 A B 30 A B 31 A B 32 A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場	（歌）Ⅹ若太夫 （三）Ⅳ綱造	ニッポンマアキユリイ　Ⅰa 赤	5—137 A B 138 A B 139 A B

詞章	音盤番号	備考
(2) 七里の渡し帆を上げて＊	25793-B (NE 40291)	
(1) 縁を結ばば清水寺へ＊	25793-A (NE 40290)	≡〔8—203〕
(2) 七里の渡し帆を上げて＊	25793-B (NE 40291)	
(1) 引き立て入りにける人の心の	2213(〃)	
(2) 加古川本蔵行国が女房	2214(〃)	
(3) 娘ここへと呼び出せば	2215(〃)	
(4) お聞き及びの今の身の上	2216(〃)	
(5) 移り変わるは世の習い	2217(〃)	
(6) いかに卑下なさりょうとて	2218(〃)	
(7) いいなずけあるからは	2219(〃)	
(8) ほんにそなたの器量なら	2220(〃)	
(9) たとえ夫に別れても	2221(〃)	
(10) 去らるるな案じょうかとて	2222(〃)	
(11) どうも生きてはいられぬ義理	2223(〃)	
(12) (合)これ小浪あれあれを聞きゃ	2224(〃)	
(13) ひっそと静まりしが	2225(〃)	
(14) さ御用意あらばとさし置けば	2226(〃)	
(15) 加古川本蔵が首進上申す	2227(〃)	
(16) ばかつくすなと踏み砕く	2228(〃)	
(17) それがしをひそかに召され	2229(〃)	
(18) 女房娘を先へのぼし	2230(〃)	
(19) 君子はその罪を憎んで	2449(〃)	
(20) ああこれこれこれこれ戸無瀬様	2450(〃)	
(21) 徒党の人数はそろえども	2451(〃)	
(22) さしもに強き大竹も	2452(〃)	
(23) 山科にあることかくれなき	2453(〃)	
(24) 親子の縁も玉の緒も	2454(〃)	
(1) 引き立て入りにける人の心の	M-1655 (X-3412)	
(2) 道のあないの乗り物を	M-1655 (X-3413)	
(3) 娘ここへと呼び出せば	M-1656 (X-3414)	
(4) お石しとやかにいで迎い	M-1656 (X-3415)	
(5) 戸無瀬は行儀改めて	M-1657 (X-3416)	
(6) これは思いも寄らぬ仰せ	M-1657 (X-3417)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				140A
				B
				141A
				B
				142A
				B
				143A
				B
				144A
				B
				145A
				B
				146A
				B
				147A
				B
				148A
				B
				149A
				B
				150A
				B
15	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場	(歌) Ⅷ綱太夫 (三) Ⅹ弥七	キングレコオデングデスク Ⅰa 黄	6—184A 185A

詞章	音盤番号	備考
(7) ふうむこりゃ聞き所お石様	M-1658 (X-3418)	
(8) 娘はわっと泣きいだし	M-1658 (X-3419)	
(9) さては浪人の身の寄るべのう	M-1659 (X-3420)	
(10) たとえ夫に別れても	M-1659 (X-3421)	
(11) 去られていんでとと様に	M-1660 (X-3422)	
(12) 殿御にきらわれわたしこそ	M-1660 (X-3423)	
(13) (合)これ小浪あれあれを聞きゃ	M-1661 (X-3424)	
(14) 尋常に座を占め手を合わせ	M-1661 (X-3425)	
(15) いやお刀の手の内御無用	M-1662 (X-3426)	
(16) むむむそんなら何が御所望ぞ	M-1662 (X-3427)	
(17) 加古川本蔵が首進上申す	M-1663 (X-3428)	
(18) 主人のあだを報わんという	M-1663 (X-3429)	
(19) 駆けいずる大星力弥	M-1664 (X-3430)	
(20) 小身ゆえに師直に	M-1664 (X-3431)	
(21) 約束のとおりこの娘	M-1665 (X-3432)	
(22) やあやあ本蔵殿君子は	M-1665 (X-3433)	
(23) あああこれこれこれ戸無瀬様	M-1666 (X-3434)	
(24) 目録ならぬ師直が	M-1666 (X-3435)	
(25) おおそれにこそ手だてあり	M-1667 (X-3436)	
(26) 計略といい義心といい	M-1667 (X-3437)	
(27) なこりゃあすの夜舟に下るべし	M-1668 (X-3438)	
(28) 六字のみ名を笛の音に	M-1668 (X-3439)	
( ) 手負いながらもぬからぬ本蔵 ( ) おおそれにこそ手だてあれ	ナシ ナシ	義太夫入門第一回の内 遠心式

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
15	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場	(歌) 綾助 (三) 小住	ホガ Ⅱb 紫	6—250 A B
15	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場	(歌) 旭嬢 (三) 広春	ホガ Ⅱb 青	7—195 A B 196 A B 197 A B 198 A B 199 A B 200 A B
16	**鎌倉三代記** 三浦之助母内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 33 A B 34 A B 35 A B 36 A B 37 A B 38 A B 39 A B 40 A B 41 A B
16	**鎌倉三代記** 三浦之助母内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	トキ Ⅱa 赤	4— 92 A B 93 A B
16	**鎌倉三代記** 三浦之助母内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 42 A B 43 A B 44 A B

詞章	音盤番号	備考
(1) あの母様の胴欲なこと	01487(〃)	
(2) 主ある女の不義同然	01488(〃)	
(1) 人の心の奥深き	9223(〃)	
(2) はっ大星由良之助様お宅は	9224(〃)	
(3) 取り散らすものかたづけて	9225(〃)	
(4) 戸無瀬は行儀改めて	9226(〃)	
(5) 御親切の段千万かたじけのう	9227(〃)	
(6) 五百石はさておき一万石	9228(〃)	
(7) 娘はわっと泣きいだし	9229(〃)	
(8) ふむさては浪人の身の寄るべのう	9230(〃)	
(9) 殿御をもうけなよ主ある女の	9231(〃)	
(10) 去られていんでとと様に	9232(〃)	
(11) あのまあもったいないこと	9233(〃)	
(12) (合)これ小浪あれあれを聞きゃ	9234(〃)	
(1) 入りあい過ぎされば風雅の	3151(〃)	
(2) もしおちうどと人や三浦が	3152(〃)	
(3) 今すやすやとぎょしなって	3153(〃)	
(4) 病所の口立ち寄れば	3154(〃)	
(5) 必ず必ず親ありと	3155(〃)	
(6) 母の教訓肝に銘じ	3156(〃)	
(7) 心強やとひおどしに	3157(〃)	
(8) あからさまにうち明けて	3158(〃)	
(9) 死んでくださんせと言うも	3159(〃)	
(10) 忍びのおのずから短夜	3160(〃)	
(11) とがむる中にも透かさぬ身構え	3161(〃)	
(12) 三浦之助義村が妻の時姫	3162(〃)	
(13) 父のしるしの封剣を	3163(〃)	
(14) とてもつながる縁じゃもの	3164(〃)	
(15) 得心なれば未来はおろか	3165(〃)	
(16) 初めに変わる優美の眼中	3166(〃)	
(17) われ君のために軍慮をめぐらし	3168(3167)	(17)に(18)の題紙を使用
(18) この印ある時は白昼に	3168(〃)	
(1) 母の教訓肝に銘じ	1960(〃)	
(2) 心強やとひおどしに	1961(〃)	
(3) 日本国に親というは	1962(〃)	
(4) 行きつもどりつとつおいつ	1963(〃)	
(1) 胸にこたゆる二世の縁＊	52904-A(4732)	
(2) そも三浦が帰りしとは＊	52904-B(4733)	
(3) せっかく顔見たかいものう	52905-A(4734)	
(4) おお切なる心は察したれども	52905-B(4735)	
(5) 積もり積もりしうさつらさ	52906-A(4736)	
(6) またもやせきの声すれば	52906-B(4737)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ヒコ Va 緑	7— 3A
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) 伊達若 (三) 長勝	オリ VIa 黒	7— 44A B 45A B
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) 呂玉 (三) 住繁	オリ VIIb 紫	7—255A B
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ia 黒	7—256
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) (三) 呂昇	ロオヤル Ia 黒	7—277
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ia 赤	7—287A B
16	鎌倉三代記 三浦之助母内の場	(歌) 堀井千隆 (三) 小住	ホガ IIb 青	8—293B
17	紙子仕立両面鑑 大文字屋の場	(歌) (三) VII広助	ハンプカイ Ia 緑	3— 42A B 43A B 44A B 45A B 46A B 47A B 48A B 49A B
18	勧進帳 安宅新関の場	(歌) (弁慶) I 静太夫 (富樫) VII文字太夫 (義経) 越登太夫 (四天王) 辰太夫 (三) VIII吉弥・稲丸・吉	ニト Ib 茶	5— 38A B 39A B 40A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　おおえど止まらぬ涙声	70194-A (70525)	
(1)　どうやらつんと心がすまぬ* (2)　いやいやいやこれが泣かずに (3)　思うてかいのと身をふるわし (4)　またもやせきの声すれば	1665-A(〃) 1665-B(〃) 1666-A(〃) 1666-B(〃)	
(1)　せっかく顔見たかいものう (2)　おお切なる心は察したれども	60762-A (62999) 60762-B(63004)	
(1)　おっつけかい陣とは偽り	11159(E11159, 4820e)	
(1)　夫婦の固めないうちは	1528(〃)	=7-287A
(1)　夫婦の固めないうちは (2)　これが泣かずにいらりょうか	1528(〃) 1529(〃)	=7-277
(1)　せっかく顔見たかいものう	4036(〃)	
(1)　引き明け入りにけりすでに日も (2)　大戸降ろせど落ち着かぬ (3)　敷居も高き兄のうち (4)　辛抱したかいもない (5)　ひざをぬらすはしゅうとと嫁の (6)　よし揚巻がもどっても (7)　ああこれを思えば清水で (8)　楽しんだのも夢うつつ (9)　筑紫の人に添い寝する (10)　がああかわいいはこのお松 (11)　がこりゃむすこめをすすのかした (12)　揚巻が身請けするにこそ (13)　娘も少し落ち着いた (14)　なむみょうりんはなけれど (15)　犬に(泣)追われてひと夜さは (16)　おろの鏡もつま慕う	4193(〃) 4194(〃) 4195(〃) 4196(〃) 4197(〃) 4198(〃) 4199(〃) 4200(〃) 4201(〃) 4202(〃) 4203(〃) 4204(〃) 4205(〃) 4206(〃) 4207(〃) 4208(〃)	
(1)　(序)かように申す者は加賀の国 (2)　旅の衣はすずかけの (3)　弁慶はせんだちの姿となりて (4)　げにこれはもっともなり (5)　下知に従い番卒ども	ナシ(素894A) ナシ(素894B) ナシ(素895A) ナシ(素895B) ナシ(素896A)	鴻池家依嘱盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		房他文楽社中 〔口上入〕		B 41 A B 42 A B 43 A B 44 A B
18	**勧進帳** 安宅新関の場	(歌) (弁慶)三造 (富樫)高造 (三) 栄三 (神戸中検芸妓連) 〔囃子入〕	ニポ Ⅰb 赤	8—241 A B 242 A B 243 A B 244 A B
18	**勧進帳** 安宅新関の場	(歌) (弁慶)清二郎 (富樫)愛之助 (三) 寛八・一助 (囃) (小)喜代三・金松・せつ奴 (大)秀弥 (笛)円之助 〔口上入〕	ニト Ⅰb 茶	8—282 A B 283 A B 284 A B 285 A B 286 A B 287 A B 288 A B
19	**鬼一法眼三略巻** 五条橋の場	(歌) 越登太夫・辰太夫 (三) Ⅳ浅造・袞太郎 〔囃子入〕	ニト Ⅰb 茶	5—219 A B 220 A B 221 A B
19	**鬼一法眼三略巻** 五条橋の場	(歌) 文楽座若手連<(牛若丸) Ⅱつばめ太夫・(弁慶)辰太夫・越登太夫>	ニト Ⅰa 赤	6— 93 A B 94 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(6) 勧進帳と名づけつつ	ナシ(素896B)	
(7) しかるにいんじ寿永のころ	ナシ(素897A)	
(8) そもそも世に仏徒の姿	ナシ(素897B)	
(9) むむ眼にさえぎり形ある	ナシ(素898A)	
(10) 関を通りけるはるか下がって	ナシ(素898B)	
(11) あとに皆皆安どの思い	ナシ(素899A)	
(12) のうのう客僧たちしばらく	ナシ(素899B)	
(13) おもしろや山水に	ナシ(素900A)	
(14) (合)鳴るは滝の水	ナシ(素900B)	
(1) かようにそうろう者は	5199(〃)	
(2) これやこの行くも帰るも＊	5200(〃)	
(3) 海津の浦をあとにして＊	5201(〃)	
(4) 関の外もにうち向かい＊	5202(〃)	
(5) してまたけさを身にまとい	5203(〃)	
(6) ほほう無形の陰鬼陽魔は＊	5204(〃)	
(7) はかほどとうとき客僧を＊	5205(〃)	
(8) 幾千貫のかなえより＊	5206(〃)	
(1) (序)かようにそうろう者は	ナシ(大145A)	鴻池家依嘱盤
(2) (囃)旅の衣はすずかけの	ナシ(大145B)	
(3) かすみぞ春はうらめしき	ナシ(大146A)	
(4) さておん供の人人には	ナシ(大146B)	
(5) (合)富樫之介まさひろ	ナシ(大147A)	
(6) 仰せに従いただ今読み上げ	ナシ(大147B)	
(7) 生死長夜の長き夢	ナシ(大148A)	
(8) かほどの霊場絶えなん事を	ナシ(大148B)	
(9) 黒ききゃはんは胎蔵界の黒色なり	ナシ(大149A)	
(10) まだこのほかに尋ねたき	ナシ(大149B)	
(11) うむいでもの見せてくれんずと	ナシ(大150A)	
(12) (合)さきの関を早抜群に＊	ナシ(大150B)	
(13) (合)おもしろや山水に	ナシ(大150A)	
(14) 食べ酔うてそうろうほどに	ナシ(大151A)	
(1) (序)さても源の牛若丸	ナシ(写320A)	鴻池家依嘱盤
(2) はだにはねりのおんあわせ＊	ナシ(写320B)	
(3) 五条の橋には人を悩ます	ナシ(写321A)	
(4) 橋のほとりの青やぎの	ナシ(写321B)	
(5) 雨をおこせるじゃの目のかさ	ナシ(写322A)	
(6) (合)戦いける弁慶秘術を＊	ナシ(写322B)	
(1) さても源の牛若丸	362-A(〃)	
(2) かさのしぶきも高あしだ＊	362-B(〃)	
(3) いかなる天魔鬼神なりとも＊	363-A(〃)	
(4) (合)戦いける弁慶秘術を＊	363-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(三) 文楽座若手連〈芳之助・Ⅳ浅造・清一・清丸〉 (囃) 望月社中		
19	**鬼一法眼三略巻** 五条橋の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉・広次 〔口上入〕	ロオヤル Ⅰa 黒	6—161A B
20	**岸姫松轡鑑** 飯原館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 50A B 51A B 52A B 53A B 54A B 55A B 56A B 57A B 58A B 59A B
20	**岸姫松轡鑑** 飯原館の場	(歌) Ⅰ津ばめ太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	3—315
20	**岸姫松轡鑑** 飯原館の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) 土佐尾	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	6—254
20	**岸姫松轡鑑** 飯原館の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅲa 赤	7—175A B 176A B 177A B
20	**岸姫松轡鑑** 飯原館の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅲa 赤	7—178A B

詞章	音盤番号	備考
(1) (序)さても源の牛若丸	1134(〃)	
(2) かさのしぶきも高あしだ＊	1135(〃)	
(1) こそは入りにけるあとに藤巻	2989(〃)	
(2) わが子を切って身代わりは	2990(〃)	
(3) 思うきずきの戸ぶすまを＊	2991(〃)	
(4) ことばも涙にくれながら＊	2992(〃)	
(5) 先には知らぬ下げ髪も	2993(〃)	
(6) 親を大事とつき慕う	2994(〃)	
(7) おまえのかげじゃと喜んで	2995(〃)	
(8) 通るわたしを引き止めて	2996(〃)	
(9) 鎌倉を見せていのと	2997(〃)	
(10) おいずるに国所も書かず	2998(〃)	
(11) ええ因果の上の因果やと	2999(〃)	
(12) そそその子を教え涙を流し	3000(〃)	
(13) つえおりかがみの親子づれ	3001(〃)	
(14) 二つの年に別れたを	3002(〃)	
(15) 連れて来たかと思うほど	3003(〃)	
(16) 頼みし与茂作がこれのうしばし	3004(〃)	
(17) 司姫をこわきにかかえ	3005(〃)	
(18) と言うに不思議は覚えのさや	3006(〃)	
(19) 流す涙は布引の	3007(〃)	
(20) こよいのうちに一宿でもと	3008(〃)	
(1) 不仲を直すかれがなかだち	11122(A11122)	
(1) やちとせや柳に長き命寺	G. C. 13134(13134Ⅱ, E356)	
(1) おそよしとやかに手をつかえ	1483-A(〃)	スレ
(2) かいなき恋路と思えども＊	1483-B(〃)	
(3) こなたのひと間に立ち聞く母親	1484-A(〃)	=7—178A
(4) この世の別れかと思えば＊	1484-B(〃)	= B
(5) ひと間の内に声あって＊	1485-A(〃)	
(6) そのころ竹生島おん供の時	1485-B(〃)	
(＊) ……		カケ
(3) こなたのひと間に立ち聞く母親	1484-A(〃)	=7—176A
(4) この世の別れかと思えば＊	1484-B(〃)	= B

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
20	**岸姫松響鑑** 飯原館の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 59A B
21	**義士銘々伝** 弥作内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 60A B 61A B 62A B 63A B 64A B 65A B 66A B 67A B
21	**義士銘々伝** 源左衛門内の場	(歌) 祖太夫 (三) Ⅱ団八	ビク Ⅰa 黒	17—27
21	**義士銘々伝** 源左衛門内の場	(歌) Ⅵ弥太夫 (三) Ⅵ源吉	ニポ Ⅰa 赤	1—222A B 223A B 224A B
21	**義士銘々伝** 源左衛門内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 68A B 69A B 70A B 71A B 72A B 73A B 74A B 75A B

詞章	音盤番号	備考
(1) いざあないせん両人と	A397(〃)	
(2) こなたのひと間に立ち聞く母親＊	A398(〃)	
(1) こそは立ち帰るあとに弥作は	3843(〃)	
(2) があんまり早いおいでなされよう	3844(〃)	
(3) ああいえいえもうしそそそんな	3845(〃)	
(4) さ今これにて切腹するは	3846(〃)	
(5) はいこれはもうどうも親兄弟の	3847(〃)	
(6) 弥作まようものをがてんいたせ	3848(〃)	
(7) 欲のくまたかひな鳥を	3849(〃)	
(8) 談合にもなろぞいな	3850(〃)	
(9) あこれこれ和助待ってたも	3851(〃)	
(10) 今のように言うたは	3852(〃)	
(11) ねいそんなら和助さん	3853(〃)	
(12) やいあれほどことばづて	3854(〃)	
(13) もうかなわんもうかなわん	3855(〃)	
(14) と問えど答えもあら不思議	3856(〃)	
(15) 兄じゃ人和助でござります	3857(〃)	
(16) こうなることも先の世の	3858(〃)	
(1) 大石内蔵之助殿を初め	12006(A12006)	30cm
(1) 降りうずむ雪の野山と	3098(〃)	
(2) そのえいざめの水ならねど＊	3099(〃)	
(3) ああそりゃはや人の子として	3100(〃)	
(4) 一家中はみな浪人して	3101(〃)	
(5) 母は怒りの声ふるわし＊	3102(〃)	
(6) あれあれ今打つとけいは	3103(〃)	
(1) 降りうずむ雪の野山と	3471(〃)	
(2) 刀の下げ緒にぶらぶらと	3472(〃)	
(3) いやもうし源蔵様	3473(〃)	
(4) ところがこのごろ友だちの世話で	3474(〃)	
(5) とえもん繕い威儀改め	3475(〃)	
(6) えなんとおっしゃる	3476(〃)	
(7) 舌も回らぬめいていを	3477(〃)	
(8) あの上壇のおんいはい	3478(〃)	
(9) まだその上に侍にあるまじき	3479(〃)	
(10) 母は怒りの声ふるわし	3480(〃)	
(11) おりからひと間に声あって	3481(〃)	
(12) 未練なはたらきあらんかと	3482(〃)	
(13) 忠義にかえし不孝の段	3483(〃)	
(14) 吉良の家臣尾林平太	3484(〃)	
(15) 勇ましいせがれがありさま	3485(〃)	
(16) やたけ心のたゆみなく	3486(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
21	**義士銘々伝** 源左衛門内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ鶴太郎	ライ Ⅰa 緑・赤	4—341 A B
21	**義士銘々伝** 源左衛門内の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅰa 黒	7—106 A B 107 A
22	**楠 昔 噺** 生駒山の場	(歌) 宮城らく (三) Ⅱ友造	ホガ Ⅱb 青	8—322 A B
22	**楠 昔 噺** 徳太夫内の場	(歌) 小西い京 (三) 寛市	ホガ Ⅱb 赤	8—190 A B 191 A B 192 A B
23	**廓 文 章** 吉田屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門・新太郎	ビク Ⅴb 黒	2— 90 A B 91 A B 92 A B
23	**廓 文 章** 吉田屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 76 A B 77 A B 78 A B 79 A B 80 A B 81 A B 82 A B 83 A B 84 A B
23	**廓 文 章** 吉田屋の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ホガ Ⅱb 青	4—260 A B 261 A

詞章	音盤番号	備考
(1) こりゃ源蔵きょうそちが	71107(〃)	
(2) 忠義にかえし不孝の段	71108(〃)	
(1) おりからひと間に声あって＊	A254(〃)	
(2) 源蔵はっと飛びしさり＊	A255(〃)	
(3) あれあれ今打つとけいは	A256(〃)	
(1) 昔昔その昔じいは山へ＊	1317(〃)	
(2) 麦刈り男のふたりづれ	1318(〃)	
(1) はや夕陽に傾くころ	ナシ(8137)	
(2) なるほど息災で常住おまえの	ナシ(8138)	
(3) じいはひと間を立ちいで	ナシ(8139)	
(4) のうその事思うて幾世の案じ	ナシ(8140)	
(5) これおれが言うことよう聞きゃや	ナシ(8141)	
(6) 照葉はもとより張り強く	ナシ(8142)	
(1) 過ぎしよすがの連れびきを＊	52946-A(5094)	
(2) すむはゆかりの月の影	52946-B(5095)	
(3) もうし伊左衛門さん目を＊	52947-A(5096)	
(4) 夕霧涙もろともに＊	52947-B(5097)	
(5) わたしに恨みがあるならば	52948-A(5098)	
(6) 気強い心とかこち泣き	52948-B(5099)	
(1) こそは出しにける冬編みがさの	5591(〃)	
(2) 忍ぶとすれどいにしえの	5592(〃)	
(3) 喜左衛門宿にかちょっと会いたい	5593(〃)	
(4) 今はようようなぎなたの	5594(〃)	
(5) 七百貫目の借銭負うて	5595(〃)	
(6) はてうそかまことか隣座敷	5596(〃)	
(7) がたとえどのようにお腹が	5597(〃)	
(8) 男に逢坂の関よりつらい	5598(〃)	
(9) 会わずにいんではこの胸が	5599(〃)	
(10) わが身を共にうちかけに	5600(〃)	
(11) 身に覚えはなけれども	5601(〃)	
(12) もろともに恨みられたり	5602(〃)	
(13) 世の義理も白紙に書く	5603(〃)	
(14) 仲直りすりゃ明けの鐘	5604(〃)	
(15) この手がしわのふたりが仲	5605(〃)	
(16) せん薬と練り薬と	5606(〃)	
(17) 恨みつ泣いつ声を上げ	5607(〃)	
(18) ほんにそれいな太夫様	5608(〃)	
(1) 冬編みがさのあかばりて	9701(〃)	
(2) うさんらしく吉田屋の	9702(〃)	
(3) 昔はやりが迎いに出る＊	9703(〃)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
				B
23	廓　文　章 吉田屋の場	(歌) (三)　Ⅳ叶	ハンプカイ　Ⅱa 青	4—262 A B
23	廓　文　章 吉田屋の場	(歌) (三)　広兵衛	ビク　Ⅲa 黒	6—178 B
23	廓　文　章 吉田屋の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa 赤	7—288 A B
23	廓　文　章 吉田屋の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa 赤	7—305 B
23	廓　文　章 吉田屋の場	(歌) (三)　呂昇　〔ツレ弾入〕	オリ　Ⅰa 黒	8— 58 B
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　Ⅱ相生太夫 (三)　〈弥七〉	コロ　Ⅱa 黒	1— 28
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　殿太夫 (三)　Ⅲ和佐太夫	コロ　Ⅱa 黒	1—213
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　殿太夫 (三)　Ⅲ和佐太夫	コロ　Ⅴa 黒	1—219
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　Ⅳ雛太夫 (三)　新造	ピジョン　Ⅰa 赤	2— 47 A B
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　Ⅳ雛太夫 (三)　Ⅱ猿二郎	コロ　Ⅳa 赤	17—47
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌)　Ⅴ錣太夫 (三)　Ⅵ団六	オリ　Ⅵa 黒	2—187 A B 188 A B
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌) (三)　Ⅴ猿糸	オリ　Ⅵa 黒	2—237 A B 238 A B
24	傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛内の場	(歌) (三)　Ⅶ広助	ハンプカイ　Ⅰa 緑	3— 85 A B 86 A B

詞章	音盤番号	備考
(4) かわい男に逢坂の	9704(〃)	
(1) 冬編みがさのあかばりて＊ (2) かわい男に逢坂の	9853(〃) 9854(〃)	
(1) むざんやな夕霧は	50124-B(C50124B)	
(1) 夕霧涙もろともに (2) くぜつの床のよしあしも	1775(〃) 1776(〃)	ヒビ
(1) 冬編みがさのあかばりて	1586(〃)	
(1) むうこの夕霧を万才とはえ	A296(〃)	
(1) これま一度顔をと引き寄せて	2336(2336-1A)	
(1) 父母の恵みも深き	2286(2286-1A)	=1—219
(1) 父母の恵みも深き	ナシ(2286-1A)	=1—213
(1) これもういにゃるか (2) ととさんやかかさんに	817(〃) 818(〃)	キズ・スレ
(1) なむ大悲の観音様	2920(2920-1-X-1)	30cm
(1) 盗みかたりも身欲にせぬ＊ (2) てもしおらしい順礼衆＊ (3) これもういにゃるか (4) なむ大悲の観音様	1946-A(〃) 1946-B(〃) 1947-A(〃) 1947-B(〃)	
(1) あとうちながめ女房が (2) 盗みかたりも身欲にせぬ＊ (3) 見覚えのある額のほくろ (4) わしもかかさんがあるなら	2913-A(〃) 2913-B(〃) 2914-A(〃) 2914-B(〃)	
(1) よしあしをなんと難波の＊ (2) 道へ立ち帰るあとうちながめ (＊) …… (5) ふるさとをはるばるここに (6) むむととさんやかかさんに	1457(1455) 1458(1456) 1459(〃) 1460(〃)	(1)に(3),(2)に(4)の題紙を使用

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				87A B 88A B 89A B 90A B 91A B 92A B 93A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—263A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅵ才治	オリ Ⅵa 黒	5— 6A B 7A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—173A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰb 茶	5—222A B 223A B 224A B 225A B 226A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰb 茶	5—227A B 228A B 229A B 230A

詞章	音盤番号	備考
(7) それを思えばなまなかに	1461(〃)	
(8) それが悲しゅうござんすと	1462(〃)	
(9) これほど親を慕う子を	1463(〃)	
(10) さっきにからわしもわが子	1464(〃)	
(11) 見れば見るほど胸迫り	1465(〃)	
(12) 父母の恵みも深き	1466(〃)	
(13) どうど伏し消え入るばかり	1467(〃)	
(14) 今もどる道筋を	1468(〃)	
(15) 言うほどこわがる子供心	1469(〃)	
(16) おおこちの人もどってか	1470(〃)	
(17) なんとまあ見やしゃんしたか	1471(〃)	
(18) ええそんならあのおまえが	1472(〃)	
(19) 別れに言やった順礼歌＊	1473(〃)	
(20) 内へ入りにけりほどなくきたる	1474(〃)	
(1) これもういにゃるか	9911(〃)	
(2) 父母のめ(泣)恵みも深き	9912(〃)	
(1) あとうちながめ女房が	3009-A(〃)	キズ
(2) かんじんのその刀	3009-B(〃)	
(3) 那智のお山に響く滝つ瀬	3010-A(〃)	
(4) てもしおらしい順礼衆	3010-B(〃)	
(1) これま一度顔をと引き寄せて	767-A(〃)	
(2) 父母の恵みも深き	767-B(〃)	
(1) ふだらくや岸打つ波は	ナシ(コ48)	鴻池家依嘱盤
(2) ふるさとをはるばるここに	ナシ(コ49)	〔5—227〕の前篇
(3) いえいえそのととさんや	ナシ(コ50)	
(4) 夫婦は今もとらるる命	ナシ(コ51)	
(5) わしもかかさんがあるなら	ナシ(コ52, 5)	
(6) こわいことや悲しいことも	ナシ(コ53, 6)	
(7) さあこれからすぐに国へいんで	ナシ(コ54, 7)	
(8) かねを渡せば押しもどし	ナシ(コ55, 8)	
(9) 知らねど誠の血筋	ナシ(コ56, 9)	
(10) 泣く泣く別れ行くあとを	ナシ(コ57, 10)	
(1) 起き直って涙をおさえ	ナシ(写233A)	鴻池家依嘱盤
(2) むむ(笑)何がそんなことを	ナシ(写233B)	〔5—222〕の続篇
(3) 声が高いと口へ手を当て	ナシ(写234A)	
(4) おおこちの人もどってか	ナシ(写234B)	
(5) 言うに不審もたつしまの	ナシ(写235A)	
(6) 声やまたてて泣きわめく	ナシ(写235B)	
(7) 親を尋ぬる孝行娘	ナシ(写236A)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	ニト Ⅳb 黒	5—276A B 277A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—326A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲa 灰	5—356A B 357A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 45A B 46A B 47A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 重寿太夫 (三) ?	トキ Ⅰa 赤	6—132A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 綾菊 (三) 三平	ビク Ⅲa 黒	6—245A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—288A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 駒若 (三) 二三竜	トンボ Ⅰa 黒	6—317A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	6—324A B 325A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 三蝶 (三) 蔦之助	オリ Ⅵb 黒	6—334A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 春華 (三) 綱助	リガ Ⅰa 黒	6—351A B 352A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) ふるさとをはるばるここに (2) と聞いてどうやら気にかかる＊ (3) これもういにゃるか (4) なむ大悲の観音様	6605-A(6984) 6605-B(6985) 6606-A(6986) 6606-B(6987)	
(1) これま一度顔をと引き寄せて (2) なむ大悲の観音様	5143-A(4517) 5143-B(4518)	
(1) あとうちながめ女房が (2) かんじんのその刀 (3) 那智のお山に響く滝つ瀬 (4) 聞いてどうやら気にかかる	10715-(6068) 10715-(6069) 10716-(6070) 10716-(6071-1)	
(1) ふるさとをはるばるここに (2) あい国は阿波の徳島で (3) 見れば見るほど幼顔＊ (4) これからすぐに国へいんで＊ (5) がたなきうき思いそれと (6) 父母の恵みも深き	52772-A(3863) 52772-B(3864) 52773-A(3865) 52773-B(3866) 52774-A(3867) 52774-B(3868)	
(1) これもういにゃるか (2) なむ大悲の観音様	423(〃) 424(〃)	
(1) これま一度ま一度顔をと (2) りどこをどうして尋ねたら	50236-A (E50236A-1) 50236-B (E50236B-2)	(2)題紙カビ
(1) これま一度顔をと引き寄せて (2) 父母の恵みも深き	2123-A(0646) 2123-B(0647)	
(1) これま一度顔をと引き寄せて (2) なむ大悲の観音様	15478-A(5041A) 15478-B(5041B)	(1)カビ
(1) 聞き分けていんだがよいぞや (2) 見れば見るほど胸迫り (3) どこをどうして尋ねたら (4) これいのうこれ娘ま一度	66045-A (80284) 66045-B (80285) 66046-A (80286) 66046-B (80287)	
(1) あとうちながめ女房が＊ (2) これまで尽くせし夫の忠義	3540-A(〃) 3540-B(〃)	カビ
(1) ふだらくや岸打つ波は＊ (2) これもういにゃるか (3) ととさんやかかさんに	67220(62797) 67220(62798) 67221(62799)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 昇之助 (三) 東重	ビク Ⅴb 黒	6—353A B 354A B 355A B 356A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	キリン Ⅰa 黒	7— 12A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 玄番米子	ニト Ⅰa 赤	7— 19A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 団司 (三) 小住	キリン Ⅰa 黒	7— 59A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 長広	ビク Ⅰb 黒	7—166
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 雛昇	ツルジルシ Ⅱa 赤	7—241A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—289A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—317A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—343A B 344A B 345A B 346A B 347A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅲc 赤	8— 33A B 34A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　せっかく長の海山越え	67221(62802)	
(1)　盗みかたりも身欲にせぬ (2)　年はようようとおどおの (3)　むむなんじゃ徳島＊ (4)　おおそれはまあまあ年はも＊ (5)　こなたもどれほど尋ねても＊ (6)　さっきにからわしも子のように (7)　がたなきうき思いそれと (8)　泣く泣く別れ行くあとを	51126-A(780) 51126-B(781) 51127-A(782) 51127-B(783) 51410-A(784) 51410-B(785) 51411-A(786) 51411-B(787)	
(1)　これま一度ま一度顔をと (2)　なむ大悲の観音様	K.20052-A(89917) K.20052-B(89918)	
(1)　盗みかたりも身欲にせぬ＊ (2)　順礼に御報謝と言うもやさしき	206-A(〃) 206-B(〃)	ヒビ・カビ・キズ
(1)　これもういにゃるか (2)　ととさんやかかさんに	K.794-A(〃) K.794-B(〃)	カビ
(1)　ふるさとをはるばるここに	11145(I 11145)	
(1)　これま一度顔をと引き寄せて (2)　なむ大悲の観音様	2410-A(〃) 2410-B(〃)	
(1)　これもういにゃるか (2)　なむ大悲の観音様	1255(〃) 1256(〃)	
(1)　盗みかたりも身欲にせぬ (2)　年はようようとおどおの	894(〃) 895(〃)	
(1)　あとうちながめ女房が (2)　肝心のその刀 (3)　ふだらくや岸打つ波は (4)　ふるさとをはるばるここに (5)　むむなんじゃ徳島＊ (6)　おおそれはまあまあ年はも (7)　母は心も消え入る思い＊ (8)　だんだんの様子を聞き＊ (9)　これもういにゃるか (10)　なむ大悲の観音様	15214-A(9615) 15214-B(9616) 15215-A(9617) 15215-B(9618) 15216-A(9619) 15216-B(9620) 15246-A(9621) 15246-B(9622) 15247-A(9623) 15247-B(9624)	
(1)　とがはのがれぬ夫婦が命 (2)　ふだらくや岸打つ波は＊ (3)　これま一度顔をと引き寄せて	17346-A (NE40035) 17346-B (NE40036) 17347-A (NE40037)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 60A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅱa 灰	8— 66A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵa 黒	8— 77A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲb 青	8—100A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—111A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 呂之助 (三) 広春	コロ Ⅺa 黒	8—155A B 156A B
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—328
24	**傾城阿波の鳴戸** 十郎兵衛内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—329
25	**傾城反魂香** 将監内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰc 赤	1—292A B 293A B 294A B 295A B
25	**傾城反魂香** 将監内の場	(歌) Ⅴさの太夫 (三) 団七 〔ツレ弾入〕	モモタロオ Ⅰa 黒	3—314A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　なむ大悲の観音様	17347-B (NE40038)	
(1)　これもういにゃるか (2)　父母の恵みも深き	A399(〃) A400(〃)	カケ =〔8—66〕 〔8—77〕
(1)　これもういにゃるか (2)　父母の恵みも深き	A399(〃) A400(〃)	=〔8—60〕 〔8—77〕
(1)　これもういにゃるか (2)　父母の恵みも深き	399(〃) 400(〃)	カビ =〔8—60〕 〔8—66〕
(1)　引き寄せて見れば見るほど＊ (2)　父母の恵みも深き	1063-A(〃) 1063-B(〃)	
(1)　これま一度ま一度顔をと (2)　父母の恵みも深き	25-A(?) 25-B(?)	
(1)　ふだらくや岸打つ波は (2)　ふるさとをはるばるここに＊ (3)　ま一度顔をと引き寄せて (4)　なむ大悲の観音様	25130-A (15923A) 25130-B (15923B) 25131-A (15924A) 25131-B (15924B)	
(1)　これもういにゃるか	11527(E11527)	
(1)　父母の恵みも深き	11519(A11519)	
(1)　ここに土佐のばってい浮世又平＊ (2)　又平なんぞ言いたげに (3)　命は掃きだめのあくた (4)　いやは放しゃせぬ放しゃせぬ＊ (5)　心こうにて志厚けれども (6)　大津の町や追分の (7)　ゆゆし頼もしわれながら (8)　ああ言うわ言うわ何を言う＊	15315-A(ナシ) 15315-B(ナシ) 15316-A(9107) 15316-B(9108) 15317-A(9109) 15317-B(ナシ) 15318-A(9111) 15318-B(9112)	
(1)　ははされば されば＊ (2)　かくて女房勇みをつけ	ナシ(105) ナシ(106)	14 cm

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
26	**源平布引滝** 鳥羽離宮の場	(歌) 殿太夫 (三) <Ⅲ和佐太夫>	コロ Ⅴb 黒	1—220
26	**源平布引滝** 鳥羽離宮の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰb 赤	1—284A B 285A B
26	**源平布引滝** 鳥羽離宮の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3— 94A B 95A B 96A B 97A B 98A B 99A B 100A B 101A B 102A B 103A B
26	**源平布引滝** 鳥羽離宮の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 58A B 59A B 60A B 61A B 62A B 63A B 64A B 65A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 藤作は高笑い	ナシ(2291-1A)	
(1) もみじの落ち葉掃き寄せ掃き寄せ	15168-A(〃)	
(2) やこれで総身が暖まり	15168-B(〃)	
(3) これはこれはとがをお許し	15169-A(〃)	
(4) 待ちかね山のほととぎす	15169-B(〃)	
(1) 行く空のきのうまで秋の	6605(〃)	
(2) うきつれずれの官女たち	6606(〃)	
(3) たよりに登る広縁先	6607(〃)	
(4) やおまえはとと様」ああこりゃ	6608(〃)	
(5) おかか様の死なしゃんした	6609(〃)	
(6) りっぱに言えど心には	6610(〃)	
(7) もみじの落ち葉掃き寄せ掃き寄せ	6611(〃)	
(8) 鼻歌まじりのおりこそあれ	6612(〃)	
(9) あとに三人ため息つき	6613(〃)	
(10) とろとろ目ううやこれ藤作	6614(〃)	
(11) ああこれおまえのととさんの名は	6615(〃)	
(12) これこれおまえのととさんの名を	6616(〃)	
(13) たつて意地ばると清盛様へ	6617(〃)	
(14) もうしもうし聞きますれば	6618(〃)	
(15) したがおれもこうおのれに	6619(〃)	
(16) (合)いざや歌わんこれとても	6620(〃)	
(17) ああ琴やしゃみせんとは違うて	6621(〃)	
(18) たとえつらい責めにおうても	6622(〃)	
(19) 会いたいわいのとばかりにて	6623(〃)	
(20) 平次は無念の大音じょう	6624(〃)	
(1) きのうまで秋の雲居の＊	51824-A(1904)	
(2) もみじの落ち葉掃き寄せ掃き寄せ	51824-B(1905)	
(3) 三人たき火に余念なく	51825-A(1906)	
(4) 額を土に三人が	51825-B(1907)	
(5) ああさてええわいええわい	51826-A(1908)	
(6) これはこれはおみょうがもない＊	51826-B(1909)	
(7) さめ郎めありようにぬかさにゃ	51827-A(1910)	
(8) ええいまいましいぞ	51827-B(1911)	
(9) なんじゃいま一遍言うてみい	51928-A(1912)	
(10) 聞けばわが子の泣き声に	51928-B(1913)	
(11) あいかさま片意地な生まれ性	51929-A(1914)	
(12) 胸にさざ波立ち騒ぐ	51929-B(1915)	
(13) いざや歌わんこれとても	51930-A(1916)	
(14) (合)ああ琴やしゃみせんとは	51930-B(1917)	
(15) しらんの契りのたもとには	51931-A(1918)	
(16) 取り乱さじとくいしばる＊	51931-B(1919)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
26	源平布引滝 鳥羽離宮の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ポリ Ⅰa 黒	5— 88A B 89A B
26	源平布引滝 鳥羽離宮の場	(歌) (三) 糸吉	ビク Ⅰa 黒	6—261
26	源平布引滝 鳥羽離宮の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 74A B 75A B
27	恋女房染分手綱 八蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	4—273 274
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新七	ビク Ⅰa 黒	2— 29
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—104A B 105A B 106A B 107A B 108A B 109A B
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) 一弥	ニポ Ⅰa 赤	5— 3A B
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—174A B
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—327A B 328A B
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 48A B 49A B 50A

詞章	音盤番号	備考
(1) いざや歌わんこれとても	1372-A(2222N)	
(2) (合)ああ琴しゃみせんとは	1372-B(2223N)	
(3) しらんの契りのたもとには	1373-A(2224N)	
(4) 取り乱さじとくいしばる＊	1373-B(2225N)	
(1) もみじの落ち葉掃き寄せ掃き寄せ	11220(A11220)	
(1) もみじの落ち葉掃き寄せ掃き寄せ＊	67098(61886)	
(2) 藤作は高笑い	67098(61887)	
(3) おお子心に親を大事と	67099(61888)	
(4) さそんならここはおれに任して	67099(61889)	
(1) ほんにわが子のことより＊	11116-A(A11116)	
(2) どきつく胸も鐘の音も	11117-B(D11117)	
(1) いただきながら泣き声に	11108(C11108)	
(1) 輿にぞ入りたもうおそばの衆に	3641(〃)	
(2) そこに待ちゃやとざざめき渡り	3642(〃)	
(3) おあし三筋買いたいもの買やや	3643(〃)	
(4) こなたをうばが養育し	3644(〃)	
(5) とっ様と一つにいてくだされ	3645(〃)	
(6) こりゃここへ来い与之助と	3646(〃)	
(7) そなたを懐胎この事お上へ	3647(〃)	
(8) 男の行くえも知らぬ身が	3648(〃)	
(9) と制するうちに奥よりも	3649(〃)	
(10) かわいのなりやいたいたしや	3650(〃)	
(11) ひとり子を手放してなんの	3651(〃)	
(12) 坂は照る照る鈴鹿は曇る	3652(〃)	
(1) 鳥羽の祭りのもちがのどに＊	860(〃)	
(2) お乳はさあらぬ顔つきして	861(〃)	
(1) ふびんや三吉しくしく涙＊	320-A(〃)	
(2) かしこまったと宰領ども	320-B(〃)	
(1) 男の子は幼うても＊	6195-A(〃)	
(2) ほおかぶりして目を隠し	6195-B(〃)	
(3) 懐中の有りあう一歩十三	6196-A(〃)	
(4) こりゃそこなじねんじょめ	6196-B(〃)	
(1) 三吉つくずく聞きすまし	53095-A(4738)	
(2) うばが子の一平はとっ様を	53095-B(4739)	
(3) お乳ははっと気も乱れ＊	53096-A(4740)	
(4) ふびんや三吉しくしく涙	53096-B(4741)	
(5) 千三百石の代取りが＊	53097-A(4742)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
27	**恋女房染分手綱** 由留木館の場	(歌) 呂昇 (三)	オリ Ⅲa 赤	8— 67B
27	**恋女房染分手綱** 由留木館の場	(歌) 原田越巴 (三) Ⅶ広助	エジソン Ⅱa 黒	8—299A B 300A B
28	**恋娘昔八丈** 城木屋の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰa 赤	1—273A B
28	**恋娘昔八丈** 城木屋の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—110A B 111A B 112A B 113A B 114A B 115A B 116A B 117A B 118A B 119A B
28	**恋娘昔八丈** 城木屋の場	(歌) 糸吉 (三)	ビク Ⅰa 黒	6—262
28	**恋娘昔八丈** 城木屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平・東歌	リガ Ⅰb 黒	7— 93A B 94A B

詞章	音盤番号	備考
(6) 坂は照る照る鈴鹿は曇る	53097-B(4743)	
(1) お乳はさあらぬ顔つきして	A412(〃)	
(1) さ早う御門に出や＊ (2) こらま一度こちら向きゃ＊ (3) 母は魂消え入って (4) いただきながら泣き声に	E-953(〃) E-954(〃) E-955(〃) E-956(〃)	
(＊) …… (3) 見送る手代が小首を傾け＊ (4) 幸いあたりに人はなし＊	 3138(〃) 3139(〃)	
(1) 言うもさらなる繁華の地 (2) あいあいがてんと言い捨てて (3) ええもう丈八の何言やる (4) 穂に表われしかほいこれはしたり (5) それにまた近所の若い者の (6) 一日所定まらず (7) おお髪結いどんさっきにから (8) その仲はきのうやきょうの (9) 仲じゃまないかいなこよいの事を (10) おおうれしやといだきつき (11) 離れがたなきふたりが心 (12) とうどうそこひというものに (13) 娘は始終聞くにつけ (14) さがてんがいたかよそれ芝居に (15) 表にしげきせったの音 (16) はあこりゃなんでござりますか (17) ははあこりゃまあどうしたら＊ (18) また一つにはかかさんの＊ (19) 幸いあたりに人もなし＊ (20) 茶入れの盗賊そこ動くな	3023(〃) 3024(〃) 3025(〃) 3026(〃) 3027(〃) 3028(〃) 3029(〃) 3030(〃) 3031(〃) 3032(〃) 3033(〃) 3034(〃) 3035(〃) 3036(〃) 3037(〃) 3038(〃) 3039(〃) 3040(〃) 3041(〃) 3042(〃)	
(1) 奥からぬっと丈八が	11213(B11213)	
(1) いざ御案内と勝手から	65067-A (62983)	
(2) 見送る手代が小首を傾け＊	65067-B (62984)	
(3) 奥からぬっと丈八が	65068-A (62985)	
(4) 何をきょろきょろしなますぞ	65068-B (62986)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
28	恋娘昔八丈 城木屋の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅰa 黒	7—108A
28	恋娘昔八丈 城木屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	キリン Ⅰa 黒	7—150A B 151A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	1—228
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2— 93A B 94A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 仙之助	ニポ Ⅰa 赤	2—139A B 140A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ライ Ⅰa 緑・赤	2—164A B 165A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅲ吉作	ヒコ Ⅱa 赤	2—200A B 201A B 202A B 203A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—273A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—175A B
28	恋娘昔八丈 鈴ケ森の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰb 茶	5—231A B 232A B 233A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　奥からぬっと丈八が	A272(〃)	
(1)　お駒は顔を振り上げて (2)　天神様へ願かけて＊ (3)　見送る手代が小首を傾け＊ (4)　お駒はんお駒はん＊	K.958-A(?) K.958-B(?) K.959-A(?) K.959-B(?)	
(1)　遊ばすなえかわいい夫へ	11443(C11443)	
(1)　急ぎ行く人の身の捨て所＊ (2)　かかるうき身の縛りなわ (3)　代官堤弥藤治お駒に＊ (4)　また親親へ従えば	52394-A(3727) 52394-B(3728) 52395-A(3729) 52395-B(3730)	
(1)　思う事かなわねばこそ (2)　数さえ消えて行くとしょの羊の (3)　お駒は顔を振り上げて (4)　また親親へ従えば	1562(〃) 1563(〃) 1564(〃) 1565(〃)	
(1)　急ぎ行く人の身の捨て所＊ (2)　こんなことと知ったなら＊ (3)　お駒は顔を振り上げて＊ (4)　二世の契りのその人と	71083(〃) 71084(〃) 71085(〃) 71086(〃)	
(1)　急ぎ行く人の身の捨て所 (2)　かしこへ走り行く子を思う (3)　これかかここがもう鈴ケ森か＊ (4)　才三殿が盗まれし＊ (5)　ふびんやお駒はつまのため (6)　代官堤弥藤治お駒に (7)　御回向頼み上げまする (8)　伸び上がりても竹がきの＊	5341(〃) 5342(〃) 5344(5343) 5343(5344) 5345(〃) 5346(〃) 5347(〃) 5348(〃)	(3)に(4), (4)に(3)の題紙を使用
(　)　ふびんやお駒はつまのため (　)　首にかけたる水晶の	01263(〃) 01264(〃)	節と手順下巻の内
(1)　何ごともみなわたくしが心で (2)　かわいい夫へ義理たてば	979-A(〃) 979-B(〃)	
(1)　急ぎ行く人の身の捨て所 (2)　うわさとりどり口口に (3)　見ればきびしき竹がきに＊ (4)　こんなことと知ったら (5)　とがにんにして殺すとは＊	ナシ(ア73) ナシ(ア74) ナシ(ア75) ナシ(ア76) ナシ(ア77)	鴻池家依嘱盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 234 A B 235 A
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ Ⅰa 黒	6—309
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 七五三之助 (三) 三九二	コロ Ⅳa 青	6—350
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ヒコ Ⅴa 緑	7— 3 B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7— 95 A B 96 A B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—290 B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—348 A B 349 A B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 40 A B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵa 黒	8— 83 B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 呂之助 (三) 広春	ニポ Ⅰc 赤	8—133 A B 134 A B
28	**恋娘昔八丈** 鈴ケ森の場	(歌) 浜名名木 (三) 友道	キンチヨオ Ⅰa 赤	8—321 A B
29	**国性爺合戦** 獅子ケ城楼門の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸	ニポ Ⅰc 赤	4—306 A B 307 A

詞章	音盤番号	備考
(6) 数さえ消えて行くとしょの羊の (7) 御見物様いずれも様 (8) 身を切り裂かれうき恥を (9) ととさんかかさんよう来て	ナシ(ア78) ナシ(ア79) ナシ(ア80) ナシ(ア71)	
(1) かわいい夫へ義理立てば	2133(2133-1B)	
(1) 世上の娘御様方は	2704(2704-1-1)	
(1) 世上の娘御様方は	70194-B (70526)	
(1) 思う事かなわねばこそ (2) としょの羊の歩みより (3) お駒は顔を振り上げて (4) 果てはこうしたあさましい*	66414-A (73287) 66414-B (73288) 66415-A (73289) 66415-B (73290)	
(1) かわいい夫へ義理立てば	1772(〃)	
(1) 思う事かなわねばこそ (2) 数さえ消えて行くとしょの羊の (3) お駒は顔を振り上げて (4) 親親へ従えば言いかわした	15707-A(〃) 15707-B(〃) 15708-A(〃) 15708-B(〃)	
(1) お駒は顔を振り上げて (2) また親親へ従えば	25725-A (NE40033) 25725-B (NE40034)	
(1) かわいい夫へ義理立てば	1601-B(〃)	
(1) 思う事かなわねばこそ (2) としょの羊の歩みより (3) お駒は顔を振り上げて (4) かわいい夫へ義理立てば	16099-A(12899) 16099-B(?) 16100-A(?) 16100-B(?)	
(1) お駒は顔を振り上げて* (2) おりもこそあれ千草之助	ナシ(A) ナシ(B)	
(1) 仁なる君も用なき臣は* (2) (奥へかくとや聞こえけん) (3) こりゃつわものども粗相すな*	16479-A(ナシ) 16479-B(ナシ) 16480-A(2475)	(1)(2)カケ

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
29	**国性爺合戦** 獅子ケ城楼門の場	(歌) Ⅷ綱太夫 (三) Ⅹ弥七	デンオン Ⅰa 青	6—195A 196A
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) Ⅰ七五三太夫 (三) Ⅳ勇造	コロ Ⅲa 黒	1—181
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅳ綱造	キング Ⅰa 赤	1—347A B 348A B
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸	オリ Ⅵb 赤	2— 10A B 11A B 12A B
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸	フジサン Ⅰa 赤	2— 20A B 21A B
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニポ Ⅲa・Ⅲb 赤	2—151A B 152A B 153A B 154A B
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅵa 黒	2—189A B
30	**御所桜堀川夜討** 侍従太郎館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	オリ Ⅵb 黒	2—195A B

詞章	音盤番号	備考
(4) のうそのことばがはや証拠と	16480-B(2476)	
( ) 聞きしにまさる要害は ( ) 堀の水あいに似てなわを	ナシ ナシ	義太夫入門第三回の内 遠心式
(*) …… (7) のみにも食わさぬ大事の娘	 ナシ(2808-G-1-X-1)	
(1) 娘が聞く前恥ずかしき (2) 起き行くたもと控ゆるを (3) たれとは知らずしのぶが背骨* (4) 三途の川や死出の山	12012(240) 12012(241) 12013(242) 12013(243)	
(1) 偽り者と言われては (2) 松と松との若緑 (3) 国をいでて十七年 (4) 弁慶まん中にどっかと座し (5) これ娘あれ聞きゃったかいの (6) これしのぶま一度物を	3077-A(〃) 3077-B(〃) 3078-A(〃) 3078-B(〃) 3079-A(〃) 3079-B(〃)	
(1) 弁慶まん中にどっかと座し (2) (泣)はっとばかりに母親は (3) こればっかりがと言う声も (4) こればっかりに引かされて	1525A(〃) 1525B(〃) 1526A(〃) 1526B(〃)	
(1) 始終の様子聞くしのぶ (2) 右は変わらぬ詰めそでに (3) おお恥ずかしやつい暗がりの (4) 国をいでて十七年 (5) まん中に弁慶どっかと座し (6) おおさ初めてつら見る仮寝の (7) こればっかりがと言う声も (8) 浮き世に心残るであろ	17319-A (NE32106) 17319-B (NE32107) 17320-A (NE32108) 17320-B (NE32109) 17321-A (NE32110) 17321-B (NE32111) 17322-A (NE32112) 17322-B (NE32113)	
(1) まん中に弁慶どっかと座し* (2) これしのぶま一度物を	2628-A(〃) 2628-B(〃)	
(1) わたくしもと播州姫路の近在 (2) 起き行くたもと控ゆるを	4075-A(〃) 4075-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅲ燕四	スヒンクス Ⅱb 赤	2—204A B 205A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—120A B 121A B 122A B 123A B 124A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ビク Ⅴb・Ⅴc 赤	3—331A B 332A B 333A B 334A B 335A B 336A B 337A B 338A B 339A B 340A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	トキ Ⅱa 赤	4— 94A B 95A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—134A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　偽り者と言われては	4671(〃)	
(2)　おお恥ずかしやつい暗がりの	4672(〃)	
(3)　言えど立ちかね見捨てかね＊	4673(〃)	
(4)　迷うてたもんな迷わぬよう＊	4674(〃)	
(1)　ざざめきいで迎うほどもあらせず	3995(〃)	
(2)　大紋のはかま踏みしだき	3996(〃)	
(3)　さてこれは御夫婦への話でない	3997(〃)	
(4)　あとにひっ添う武蔵坊	3998(〃)	
(5)　林の中でも高い木は＊	3999(〃)	
(6)　おおそれぞよろしき御分別	4000(〃)	
(7)　顔も知らず名も知らぬてて親が	4001(〃)	
(8)　二八余りのちご姿	4002(〃)	
(＊)　……		
(15)　危うき難ののがれしも	4009(〃)	
(16)　乱すぞ果てしなき武蔵は心	4010(〃)	
(1)　正しくいで迎うほどもあらせず	13265-A(4231)	
(2)　忠臣のかがみとはもろこしの	13265-B(4232)	
(3)　おおわが君様にもごきげんよく	13266-A(4233)	
(4)　婦人の懐胎もまっそのごとく	13266-B(4234)	
(5)　いざお通り御案内と	13267-A(4235)	
(6)　さらばこの間にちょっと＊	13267-B(4236)	
(7)　さればいのうきょう武蔵殿	13268-A(4237)	
(8)　いやも浮き世の中の無心と言うに	13268-B(4238)	
(9)　上の一重をおし脱げば	13269-A(4239)	
(10)　松と松との若緑	13269-B(4240)	
(11)　その月より身も重く懐胎し	13281-A(4241)	
(12)　母はたちまち気も狂乱	13281-B(4242)	
(13)　おおさ書写山の鬼若丸だ	13282-A(4243)	
(14)　なろう事なら真実の	13282-B(4244)	
(15)　死ぬるいまわのきわまでも＊	13283-A(4245)	
(16)　生まれしわが子と聞くよりも	13283-B(4246)	
(17)　戦場まで持ったりという	13284-A(4247)	
(18)　とは言いつつも息あるうち	13284-B(4248)	
(19)　武蔵は心取り直し	13285-A(4249)	
(20)　卿の君のおん首侍従太郎	13285-B(4250)	
(1)　これが一世の別れとは	1537(〃)	
(2)　弁慶涙おし隠し	1538(〃)	
(3)　振りそでのこのまま＊	1539(〃)	
(4)　立ち直って大音じょう	1540(〃)	
(1)　ほどもあらせず入りきたるは	80-A(八36)	
(2)　おおわが君様にもごきげんよく	80-B(八37)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				135A B 136A B 137A B 138A B 139A B 140A B 141A B 142A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	4—275
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅰ勝太郎	ニポ Ⅰa 赤	4—286A B 2—145B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅰ勝太郎	ニポ Ⅰa 黒	2—133B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—287A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰb 赤	4—290A B 291A B 292A B 293A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰc 赤	4—308A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅰ静太夫 (三) 〈芳之助〉	ヒコ Ⅲb 青	5— 30A B

詞章	音盤番号	備考
(3) ここをよくごがてんなされ	81-A(〃)	
(4) 年若けれども利発者	81-B(〃)	
(5) さればいのうきょう武蔵殿	82-A(〃)	
(6) 夫も座したるひざを改め	82-B(〃)	
(7) 偽り者と言われては	90-A(〃)	
(8) 松と松との若緑	90-B(〃)	
(9) その月より身も重く懐胎し	91-A(〃)	
(10) 母はたちまち気も狂乱	91-B(〃)	
(11) これいのうこれ娘あれを	92-A(〃)	
(12) この世の縁の切れにけり	92-B(〃)	
(13) かわいいわいのとばかりにて	93-A(〃)	
(14) 小歌もわが身に知られたり	93-B(〃)	
(15) ははあははあはははははあ	94-A(〃)	
(16) 武蔵は心取り直し	94-B(〃)	
(17) 立ち直って大音じょう	95-A(〃)	
(18) なき顔見せてたべのうと	95-B(〃)	
(1) 言うて返らぬ事ながら	11119(B11119)	
(1) 始終の様子聞くしのぶ＊	2167(〃)	
(2) わたくしもと播州姫路の近在	2168(〃)	
(3) 言うて返らぬ事ながら	2169(〃)	=2—133B
(＊) ……		
(3) 言うて返らぬ事ながら	2169(〃)	=2—145B
(1) これにつけても親の恩＊	1785(〃)	
(2) 立ち直って大音じょう	1786(〃)	
(1) あとうち見やり腰元しのぶ＊	15021-A(5798)	↔[4—308]
(2) お小さいから夫婦の者が	15021-B(5799)	
(＊) ……		
(5) おお恥ずかしやつい暗がりの	15085-A(〃)	
(6) 国をいでて十七年	15085-B(〃)	
(7) ささささ元のようにして返しゃ	15086-A(〃)	
(8) おおさ初めてつら見る仮寝の	15086-B(〃)	
(9) またおりおりには一遍の	15087-A(〃)	
(10) 死ぬるいまわのきわまでも	15087-B(〃)	
(＊) ……		↔[4—290]
(3) 始終の様子聞くしのぶ	15022-A(〃)	
(4) 右は変わらぬ詰めそでに	15022-B(〃)	
(1) 二八余りのちご姿	2063-A(〃)	
(2) 仮寝の情けは浅けれども	2063-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ポリ Ⅰa 黒	5— 90A B 91A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	コロ Ⅹa 黒	5—310A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—329A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲb 灰	5—358A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 51A B 52A B 53A B 54A B 55A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	タイ Ⅰa 赤	6—100A B 101A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 越喜美 (三) 清一	ポリ Ⅰa 緑	6—268A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 昇之助 (三) 昇菊	トキ Ⅰa 赤	7— 4A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 76A B 77A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 78A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 偽り者と言われては (2) 松と松との若緑 (3) その月より身も重く懐胎し (4) 弁慶まん中にどっかと座し	1176-A(N1498Ⅰ) 1176-B(N1499Ⅰ) 1177-A(N1500Ⅰ) 1177-B(N1501Ⅰ)	
(1) 偽り者と言われては (2) 松と松との若緑	26296-A (NE40831) 26296-B (NE40832)	
(*) …… (3) いやもうし御夫婦様 (4) 巡り巡りて今ここで	 5783-A(〃) 5783-B(〃)	
(1) 偽り者と言われては (2) 松と松との若緑	11044(5650) 11044(5651)	
(1) 年はも行かぬわたくしが (2) 娘が聞く前恥ずかしき (3) 起き行くたもと控ゆるを (4) 身にも替えぬ大事の娘 (5) やあその振りそでは (6) これかかさんも今からは (7) 死ぬるいまわのきわまでも (8) 弁慶涙おし隠し (9) これにつけても親の恩 (10) 無辺の親の慈悲おおよう死んだ	50510-A(〃) 50510-B(〃) 50511-A(〃) 50511-B(〃) 50703-A(137) 50703-B(138) 50704-A(139) 50704-B(140) 50705-A(141) 50705-B(142)	
(1) 始終の様子聞くしのぶ (2) 濃き紅の染め模様 (3) つらや人の足音に (4) 身にも替えぬ大事の娘	6061-A(14247) 6061-B(14248w) 6062-A(14249w) 6062-B(14250w)	
(1) 二八余りのちご姿* (2) 言うて返らぬ事ながら	3521-A(2763BF) 3521-B(2764BF)	
(1) あまた泊まりのその中に* (2) 言うて返らぬ事ながら	387(〃) 388(〃)	
(1) ほどもあらせず入りきたるは (2) ははそのおん仰せの健やかさ* (3) ややあって侍従夫婦* (4) 始終の様子聞くしのぶ	68114(63263) 68114(63264) 68115(63265) 68115(63266)	
(1) わたくしもとは播州姫路の近在 (2) ちぎれてわが手に残りしは*	65062-A (62710) 65062-B (62711)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				79A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 東広 (三) 仙平	ニト Ⅳc 緑	7—134A B 135A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅴa・Ⅴb 黒	7—186A B 187A B 188A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) 雛昇 (三) 仙喜代	リガ Ⅰa 黒	7—224A B 225A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—291A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 41A B
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 61A
30	御所桜堀川夜討 侍従太郎館の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲb 青	8—101A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅲ大島太夫 (三) <Ⅴ仲助>	ベカグランド Ⅰa 白	1—144
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 殿太夫 (三) Ⅲ和佐太夫	コロ Ⅲa 黒	1—215

詞章	音盤番号	備考
(3) これには深き子細のあること＊	65063-A (62712)	
(4) はや玉の緒も切れ果てて	65063-B (62713)	
(1) わたくしもとは播州姫路の近在	S1668-A(7687-1)	
(2) 起き行くたもと控ゆるを＊	S1668-B(ナシ)	
(3) かかさん何やらおっしゃる＊	S1669-A(7689)	
(4) 巡り巡りて今ここで	S1669-B(7690)	
(1) ほどもあらせず入りきたるは	1455-A(〃)	カビ
(2) 御主人ながら御平産あるまでは＊	1455-B(〃)	
(3) わたくしもとは播州姫路の近在	1456-A(〃)	
(4) その月より身も重く懐胎し＊	1456-B(〃)	
(5) 言うて返らぬ事ながら	1457-A(〃)	
(6) 弁慶涙おし隠し	1457-B(〃)	
(1) わたくしもと播州姫路の近在	66341-A (62183)	
(2) 起き行くたもと控ゆるを＊	66341-B (62184)	
(3) かかさん何やらおっしゃる	66342-A (62185)	
(4) 死ぬるいまわのきわまでも	66342-B (62186)	
(1) 夫を尋ぬるしるしはこれと	898(〃)	
(2) 起き行くたもと控ゆるを	899(〃)	
(1) 言うて返らぬ事ながら	25770-A (NE40043)	
(2) 弁慶涙おし隠し	25770-B (NE40044)	
(1) 母は死がいをいだき上げ	A293(〃)	
(＊) ……		カケ
(3) みず子をかかえさまざまと＊	1055-A(〃)	
(4) かかさん何やらおっしゃる＊	1055-B(〃)	
(1) こうした事とはつゆ知らず	2455(〃)	題紙には「三味線鶴沢三吉」
(1) こうした事とはつゆ知らず	ナシ(2287-2-3)	=1—216

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 殿太夫 (三) Ⅲ和佐太夫	コロ Ⅲa 黒	1—216
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新七	ビク Ⅰa 黒	2— 30
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—141 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門 〔囃子入〕	リガ Ⅰa 黒	2—162 A B 163 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	トキ Ⅱa 赤	2—209 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニト Ⅰa 赤	2—214 A B 215 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅴ猿糸 (三)	オリ Ⅵa 黒	2—239 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—125 A B 126 A B 127 A B 128 A B 129 A B 130 A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—131 A B 132 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　こうした事とはつゆ知らず	ナシ(2287-2A)	=1—215
(1)　さあなしょにもかしょにも	11107(A11107)	
(1)　思い返せば十二の年 (2)　国へ帰っておふたりに	1741(〃) 1742(〃)	
(1)　入りあいの鐘さえ早く＊ (2)　嘆きのうちも姉はなお (3)　たよりのないをつえ柱 (4)　楽しみ暮らしたかいものう	67454 (NE40178) 67454 (NE40179) 67455 (NE40180) 67455 (NE40181)	
(1)　これこのさとへ身を売ったを (2)　国へ帰っておふたりに	2743(〃) 2744(〃)	
(1)　入りあいの鐘さえ早く＊ (2)　知る人ぞ知る宮城野が＊ (3)　嘆きのうちも姉はなお (4)　たよりのないをつえ柱	905-A(〃) 905-B(〃) 906-A(〃) 906-B(〃)	
(＊)　…… (3)　これこのさとへ身を売ったを (4)　国へ帰っておふたりに	 2848-A(〃) 2848-B(〃)	
(1)　入りあいの鐘さえ早く (2)　ふくさなりけるありさまなり (3)　言いつける間もありやなし (4)　めごわらしの身として (5)　さってもがおれ宮城野さんは (6)　ふうその逆井村という所に (7)　かくぞといざや宮城野が (8)　そんだのいいなずけの御ていにも (9)　がいに苦労とは思わなんだ (10)　そなたは五つ子顔さえ見知らず (11)　首尾ようねんを勤めたら (12)　楽しみ暮らしたかいものう	4699(〃) 4700(〃) 4701(〃) 4702(〃) 4703(〃) 4704(〃) 4705(〃) 4706(〃) 4707(〃) 4708(〃) 4709(〃) 4710(〃)	
(＊)　…… (13)　こんなこと聞こうはしか (14)　ああ光陰惜しむべき時人を (15)　おれに成人のむすこでもあって (16)　それやり手の政は居ぬか	 9843(〃) 9844(〃) 9845(〃) 9846(〃)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅰ津ばめ太夫 (三) Ⅳ綱造	コロ Ⅲb 黒	1—261A
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—264A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—330A B 331A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 56A B 57A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 越喜美 (三) <清一>	ポリ Ⅰa 黒	6—269A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 昇之助 (三) 力松・春子	ポリ Ⅰa 緑	7— 5A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 東広 (三) ?	コメット Ⅰa 赤	7—143A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 雛昇 (三) 仙喜代	リガ Ⅰa 黒	7—226A B 227A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—350A B 351A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅴb 黒	8— 75A B
31	碁太平記白石噺 大福屋の場	(歌) 呂之助 (三) 金昇	ヒコ Ⅱb 赤	8—165A B 166A B 167A B
32	寿式三番叟	(歌) (翁)Ⅱ古靱太夫 (三番叟)Ⅳ織太夫	ビク Ⅶa 赤	4— 49A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 思い返せば十二の年	2904-A(2904-A-1-1)	
(1) 嘆きのうちも姉はなお (2) 国へ帰っておふたりに	9849(〃) 9850(〃)	
(1) さあなしょにもかしょにも (2) 長の旅路のうき苦労 (3) こうした事とはつゆ知らず (4) 殿御のこともそなたのことも	5555-A(〃) 5555-B(〃) 5556-A(〃) 5556-B(〃)	
(1) 入りあいの鐘さえ早く (2) ほこり取りまであやにしき* (3) この妹はまめなかしらぬ (4) 殿御のこともそなたのことも	51970-A(3050) 51970-B(3051) 51971-A(3052) 51971-B(3053)	
(1) 思い返せば十二の年 (2) に楽させましてどうしてと	1399-A(1711NJ) 1399-B(1712NJ)	
(1) 思い返せば十二の年 (2) 楽させましてどうしてと	3615-A(3489BF) 3615-B(3490BF)	
(1) 思い返せば十二の年 (2) 国へ帰っておふたりに	30299-A(〃) 30299-B(〃)	
(1) 入りあいの鐘さえ早く* (2) 嘆きのうちも姉はなお (3) ととさんかかさんおわずらいでも (4) 殿御のこともそなたのことも	67560(80192) 67560(80193) 67561(80194) 67561(80195)	
(1) 入りあいの鐘さえ早く* (2) 見やる宮城野おのぶがそば (3) 会いたかったともろともに* (4) 口惜しいとくやしいで	15560-A(14588) 15560-B(14589) 15561-A(?) 15561-B(?)	
(1) このくるわへ身を売ったを (2) 国へ帰っておふたりに	1762-A(〃) 1762-B(〃)	
(1) 入りあいの鐘さえ早く* (2) これこれしげりそなたはそこら* (3) 知らずおとどいひそひそ話 (4) 口惜しいとくやしいで* (5) 思い返せば十二の年 (6) 国へ帰っておふたりに	5837(125) 5838(?) 5839(125) 5840(125) 5841(125) 5842(125)	
(1) それ豊秋津州の大日本 (2) 岩戸にこもらせたまいし時	5878(HS-1014) 5878(HS-1015)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(千歳)Ⅳ大隅太夫 (アド)Ⅲ相生太夫 (ツレ)Ⅲつばめ太夫 (三) 道八・Ⅳ清六・Ⅸ吉五郎・Ⅳ清二郎・Ⅶ団六・団伊三 (囃) (笛)梅屋竹次・(小)梅屋金太郎・福一郎・勝昭・(大)梅屋勝松・(太)福原春之助		50A B 51A B 52A B 53A B 54A B 55A B
32	**寿式三番叟**	(歌) (翁)Ⅱ古靱太夫 (三番叟)Ⅳ織太夫 (千歳)Ⅳ大隅太夫 (アド)Ⅲ相生太夫 (ツレ)Ⅲつばめ太夫 (三) 道八・Ⅳ清六・Ⅸ吉五郎・Ⅳ清二郎・Ⅶ団六・団伊三 (囃) (笛)梅屋竹次・(小)梅屋金太郎・福一郎・勝昭・(大)梅屋勝松・(太)福原春之助	ビク Ⅶb 赤	4—56A B 57A B
32	**寿式三番叟**	(歌) Ⅱ源路太夫・陸路太夫 (三) <綱右衛門・友衛門・友駒・小綱> [囃子・洋楽入]	リガ Ⅰa 黒	5—102A B 103A B
32	**寿式三番叟**	(歌) 鏡太夫 (三) 市作・八重造 (囃) 福原百之助社中	キング Ⅰa 赤	5—270A B 271A B 272A B
33	**寿連理の松** 佐次兵衛内の場	(歌) Ⅴ猿之助 (三) 猿幸	エジソン Ⅰa 赤	2—229A B 230A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　ふとのりことの神歌や	5879(HS-1016)	
(4)　所千代までおわしませ	5879(HS-1017)	
(5)　とうとうと鳴る鼓宇佐の	5880(HS-1018)	
(6)　青にぎて青によし	5880(HS-1019)	
(7)　滝の水れいれいと落ちて	5881(HS-1020)	
(8)　ありわらやあしわらや	5881(HS-1021)	
(9)　万歳楽長久円満	5882(HS-1022)	
(10)　物の音に連れて立ち舞う	5882(HS-1023)	
(11)　(合)あらめでたやな物に	5883(HS-1024)	≡4—56A
(12)　それがしがもとの座敷へ	5883(HS-1025)	≡　B
(13)　田をばぞんぶりぞ田をば	5884(HS-1026)	＝4—57A
(14)　三社の神の舞楽より	5884(HS-1027)	＝　B
(＊)　……		(14)ヒビ
(11)　(合)あらめでたやな物に	5883(HS-1024)	≡4—54A
(12)　それがしがもとの座敷へ	5883(HS-1025)	≡　B
(13)　田をばぞんぶりぞ田をば	5884(HS-1026)	＝4—55A
(14)　三社の神の舞楽より	5884(HS-1027)	＝　B
(1)　とうとうたらりたらりら＊	68051(NE40850)	
(2)　おおさよおおさよ喜びありや＊	68051(NE40851)	
(3)　(合)今日の三番叟＊	68052(NE40852)	
(4)　三日は福徳寿福円満＊	68052(NE40853)	
(1)　おさえおさえおう喜びありや	62019(5247)	
(2)　ほそろぐせりと吹く笛も	62019(5248)	
(3)　物に心得たるあどの太夫殿に	62020(5249)	
(4)　そなたこそ初日は諸願	62020(5250)	
(5)　三日は福徳寿福円満	62021(5251)	
(6)　(合)柳は緑花は紅	62021(5252)	
(1)　そのかみはりんしの紙も	E-273(ナシ)	(5)(6)ヒビ
(2)　十日えびすの売り物は	E-274(ナシ)	
(3)　主人の難儀身に受けて	E-275(ナシ)	
(4)　これ半六殿とやら	E-276(ナシ)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				231A B 232A
33	**寿連理の松** 佐次兵衛内の場	(歌) (三) 小仙	ホガ Ⅱb 紫	6—299A B 300A B 301A B 302A B 303A B
33	**寿連理の松** 佐次兵衛内の場	(歌) 岩崎如水 (三) Ⅴ猿之助	ニッポン Ⅲa 赤	8—264A B 265A
34	**金毘羅利生記** 百度平内の場	(歌) Ⅶ時太夫 (三) Ⅲ燕四	ニポ Ⅰa 赤	1—150A B 151A B
34	**金毘羅利生記** 百度平内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 64B
35	**桜時雨** 三郎兵衛内の場	(歌) 鈴木児雀 (三) (1)～(6)松之輔 (7)～(18)勝之助 (琴) 松之輔 〔口上入〕	ホガ Ⅱb 赤	8—255A B 256A B 257A B 258A B 259A B 260A B 261A B 262A B 263A B

詞章	音盤番号	備考
(5) 五十両棒に振ろうより	E-277(ナシ)	
(6) 遠山おろし雪あらし＊	E-278(ナシ)	
(7) まるひと月を泣き暮らし	E-279(ナシ)	
(1) そのかみはりんしの紙も	6591(〃)	スレ・キズ
(2) 十日えびすの売り物は	6592(〃)	(10)は(6)(7)
(3) 主人の難儀身に受けて	6593(〃)	の一部の再演奏
(4) 御免なされませ	6594(〃)	
(5) これはと親方立ち上がり	6595(〃)	
(6) ため息ついて清十郎	6596(〃)	
(7) 思い重ねてお夏は今を	6597(〃)	
(8) どうして来たとは胴欲な	6598(〃)	
(9) 野くれ山くれ里くれて	6599(〃)	
(10) 遠山おろし雪あらし	6600(〃)	
(1) 遠山おろし雪あらし	2337(〃)	
(2) 見るより思わず走りこみ	2338(〃)	
(3) 野くれ山くれ里くれて	2339(〃)	
(1) ふびんやここにおとどいは	3832(〃)	(3)スレ
(2) はてがてんの行かぬこの山中へ	3833(〃)	
(3) ああこれこれ母じゃ人	3834(〃)	
(4) かか様はここのうちには＊	3835(〃)	
(1) 聞くとお辻は仏間を引きのけ	A416(〃)	
(1) (序)音羽川世に流れては	01973(?)	
(2) (合)哀れなるかな厨子王丸	01974(?)	
(3) おお太夫様ではござりませぬか	01975(75)	
(4) 寒山と山んばのふたり暮らしは	01976(76)	
(5) あと見送りて小声になり	01977(77)	
(6) うちにいる時分は金はあっても	01978(78)	
(7) おとくは始終漏れ聞いて	01979(79)	
(8) 待てどつれなきひと声に	01980(80)	
(9) 恋のふもとにまだ迷う	01981(81)	
(10) 音たぎらせておこうかと	01982(82)	
(11) 軒に避くれば丸窓の	01983(83)	
(12) 花は雪しぐれはたれの	01984(84)	
(13) (合)ああ珍しい小倉の色紙	01985(85)	
(14) 言えばおとくは手をとどめ	01986(86)	
(15) 心をくんで今一つと	01987(87)	
(16) ありゃわたしのとがでござんす	01988(88)	
(17) 聞いて源吾も落ち着いて	01989(89)	
(18) はいはいなんの申し分が	01990(90)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲa 青	1— 90 91 92 93 94
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲb 黒	1—102A B 103A B 104A B
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	ニッポンロクオンコオギヨオ Ⅰa 橙	1—126A B
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	キングレコオデングデスク Ⅰa 黄	1—127A B
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	キングレコオデングデスク Ⅰa 黄	1—128A B
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅴ綴太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴc 黒	2—113A B 114A B 115A B
36	桜鍔恨鮫鞘 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅴ綴太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴd 黒	2—122A B 123A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(＊)　……		↔〔1—102〕
(3)　(泣)なんにも知らぬこのお半	2875-C(？)	(3)ヒビ
(4)　かかる嘆きをつゆ知らず	2875-D (2875-D-1-X-1)	
(＊)　……		
(8)　ええこれまでなりと八郎兵衛	2875-H (2875-H-1-X-1)	=1—104B
(9)　かからぬ先に腹切る覚悟	2879-A(2879-A-1-1)	
(＊)　……		
(11)　これにつけてもただかわいいは	2879-K (2879-C-1-X-1)	
(1)　あとうち見やり女房が	2875-A (2875-A-1-X-1)	↔〔1—90〕
(2)　あいそれもようがてんして	2875-B(2875-B-1-2)	
(＊)　……		
(5)　これかかさんわしひとり	2875-E(2875-E-1-1)	
(6)　今の恨みは長堀の	2875-F(2875F-1-1)	
(7)　やっきりきりきりな切り殺し	2875-G (2875-G-1-X-1)	
(8)　ええこれまでなりと八郎兵衛	2875-H (2875-H-1-X-1)	=1—92
(1)　やっきりきりきりな切り殺し	ナシ	私家版
(2)　ええこれまでなりと八郎兵衛	ナシ	題字は鉛筆書き
(1)　(泣)なんにも知らぬこのお半	ナシ	≡〔1—128〕
(2)　かかる嘆きをつゆ知らず	ナシ	題字はペン書き
(1)　(泣)なんにも知らぬこのお半	ナシ	≡〔1—127〕
(2)　かかる嘆きをつゆ知らず	ナシ	題字はペン書き
(1)　鐘もろともに忍びいで	53389-A(5561)	
(2)　やそこにいるはお半じゃないか	53389-B(5562)	
(3)　おお道理じゃかわいやな	53390-A(5563)	
(4)　かくとは知らぬ銀八が＊	53390-B(5564)	
(5)　それもいといはいたさねど	53391-A(5565)	
(6)　ええ聞こえぬぞ女房どもやい＊	53391-B(5566)	
(1)　隣座敷にひきいだす	53620(6717)	
(2)　歌も古手屋八郎兵衛	53620(6718)	
(3)　これ母じゃ人そりゃまた＊	53621(6719)	
(4)　八郎兵衛たまりかね＊	53621(6720)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				124A B 125A B
36	**桜鍔恨鮫鞘** 八郎兵衛内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—133A B 134A B 135A B
36	**桜鍔恨鮫鞘** 八郎兵衛内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 75A B 76A B
36	**桜鍔恨鮫鞘** 八郎兵衛内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 62B
37	**卅三間堂棟由来** 街道の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—133A B
37	**卅三間堂棟由来** 街道の場	(歌) Ⅲ大島太夫 (三) Ⅴ仲助	ベカグランド Ⅰa 白	1—145
37	**卅三間堂棟由来** 街道の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅳ吉三郎	ニポ Ⅰc 赤	1—158A B
37	**卅三間堂棟由来** A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅶ吉兵衛	キング Ⅰa 赤	1—171A B 172A B
37	**卅三間堂棟由来** 街道の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅲa 黒	1—235
37	**卅三間堂棟由来** A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴc・Ⅴd 黒	2— 87A B 88A B 89A B

詞章	音盤番号	備考
(5) あとうち見やり女房が	53622(6721)	
(6) あいそれもようがてんして＊	53622(6722)	
(7) 許してくだされ八郎兵衛殿	53623(6723)	
(8) さ早う来てたもいの	53623(6724)	
(1) でてぞいたりける隣座敷に	2547(〃)	
(2) 恋路の鬼か丹波屋の	2548(〃)	
(＊) ……		
(7) これお半このあいだから	2553(〃)	
(8) いたずら髪に留めきゃらの	2554(〃)	
(＊) ……		
(11) いなともいうにいわけなき	2557(〃)	
(12) 人目を包むほおかむり	2558(〃)	
(1) 間にこそ入りにけり隣座敷に	8604, 2798(2798)	
(2) つながぬ縁は是非もなや	8604, 2799(2799)	
(3) ととさんゆうべから待ってばかり	8605, 2800(2800)	
(4) さあそれじゃによってこっちから	8605, 2801(2801)	
(1) ええ時も時とあの歌わいの	A298(〃)	
(1) (合)和歌の浦には名所が＊	70544(〃)	
(2) 都へ送る(合)元は熊野の	70545(〃)	
(1) (合)むざんなるかな幼き者は	2453(〃)	
(1) はやしののめの街道筋＊	15592-A(11933)	
(2) むざんなるかな幼き者は	15592-B(11934)	
(1) A. 伝え聞く安倍の童子が	12004(172)	
(2) 白河の法皇のおん悩み＊	12004(173)	
(3) B. はやしののめの街道筋＊	12005(174)	
(4) (合)むざんなるかな幼き者は	12005(175)	
(1) はやしののめの街道筋	11444(K11444)	
(1) A. お柳は身内の苦しみを＊	52501-A(4489)	
(2) 季仲がたか狩りに＊	52501-B(4490)	
(3) 伝え聞く安倍の童子が＊	52502-A(4491)	
(4) B. はやしののめの街道筋＊	52502-B(4492)	
(5) さてこそこの木の動かぬは＊	52503-A(4493)	
(6) 元は熊野の柳の露に	52503-B(4494)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ猿二郎	コロ Ⅲb 黒	2—126 A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅵa・Ⅵb 黒	2—190 A B 191 A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	トキ Ⅱa 赤	2—210 A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅱa 赤	2—219 A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸 〔析入〕	オリ Ⅵa 赤	2—240 A B 241 A B
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—136 A B 137 A B 138 A B 139 A B 140 A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—141 A B 142 A B 143 A B 144 A B 145 A B
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) Ⅰ津ばめ太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	3—316

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　はやしののめの街道筋＊	2829-A (2829-A-1-X-1)	
(2)　むざんなるかな幼き者は	2829-C (2829-C-1-1)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が＊	1565-A(〃)	
(2)　B．はやしののめの街道筋	1565-B(〃)	
(3)　ほほさこそさこそそれがしも	1566-A(〃)	
(4)　都へ送る元は熊野の	1566-B(〃)	
(＊)　……		
(3)　みぐしをこれに包まれて	2321(〃)	
(4)　(合)元は熊野の柳の露に	2322(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋＊	1352-A(ヒ24)	
(2)　都へ送る(合)元は熊野の	1352-B(ヒ25)	
(＊)　……		
(3)　A．伝え聞く安倍の童子が＊	3268-A(〃)	
(4)　B．はやしののめの街道筋	3268-B(〃)	
(5)　おおさこそさこそそれがしも	3269-A(〃)	
(6)　(合)元は熊野の柳の露に	3269-B(〃)	
(1)　夢や結ぶらん妻はあたりを	6175(〃)	
(2)　おずおずそばへ立ち寄って	6176(〃)	
(3)　とつおいつようように気を静め	6177(〃)	
(4)　季仲がたか狩りに	6178(〃)	
(5)　元の柳に帰るぞや	6179(〃)	
(6)　緑が母やい嫁ん女のう	6180(〃)	
(7)　それは野干の年ふる身	6181(〃)	
(8)　それこそは白河の法皇の	6182(〃)	
(9)　涙ながらに平太郎	6183(〃)	
(10)　そんならちょっといて参じましょ	6184(〃)	
(＊)　……		
(11)　A．ぎしつく畳の物音に	8935(〃)	
(12)　あいやいやいやたとえずたずたに	8936(〃)	
(13)　かくとは知らぬ平太郎	8937(〃)	
(14)　おお平太郎孫もそこにか	8938(〃)	
(15)　きずなに引かれ迷うであろ	8939(〃)	
(16)　そういうおのれは昼うせた	8940(〃)	
(17)　白状をひろいだほうび＊	8941(〃)	
(18)　B．はやしののめの街道筋	8942(〃)	
(19)　妻が霊をもいさめるため＊	8943(〃)	
(20)　(合)元は熊野の柳の露に	8944(〃)	
(1)　ずいぶん身をばたいせつに	11123(D11123)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六・卯三郎	ライ Ⅰa 緑・赤	4— 80A B 81A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—265A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) <Ⅳ仙糸>	コロ Ⅹa 黒	4—332A B 333A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅵ才治	ビク Ⅴb 黒	5— 1A B 2A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—176A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰb 茶	5—236A B 237A B 238A B 239A B 240A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	ニト Ⅳb 黒	5—278A B 279A B
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	ニト Ⅳc 黒	5—280A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳc 黒	5—351A B 352A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　母は今を限りにて	70811(〃)	
(2)　そこよここよと母と子が	70812(〃)	
(3)　それは野干の年ふる身	70813(〃)	
(4)　白河の法皇のおん悩み	70814(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋＊	9855(〃)	
(2)　(合)元は熊野の柳の露に	9856(〃)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が	25423-A (NE30526)	
(2)　白河の法皇のおん悩み＊	25423-B (NE30527)	
(3)　B．はやしののめの街道筋＊	25424-A (NE30528)	
(4)　(合)むざんなるかな幼き者は	25424-B (NE30529)	
(1)　A．ひとりの若を残し置き＊	50338-A(〃)	
(2)　B．はやしののめの街道筋	50338-B(〃)	
(3)　おおさこそさこそそれがしも＊	50339-A(〃)	
(4)　育て上げたるその縁子が	50339-B(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋＊	967-A(〃)	
(2)　(合)むざんなるかな幼き者は	967-B(〃)	
(1)　A．夢や結ぶらん妻はあたりを	ナシ(ア9)	
(2)　ゆり起こせども夫は寝つきの	ナシ(ア10)	
(3)　おおそれよ互いに顔を	ナシ(ア11)	
(4)　思えばやるかたせんかたも	ナシ(ア12)	
(5)　離れがたなや悲しやと	ナシ(ア13)	
(6)　やあかか様かと駆け寄る幼子	ナシ(ア14)	
(7)　哀れとおぼしたまわれよ	ナシ(ア15)	
(8)　B．時こそきたれいざさらば＊	ナシ(ア16)	
(9)　警護の武士進の蔵人＊	ナシ(ア17)	
(10)　元は熊野の柳の露に	ナシ(ア18)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が	6660-A(7066)	=5—280A
(2)　白河の法皇のおん悩み＊	6660-B(7067)	=　　B
(3)　B．はやしののめの街道筋＊	6661-A(7068)	
(4)　(合)むざんなるかな幼き者は	6661-B(7069B)	
(1)　伝え聞く安倍の童子が	6660-A(7066)	=5—278A
(2)　白河の法皇のおん悩み	6660-B(7067)	=　　B
(1)　はやしののめの街道筋	5344-A(4897)	
(2)　思い当たることこそあれ	5344-B(4898)	
(3)　(合)むざんなるかな幼き者は	5345-A(4899)	
(4)　育て上げたるその縁子が	5345-B(4900)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅲb 黒	6—150B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 赤	6—171A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) <円光>	グロオブ Ⅰa 紫	6—257
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 越喜美 (三) 清一	ポリ Ⅰb 黒	6—271B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ Ⅱa 黒	6—312
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 駒若 (三) 三生・三之助	フタミ Ⅰa 黒	6—320B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 三蝶 (三) 力松	スタンダアド Ⅰa 黒	6—336A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	ニト Ⅳc 緑	6—338A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	タイ Ⅱa 黒	6—344A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 三蝶 (三) 力松	テイ Ⅲa 黒	6—349A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	オリ Ⅶa 紫	7— 1A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) 末千代 (三) 小住	オリ Ⅵa 黒	7— 22A B 23A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 住広 (三) 綱之助	キリン Ⅰa 黒	7— 31A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 長広	コロ Ⅲb 黒	7—170

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　はやしののめの街道筋	2659(2659-1-X-1)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	1125(〃) 1126(〃)	
(＊)　…… (2)　かたじけなしと一礼述べ	 1273(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋	317-B(2768BF)	
(1)　(合)和歌の浦には名所が＊	2137(2137-1-E)	
(1)　はやしののめの街道筋	F233-B(〃)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が＊ (2)　B・はやしののめの街道筋＊	2838-A(385, S2838A) 2838-B(386, S2838B)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が＊ (2)　B．はやしののめの街道筋	S1675-A(7787) S1675-B(7788)	
(1)　A．伝え聞く安倍の童子が＊ (2)　B．はやしののめの街道筋	3044-A(〃) 3044-B(〃)	
(＊)　…… (3)　(合)むざんなるかな幼き者は (4)　育て上げたるその緑子が	 5105-A(T641) 5105-B(T642)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	60266-A (60870) 60266-B (60871)	
(1)　A．しおるる顔をふり上げて＊ (2)　B．はやしののめの街道筋 (3)　みぐしをこれに包まれて (4)　元は熊野の柳の露に	2803-A(〃) 2803-B(〃) 2804-A(〃) 2804-B(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	K.185-A(〃) K.185-B(〃)	
(1)　(合)和歌の浦には名所がござる	2902-A (2902-A-1-X-1)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 瓢 (三) ?	ユニバアサル Ⅰa 青	7—213
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) 美朝 (三) 巴住　〔口上入〕	パイオニア Ⅰa 赤	7—214A B 215A B
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) (三) 呂昇	ロオヤル Ⅱa 赤	7—282
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc・Ⅰb 赤	7—318A B
37	卅三間堂棟由来 A. 平太郎内の場 B. 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—352A B 353A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅲc 赤	8— 35A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 90A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅴa 緑	8—103A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—112A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—113A B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰa 黒	17—110
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) 貴若 (三) Ⅷ三二	ライ Ⅱa 黒	8—209B
37	卅三間堂棟由来 街道の場	(歌) (三) 南地福助	ビク Ⅰa 黒	8—313

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　はやしののめの街道筋	1101(〃)	
(1)　(序)はやしののめの街道筋 (2)　警護の武士進の蔵人 (3)　むざんなるかな幼き者は (4)　その緑子がよいよいよいとな	282-A(541) 282-B(?) 283-A(?) 283-B(?)	
(1)　伝え聞く安倍の童子が＊	1676(〃)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	1533(〃) 1534(〃)	
(1)　A．成人の後後は父の弓矢を＊ (2)　伝え聞く安倍の童子が＊ (3)　B．はやしののめの街道筋＊ (4)　(合)むざんなるかな幼き者は	15445-A(11594) 15445-B(11595) 15446-A(11596) 15446-B(11597)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	17280-A (NE40027) 17280-B (NE40028)	
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	1064A(809) 1064B(810)	=〔8—103〕
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	1064-A (H1064A) 1064-B (H1064B)	=〔8—90〕
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	27-A(イ55) 27-B(イ56)	=〔8—113〕
(1)　はやしののめの街道筋＊ (2)　(合)むざんなるかな幼き者は	27-A(イ55) 27-B(?)	=〔8—112〕
(1)　はやしののめの街道筋＊	12003(A12003)	30cm
(1)　信田の古巣に帰りしとや	70352(J70352)	
(1)　(合)和歌の浦には名所が＊	11003(A11003, 4664e)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
37	卅三間堂棟由来 平太郎内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—330
38	七福神宝の入船	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造 (琴・胡) 清丸	ニト Ⅰb 茶	5—241A B 242A B 243A B 244A B 245A B
38	七福神宝の入船	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉・広次	コロ Ⅳa 青	6—154
38	七福神宝の入船	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉・広次	ユニバアサル Ⅰa 青	6—159
38	七福神宝の入船	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—162
38	七福神宝の入船	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 63A B 64A
39	修禅寺物語	(歌) (三) Ⅶ広助 〔ツレ弾入〕	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—146A B 147A B 148A B 149A B 150A B 151A B 152A B
40	出世太平記 嘉平次内の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅰa 黒	7—108B
41	酒呑童子枕言葉 酒呑童子岩屋の場	(歌) 鶴寿太夫 (三) 清三郎	スピンクス Ⅲa 緑	6—139A

詞章	音盤番号	備考
(1) 安倍の童子が母上も	11489(B11489)	
(1) よもの春風豊かにて	ナシ(写83)	鴻池家依嘱盤
(2) (合)七つの福をめいめいに	ナシ(写84)	
(3) さえずって見たすずめ殿	ナシ(写85)	
(4) さよふけてやあやあやあ	ナシ(写86)	
(5) 色の黒いを自慢やら	ナシ(写87)	
(6) いずれに愚かはなけれども	ナシ(写88)	
(7) 弁財天女の由来を	ナシ(写89)	
(8) なんじゃいなげほうさん	ナシ(写90)	
(9) 評判頼むぞ評判じゃ	ナシ(写91)	
(10) 奇妙奇妙さてもこまかい	ナシ(写92)	
(1) 皆が望みに乗りが来て	2660(2660-1-1)	
(*) ……		
(2) かかるかすみの中よりも	1132(〃)	
(1) やなんじゃいなげほうさん	1130(〃)	
(1) よもの春風豊かにて	A413(〃)	
(2) 七つの福をめいめいに*	A414(〃)	
(3) (合)越後の国の角兵衛じし	A415(〃)	
(1) 秋至りてせいちんをぬぐう	9153(〃)	原作　岡本綺堂
(2) いっときあまりも打ち続けたので	9154(〃)	脚色　大森痴雪
(3) 職人ふぜいの妻となり	9155(〃)	作曲　豊沢広助
(4) この源はうばたまの	9156(〃)	
(5) 夜叉王み前に手をつかえ	9157(〃)	
(6) まあまあ待ってくださりませ	9158(〃)	
(7) これこそ夜叉王一生の不でき	9159(〃)	
(8) 山家育ちのわれわれは	9160(〃)	
(9) この御恩には足らわぬながら	9161(〃)	
(10) はやふけわたる夜わの秋	9162(〃)	
(11) たれとも知らず手負いの若武者	9163(〃)	
(12) 左金吾頼家これにありと	9164(〃)	
(13) 神ならで知ろしめされぬ	9165(〃)	
(14) (合)写すおもては死の相の	9166(〃)	
(1) 屈せぬ一作やあ愚か愚か	A273(〃)	
(1) 防ぎしをここに追い詰め	143(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
42	**生写朝顔話** 大井川の場	(歌) Ⅴ播磨太夫 (三) Ⅴ猿之助	ロオヤル Ⅰa 黒	1—147 148 149
42	**生写朝顔話** A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅶ吉兵衛	キング Ⅰa 赤	1—173A B 174A B
42	**生写朝顔話** A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) ?	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 茶	1—178A 179A
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅲa 黒	1—236A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲa 黒	 1—240
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲb 黒	 1—244
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造 (琴) 徳若	リガ Ⅰa 黒	2— 3A B 4A B
42	**生写朝顔話** 大井川の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸	オリ Ⅵb 赤	2— 13A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造 (琴) 徳若	ヒコ Ⅴa 緑	2— 18A B 19A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造 (琴) 徳若	ポリ Ⅰb 黒	2— 24A B 25A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 竹三郎	コロ Ⅳa 青	2— 32
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅰa 赤	2— 41A B 42A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 追うて行く名に高き (2) また起き上がって見えぬ目に (3) こがれこがれたその人に	1063(〃) 1064(〃) 1065(〃)	(1)スレ
(1) A. はいはいよう問うて (2) またも都を迷いいで* (3) B. 夫を慕う念力に (4) 思えばこの身はさきの世で	12014(178) 12014(179) 12015(180) 12015(181)	
(1) A. はいはいよう問うて (*) …… (3) B. 夫を慕う念力に	629, 04140(ナシ) 629, 04142(ナシ)	題字はペン書き 遠心式
(1) 語ろう間さえ夏の夜の (2) またも都を迷いいで	50007-A(D50007A) 50007-B(E50007B)	
(*) …… (7) またも都を迷いいで	ナシ(2832-G-1-1)	↔[1—244]
(*) …… (6) 親親にいざなわれ	2832-F(2832-F-1-1)	↔[1—240]
(1) 露の干ぬ間の朝顔を (2) 降れかし(合)むむ夫を慕う (3) はいはいよう問うて (4) 立つる操を破らじと	67796(70639) 67796(70640) 67797(70641) 67797(70642)	=[2—18]
(1) 迫うて行く名に高き (2) この年月のかん難辛苦も	3018-A(〃) 3018-B(〃)	
(1) 露の干ぬ間の朝顔を (2) 降れかし(合)むむ夫を慕う (3) はいはいよう問うて (4) 立つる操を破らじと	70235-A(70639) 70235-B(70640) 70236-A(70641) 70236-B(70642)	=[2—3]
(1) (合)露の干ぬ間の朝顔を (2) (合)むむ夫を慕う音律の (3) 語ろう間さえ夏の夜の (4) またも都を迷いいで	453-A(2846BF) 453-B(2847BF) 454-A(2848BF) 454-B(2849BF)	
(1) 露の干ぬ間の朝顔を	2731(2731-1-1)	スレ・カケ
(1) (合)露の干ぬ間の朝顔を (2) はらはらと降れかし (3) ところ尋ねるたよりさえ (4) またも都を迷いいで	1141(〃) 1142(〃) 1143(〃) 1144(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2— 95A B 96A B
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴc 黒	2—116A B 117A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅰa 赤	2—216A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅴ生駒太夫 (三) 粂造	ポリ Ⅰb 黒	2—233A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸 (琴) 清丸	オリ Ⅵb 赤	2—249A B 250A B 251A B
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) (三) Ⅶ広助 〔琴入〕	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—153A B 154A B 155A B 156A B 157A B 158A B 159A B 160A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	トキ Ⅱa 赤	4— 96A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅰ勝太郎	ニポ Ⅰa 赤	4—288A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰb 赤	4—294A B

詞章	音盤番号	備考
(1) むざんなるかな秋月の (2) ようよう座して手をつかえ (3) 恋ゆえ心つくし琴 (4) 露の干ぬ間の朝顔を	51778-A(1091) 51778-B(1092) 51779-A(1093) 51779-B(1094)	
(1) A. 深雪は何か気にかかり (2) B. こう言ううちも心がせく (3) 夫を慕う念力の (4) 思えばこの身はさきの世で	53040-A(5977) 53040-B(5978) 53041-A(5979) 53041-B(5980)	
(1) 語ろう間さえ夏の夜の (2) またも都を迷いいで	1399-A(〃) 1399-B(〃)	
(1) ようこそ問うてくださります (2) またも都を迷いいで	285-A(2177BF) 285-B(2178BF)	
(1) 朝顔殿召しまする (2) 顔も深雪がなれのはて (3) (合)露の干ぬ間の朝顔を (4) 降れかし(合)むむ夫を慕う (5) 親親にいざなわれ (6) もののあいろも水鳥の	3170-A(〃) 3170-B(〃) 3171-A(〃) 3171-B(〃) 3172-A(〃) 3172-B(〃)	カビ (3)ヒビ
(1) A. 入りにけりいずくにも (2) ふっと目に付くついたての (3) へへ幸い先日なぐさみに (4) と言うは子細のあるぞとも (5) むざんなるかな秋月の (6) と会釈する顔も深雪が (7) さすつめさえも八橋の (8) 照らす日影のつれなきに (9) むむ夫を慕う音律の (10) たまたま会いは会いながら (11) いつの世いかなる報いにて (12) いや拙者は今しばし (13) これはこれは何から何まで (14) しかしまあ喜びゃだいまいの (15) B. て追うて行く名に高き (16) この年月のかん難辛苦も＊	1585(〃) 1586(〃) 1587(〃) 1588(〃) 1587(1589) 1588(1590) 1591(〃) 1592(〃) 1585(1593) 1586(1594) 1595(〃) 1586(1596) 1597(〃) 1598(〃) 1586(1599) 1585(1600)	(5)(6)(9)(10)(12)(15)(16)に(3)(4)(2)(1)の題紙を使用
(1) むむ夫を慕う音律の (2) たまたま会いは会いながら	1964(〃) 1965(〃)	
(1) 追うて行く名に高き (2) この年月のかん難辛苦も	1542(〃) 1543(〃)	
(1) 始終うかがい徳右衛門 (2) ははあそれは風流なる心がけ	5824(〃) 5825(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				295A B 296A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市 (琴) 友若	ニポ Ⅰc 赤	4—309A B 310A B 311A B 312A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) <Ⅵ団六> (琴) <友若>	オリ Ⅴa 黒	4—342A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造 (琴) 清丸	ニト Ⅰa 赤	5—177A B
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—178A B
42	**生写朝顔話** 大井川の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—179A B
42	**生写朝顔話** A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造 (琴) 清丸	ニト Ⅰb 茶	5—246A B 247A B 248A B 249A B 250A B 251
42	**生写朝顔話** A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	タイ Ⅲa 灰	5—289A B 290A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　はばかりながらだんな様 (4)　さあらぬていにてくだんの薄茶 (5)　やいやいやいたわけ者めが (6)　(笑)こりゃこりゃこりゃてい主	5826(〃) 5827(〃) 5828(〃) 5829(〃)	
(1)　入りにけりいずくにも (2)　たち帰る治郎左衛門＊ (3)　むざんなるかな秋月の (4)　召しましたはこのお座敷で (5)　恋ゆえ心つくし琴 (6)　あわれひと村雨のはらはらと (7)　はいはいはいよう問うて (8)　立つる操を破らじと	5049(〃) 5050(〃) 5051(〃) 5052(〃) 5053(〃) 5054(〃) 5055(〃) 5056(〃)	
(1)　こりゃこりゃ女大儀ながら (2)　露の干ぬ間の朝顔を	1810-A(436) 1810-B(437)	
(1)　はいはい歌いまするで (2)　朝顔を照らす日影の	1028-A(エ11) 1028-B(エ12)	
(1)　はいはいよう問うて (2)　またも都を迷いいで	1199-A(〃) 1199-B(〃)	
(1)　夫を慕う念力に (2)　思えばこの身はさきの世で＊	441-A(〃) 441-B(〃)	
(1)　A．入りにけりいずくにも (2)　て心得ぬこの張り混ぜの＊ (3)　と涙片手の物語 (4)　むむさほど御所望ならば (5)　召しましたはこのお座敷で (6)　はてたる身をかこち (7)　ひと村雨のはらはらと (8)　短い契りのほいない別れ (9)　くがにさ迷う悲しさは＊ (10)　B．迫うて行く名に高き (11)　この年月のかん難辛苦も＊	ナシ(写195) ナシ(写196) ナシ(写97) ナシ(写198) ナシ(写99) ナシ(写200) ナシ(写201) ナシ(写202) ナシ(写203) ナシ(写204) ナシ(写205)	鴻池家依嘱盤
(1)　A．はいはいよう問うて (2)　思いもよらぬつま定め＊ (3)　B．名に高き街道一の (4)　思えばこの身はさきの世で	11054(6980, 6610A) 11054(6981, 6610B) 11055(6982) 11055(6983)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニポ Ⅲc 赤	5—307A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	リガ Ⅰb 黒	5—315A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳb・Ⅳc 黒	5—346A B 347A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅳa 緑	6— 9A B
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 58A B 59A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) 綾菊 (三) 三平	ビク Ⅲa 黒	6—246A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 糸吉	ベカグランド Ⅰa 白	6—265B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 小清	コロ Ⅲb 黒	6—275
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—289A B 290A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) 駒若 (三) 三生 (琴) 〈松四郎〉	ニツポン Ⅰa 黒	6—318A B
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	6—326A

詞章	音盤番号	備考
(＊) …… (3) 夫を慕う念力に (4) 思えばこの身はさきの世で	 17596-A (NE40556) 17596-B (NE40557)	↔[5—315]
(1) もとわたくしは中国生まれ (2) またも都を迷いいで	66181-A (NE40554) 66181-B (NE40555)	↔[5—307]
(1) ひととせ宇治のほたる狩りに (2) またも都を迷いいで＊ (3) いざ駒沢氏出立つかまつろう (4) ええ知らなんだ知らなんだ	5698-A(再5496) 5698-B(5497) 5699-A(再5498) 5699-B(5499)	
(1) 夫を慕う念力に (2) 思えばこの身はさきの世で＊	X-70076(4519-1) X-70076(4520)	
(1) A. もとわたくしは中国生まれ (2) またも都を迷いいで＊ (3) B. 夫を慕う念力に (4) 思えばこの身はさきの世で＊	50692-A(17) 50692-B(18) 50693-A(19) 50693-B(20)	
(1) 追うて行く名に高き (2) この年月のかん難辛苦も＊	50240-A (B50240A-1) 50240-B (B50240B-2)	
(1) 追うて行く名に高き	2459(〃)	
(＊) …… (2) また起き上がって見えぬ目に	 47872-B (47872-B-1-1)	
(1) A. 行く間おそしと駒沢は＊ (2) あと見送って徳右衛門 (3) B. こう言ううちも心がせく (4) また起き上がって見えぬ目に	2555-A(X33) 2555-B(X34) 2556-A(X35) 2556-B(X36)	
(1) こがるる夫のあるぞとも (2) 照らす日影のつれなきに	15313-A(3315) 15313-B(3316)	カビ
(1) A. 召しましたはこのお座敷で	66451-A (80362)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	B．大井川の場	(琴) 越子		B 327A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) 住広 (三) 綱之助	ナイガイ Ⅰa 赤	7— 30A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) 住広 (三) 綱之助	キリン Ⅰa 黒	7— 32A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) 仙竜 (三) 小住 〔琴入〕	ナシヨナル Ⅱa 多色	7— 40A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) 東広 (三) <仙平>	キリン Ⅰa 黒	7—152A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) 友之助 (三) 福之助	グラモホン Ⅰa 黒	7—162
42	生写朝顔話 A．戎屋の場 B．大井川の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅵa・Ⅵb 黒	7—191A B 192A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) 広春 (三) 東馬鶴	コロ Ⅳa 青	7—244
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) 広春 (三) 東馬鶴	コロ Ⅳb 黒	7—246
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰa 黒	7—257
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰb 黒	7—260
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	ロオヤル Ⅰa 黒	7—278 279
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔琴入〕	ニポ Ⅰa・Ⅰb 赤	7—292A B 293A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(2)　(合)露の干ぬ間の朝顔を＊ (3)　B．追うて行く名に高き (4)　この年月のかん難辛苦も	66451-B (80363) 66452-A (80364) 66452-B (80365)	
(1)　お話し申すも恥ずかしながら (2)　またも都を迷いいで	2815(〃) 2816(〃)	
(1)　追うて行く名に高き (2)　この年月のかん難辛苦も＊	K.558-A(〃) K.558-B(〃)	題紙には「竹本小住」
(1)　恋ゆえ心つくし琴 (2)　照らす日影のつれなきに	A444A(〃) A444B(〃)	
(1)　もとわたくしは中国生まれ (2)　またも都を迷いいで	K.733-A(〃) K.733-B(〃)	
(1)　夫のあとを恋い慕い＊	13288(E1400X)	17cm
(1)　A．もとわたくしは中国生まれ (2)　めぐり逢坂の関路をあとに＊ (3)　B．追うて行く名に高き (4)　思えばこの身はさきの世で＊	1515-A(〃) 1515-B(〃) 1516-A(〃) 1516-B(〃)	
(1)　またも都を迷いいで	2711(2711-1-1)	
(1)　追うて行く名に高き	2715(2715-1-X-1)	
(1)　はいはいよう問うて	11164-A(C11164)	=7—260
(1)　はいはいよう問うて	11164-A(J11164)	=7—257
(1)　はいはいよう問うて (2)　またも都を迷いいで＊	2058(〃) 2059(〃)	
(1)　召しましたはこのお座敷で (2)　(合)露の干ぬ間の朝顔を (3)　はいはいよう問うて (4)　またも都を迷いいで＊	902(〃) 903(〃) 900(〃) 901(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—319A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔琴入〕	ニポ Ⅰc 赤	7—354A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—355A B 356A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔琴入〕	コロ Ⅳa 黒	8— 47A B 48A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	ライ Ⅰa 赤	8— 56B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 91A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 92A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	スピンクス Ⅱb 赤	8—105A B
42	生写朝顔話 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	スピンクス Ⅱb 赤	8—106A B
42	生写朝顔話 A. 戎屋の場 B. 大井川の場	(歌) (三) 呂昇	トキ Ⅱa 赤	8—109A B 110A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔琴入〕	ニト Ⅰa 赤	8—114A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔琴入〕	ニト Ⅰa 赤	8—115A B
42	生写朝顔話 戎屋の場	(歌) (三) 呂昇	エンゼル Ⅰa 赤	8—124 125

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 追うて行く名に高き (2) この年月のかん難辛苦も	1773(〃) 1774(〃)	(2)カケ
(1) 召しましたはこのお座敷で (2) (合)露の干ぬ間の朝顔を	16056-A(〃) 16056-B(〃)	=8—47A =　　B
(1) 追うて行く名に高き (2) また起き上がって見えぬ目に (3) こがれこがれたその人に (4) ややあって起き上がり	16243-A(15663) 16243-B(15664) 16244-A(15665) 16244-B(?)	
(1) 召しましたはこのお座敷で (2) (合)露の干ぬ間の朝顔を＊ (3) はいはいよう問うて (4) またも都を迷いいで＊	25139-A (16056A) 25139-B (16056B) 25140-A (16057A) 25140-B (16057B)	=7—354A =　　B
(1) こがれこがれたその人に＊	70331(〃)	
(1) こがれそめたる恋人と (2) またも都を迷いいで	1066A(〃) 1066B(〃)	
(1) 追うて行く名に高き＊ (2) いかなることの罪せしぞ＊	1067A(〃) 1067B(〃)	
(1) はいはいよう問うて (2) またも都を迷いいで	5127(〃) 5128(〃)	カビ
(1) 追うて行く名に高き (2) この年月のかん難辛苦も＊	5129(〃) 5130(〃)	カケ
(1) A. はいはいよう問うて (2) またも都を迷いいで＊ (3) B. 夫を慕う念力に (4) 思えばこの身はさきの世で	1938(〃) 1939(〃) 1940(〃) 1941(〃)	カビ
(1) (合)露の干ぬ間の朝顔を＊ (2) 語ろう間さえ夏の夜の	30-A(〃) 30-B(〃)	=[8-115]
(1) (合)露の干ぬ間の朝顔を＊ (2) 語ろう間さえ夏の夜の	30-A(〃) 30-B(〃)	=[8-114]
(1) はいはいよう問うて (2) またも都を迷いいで	1117(ナシ) 1118(ナシ)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
42	**生写朝顔話** 戎屋の場	(歌) 呂之助 (三) 〈綱之助〉 〔琴入〕	コロ Ⅹa 黒	8—151A B 152A B
43	**心中天網島** 河内屋の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰb 赤	1—286A B 287A B 288A B
43	**心中天網島** 河内屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	2—267B 269B
43	**心中天網島** 河内屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—161A B 162A B 163A B 164A B 165A B 166A B 167A B 168A B 169A B
43	**心中天網島** 河内屋の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 60A B 61A B 62A B

詞章	音盤番号	備考
(1) こがるる夫のあるぞとも	25367-A (16818A)	
(2) 露の干ぬ間の朝顔を＊	25367-B (16818B)	
(3) 語ろう間さえ夏の夜の	25368-A (16819A)	
(4) またも都を迷いいで	25368-B (16819B)	
(1) 天満に年ふる千早振る	5808(〃)	
(2) 毎夜毎夜の死に覚悟	5809(〃)	
(3) 奥の客が大あくび	5810(〃)	
(4) 御誓言での情けのおことば	5811(〃)	
(5) いっそ死んでくれぬか	5812(〃)	
(6) その恥を捨てても	5813(〃)	
( ) 親方にせかれておう瀬も絶え	01252(〃)	節と手順下巻の内
( ) わたしはもとより主はなお	01256(〃)	
(1) 天満に年ふる千早振る	9889(〃)	
(2) なごりのふみの言いかわし	9890(〃)	
(3) こうしに抱き付きあせり泣き	9891(〃)	
(4) どうじゃとささやけば	9892(〃)	
(5) 五年あるねんのうち	9893(〃)	
(6) わたしひとりを頼みの母さん	9894(〃)	
(7) わたしに会うてくださんして	9895(〃)	
(8) これはとばかりけがもなく	9896(〃)	
(9) おじゃいのとうち連れ立って	9897(〃)	
(10) 江戸屋太兵衛どん紙屋治兵衛判	9898(〃)	
(11) あんまりぽんぽん言うて	9899(〃)	
(12) 人立ちすけば侍立ち寄って	9900(〃)	
(13) 一家一門の参会にも	9901(〃)	
(14) 胸が痛いと歯ぎしみし	9902(〃)	
(15) やなんじゃえそりゃふっつりと	9903(〃)	
(16) 思い回せば回すほど	9904(〃)	
(17) ああこりゃこりゃきっそう変えて	9905(〃)	
(18) 嘆く小春もむごらしき	9906(〃)	
(1) 煮売り屋で小春がさた	52463-A(3857)	
(2) 奥には客が大あくび	52463-B(3858)	
(3) 小春心底残さずうっちゃきゃれ	52464-A(3859)	
(4) 南のもとの親方と	52464-B(3860)	
(5) わたしひとりを頼みの母様	52465-A(3861)	
(6) これもうしひきょうな頼み事	52465-B(3862)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
43	**心中天網島** 河内屋の場	(歌) 岩崎如水 (三) Ⅴ猿之助	ニッポン Ⅲa 赤	8—267 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅱ相生太夫 (三) 弥七	コロ Ⅱa 黒	1— 29
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅶ時太夫 (三) Ⅲ蒸四	ニポ Ⅰa 赤	1—152 A B 153 A B 154 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅳ吉三郎	ニポ Ⅰc 赤	1—159 A B 160 A B 161 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	1—229 230
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2— 97 A B 98 A B 99 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	ニポ Ⅰa 赤	2—142 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅳb 多色	2—168 A B 169 A B
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—170 A B 171 A B 172 A B 173 A B 174 A

詞　　章	音盤番号	備　　考
（1）　天満に年ふる千早振る （2）　煮売り屋で小春がさた	2335（〃） 2336（〃）	
（1）　いえいえいえ憎いそうな	2337(2337-1B)	ヒビ
（1）　すぐに仏なりかど送りさえ （2）　ああこれいのうこれそりゃまあ （3）　泣かしゃんせ泣かしゃんせ （4）　問い屋中のつきあいにも （5）　むむそりゃやっぱりおれを （6）　浅紫の糸目結い	3836（〃） 3837（〃） 3838（〃） 3839（〃） 3840（〃） 3841（〃）	
（1）　すぐに仏なりかど送りさえ （2）　ええあんまりじゃぞえ （3）　それほど心残りなら （4）　おおもっともじゃあやまった （5）　これほど真実な心で （6）　それこの小判五十両と	15764-A（〃） 15764-B（〃） 15765-A（〃） 15765-B（〃） 15766-A（〃） 15766-B（〃）	
（1）　憎ましゃんすがまうそかいな （2）　その涙が蜆川へ流れたら	11103A（H11103） 11104B（G11104）	
（1）　すぐに仏なりかど送りさえ （2）　ええあんまりじゃぞえ （3）　それほど心残りなら （4）　ああもっともじゃあやまった （5）　まこれほど真実な心で （6）　それその小判五十両と	51608-A（1095） 51608-B（1096） 51609-A（1097） 51609-B（1098） 51610-A（1099） 51610-B（1200）	
（1）　ええあんまりじゃぞえ＊ （2）　のう仰山なそれですむなら	814（〃） 815（〃）	
（1）　のけるふとんの内さえも （2）　これここでまくら並べて （3）　ふたりの子供はおまえなんとも＊ （4）　はても小春が命助けるは＊	1745-A（〃） 1745-B（〃） 1746-A（〃） 1746-B（〃）	
（1）　すぐに仏なりかど送りさえ （2）　おさんはあきれつくずくと （3）　泣かしゃんせ泣かしゃんせ （4）　ええそんならほんまに （5）　のう仰山なそれですむなら （6）　夫の恥とわが義理を （7）　はてもう手足の爪を放しても （8）　男気な治兵衛殿 （9）　思いは同じうき思い	9925（〃） 9926（〃） 9927（〃） 9928（〃） 9929（〃） 9930（〃） 9931（〃） 9932（〃） 9933（〃）	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 175A B 176A B 177A B 178A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—266A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅵ才治	ニト Ⅰa 黒	5— 8A B 9A B 10A B 11A B 12A B 13A B 14A B 15A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—180A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) Ⅱ越名太夫 (三) 八造	アサヒ Ⅰa 赤	5—306A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—332A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲb 灰	5—359A B 360A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 錦太夫 (三) 竹三郎	ライ Ⅰa 緑・赤	6—149A B

詞章	音盤番号	備考
(10) いやまたどう言うても	9934(〃)	
(11) 別れといでて行くしおれしおれし	9935(〃)	
(12) 思い切ってはいるけれど	9936(〃)	
(13) われを頼むと言うておかんした	9937(〃)	
(14) 酒と水とはかわらけの	9938(〃)	
(15) ええなんじゃ涙ながらにひと筆	9939(〃)	
(16) ええなになにしゅうと五左衛門	9940(〃)	
(17) そりゃ胴欲なおさんさん	9941(〃)	
(18) ああこれ太兵衛はん	9942(〃)	
(1) ええあんまりじゃぞえ	9705(〃)	
(2) それほど心残りなら	9706(〃)	
(1) すぐに仏なりかど送りさえ	1643-A(ナシ)	
(2) ええあんまりじゃぞえ	1643-B(?)	
(3) その涙が蜆川へ流れたら	1644-A(E75)	
(4) いやいやそうじゃござんせぬ	1644-B(?)	
(5) 治兵衛取り上げびっくりし	1645-A(?)	
(6) わしや子供はなに着いでも	1645-B(?)	
(7) 治兵衛殿お宿にか	1646-A(?)	
(8) また主の悪所通いも	1646-B(E80)	
(9) とは知らずして治兵衛は	1647-A(E81)	
(10) 声に目さます勘太郎	1647-B(E82)	
(11) おおとっともうなにから言おうぞ	1648-A(E83)	
(12) 礼には好きの虎屋まんじゅう	1648-B(E84)	
(13) 土になるまで葬礼の	1649-A(E85)	
(14) ええとかくつれあいの命が	1649-B(E86)	
(15) 右金子をもって小春殿を	1650-A(?)	
(16) おりからうそうそ善六太兵衛	1650-B(?)	
(1) おさんはあきれつくずくと	988-A(?)	
(2) 女房のふところには	988-B(?)	
(1) ええあんまりじゃぞえ	20-A(〃)	
(2) その涙が蜆川へ流れたら	20-B(〃)	
(1) おさんはあきれつくずくと	5216-A(4521)	
(2) それほど心残りなら	5216-B(4522)	
(1) おおもっともじゃもっともじゃ	11072(5864, 5961A)	(3)(4)カケ
(2) これほど真実な心で	11072(5865, 5961B)	
(3) 残りはわしがとかい立って	11073(5866)	
(4) おお過分なぞやかたじけない	11073(5867)	
(1) 憎いそうな憎いそうな*	71185(〃)	
(2) 小春さんの方は急なこと	71186(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ポリ Ⅰa 黒	7— 6A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 14A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 玄番米子	ニト Ⅰa 赤	7— 20A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 清糸	ヒコ Ⅴa 緑	7— 34A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 伊達子	ビクタアジユニア Ⅰa 青	7— 43A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 団司 (三) 小住	ナイガイ Ⅰa 赤	7— 50A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 時子 (三) 団治郎	コロ Ⅲa 赤	17—107
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 雛昇 〔口上入〕	ツルジルシ Ⅱa 青	7—242A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 二三竜 (三) 一二	ビク Ⅲa 黒	7—248A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅲb 黒	7—271A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—294A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—295A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—320A B 321A B 322A B
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	エンゼル Ⅰa 赤	8—126
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅲa 黒	17—112

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) ええあんまりじゃぞえ (2) それほど心残りなら	1248-A(3477BF) 1248-B(3478BF)	
(1) 憎ましゃんすがまうそかいな (2) あんまりむごい治兵衛さん	2051-A(〃) 2051-B(〃)	
(1) 憎ましゃんすがまうそかいな (2) その涙が蜆川へ流れたら	207-A(〃) 207-B(〃)	題紙には「元豊竹昇之助事」
(1) のけるふとんの内さえも (2) 女房のふところには	70069-A (70159) 70069-B (70160)	
(1) ええあんまりじゃぞえ (2) それほど心残りなら	J-10212-A(E-564) J-10212-B(E-565)	
(1) ええあんまりじゃぞえ (2) それほど心残りなら	4389(〃) 4390(〃)	
(1) 憎ましゃんすがまうそかいな	2939(2939-1-1)	30cm
(1) (序)涙にしめるそのふぜい (2) 女房のふところには	5771-A(?) 5771-B(イイ3281)	
(1) かど送りさえそこそこに (2) これここでまくら並べて	50228-A(B50228A-1) 50228-B(A50228B-2)	
(1) (ええあんまりじゃぞえ) (2) (泣かしゃんせ)その涙が蜆川へ	2917-A(2917-A-1-1) 2917-B(2917-B-1-1)	カケ
(1) すぐに仏なりかど送りさえ (2) これここでまくら並べて	1590(〃) 1591(〃)	=〔7—295〕
(1) すぐに仏なりかど送りさえ (2) これここでまくら並べて	1590(〃) 1591(〃)	=〔7—294〕
(1) すぐに仏なりかど送りさえ (2) ああこれこれそりゃまあ何を (3) その涙が蜆川へ流れたら＊ (4) 残りはわしがとかい立って (5) おお過分なぞやうれしいぞや＊ (6) ああ言い出しては聞かぬととさん	5759(〃) 5760(〃) 5761(〃) 5762(〃) 5763(〃) 5764(〃)	(1)(2)スレ
(＊) …… (2) いえいえ憎いそうな憎いそうな	2088(ナシ)	
(1) 憎いそうな憎ましゃんすが	12004(B12004)	30 cm

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) 貴鳳 (三) 竹三郎	ライ Ⅱa 黒	8—211A
43	**心中天網島** 紙屋の場	(歌) 岩崎如水 (三) Ⅴ猿之助	ニッポン Ⅲa 赤	8—265B 266A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅱ相生太夫 (三) 弥七	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	1— 21
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎・松十郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—134A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	17—23
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅲ大島太夫 (三) Ⅴ仲助・仲太郎	ベカグランド Ⅰa 白	1—146
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅲ和佐太夫 (三) 語左衛門	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	1—200
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ鶴太郎・〈亀太郎〉	コロ Ⅲa 赤	17—28
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) 殿太夫 (三) Ⅲ和佐太夫・〈豊造〉	コロ Ⅲb 黒	1—218
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 竹三郎・団治郎	コロ Ⅲb 黒	2—127A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ猿二郎	コロ Ⅲb 黒	2—128 129
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅵa 黒	2—192A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門・Ⅲ新三郎	オリ Ⅵb 黒	2—196A B 197A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—179A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　憎ましゃんすがまうそかいな	70349(J 70349)	
(1)　すぐに仏なりかど送りさえ (2)　ええあんまりじゃぞえ (3)　その涙が蜆川へ流れたら	2340(〃) 2341(〃) 2342(〃)	
(1)　あとに娘は気もいそいそ	G. C. 12704(E 374)	
(1)　おさらば」さらば」さらば (2)　思い合うたる恋仲も	70558(〃) 70559(〃)	
(1)　(合)堤は隔たれど	12016(A 12016)	30cm
(1)　(合)堤は隔たれど	2456(〃)	
(1)　あんまり会いたさなつかしさ	G. C. 12321(E 419)	
(*)　…… (2)　(合)思い合うたる恋仲も	2925-B(2925-B-1-1)	30cm
(1)　(合)堤は隔たれど	47778(47778-1-2)	カケ・カビ
(1)　おふくろ様もお娘御も (2)　(合)思い合うたる恋仲も	2739-A (2739-A-1-X-1) 2739-B(2739-B-1-1)	
(1)　おふくろ様もお娘御も (2)　(合)思い合うたる恋仲も	2826-A(2826-A-1-2) 2826-B(2826-B-1-1)	
(1)　哀れをよそにみなれざお (2)　(合)堤は隔たれど	1794-A(〃) 1794-B(〃)	
(1)　(合)ううさあさあ親子とて (2)　昼なかにうっとしい* (3)　ああ娘が言うとおりじゃ (4)　(合)思い合うたる恋仲も	4362-A(8694) 4362-B(8695) 4363-A(8696) 4363-B(ナシ)	(3)(4)ヒビ
(*)　…… (9)　そんならこれほど申しても (10)　わずかの田地着類着そげ	8945(〃) 8946(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				180A B 181A B 182A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六〔ツレ弾入〕	ビク Ⅴb・Ⅴc 赤	3—341A B 342A B 343A B 344A B 345A B 346A B 347A B 348A B 349A B 350A B
44	**新版歌祭文** 久作内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六・猿太郎	ニト Ⅰa 黒	4—143A B 144A B 145A B 146A B 147A B 148A B 149A B 150A B

詞章	音盤番号	備考
(11) 真実親身のこわ意見	8947(〃)	
(12) 親じどん久松もそこにか	8948(〃)	
(13) さあ死ぬる覚悟でいやしゃんす	8950(8949)	(13) に (14),
(14) 無理にわたしが添おうとすれば＊	8949(8950)	(14)に(13)の題
(15) かかさんこらえてくださんせ	8951(〃)	紙を使用
(16) やあかかさんはあはっと	8952(〃)	
(1) 引き立て入りにけりあとに娘は	13067-A(1003)	
(2) 末菜刀と気も勇み	13067-B(1004)	
(3) 立ち寄りながら越えかぬる	13068-A(1005)	
(4) 見れば見るほど美しい	13068-B(1006)	
(5) 燃ゆる思いは娘気の	13069-A(1007)	
(6) ええ愚痴な事をこのように	13069-B(1008)	
(7) いえいえかもうてくださんすな	13070-A(1009)	
(8) 会いにきたやら南やら	13070-B(1010)	
(9) 曇りがちなる久松も	13100-A(1924)	
(10) かなわぬ時はわたしも＊	13100-B(1925)	
(11) 聞いてのとおりおみつめと	13101-A(1926)	
(12) 返事次第で思案があると	13101-B(1927)	
(13) なんのうそを申しましょう	13102-A(1928)	
(14) これおばばやっぱり寝ては	13102-B(1929)	
(15) 浮かむ涙は水晶の＊	13103-A(1930)	
(16) 暗き盲にそれぞとも	13103-B(1931)	
(17) これほど言うても聞き入れず＊	13104-A(1932)	
(18) 取り込みの中長居も不遠慮＊	13104-B(1933)	
(19) よしないわしゆえおみっつぁんの	13105-A(1934)	
(20) (合)縁を引き綱ひと筋に	13105-B(1935)	
(1) 引き立て入りにけりあとに娘は	1220-A(ナシ)	
(2) 元のしら地をなまなかに	1220-B(39)	
(3) ものもうお頼み申しましょう	1221-A(40)	
(4) おおどころの御寮人様	1221-B(41)	
(5) さあさあ親子とて遠慮はない	1222-A(42)	
(6) ううなんじゃわいのわが身たちも	1222-B(シ43)	
(7) 湯もつこうて花嫁御と	1223-A(44再)	
(8) ふたりいっしょに添おうなら	1223-B(?)	
(9) ぜひ山家屋へ行けならば	1224-A(ナシ)	
(10) その恩も義理もわきまえぬは	1224-B(47)	
(11) 在所はもちろん大阪中に	1225-A(シ48)	
(12) なるほど思い切りましょう	1225-B(シ49)	
(13) 大わずらいの上目までつぶれた	1226-A(シ50)	
(14) わしゃもうとんと思い切った	1226-B(シ51)	
(15) おおおみつの何を言やるやら	1227-A(シ52再)	
(16) ああなろう事ならかね付けて	1227-B(シ53)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				151A B 152A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) Ⅳ叶 (三) Ⅳ叶・叶太郎	ハンプカイ Ⅱa 青	4—267A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅵ才治・兵市	ビク Ⅳa 黒	4—360A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 米太夫 (三) 新次郎・〈新二〉	スヒンクス Ⅱa 赤	5—108A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造・清丸	ニト Ⅰa 赤	5—181A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 鏡太夫 (三) 市之助	ビク Ⅵa 黒	5—267A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎・吉季	ニト Ⅳb 黒	5—281A B 282A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥・八造	ニト Ⅳa 黒	5—333A B 334A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ猿之助 〔ツレ弾入〕	ナシヨナル Ⅰa 灰	1— 31B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅱa 赤	6—167
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 昇太夫 (三) 喜三郎	ニポ Ⅰa 青	6—172A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 越喜美 (三) 清一・清三	ポリ Ⅰb 黒	6—271A
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 小土佐 〔ツレ弾入〕	コロ Ⅲb 黒	6—304B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 駒若 (三) 三生・三之助	フタミ Ⅰa 黒	6—320A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(17)　やあやあやあそんならさっきに (18)　おみつ女郎の志 (19)　そんなら久松もう行きゃるか (20)　(合)堤は隔たれど	1228-A(シ54) 1228-B(？) 1229-A(56) 1229-B(？)	
(1)　そなたは思い切る気でも＊ (2)　(合)堤は隔たれど	9871(〃) 9872(〃)	
(1)　よしないわしゆえおみっつぁんの (2)　縁を引き綱一筋に	50354-A-1(A50354A) 50354-B-2 (A50354B-1)	
(1)　哀れをよそにみなれざお＊ (2)　(合)堤は隔たれど	4207(〃) 4208(〃)	題紙には「ツレ新三」
(1)　兄さんおまめでお染様 (2)　(合)堤は隔たれど	1066-A(エ13) 1066-B(エ14再)	
(1)　その間おそしと駆け入るお染 (2)　知らぬ在所もいといはせぬ	J-54250(9272) J-54250(9273)	
(1)　その間おそしと駆け入るお染 (2)　ふたりいっしょに添おうなら＊ (3)　兄さんおまめでお染様 (4)　(合)堤は隔たれど	6691-A(7094) 6691-B(7095) 6692-A(7096B) 6692-B(7097A)	カビ
(1)　久作も持て扱い (2)　もったいない事ながら＊ (3)　哀れをよそにみなれざお (4)　(合)堤は隔たれど	5430-A(〃) 5430-B(〃) 5431-A(〃) 5431-B(〃)	
(1)　(合)堤は隔たれど	ナシ	
(1)　おふくろ様もお娘御も	1133(〃)	
(1)　兄さんおまめでお染様＊ (2)　(合)堤は隔たれど	2337(〃) 2338(〃)	
(1)　(合)堤は隔たれど	317-A(2767BF)	
(1)　(合)堤は隔たれど	2545(2545-1-X-2)	
(1)　(合)堤は隔たれど	F233-A(233A)	カビ

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 15B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 団司 (三) 小住・住繁	ウオルド Ⅰa 黒	7— 57A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 東猿	コロ Ⅲa 黒	17—106
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 東広 (三) 仙平・〈東歌〉	リガ Ⅰb 黒	7— 97A B 98A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 東広 (三) 〈仙平〉〔ツレ弾入〕	ニト Ⅳc 緑	7—136A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 東広 (三) 東重	テイ Ⅳb 黒	7—145A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 東広 (三) 東重	スタンダアド Ⅰa 緑	7—146A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 長広	ビク Ⅰa 黒	17—108
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 美朝 (三) 巴住・米光	パイオニア Ⅰa 赤	7—216A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 素女 (三) 素女・素八〔口上入〕	テイ Ⅰb 橙	7—254
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—286B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—296A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・〈喜昇〉	ニポ Ⅰb 赤	7—323B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・に昇	ニポ Ⅰc 赤	7—357A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　そなたは思い切る気でも	2050-B(〃)	
(1)　兄さんおまめでお染様 (2)　(合)堤は隔たれど	2801(D27) 2802(D28)	カケ・キズ 紙製レコード
(1)　(合)堤は隔たれど	ナシ(47519-1-1)	30cm
(1)　髪も結うたりかねも付けたり (2)　知らぬ在所もいといはせぬ＊ (3)　哀れをよそにみなれざお (4)　(合)堤は隔たれど	65065-A (62295) 65065-B (62296) 65066-A (62297) 65066-B (62298)	カビ
(1)　哀れをよそにみなれざお (2)　(合)堤は隔たれど	S1670-A(7681) S1670-B(7682)	
(＊)　…… (3)　そなたは思い切る気でも＊ (4)　(合)堤は隔たれど	 6004-A(〃) 6004-B(〃)	キズ ↔[7—146]
(1)　出て来る久作ああどうじゃ (2)　昼なかにうっとしい	S115(3145, 6003A) S115(3146, 6003B)	カビ・スレ ↔[7—145]
(1)　そなたは思い切る気でも	12000(B12000)	30cm
(1)　そなたは思い切る気でも (2)　ふたりいっしょに添おうなら	270-A(〃) 270-B(〃)	
(1)　(序)(合)堤は隔たれど	T3317(イ1258)	
(1)　そなたは思い切る気でも	376(〃)	
(1)　ああめでたいめでたい (2)　みょうとにしたいばっかりに	896(〃) 897(〃)	
(1)　(合)堤は隔たれど	1782(〃)	
(＊)　…… (3)　曇りがちなる久松も＊ (4)　めでたいめでたい時に一家一門	 16356-A(69-1) 16356-B(13670)	↔[8—49]

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				358 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅸb 黒	8— 36 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・に昇	コロ Ⅺa 黒	8— 49 A B 50 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・喜昇	ライ Ⅰa 赤	8— 53 B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰb 赤	8— 65
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・金昇	ヒコ Ⅱb 赤	8— 86 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・金昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 93 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・喜昇・金昇	ニト Ⅰa 赤	8—116 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) (三) 呂昇	エンゼル Ⅰa 赤	8—127
44	新版歌祭文 久作内の場	(歌) 進義会連中〔掛合〕 (三) 綱助他 〔洋楽入〕	オリ Ⅶa 青	8—176 A B
44	新版歌祭文 久作内の場	(三) 南地福助・亀子	ビク Ⅰa 黒	8—314
45	菅原伝授手習鑑 河内郡領館の場	(歌) 山城少掾 (三) Ⅳ清六	コロ Ⅻa 赤	17—66 A B 67 A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(5) みょうとにしたいばっかりに＊ (6) (合)堤は隔たれど	16357-A(13671) 16357-B(?)	=8—50A =　　B
(1) そなたは思い切る気でも (2) 恨みのたけを友禅の	24019-A (NE31064) 24019-B (NE31065)	カビ
(1) その間おそしと駆け入るお染 (2) 知らぬ在所もいといはせぬ (＊) …… (5) みょうとにしたいばっかりに＊ (6) (合)堤は隔たれど	25171-A (16355A) 25171-B (16355B) 25173-A (16357A) 25173-B (16357B)	↔〔7—357〕 =7—358A =　　B
(1) (合)堤は隔たれど	70335(〃)	
(1) そなたは思い切る気でも	1358(〃)	
(1) そなたは思い切る気でも＊ (2) (合)堤は隔たれど	5131(〃) 5132(〃)	スレ
(1) わしゃなんぼうでもえ切らぬ＊ (2) (合)堤は隔たれど	1068A(〃) 1068B(〃)	
(1) そなたは思い切る気でも＊ (2) (合)堤は隔たれど	33-A(〃) 33-B(〃)	
(1) そなたは思い切る気でも	1105(ナシ)	
(1) 船の中にも声上げて (2) 縁を引き綱一筋に	60035-A (60350) 60035-B (60351)	
(1) (合)	11007-A(C11007)	
(1) 聞かしていでて行くはや刻限ぞと (2) 行く末祝うのしこんぶ (3) がきげんよう立たしゃったを	G1,155624 (M55624) G1,255625 (M55625) G2,155626 (M55626)	30cm (6)カビ

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
				68 A
				B
				69 A
				B
				70 A
				B
				71 A
				B
				72 A
				B
				73 A
				B
45	菅原伝授手習鑑 道真下館の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—183 A B 184 A B 185 A B 186 A B 187 A B 188 A B 189 A B 190 A B
45	菅原伝授手習鑑 道真下館の場	(歌) Ⅰ津ばめ太夫 (三) Ⅳ綱造	コロ Ⅲa 緑	3—318 319

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　太郎そばへ立ち寄って	G2,255627 (M55627)	
(5)　かいがいしくもつま引き上げ	G3,155628 (M55628)	
(6)　刈屋姫は奥へ行きゃ	G3,255629 (M55629)	
(7)　やあやあ判官まず待たれよ	G4,155630 (M55630)	
(8)　こなたの言い分がてんがいかぬ	G4,255631 (M55631)	
(9)　そいつが立田を殺したとき	G5,155632 (M55632)	
(10)　丞相重ねて輝国の迎い	G5,255633 (M55633)	
(11)　娘が最期もこの刀	G6,155634 (M55634)	
(12)　木に刻み筆に描く	G6,255635 (M55635)	
(13)　仰せはほかに荒木の天神	G7,155636 (M55636)	
(14)　おばが小そでとおぼし召し	G7,255637 (M55637)	
(15)　なごりは尽きずおいとまと	G8,155638 (M55638)	
(16)　照らすはのりのおん誓い	G8,255639 (M55639)	
(1)　あらずもどられし年は寄っても	1275(〃)	
(2)　しかるところをしからぬ親	1276(〃)	
(3)　何を言うてもこちの人	1277(〃)	
(4)　ああいやみ台様はその以来	1278(〃)	
(5)　神武天皇様このかた	1279(〃)	
(6)　はれやれうれしや面倒なやつ	1280(〃)	
(7)　やあいつの間にやら来たとも	1281(〃)	
(8)　こなさんが言われずば	1282(〃)	
(9)　三人のその中に	1283(〃)	
(10)　われに代わってお礼も申し	1284(〃)	
(11)　わしきふぜいなり白太夫	1285(〃)	
(12)　頼みも力も落ちはてて	1286(〃)	
(13)　これこの刀で介しゃくすれば	1287(〃)	
(14)　打つやこの世の別れのねぶつ	1288(〃)	
(15)　しゅもくと変わるつえとかさ	1289(〃)	
(16)　ひと木は枯れし無常の桜	1290(〃)	
(＊)　……		↔[3—320]
(2)　あったら若者殺せしと	2905-B(2905-B-1-1)	
(3)　なむあみだんぶつ	2905-C(2905-C-1-2)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
45	菅原伝授手習鑑 道真下館の場	(歌) Ⅰ津ばめ太夫 (三) Ⅳ綱造	コロ Ⅲb 黒	3—320
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅹ染太夫 (三) Ⅳ広作	ライ Ⅰa 緑・赤	1— 56A B 57A B 58A B 59A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅹ染太夫 (三) Ⅳ広作	ミカド Ⅰa 赤	1— 72 73 74 75 76 77
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	17—24
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ袁糸	シンホニイ Ⅰa 赤	1—202A B 203A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ袁糸	シンホニイ Ⅰa 赤	1—204
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ袁糸	ニポ Ⅰa 赤	1—205A B 206A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ袁糸	ニポ Ⅰc 赤	1—207A B 208A B 209A B 210A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 義を立て守る夫のことば	2905-A(2905-A-1-1)	↔[3—318]
(1) 小太郎が母いきせきと	70843(〃)	
(2) 若君菅秀才のお身代わり	70844(〃)	
(3) 一礼はまずあとの事	70845(〃)	
(4) 持つべきものは子なるとは	70846(〃)	
(5) かっぱと伏して泣きければ	70847(〃)	
(6) 御恩も送らず先だちし＊	70848(〃)	
(7) いずれもは門火門火と	70849(〃)	
(8) 是非もなやあすの夜たれか	70850(〃)	
(1) 表はそれともしらがの親じ＊	2119(ナシ)	
(2) 小太郎が母涙ながら	2120(ナシ)	
(3) よもや貴殿が討ちはせまい	2121(ナシ)	
(4) 持って寺入りさすという	2122(ナシ)	
(5) にっこりと笑うて	2123(ナシ)	
(6) 嘆きも漏れて菅秀才＊	2124(ナシ)	
(1) み台若君もろともに	12015(C12015)	30cm
(1) 小太郎が母涙ながら＊	19(〃)	＝1—207A
(2) 机の数をあらためしも	20(〃)	＝ B
(＊) ……		↔[1—205]
(5) 利口なやつりっぱなやつ＊	23(〃)	＝1—209A
(6) こりゃこりゃ女房小太郎が死がい	24(〃)	＝ B
(1) あすの夜たれか添え乳せん	26(〃)	≒1—206B 1—210B 1—211B
(＊) ……		↔[1—202]
(3) 死に顔なりともま一度見たさに＊	21(〃)	＝1—208A
(4) こりゃ女房もなんでほえる	22(〃)	＝ B
(＊) ……		
(7) み台若君もろともに	25(〃)	＝1—210Aα
(8) あすの夜たれか添え乳せん	26(〃)	＝1—211Bα
(1) 小太郎が母涙ながら＊	19(〃)	＝1—202A
(2) 机の数をあらためしも	20(〃)	＝ B
(3) 死に顔なりともま一度見たさに＊	21(〃)	＝1—205A
(4) こりゃ女房もなんでほえる	22(〃)	＝ B
(5) 利口なやつりっぱなやつ＊	23(〃)	＝1—203A
(6) こりゃこりゃ女房小太郎が死がい	24(〃)	＝ B
(7) み台若君もろともに	25(〃)	≡1—211A
(8) あすの夜たれか添え乳せん	26(〃)	＝ Bα

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ猿糸	ニポ Ⅰc 赤	1—211 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ鶴太郎	コロ Ⅲa 赤	17—29 30 31 32 33 34 35 36
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ猿糸	コロ Ⅳa 青	17—38 39 40 41 42 43
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ猿糸	コロ Ⅳb 黒	17—44 45
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅰ文太夫 (三) Ⅰ勝太郎	コロ Ⅲb 黒	1—261 B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅳ叶	コロ Ⅹa 青	1—326 A B 327 A B 328 A B 329 A

詞章	音盤番号	備考
(＊) ……		
(7) み台若君もろともに	25(〃)	≡1—210A
(8) あすの夜たれか添え乳せん	26(〃)	＝ Bα
(1) 表はそれともしらがの親じ	2919-A (2919-A-1-2)	30cm
(2) 色白白とうりざね顔＊	2919-B (2919-B-1-1)	
(＊) ……		
(4) 推量あれ源蔵殿	2919-D (2919-D-1-1)	
(＊) ……		
(6) あの逃げ隠れもいたさずにな	2819-F (2919-F-1-1)	
(7) 悲嘆の涙のうそのおじ御に	2919-G (2919-G-1-1)	
(8) 小太郎が死がいあの乗り物へ	2819-H (2919-H-1-1)	
(9) み台若君もろともに	2819-I (2919-I-1-1)	
(10) らむうい目見る親心	2819-J (2919-J-1-1)	
(1) 梅は飛び桜は枯るる	2742-A (2742-A-1-1)	30cm
(2) 何とぞ主従の縁切らんと	2742-B (2742-B-1-1)	↔[17—44]
(3) 持つべきものは子なるとは	2742-C (2742-C-1-1)	
(4) ともに悲しむ戸浪は立ち寄り	2742-D (2742-D-1-1)	
(5) 親に代わって恩送り	2742-E (2742-E-1-1)	
(＊) ……		
(7) 頼み頼まるるみ台若君	2742-G (2742-G-1-1)	
(＊) ……		30cm
(6) はやおんいでと戸を開けば	2742-F (2742-F-1-X-1)	↔[17—38]
(＊) ……		
(8) あすの夜たれか添え乳せん	2742-H (2742H-1-2)	
(＊) ……		
(3) めいどの旅へ寺入りの	2909-C (2909-C-1-2)	
(1) どりゃこちの子と近づきにと	35137-A (NE40558)	
(2) たちまち面色和らぎ	35137-B (NE40559)	
(3) 是非に及ばず首打って	35138-A (NE40560)	
(4) 大事は小事よりあらわるる	35138-B (NE40561)	
(5) かかる所へ春藤玄蕃	35139-A (NE40562)	
(6) 菅丞相のゆかりの者	35139-B (NE40563)	
(7) 次は十五のよだれくり	35140-A (NE40564)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 330A B 331A B 332A B 333A B 334A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 竹三郎	コロ Ⅳa 青	2— 33 34
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ホガ Ⅱb 紫	2—257A B 258A B 259A B 260A B 261A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—191A B 192A B 193A B 194A B 195A

詞章	音盤番号	備考
(8) しばしの容赦とひまどらせ	35140-B (NE40565)	
(9) 何にもせよひまどらすが	35141-A (NE40566)	
(10) さあ実検せよ検分と	35141-B (NE40567)	
(11) 夫婦はかどの戸ぴっしゃり締め	35142-A (NE40568)	
(12) 不思議の思いに剣もなまり	35142-B (NE40569)	
(13) なれども身代わりに立つべき	35143-A (NE40570)	
(14) 死に顔なりともま一度見たさに	35143-B (NE40571)	
(15) いやなに源蔵殿申しつけては	35144-A (NE40572)	
(16) せがれがことを思うにつけ＊	35144-B (NE40573)	
(17) 乗せて夫婦が上着を取れば	35145-A (NE40574)	
(18) いろは書く子あえなくも	35145-B (NE40575)	
(1) み台若君もろともに	2730-A (2730-A-1-X-1)	
(2) あすの夜たれか添え乳せん	2730-B (2730-B-1-1)	
(1) 引き連れ急ぎ行くどりゃこちの	8461(〃)	↔[3—191]
(2) お師匠様今から頼み上げますと	8462(〃)	
(3) 病みほうけながら検分の	8463(〃)	
(4) いやその事は気づかいあるな	8464(〃)	
(5) かかる所へ春藤玄蕃	8465(〃)	
(6) 菅丞相のゆかりの者	8466(〃)	
(7) 嫁にも食わさぬこの孫を	8467(〃)	
(8) かりそめならぬ右大臣の若君	8468(〃)	
(9) やあ何にもせよひまどらすが	8469(〃)	
(10) 後ろは取り手向こうはくせ者	8470(〃)	
(＊) ……		↔[2—257]
(11) 夫婦はかどの戸ぴっしゃり締め	8891(〃)	
(12) ふむおそんなら連れて帰りましょ	8892(〃)	
(13) 武部源蔵威儀を正し	8893(〃)	
(14) 持つべきものは子なるぞやと	8894(〃)	
(15) 死ぬる子はみめよしと	8895(〃)	
(16) でかしおりました利口なやつ	8896(〃)	
(17) ともにひたするありがた涙	8897(〃)	
(18) 下に白むく麻がみしも	8898(〃)	
(19) しゃくり上げたるおん涙	8899(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅴさの太夫 (三) 団七	ニポ Ⅰa 赤	3—312 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ビク Ⅴc 赤	4— 25 A B 26 A B 27 A B 28 A B 29 A B 30 A B 31 A B 32 A B 33 A B 34 A B 35 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	オリ Ⅳb 多色	4— 85 A B 86 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—153 A B 154 A B 155 A B 156 A B 157 A B 158 A B 159 A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(20)　あすの夜たれか添え乳せん	8900(〃)	
(1)　武部源蔵しら台に	656(〃)	
(2)　むうこりゃ菅秀才の首	657(〃)	
(1)　引き連れ急ぎ行くどりゃこちの	13391-A(6452)	
(2)　心ならず女房立ち寄り	13391-B(6453)	
(3)　なんとよい子よい弟子で	13392-A(6454)	
(4)　是非に及ばず首打って	13392-B(6455)	
(5)　今にも小太郎が母親	13393-A(6456)	
(6)　妻が嘆けば夫も目をすり	13393-B(6457)	
(7)　皆これにおる者の子供が	13394-A(6458)	
(8)　こりゃやい百姓めら	13394-B(6459)	
(9)　次は十五のよだれくり	13395-A(6460)	
(10)　すわ身の上と源蔵も	13395-B(6461)	
(11)　とく切れと玄蕃が権柄	13396-A(6462)	
(12)　武部源蔵しら台に	13396-B(6463)	
(13)　家来衆源蔵夫婦を	13412-A(6464)	
(14)　検使の玄蕃は検分の	13412-B(6465)	
(15)　似たと言うてもかわらとこがね	13413-A(6466)	
(16)　小太郎が母涙ながら	13413-B(6467)	
(17)　よもや貴殿が討ちはせまい	13414-A(6468)	
(18)　持つべきものは子なるとは	13414-B(6469)	
(19)　ともに悲しむ戸浪は立ち寄り	13415-A(6470)	
(20)　でかしおりました利口なやつ*	13415-B(6471)	
(21)　み台若君もろともに	13416-A(6472)	
(22)　あすの夜たれか添え乳せん	13416-B(6473)	
(1)　表はそれともしらがの親じ	1708-A(〃)	
(2)　わたしがせがれは器量よし	1708-B(〃)	
(3)　なにがさ生き顔と死に顔は	1709-A(〃)	
(4)　何にもせよひまどらすが	1709-B(〃)	
(1)　引き連れ急ぎ行くどりゃこちの	83-A(ナシ)	
(2)　ええ氏より育ちというに	83-B(ハ43)	
(3)　たちまちに面色和らぎ	84-A(ナシ)	
(4)　是非に及ばず首打って	84-B(ナシ)	
(5)　今にも小太郎が母親	85-A(4)	
(6)　せまじきものは宮仕えと	85-B(47)	
(7)　はばかりながらかれらとても	86-A(?)	
(8)　表はそれともしらがの親じ	86-B(?)	
(9)　色白白とうりざね顔	87-A(?)	
(10)　古手なことして後悔すなと	87-B(ニ)	
(11)　何にもせよひまどらすが	88-A(?)	
(12)　今浄はりの鏡にかけ	88-B(?)	
(13)　検使の玄蕃は検分の	89-A(?)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 160 A B 161 A B 162 A B 163 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ叶 (三)	ハンプカイ Ⅱa 青	4—268 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—289 B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰb 赤	4—297 A B 298 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰc 赤	4—313 A B 314 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸	ニポ Ⅱa 赤	4—323 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ヒコ Ⅱb 赤	4—353 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	スヒンクス Ⅱb 赤	4—354 A B 355 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 巌太夫 (三) 新造	テイ Ⅳa 緑	5— 26 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 66 A B 67 A B 68 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(14)　小太郎が母いきせきと (15)　ふむしてしてそのもとは何人の (16)　先へ回してこの身代わり (17)　めいどの旅へ寺入りと (18)　ともに悲しむ戸浪は立ち寄り (19)　やつや九つで親に代わって (20)　されば されば北嵯峨の (21)　み台若君もろともに (22)　あすの夜たれか添え乳せん	89-B(？) 155-A(？) 155-B(57) 156-A(？) 156-B(？) 157-A(？) 157-B(？) 158-A(＝64) 158-B(＝65)	
(1)　あいと返事のそのうちに (2)　六道能化のでしになり	9869(〃) 9870(〃)	
(1)　表はそれともしらがの親じ	1784(〃)	
(1)　かかる所へ春藤玄蕃 (2)　今日の役目仕おおすれば (3)　表はそれともしらがの親じ (4)　わたしがせがれは器量よし	5041(〃) 5042(〃) 5043(〃) 5044(〃)	
(＊)　…… (5)　しばしの容赦とひまどらせ (6)　やあがてんの行かぬ先だって (7)　忍びのつば元くつろげて (8)　眼力光らす松王が	 15374-A(〃) 15374-B(〃) 15375-A(〃) 15375-B(〃)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	16426-A(〃) 16426-B(〃)	
(1)　夫婦はかどの戸ぴっしゃり締め (2)　女は会釈しこれはまあまあ	5419(？) 5420(〃)	
(＊)…… (5)　育ちも生まれも卑しくば＊ (6)　されば されば北嵯峨の (7)　み台若君もろともに (8)　あすの夜たれか添え乳せん	 4523(5423) 5424(〃) 4525(5425) 5426(〃)	
(1)　心を察して源蔵夫婦 (2)　散りぬる命是非もなや	15178(5743) 15178(5744)	カビ
(1)　かかる所へ春藤玄蕃 (2)　菅丞相のゆかりの者 (3)　嫁にも食わさぬこの孫を (4)　やあ源蔵この玄蕃が (5)　何にもせよひまどらすが (6)　(笑)なんのこれしきに	50640-A(〃) 50640-B(〃) 50641-A(〃) 50641-B(〃) 51062-A(657) 51062-B(658)	≡〔5—70〕α

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				69A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 70A B 71A B 72A B 73A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 74A B 75A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ポリ Ⅰa 黒	5— 92A B 93A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅴ和泉太夫 (三) Ⅲ友之助	ナイガイ Ⅰa 赤	5—101A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—182A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 鏡太夫 (三) 市之助	ビク Ⅵa 黒	5—268A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—335A B 336A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 63A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	タイ Ⅰa 赤	6—102A B 103A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 錦太夫 (三) 仙市	ニポ Ⅰa 赤	6—147A B 148A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(7)　検使の玄蕃は検分の (8)　小太郎が母いきせきと	51063-A(659) 51063-B(660)	
(1)　かかる所へ春藤玄蕃 (2)　菅丞相のゆかりの者 (3)　嫁にも食わさぬこの孫を (4)　やあ源蔵この玄蕃が (5)　何にもせよひまどらすが (6)　(笑)なんのこれしきに (7)　検使の玄蕃は検分の (8)　小太郎が母いきせきと	50640-A(〃) 50640-B(〃) 50641-A(〃) 50641-B(〃) 51062-A(657) 51062-B(658) 51063-A(659) 51063-B(660)	≡[5—66]α
(1)　かかる所へ春藤玄蕃 (2)　菅丞相のゆかりの者 (3)　嫁にも食わさぬこの孫を (4)　やあ源蔵この玄蕃が	50640-A(〃) 50640-B(〃) 50641-A(〃) 50641-B(〃)	≡5—66Aα ≡　　Bα ≡5—67Aα ≡　　Bα
(1)　死に顔なりともま一度見たさに＊ (2)　嘆きも漏れて菅秀才 (3)　心を察して源蔵夫婦 (4)　いろは書く子あえなくも	1085-A(1510N) 1085-B(1511N) 1086-A(1512N) 1086-B(1513N)	
(1)　死に顔なりともま一度見たさに＊ (2)　み台若君もろともに	1519(〃) 1520(〃)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	1279-A(〃) 1279-B(〃)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	J-54315(9274) J-54315(9275)	
(1)　ま一度見たさに未練と＊ (2)　ついでながら若君様へ (3)　ああいやいやそれはわが子にあらず (4)　散りぬる命是非もなや	5529-A(〃) 5529-B(〃) 5530-A(〃) 5530-B(〃)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	50764-A(〃) 50764-B(〃)	
(1)　めいどの旅へ寺入りと＊ (2)　嘆きも漏れて菅秀才＊ (3)　み台若君もろともに (4)　剣と死出のやまけこえ	56278-A(14933-1) 56278-B(14934-1W) 56279-A(14935W) 56279-B(14936W)	
(1)　どりゃこちの子と近づきにと (2)　うちまもりいたりしが (3)　急ぎ首打って差し出すや (4)　この儀に当惑さしあたったは	3116(〃) 3117(〃) 3118(〃) 3119(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 京子 (三) 京枝	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	6—267
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 越喜美 (三) 清一	ポリ Ⅰb 黒	6—272 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 小清	コロ Ⅲb 黒	6—276
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 小豊後 (三) <団光>	コロンビアデスク Ⅰa 桃	6—308
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	オリ Ⅵb 黒	6—360 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 16 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	シヨオワ Ⅰa 紫	7— 18 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 団司 (三) 小住	ウオルド Ⅰa 黒	7— 58 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7— 99 A B 100 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—112 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	オリ Ⅶa 紫	7—118 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	キリン Ⅰa 黒	7—153 A B 154 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　長松ちょまよちょまよと	G. C. 13127(E358)	
(1)　門火を頼み頼まるる (2)　あすの夜たれか添え乳せん	581-A(2765BF) 581-B(2766BF)	
(1)　み台若君もろともに	47826(47826-1-X-1)	
(1)　み台若君もろともに	2136(2136-1-A)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	4720-A(9701) 4720-B(9702)	
(1)　いずれもは門火門火と (2)　あすの夜たれか添え乳せん	2049-A(一二八) 2049-B(一二九)	
(1)　いずれもは門火門火と (2)　あすの夜たれか添え乳せん	832-A(三二八) 832-B(三二九)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	2806(D32) 2807(D33)	紙製レコード
(1)　表はそれともしらがの親じ (2)　色白白とうりざね顔＊ (3)　門火を頼み頼まるる (4)　あすの夜たれか添え乳せん	66303-A (62714) 66303-B (62715) 66304-A (62716) 66304-B (62717)	
(1)　表はそれともしらがの親じ＊ (2)　小太郎が母息せきと	B252(〃) B253(〃)	
(1)　いずれもは門火門火と (2)　あすの夜たれか添え乳せん	60481-A (61890) 60481-B (61891)	
(1)　あとには大ぜい村の者 (2)　こりゃやい百姓めら (3)　次は十五のよだれくり (4)　すわ身の上と源蔵も	K. 530-A(4959) K. 530-B(4960) K. 531-A(?) K. 531-B(?)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 長広	ビク Ⅰa 黒	7—163
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅲa 赤	7—182 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) 二三竜 (三) 一二	ビク Ⅲa 黒	7—249 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 豆之助	ビクタアジユニア Ⅰb 青	7—253 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—297 A B 298 A
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 42 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅱb・Ⅱc 赤	8— 87 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 94 A B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	スヒンクス Ⅱb 赤	8—107 A B
46	勢州阿漕浦 平治内の場	(歌) Ⅲ和佐太夫 (三) 語左衛門	グラモホン Ⅰa 黒	1—201
46	勢州阿漕浦 平治内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—196 A B 197 A B 198 A B 199 A B 200 A B 201 A B 202 A B 203 A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　小太郎が母涙ながら	11146(B11146)	
(1)　み台若君もろともに (2)　親心剣と死出の	1529-A(〃) 1529-B(〃)	(1)キズ
(1)　嘆きも漏れて菅秀才＊ (2)　み台若君もろともに	50227-A(C50227A-1) 50227-B(B50227B-2)	
(1)　み台若君もろともに (2)　あすの夜たれか添え乳せん	J-10156-A(E-266) J-10156-B(E-267)	
(1)　死に顔なりとも今一度見たさに＊ (2)　いやいやこれはわが子にあらず (3)　あすの夜たれか添え乳せん	1530(〃) 1531(〃) 1532(〃)	
(1)　あいと返事のそのうちに (2)　散りぬる命是非もなや	25588-A (NE40025) 25588-B (NE40026)	
(1)　死に顔なりとも今一度見たさに＊ (2)　み台若君もろともに	5121(〃) 5122(〃)	=[8—107]
(1)　死に顔なりとも今一度見たさに＊ (2)　み台若君もろともに	1110A(10825) 1110B(10826)	
(1)　死に顔なりとも今一度見たさに＊ (2)　み台若君もろともに	5121(〃) 5122(〃)	スレ・カビ =[8—87]
(1)　お春は危うさこたえかね	12428(E1501)	17cm
(1)　故郷は都ここはまた (2)　もうしもうしおふくろ様 (3)　弱るありさまを見れば (4)　言うてくやしき捨てことば (5)　さてそのとがにんがこの村へ (6)　さていやなことはその網打った (7)　けんかでもしたていその上 (8)　おん父田村将軍へ (9)　なんのがんぜものう慰みにも (10)　やいそこな不孝者恩知らずの (11)　その身も末がよかろうか (12)　なるほど平治うちにおります (13)　(笑)こりゃおもしろいおもしろい (14)　ごくにも立たぬあご聞かずと (15)　油断すな平瓦と＊	4909(〃) 4910(〃) 4911(〃) 4912(〃) 4913(〃) 4914(〃) 4915(〃) 4916(〃) 4917(〃) 4918(〃) 4919(〃) 4920(〃) 4921(〃) 4922(〃) 4923(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
46	**勢州阿漕浦** 平治内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—285A
47	**関取千両幟** 角力場の場	(三) 弥七 (口上) Ⅱ相生太夫	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	1— 22
47	**関取千両幟** 角力場の場	(三) 弥七 (口上) Ⅱ相生太夫	ビク Ⅰb 黒	1— 25
47	**関取千両幟** 角力場の場	(三) 弥七 (口上) Ⅱ相生太夫	ビク Ⅳb 黒	1— 26A
47	**関取千両幟** 角力場の場	(三) 弥七 (口上) Ⅱ相生太夫	コロ Ⅲb 黒	1— 30B
47	**関取千両幟** 角力場の場	(三) 弥七 (口上) Ⅱ相生太夫	ナシヨナル Ⅰa 灰	1— 31A
47	**関取千両幟** A. 猪名川内の場 B. 角力場の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅰa 赤	2— 43A B
47	**関取千両幟** 猪名川内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) Ⅱ猿二郎	コロ Ⅲa 赤	17—48
47	**関取千両幟** 猪名川内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	ニポ Ⅰa 赤	2—143A B
47	**関取千両幟** A. 猪名川内の場 B. 角力場の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六 〔胡弓入〕 〔口上入〕	オリ Ⅴb 黒	2—178A B 179A B
47	**関取千両幟** A. 猪名川内の場 B. 角力場の場	(歌) Ⅴさの太夫 (三) 団七 〔口上入〕	ニポ Ⅰa 赤	3—313A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(16)　おのれがとがを人に塗っても	4924(〃)	
(1)　ああこここここここさてもこなたは	1790(〃)	
(1)　(序)(合)	G.C.12334(E377)	櫓太鼓曲弾 ≒1—25 1—26A 1—31A
(1)　(序)(合)	11376(E377)	櫓太鼓曲弾 カケ =1—26A 1—31A ≒1—22
(1)　(序)(合)	11376-A(E377)	櫓太鼓曲弾 =1—25 1—31A ≒1—22
(1)　(序)(合)	2338(2338-1-3)	櫓太鼓曲弾
(1)　(序)(合)	ナシ	櫓太鼓曲弾 =1—25 1—26A ≒1—22
(1)　A. すもう取りをおとこに持ち＊ (2)　B. (合)	1275(1611-1618) 1276(1611-1618)	(2)櫓太鼓曲弾
(1)　すもう取りをおとこに持ち	2921(2921-1-1)	30cm
(1)　あとに猪名川もろ手を組み＊ (2)　すもう取りをおとこに持ち	816(〃) 817(〃)	
(1)　A. 芝居は南米市は北＊ (2)　押しては言わぬもつれ髪 (3)　すもう取りをおとこに持ち＊ (4)　B. (序)(合)	1878-A(京245) 1878-B(京246) 1879-A(?) 1879-B(?)	(4)櫓太鼓曲弾
(1)　A. すもう取りをおとこに持ち＊ (2)　B. (序)(合)入りあい告ぐる	662(〃) 663(〃)	(2)櫓太鼓曲弾

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
47	**関取千両幟** A. 猪名川内の場 B. 角力場の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六 〔口上入〕	ミカド Ⅰa 赤	4—258A B
47	**関取千両幟** 角力場の場	(歌) ? (三) 兵吉 〔口上入〕	コロ Ⅲb 黒	6—151B
47	**関取千両幟** 猪名川内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—163A
47	**関取千両幟** 猪名川内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	メリイ Ⅰa 赤	6—175
47	**関取千両幟** 猪名川内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅲa 赤	8— 67A
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲa 青	1— 42 43 44 45 46
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅸ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲa 黒	1— 47
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅸ染太夫 (三) Ⅳ広作	ミカド Ⅰa 赤	1— 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	ニポ Ⅰa 赤	2—144A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ライ Ⅰa 緑・赤	2—166A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅱa 赤	2—220A B 221A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　A．江戸長崎国国へ＊ (2)　B．(序)(合)	20171(〃) 20172(〃)	(2)櫓太鼓曲弾
(1)　山なせり響くやぐらの	2661(2661-1-2)	櫓太鼓曲弾
(1)　すもう取りをおとこに持ち	1122(〃)	
(1)　すもう取りをおとこに持ち	1420(〃)	
(1)　おお道理でござんす	A411(〃)	
(1)　しんたる夜の道恋の道には (2)　かくとは知らで玉手御前＊ (3)　目を回して死んだらしあわせ (＊)　…… (6)　いっそ沈まばどこまでもと (7)　父はとこうのことばなく＊	2806-A (2806-A-1-X-1) 2806-B(2806-B-1-1) 2806-C(2806-C-1-1) 2806-F (2806-F-1-X-1) 2806-G(2806-G-1-1)	↔[1—47]
(＊)　…… (5)　うそかとはし持って	 ナシ(2806-E-1-X-1)	↔[1—42]
(1)　しんたる夜の道恋の道には (2)　かくとは知らで玉手御前＊ (3)　いとしいかわいい子を先だて (4)　いかさまのうこの世を離れた (5)　思い余ってうちつけに＊ (6)　そうぬかしやもう堪忍がと＊ (7)　かかるけやけき姿をば (8)　これこのあわびで勧めた酒は (9)　玉手はすっくと立ち上がり＊ (10)　とりどり広げるじゅずの輪の (11)　今また無事なと喜んだも＊	2129(ナシ) 2130(ナシ) 2131(ナシ) 2132(ナシ) 2133(ナシ) 2134(ナシ) 2135(ナシ) 2136(ナシ) 2137(ナシ) 2138(ナシ) 2139(ナシ)	(11)カケ
(1)　玉手はすっくと立ち上がり＊ (2)　始終を聞いて俊徳丸	818(〃) 819(〃)	
(1)　母はようよう心を静め (2)　つれない返事堅いほど	71087(〃) 71088(〃)	
(1)　しんたる夜の道恋の道には (2)　かくとは知らで玉手御前＊ (3)　母はようよう心を静め	1903-A(〃) 1903-B(〃) 1904-A(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ビク Ⅴb・Ⅴc 赤	3—351A B 352A B 353A B 354A B 355A B 356A B 357A B 358A B 359A B 360A B 4— 1A B 4— 2A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 77A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—164A B 165A B 166A B 167A B 168A B 169A B 170A B 171A

詞章	音盤番号	備考
(4) 言うても親子の道を立て	1904-B(〃)	
(1) しんたる夜の道恋の道には	13042-A (995)	
(2) 尋ねかねつつ人目をも	13042-B (996)	
(3) やあわりゃまだ死なぬか	13043-A (997)	
(4) もとより娘は切られて死んだ	13043-B (998)	
(5) 心の隔て泣き寄りの	13044-A (999)	
(6) 身をそむけるは泣く百倍	13044-B (1000)	
(7) うそかとはし持って	13045-A (1001)	
(8) つれない返事堅いほど	13045-B (1002)	
(9) 父はとこうのことばなく	13079-A (1936)	
(10) いかなるとがのめしうども	13079-B (1937)	
(11) 俊徳様に会うたらば	13080-A (1938)	
(12) 今の様子を聞くにつけ	13080-B (1939)	
(13) (笑)おお愚かな事を	13081-A (1940)	
(14) いつかあわびの片思い	13081-B (1941)	
(15) 道も法も聞く耳持たぬ	13082-A (1942)	
(16) こりゃやいこりゃおのればかりか	13082-B (1943)	
(17) ああ義理ある仲のお子といい	13083-A (1944)	
(18) 義理ある仲に変わりはない	13083-B (1945)	
(19) それでそれでこの杯	13084-A (1946)	
(20) 始終を聞いて俊徳丸*	13084-B (1947)	
(21) どっともう憎いと思うた	13085-A (1948)	
(22) 俊徳丸をひざもとへ*	13085-B (1949)	
(23) なむあみだぶつなむあみだぶつ	13086-A (1950)	
(24) 俊徳君も涙をとどめ	13086-B (1951)	
(1) 様子を聞いて俊徳丸*	846(〃)	
(2) 嘆きの中に母親は	847(〃)	
(1) しんたる夜の道恋の道には	404-A(〃)	=[4—175]
(2) 立ち寄るあとより入平が	404-B(〃)	
(3) やあもどったとは夢ではないか	405-A(〃)	
(4) 泣かねど親の慈悲心を	405-B(〃)	
(5) かわいや立ち寄る所はなし	406-A(〃)	
(6) 面はゆげなる玉手御前	406-B(〃)	
(7) あしの浦浦難波潟	407-A(〃)	
(8) 後の奥方に引き上ぎょうと	407-B(〃)	
(9) 助けたい助けたいばっかりに	408-A(〃)	≡4—179A
(10) 引っ立て引っ立て無理やりに	408-B(〃)	
(11) のたもう声を聞き取る門口	409-A(〃)	
(12) これこのあわびで勧めた酒は	409-B(〃)	
(13) さ元のお顔にして返しゃと	410-A(〃)	
(14) われ泣いては左衛門様や	410-B(〃)	
(15) うう様子というはほかでもなく	411-A(〃)	=4—186A

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 172 A B 173 A B 174 A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—175 A B 176 A B 177 A B 178 A B 179 A B 180 A B 181 A B 182 A B 183 A B 184 A B 185 A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—186 A B 187 A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニト Ⅰa 黒	4—188 A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ポリ Ⅰa 黒	5— 94 A B 95 A B

詞章	音盤番号	備考
(16) その様子を夫へ告げなば	411-B(〃)	= B
(17) とらの年とらの月とらの日	412-A(〃)	≡4—183A
(18) 親の手にかけむごい最期も	412-B(〃)	≡ B
(19) ええ憎いと思うた張り合い	413-A(〃)	
(20) 外にはてての親粒が	413-B(〃)	
(21) なむあみだんぶつ	414-A(〃)	
(22) 嘆きの中に母親は	414-B(〃)	
(1) しんたる夜の道恋の道には	404-A(〃)	=[4—164]
(2) 立ち寄るあとより入平が	404-B(〃)	
(3) やあもどったとは夢ではないか	405-A(〃)	
(4) 泣かねど親の慈悲心を	405-B(〃)	
(5) かわいや立ち寄る所はなし	406-A(〃)	
(6) 面はゆげなる玉手御前	406-B(〃)	
(7) あしの浦浦難波潟	407-A(〃)	
(8) 後の奥方に引き上ぎょうと	407-B(〃)	
(9) 助けたい助けたいばっかりに	408-A(〃)	≡4—168A
(10) 引っ立て引っ立て無理やりに	408-B(〃)	
(11) のたもう声を聞き取る門口	409-A(〃)	
(12) これこのあわびで勧めた酒は	409-B(〃)	
(13) さ元のお顔にして返しゃと	410-A(〃)	
(14) われ泣いては左衛門様や	410-B(〃)	
(15) うう様子というはほかでもなく	411-A(〃)	=4—186A α
(16) その様子を夫へ告げなば	411-B(〃)	= B α
(17) とらの年とらの月とらの日	412-A(〃)	≡4—172A
(18) 親の手にかけむごい最期も	412-B(〃)	≡ B
(19) ええ憎いと思うた張り合い	413-A(〃)	
(20) 外にはてての親粒が	413-B(〃)	
(21) なむあみだんぶつ	414-A(〃)	
(22) 嘆きの中に母親は	414-B(〃)	
(*) ……		
(15) うう様子というはほかでもなく	411-A(〃)	=4—171A α
(16) その様子を夫へ告げなば	411-B(〃)	= B α
(17) とらの年とらの月とらの日	412-A(〃)	=4—172A α
(18) 親の手にかけむごい最期も	412-B(〃)	= B α
(*) ……		
(17) とらの年とらの月とらの日	412-A(〃)	=4—172A α
(18) 親の手にかけむごい最期も	412-B(〃)	= B α
(1) 泣かねど親の慈悲心を	1129-A(1502N)	
(2) ああかわいや立ち寄る所はなし	1129-B(1503N)	
(3) 面はゆげなる玉手御前	1130-A(1504N)	
(4) 沈まばどこまでもと	1130-B(1505N)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅹ若太夫 (三) Ⅳ綱造	ニツポンマアキ ユリイ Ⅰa 赤	5—151A B 152A B 153A B 154A B 155A B 156A B 157A B 158A B 159A B 160A B 161A B
48	**摂州合邦辻** 合邦内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲb 黒	6— 1A B 2A B

詞章	音盤番号	備考
(1) しんたる夜の道恋の道には	M-1006 (X2150)	
(2) 立ち寄るあとより入平が	M-1006 (X2151)	
(3) そうおっしゃるはかかさんか	M-1007 (X2152)	
(4) 泣かねど親の慈悲心を	M-1007 (X-2153)	
(5) むむあいかさまのうこの世を	M-1008 (X-2154)	
(6) 面はゆげなる玉手御前	M-1008 (X2155)	
(7) あしの浦浦難波潟	M-1009 (X2156)	
(8) がまた高安殿が今日まで	M-1009 (X-2157)	
(9) つづやはたちの年ばいで	M-1010 (X-2158)	
(10) 母は意地ばる娘の手	M-1010 (X2159)	
(11) おん目にかかってその上に	M-1011 (X2160)	
(12) さればいな去年霜月住吉で	M-1011 (X2161)	
(13) 姫はいっそ涙もいでず	M-1012 (X2162)	
(14) かどには入平身に冷や汗	M-1012 (X2163)	
(15) ううんこれには深い様子の	M-1013 (X2164)	
(16) 根が卑しい女ゆえ＊	M-1013 (X-2165)	
(17) 典薬法眼に様子を打ち明け	M-1014 (X-2166)	
(18) ももなんにも言わぬ堪忍して	M-1014 (X-2167)	
(19) 手負いは顔を振り上げて	M-1015 (X-2168)	
(20) 俊徳丸をひざもとへ	M-1015 (X-2169)	
(21) なむあみだんぶつ	M-1016 (X-2170)	
(22) 継母は貞女のかがみとも	M-1016 (X-2171)	
(1) 泣かねど親の慈悲心を	10494(5645, 5654)	
(2) あれ聞いてか合邦殿	10494 (5647-1, 5777B57)	
(3) 世間のうわさにはの	10495(5648, 5778A)	
(4) つれない返事堅いほど	10495(5649)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—291 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 玄番米子	ニト Ⅰa 赤	7— 21 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	オリ Ⅶb 紫	7—119 A B 120 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅳa 多色	7—184 A B 185 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 旭嬢 (三) 広春	ホガ Ⅱb 紫	7—201 A B 202 A B 203 A B 204 A B 205 A B 206 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 雛昇 〔口上入〕	ツル Ⅰa 紫	7—238 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 広春 (三) 東馬鶴	コロ Ⅳa 青	7—245
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—299 A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—324 A B 325 A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(＊) …… (3) あとを慕うて知らぬ道 (4) 玉手はすっくと立ち上がり	 2158-A(〃) 2158-B(〃)	
(1) 面はゆげなる玉手御前 (2) いやまさる恋のふち	334-A(〃) 334-B(〃)	題紙には「元豊竹昇之助事」
(1) こりゃあのうそであろ (2) 沈まばどこまでもと＊ (3) いつかあわびの片思い (4) 玉手はすっくと立ち上がり	60635-A (62291) 60635-B (62292) 60636-A (62293) 60636-B (62294)	(3)カビ
(1) しんたる夜の道恋の道には＊ (2) 娘は涙おしぬぐい＊ (3) うそかうそかとはし持って (4) いっそ沈まばどこまでもと	1461-A(〃) 1461-B(〃) 1462-A(〃) 1462-B(〃)	
(1) 影さえ見えぬ目なし鳥＊ (2) (笑)おお愚かな事 (3) はだ身放さず抱きしめて (4) 玉手はすっくと立ち上がり (5) 合邦は怒りの顔色 (6) ああ様子というはほかでもなく＊ (7) むむすりゃそちが生まれ月日が (8) ほんにこの子が生まれたは＊ (9) 仏力頼む百万遍 (10) 母は涙の目も明かず＊ (11) 飲み干したまえば不思議やたちまち (12) 東門中心極楽へ	9251(〃) 9252(〃) 9253(〃) 9254(〃) 9255(〃) 9256(〃) 9257(〃) 9258(〃) 9259(〃) 9260(〃) 9261(〃) 9262(〃)	
(1) (序)こりゃあのうそであろ (2) つれない返事堅いほど	6010-A(〃) 6010-B(〃)	カビ
(1) 面はゆげなる玉手御前	2712(2712-1-X-1)	カケ・キズ
(1) とりどり広げるじゅずの輪の (2) 回向のための百万遍	1257(〃) 1258(〃)	
(1) 母はようよう心を静め (2) つれない返事堅いほど＊ (3) とりどり広げるじゅずの輪の (4) 回向のための百万遍	5770(〃) 5771(〃) 5772(〃) 5773(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵa 黒	8— 78A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 貴鳳 (三) 竹三郎	ライ Ⅱa 赤	8—211B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 京山小円 (三) 団二	オリ Ⅲa 黄	8—224A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 斎藤山生 (三) Ⅶ広助 〔口上入〕	ホガ Ⅱb 赤	8—230A B 231A B 232A B 233A B 234A B 235A B 236A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 村上信昇 (三) Ⅳ叶	ホガ Ⅱb 青	8—274A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 赤松赤松 (三) Ⅳ叶	ホガ Ⅱa 緑	8—291A B 292A B
48	摂州合邦辻 合邦内の場	(歌) 吉川蘭瓶 (三) Ⅵ団六	ホガ Ⅱa 赤	8—323A B 324A B 325A B 326A B
49	摂津国長柄人柱 入鹿館の場	(歌) 鶴寿太夫 (三) 清三郎	スヒンクス Ⅲa 緑	6—139B
50	増補大江山 戻橋の場	(歌) (綱)Ⅰ静太夫 (若菜)越登太夫 (三) Ⅷ吉弥・Ⅲ歌助 (八雲琴) 稲丸 〔口上入〕	ニト Ⅰb 茶	5— 45A B 46A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 母はようよう心を静め (2) つれない返事堅いほど	287(〃) 288(〃)	カビ
(1) 母様のおことばなれど	70350(J 70350)	
(1) 俊徳様のおん事は (2) あとを慕うてかちはだし	A1207(〃) A1208(〃)	
(1) (序)しんたる夜の道 (2) 尋ねかねつつ人目をも (3) かかさんかかさんと呼ぶは (4) その夫の目をかすめ (5) 聞く子や妻は内と外 (6) この世を離れた者なれば (7) そなたに限りよもやよもや (8) 言うても親子の道を立て (9) ふびんと思うてともどもに＊ (10) 影さえ見えぬ目なし鳥 (11) おん目にかかってその上に (12) いや増す恋のたねとなる (13) 片思いつれないわいなと (14) 玉手はすっくと立ち上がり	02116(02103) 02115(02104) 02105(〃) 02106(〃) 02111(02107) 02111(02108) 02109(〃) 02110(〃) 02111(〃) 02112(〃) 02113(〃) 02114(〃) 02115(〃) 02116(〃)	(1)(2)(5)(6)に(14)(13)(9)の題紙を使用
(1) 母はようよう心を静め (2) つれない返事堅いほど	9707(〃) 9708(〃)	
(1) とりどり広げるじゅずの輪の (2) よいは死んだと思い子が＊ (3) やあ御本復かと一座の喜び (4) 東門中心極楽へ	7795(〃) 7796(〃) 7797(〃) 7798(〃)	
(1) しんたる夜の道恋の道には (2) 今は心の頼みにて (3) かかさんかかさんここ明けて (4) いとしかわいい子を先だて (5) 娘は涙おしぬぐい (6) 父もほどふる娘が顔 (7) 思い余ってうちつけに (8) あしの浦浦難波潟	7341(3141) 7342(〃) 7343(〃) 7344(〃) 7345(〃) 7346(〃) 7347(〃) 7348(〃)	
(1) 津の国の難波の春は夢なれや	144(〃)	
(1) (序)それ普天の下率土の浜 (2) さても渡辺の源五綱は (3) いかなるよう魔の術あるとも (4) かつきに身をば忍ぶずり	ナシ(347A写) ナシ(347B写) ナシ(348A写) ナシ(348B写)	鴻池家依嘱盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				47A B 48A B 49A B 50
50	**増補大江山** 戻橋の場	(歌) 呂之助 (三) Ⅴ猿糸 (囃) (笛)望月芳三郎 (小)小川勇次 (大)望月太津市郎 (太)望月太津次郎	ニポ Ⅲb 赤	8—147A B 148A B 149A B
50	**増補大江山** 戻橋の場	(歌) 油屋席いし子・東席豆吉 (三) 油屋席米二・油屋席若いし	トキ Ⅱa 赤	8—205A B 206A B 207A B
50	**増補大江山** 戻橋の場	(歌) 村上信昇 (三) Ⅳ仙糸・叶太郎 (八雲琴) 叶太郎	ホガ Ⅱb 青	8—268A B 269A B 270A B 271A B 272A B 273A B
51	**増補菅原伝授手習鑑** 松王丸内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—204A B 205A B 206A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(5)　ほほうこわいと申すは	ナシ(349A写)	
(6)　森はこなたと振り返り	ナシ(349B写)	
(7)　父は五条の扇折り	ナシ(350A写)	
(8)　花の散り行く嵐山	ナシ(350B写)	
(9)　女ははっとそでおおい	ナシ(351A写)	
(10)　こなたはなおもうち解けて	ナシ(351B写)	
(11)　われは愛宕の山奥に	ナシ(352A写)	
(1)　たどる大路に人影も＊	17467-A (NE40125)	
(2)　夜ふけぬうちに早とくとくと＊	17467-B (NE40126)	
(3)　恥ずかしながらそれがしは	17468-A (NE40127)	
(4)　花の散り行く嵐山＊	17468-B (NE40128)	
(5)　まざまざとしたそのおことば＊	17469-A (NE40129)	
(6)　こなたのよう女はたちまちに	17469-B (NE40130)	
(1)　さう月の空の定めなく	1972(〃)	
(2)　西へ回りし月の輪に	1973(〃)	
(3)　綱は女をいたわりて	1974(〃)	
(4)　初瀬の山に雪と見し	1975(〃)	
(5)　てさておもしろきことなりし＊	1976(〃)	
(6)　かく見あらわされし上からは	1977(〃)	
(1)　それ普天の下率土の浜	2047(〃)	
(2)　春雨もいつしか晴れて	2048(〃)	
(3)　おりふしさっと吹き降ろす	2049(〃)	
(4)　またむらだちし雨雲の	2050(〃)	
(5)　かつぎに身をば忍ぶずり	2051(〃)	
(6)　綱は小陰を立ちんでて	2052(〃)	
(7)　月の輪に遠く離れて	2053(〃)	
(8)　綱は女をいたわりて	2054(〃)	
(9)　初瀬の山に雪と見し	2055(〃)	
(10)　てさておもしろきことなりし	2056(〃)	
(11)　姿優しき花しょうぶ＊	2057(〃)	
(12)　かく見あらわされし上からは	2058(〃)	
(1)　八重一重九重近き	4309(〃)	
(2)　同じときわに色変えぬ	4310(〃)	
(3)　定めなき世といいながら	4311(〃)	
(4)　この小太郎が面ざしの	4312(〃)	
(5)　病中なれども時平公より	4313(〃)	
(6)　ふむなるほど逃げうせなば	4314(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				207 A B 208 A B 209 A B 210 A B 211 A B
51	**増補菅原伝授手習鑑** 松王丸内の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅵa 黒	7—193 A B 194 A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新七	ビク Ⅰa 黒	2— 31
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) 十文字楼 (三) 友花 〔琴入〕	ホガ Ⅱb 紫	2— 59 A B 60 A B 61 A B 62 A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ロオヤル Ⅱa 赤	2—133 A
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—145 A
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅲ吉作 (琴) 友衛門 (尺)後藤桃水	スヒンクス Ⅱb 赤	2—206 A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) (若狭介)Ⅰ津ばめ太夫・(本蔵)Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	3—317
52	**増補忠臣蔵** A. 本蔵内の場 B. 奥庭の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六	ビク Ⅴb 赤	4— 3 A B 4 A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(7) あらうれしや喜ばしやと (8) やあいらざる繰り言 (9) わが子の愛に奪われて (10) 非業な最期をさしょうより (11) そのお方をとと様が (12) この子の道しるべ (13) さ思えどもしや女房が (14) やい小太郎がんぜなくとも (15) 力なくなく立ち上がれば (16) み台も共に目にたまる	4315(〃) 4316(〃) 4317(〃) 4318(〃) 4319(〃) 4320(〃) 4321(〃) 4322(〃) 4323(〃) 4324(〃)	
(1) ややあって顔を上げ (2) ようように泣く目をぬぐい＊ (3) 松王はっとひれ伏して＊ (4) 取り出す小そでもかかる身に	1548-A(〃) 1548-B(〃) 1549-A(〃) 1549-B(〃)	カビ
(1) この三千歳が身にひしびしと	11106(C11106)	
(1) 行く水のかみへ流るるためしなく (2) いやなに本蔵今日の成敗＊ (3) おおよき覚悟しかし余を恨む (4) こりゃこりゃ本蔵本蔵 (5) 判官の今の有様＊ (6) なに本蔵そのけさ尺八は (7) なれしふすまの夢を貫く (8) 里のなごりのしば小舟＊	6165(〃) 6166(〃) 6167(〃) 6168(〃) 6169(〃) 6170(〃) 6171(〃) 6172(〃)	
(1) なれしふすまの夢を貫く	1743(〃)	=2—145A
(1) なれしふすまの夢を貫く	1743(〃)	=2—133A
(＊) …… (3) 送る素足の氷のくさび (4) 本蔵近う近う」へへえ	 5331(〃) 5332(〃)	
(1) かくと知らせに若狭介	11124(A11124)	
(1) A. 人知れぬ思いこそのみ (2) 御用すきにや近習井浪番左衛門 (3) 番左衛門だいすのかまの	13222-A(3694) 13222-B(3695) 13223-A(3696)	〔4—8〕の前編

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
				B 5A B 6A B 7A B
52	増補忠臣蔵 本蔵内奥庭の場	(歌)　Ⅱ古靱太夫 (三)　Ⅳ清六 (琴)　清三郎　(尺)関和童	ビク　Ⅴb・Ⅴc 赤	4—　8A B 9A B 10A B 11A B 12A B
52	増補忠臣蔵 A．本蔵内の場 B．奥庭の場	(歌)　Ⅱ古靱太夫 (三)　Ⅲ清六　〔琴入〕	ニト　Ⅰa 黒	4—189A B 190A B 191A B 192A B 193A B 194A B 195A B 196A B
52	増補忠臣蔵 A．本蔵内の場 B．奥庭の場	(歌)　Ⅶ源太夫 (三)　吉松	コロ　Ⅲb 黒	4—283A B
52	増補忠臣蔵 本蔵内奥庭の場	(歌)　Ⅶ源太夫 (三)　Ⅵ団六 (琴)　友若	オリ　Ⅴb 黒	4—348A B

詞章	音盤番号	備考
(4) 慕いこがるる縫之助に	13223-B(3697)	
(5) 朝月のままきぬぎぬに	13224-A(3698)	
(6) 翼あるなら殿様の	13224-B(3699)	
(7) おまえ様が恋いこがれてござる	13225-A(3700)	
(8) だいすのそばに座を構え	13225-B(3701)	
(9) さあ本蔵もうかなわぬ	13226-A(3702)	
(10) B．行く水のかみへ流るる	13226-B(3703)	
(1) かくと知らせに若狭介	13234-A(3704)	[4—3]の続編
(2) むむしからば受けし恥辱はいかに	13234-B(3705)	
(3) さ御前やや時移れば御帰館の	13235-A(3706)	
(4) 本蔵驚きこりゃ番左衛門を	13235-B(3707)	
(5) かほどの家来にいとまつかわす	13236-A(3708)	
(6) 本蔵手を打ちたそお次の衆	13236-B(3709)	
(7) 手ずから賜わるおんたま物	13237-A(3710)	
(8) なれしふすまの夢を貫く	13237-B(3711)	
(9) 送る素足の氷のくさび	13238-A(3712)	
(10) 本蔵近うおもてを上げい	13238-B(3713)	
(1) A．人知れぬ思いこそのみ	615-A(〃)	
(2) こりゃこりゃ家来ども	615-B(〃)	
(3) 本蔵が成敗はさておき	616-A(〃)	
(4) 縫之助様とこの三千歳が	616-B(〃)	
(5) 翼あるなら殿様の	617-A(〃)	
(6) まったおまえ様がお力になさるる	617-B(〃)	
(7) そのおちどゆえに先だってより	618-A(〃)	
(8) B．たどたどと主人の賢慮	618-B(〃)	
(9) かくと知らせに若狭介	619-A(〃)	
(10) すでに番左衛門が申すには	619-B(〃)	
(11) むむ覚悟のていはまだしも	620-A(〃)	
(12) (笑)うれしいかうれしいは	620-B(〃)	
(13) そでやはかまに雨車軸	621-A(〃)	
(14) まったこの一品は妹の三千歳を	621-B(〃)	
(15) なれしふすまの夢を貫く	622-A(〃)	
(16) 浮かれしこともはや迎いの	622-B(〃)	
(＊) ……		
(2) A．縫之助様とこの三千歳が＊	2882-B (2882-B-1-1)	
(3) B．つきぬなごりと本蔵が	2882-C (2882-C-1-2)	
(1) なれしふすまの夢を貫く	1749-A(434)	
(2) 里のなごりのしば小舟	1749-B(435)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内の場	(歌) Ⅰ静太夫 (三) 芳之助	トキ Ⅱa 赤	5— 31A B 32A B
52	**増補忠臣蔵** A. 本蔵内の場 B. 奥庭の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八 (琴) <Ⅺ小庄> (尺)<閑和童>	ビク Ⅴb 黒	5— 76A B 77A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内奥庭の場	(歌) Ⅶ島太夫 (三) <Ⅳ清二郎> (琴) 清丸	ヒコ Ⅲb 青	5—115A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅲa 緑	7—179A B 180A B
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内の場	(歌) (三) 呂昇	エンゼル Ⅰa 赤	8—128
52	**増補忠臣蔵** 本蔵内の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—331A
53	**染模様妹背門松** A. 油屋質店の場 B. 蔵前の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—212A B 213A B 214A B 215A B 216A B 217A B 218A B 219A B 220A B 221A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　人知れぬ思いのみこそ (2)　なるほど心得ました (3)　目には涙の玉すだれ (4)　霞が関と引き別れ	1978(〃) 1979(〃) 1980(〃) 1981(〃)	
(1)　A．あのもずやの煮え音は (2)　霞が関と引き別れ＊ (3)　B．若狭介よもをうちながめ (4)　送る素足の氷のくさび	50894-A(673) 50894-B(674) 50895-A(675) 50895-B(676)	
(1)　なれしふすまの夢を貫く (2)　(合)里のなごりのしば小舟	7135-A(〃) 7135-B(〃)	題紙には「三味線鶴沢清二」
(1)　人知れぬ思いこそのみ (2)　なるほど心得ました (3)　目には涙の玉すだれ (4)　霞が関と引き別れ	1469-A(〃) 1469-B(〃) 1470-A(〃) 1470-B(〃)	
(1)　ほんに縫之助様とこの三千歳が	2089(ナシ)	
(1)　この三千歳が身にひしびしと	50102-A(C50102A)	
(1)　A．このあいだ大阪町町で (2)　人をも世をも恨むまいと (3)　ゆるりと会いましょうと (4)　これでっちどんこんな小さい (5)　おまえは長らえ山家屋へ (6)　それにまだまだ悲しきは (7)　しゃくり泣き久松ほっと (8)　年頭歳暮の礼をかね (9)　親じが礼にわせましたと (10)　もし子に迷うて義理ある (11)　天にも地にもかけがえのない (12)　頼まにゃならぬ娘がこと (13)　意見するにも声低に (14)　おお言わしゃるまでもない (15)　春早早迎いにござれ (16)　B．居間へはいれば九つの (17)　心は先へ飛び石の＊ (18)　なんの生きていらりょうぞ＊ (19)　あれあれ久松夜明けも近いか＊ (20)　知るとおり先度のもやもやから	3515(〃) 3516(〃) 3517(〃) 3518(〃) 3519(〃) 3520(〃) 3521(〃) 3522(〃) 3523(〃) 3524(〃) 3525(〃) 3526(〃) 3527(〃) 3528(〃) 3529(〃) 3530(〃) 3531(〃) 3532(〃) 3533(〃) 3534(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
53	**染模様妹背門松** 油屋蔵前の場	(歌) Ⅲ田喜太夫 (三) 友衛門	チヤンピオン Ⅰa 多色	6—124A B 125A
53	**染模様妹背門松** 油屋蔵前の場	(歌) 千駒太夫 (三) 兵市	ダイヤモンド Ⅰa 赤	6—138A B
53	**染模様妹背門松** 油屋質店の場	(歌) (三) 清糸	ヒコ Ⅴa 緑	7— 35A B
53	**染模様妹背門松** 油屋蔵前の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 62A
54	**太平記忠臣講釈** 喜内内の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—222A B 223A B 224A B 225A B 226A B 227A B 228A B
55	**伊達娘恋緋鹿子** 火の見櫓の場	(歌) 鏡太夫 (三) 市作・八重造 〔囃子入〕	フジ Ⅰa 黒	5—273A B 274A B 275A B
55	**伊達娘恋緋鹿子** 火の見櫓の場	(歌) Ⅳ伊達太夫 (三) 八造・Ⅲ新三郎 (囃) 梅屋金太郎・望月太意之助・梅屋勝松・梅屋松助・望月吉三次・望月太意五郎	コロ Ⅻa 紫	5—291A 292A 291B 292B

詞章	音盤番号	備考
(1) とどろかす胸も板縁そろそろと＊ (2) お染は窓に伸び上がり (3) 厚皮づらのおなごじゃと	ナシ ナシ ナシ	金属製盤面の樹脂様物質剝落して聴取不能 (1)(3)はテープに録音済み 題字はペン書き
(1) 忍びいでたる娘気は＊ (2) 厚皮づらなおなごじゃと	5134A(〃) 5134B(〃)	
(1) おなじみがいにはおりふしに (2) それにまだまだ悲しきは	70130-A (70301) 70130-B (70302)	
(1) お染は窓に伸び上がり	A297(〃)	
(1) なん戸へ連れて入る弓矢は (2) 頼みましょうと家来があない (3) すなわちだんなのおん供いたし (4) いざりに劣った大腰抜け (5) 常の薬の才覚さえ (6) そっと差し出すついしょうも (7) 三つ四つの重ね着を (8) 望みのとおり親子でない (9) これそれが迷惑なら (10) 隔てぬ仲の内と外 (11) ははっ割り符を合わす忠義は一体 (12) 障子の内にもわっと泣く (13) 御介抱申す人もなく (14) にこにこ顔もこの世のなごり	2893(〃) 2894(〃) 2895(〃) 2896(〃) 2897(〃) 2898(〃) 2899(〃) 2900(〃) 2901(〃) 2902(〃) 2903(〃) 2904(〃) 2905(〃) 2906(〃)	(1)(2)ヒビ (3)(4)カケ
(1) 恋のやみ路の一筋に (2) 取り付くお七を振り切って (3) やああの鐘ははや九つ (4) よしなき人の言問わば (5) そでうち払う軒宿り (6) 雪は凍りて踏みすべる	ち-100(5253) ち-100(5254) ち-101(5255) ち-101(5256) ち-102(5257) ち-102(5258)	題紙には「歌舞伎義太夫」
(1) 降り積もる雪にはあらで (2) こりゃまあどうしょう悲しやと (3) そでうち払う軒宿り (4) (合)はしごはすなわち剣の山	B415 (F215532) B416 (F215533) B415 (F215534) B416 (F215535)	舞踊用 (1)の裏は(3) (2)の裏は(4)

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
		(狂言方)　竹柴蟹助 (ツケ打)　長谷川		
55	**伊達娘恋緋鹿子** 火の見櫓の場	(歌)　Ⅲ田喜太夫 (三)　友衛門	チヤンピオン Ⅰa 多色	6—126A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　Ⅴ錣太夫 (三)　Ⅴ徳太郎	ニポ　Ⅰa 赤	2—146A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　Ⅴ錣太夫 (三)　Ⅱ新左衛門	タカシマヤ　Ⅰa 黒	2—225A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　Ⅴ錣太夫 (三)　Ⅱ新左衛門	シヨオワ　Ⅰa 紫	2—227A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌) (三)　Ⅶ広助	ハンプカイ　Ⅰa 緑	3—229A B 230A B 231A B 232A B 233A B 234A B 235A B 236A B 237A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　越登太夫 (三)　Ⅳ浅造	ニト　Ⅰa 赤	5—183A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　Ⅳ南部太夫 (三)　Ⅷ吉弥	ニト　Ⅳb・Ⅳc 黒	5—348A B 349A B
56	**玉藻前曦袂** 道春館の場	(歌)　陸路太夫 (三)　綱右衛門	リガ　Ⅰa 黒	6— 24A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　よその歎きも白雪に (2)　ふっと気のつく表の火の見櫓＊	ナシ ナシ	金属製盤面の樹脂様物質剝落して聴取不能テープに録音済み 題字はペン書き
(1)　み台はかっとせき上げたまい＊ (2)　さかく物語れば剣の盗賊	810(〃) 811(〃)	
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　覚悟はきわめておりました	131A(ナシ) 131B(ナシ)	カビ
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　覚悟はきわめておりました	831-B(831-A) 831-A(831-B)	(2)カビ・スレ (1)に(2), (2)に(1)の題紙を使用
(1)　入りあい過ぎはや夕陽も (2)　まばゆき白書院 (3)　ははこは存じがけなき (4)　三七日の参ろう (5)　ここの道理をくみわけて (6)　身にふりかかる桂姫 (7)　立つるしきみのひともとも (8)　死出の晴れ着とおとどいが (9)　委細の様子はさっきにから (10)　命のきわにただひと目 (11)　これがこの世の別れかと (12)　せがみ立つればおとどいも (13)　勝負に勝とうが勝つまいが (14)　采女これにと飛んでいで (15)　最前み台のおん物語 (16)　いじらしいやらふびんなやら (17)　神ならぬ身の情けない＊ (18)　これのうしばしと母親が	2907(〃) 2908(〃) 2909(〃) 2910(〃) 2911(〃) 2912(〃) 2913(〃) 2914(〃) 2915(〃) 2916(〃) 2917(〃) 2918(〃) 2919(〃) 2920(〃) 2921(〃) 2922(〃) 2923(〃) 2924(〃)	
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　覚悟はきわめておりました	600-A(〃) 600-B(〃)	
(1)　ええさまざまのよまいごと＊ (2)　死出の晴れ着とおとどいが (3)　委細の様子はさっきにから (4)　生みの父上母様は	5850-A(〃) 5850-B(〃) 5851-A(5745) 5851-B(5746)	
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　生みの父上母様は	68469(70621) 68469(70622)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
56	玉藻前曦決 道春館の場	(歌) (三) 糸吉	ベカグランド Ⅰa 白	6—265A
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	6—328A B 329A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ヒコ Ⅴa 緑	7— 2B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) 雛駒 (三) ?	ヒコ Ⅲa 青	7—219A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 雛昇	ニト Ⅳa 黒	7—234A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰa 黒	7—258
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—285A
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—326A B 327A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵa 黒	8— 79A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—117A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	1—129
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太都・松十郎 (琴・胡) 芳太郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—135A B 136A B 137A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　ねぐら離れしほととぎす	2458(〃)	
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　覚悟はきわめておりました＊ (3)　こりゃ娘こりゃててじゃわやい (4)　心を察し萩の方	65743-A (73012) 65743-B (73013) 65744-A (73014) 65744-B (73015)	
(1)　ねぐら離れしほととぎす	70195-B (70528)	
(1)　委細の様子はさっきにから (2)　覚悟はきわめておりました	1246-A(561) 1246-B(?)	
(1)　委細の様子はさっきにから (2)　生みの父上母様は	3873-A(〃) 3873-B(〃)	
(1)　ねぐら離れしほととぎす	11158(E11158)	
(1)　委細の様子はさっきにから	1678(〃)	
(1)　母の嘆きにかき曇る (2)　覚悟はきわめておりました＊ (3)　こりゃ娘ててじゃててじゃ (4)　一樹の陰の雨宿り	15132-A(〃) 15132-B(〃) 15133-A(〃) 15133-B(〃)	
(1)　ねぐら離れしほととぎす＊ (2)　心を察し萩の方	1610-A(〃) 1610-B(〃)	
(1)　委細の様子はさっきにから (2)　のう曲もないそのおことば	29-A(イ59) 29-B(イ60)	
(1)　阿古屋めに水くらわす	10177(A10177)	
(1)　かげというも月の縁 (2)　かげ清き名のみにて＊ (3)　この上はさみ線ひけ (4)　ふすまの夜すがらも＊ (5)　この上はこきゅうすれ (6)　(合)夢とさめてはんな跡もなし	70564(〃) 70565(〃) 70566(〃) 70567(〃) 70568(〃) 70569(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(三) Ⅴ猿之助・猿三郎	ビク Ⅰb 黒	2—228
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ猿二郎 (琴) Ⅱ団二郎	コロ Ⅲa 黒	17—49
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) (重忠)Ⅱ古靱太夫 (阿古屋)Ⅴ錣太夫 (岩永)Ⅰ静太夫 (榛沢)Ⅶ島太夫 (三) Ⅱ新左衛門・芳之助 (琴・胡) Ⅵ団六	ニト Ⅰa 黒	4—197A B 198A B 199A B 200A B 201A B 202A B 203A B 204A B 205A B 206A B 207A B 208A B 209A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) (重忠)Ⅱ古靱太夫 (阿古屋)Ⅴ錣太夫 (岩永)Ⅰ静太夫 (榛沢)Ⅶ島太夫 (三) Ⅱ新左衛門・芳之助 (胡) Ⅵ団六	ニト Ⅰa 黒	4—210A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ鶴太郎	ライ Ⅰa 赤	4—340B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) <Ⅵ団六>	オリ Ⅴa 黒	4—343A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　(合)	11226(A11226)	
(*) (2)　(合)かげ清き名のみにて	ナシ(2922-B-1-1)	30cm
(1)　かものはぎ短しといえども	663-A(ソ2)	
(2)　秩父の庄司次郎重忠*	663-B(ソ3)	
(3)　かかるおりから秩父の郎党	664-A(ソ4)	
(4)　筒に生けたるぼたん花の	664-B(?)	
(5)　なわを許し拷問をゆるめしも	665-A(ソ6)	
(6)　ここをよくわきまえて	665-B(ソ7)	
(7)　なんなんの誓文で	666-A(?)	
(8)　同じように座に並んで	666-B(?)	
(9)　持て余してぞ見えにける	667-A(?)	
(10)　重忠庭に降り立って	667-B(?)	
(11)　げにまこと世界のありさま	668-A(ソ12)	
(12)　声も枯れ野の船ならで	668-B(ソ13)	
(13)　月の縁清しというも	669-A(?)	
(14)　かげ清き名のみにて	669-B(?)	
(15)　(合)	670-A(ソ16)	=4—210A
(16)　今弾ぜしは蕗組の	670-B(?)	=　　B
(17)　普門品第二十五日の夜さ	671-A(?)	
(18)　心の天じひき締めて	671-B(?)	
(19)　ふすまの夜すがらも	672-A(?)	
(20)　(合)おおもうよいわ	672-B(ソ21)	
(21)　昔のきぬぎぬひき替えて	673-A(?)	
(22)　吉野竜田の花もみじ	673-B(ソ23)	
(23)　(合)夢とさめてはんな跡もなし	674-A(?)	
(24)　あだし野の露鳥辺野の	674-B(ソ25)	
(25)　鼓は五声に通ぜずといえども	675-A(ソ26)	
(26)　重忠重ねて阿古屋がせん議	675-B(?)	
(*) (15)　(合) (16)　今弾ぜしは蕗組の	670-A(ソ16) 670-B(ソ17)	=4—204A =　　B
(1)　重忠榛沢を近く召され	71112(〃)	
(1)　かものはぎ短しといえども*	1757-A(438)	
(2)　重忠榛沢を近く召され*	1757-B(439)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(琴・胡) 〈友若〉		344A B 345A B 346A B 347A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸・Ⅲ団二郎 (琴) Ⅲ団二郎 (胡)仙三郎	ビク Ⅴb 黒	6— 64A B 65A B 66A B 67A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸・Ⅲ団二郎 (琴) Ⅲ団二郎	ビク Ⅴc 黒	6— 77A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ猿之助	ビク Ⅰa 黒	6—128
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅲb 黒	6—151A
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—164
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 赤	6—173A B
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) (三) 広兵衛	ビク Ⅲa 黒	6—178A
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(歌) 呂之助 (三) 〈綱之助〉 〔琴入〕	ニポ Ⅲa・Ⅲb 赤	8—142A B 143A B 144A B

詞章	音盤番号	備考
(3) やれ阿古屋なぜ始めぬ	1758-A(440)	
(4) かげというも月の縁	1758-B(441)	
(5) かげ清き名のみにて	1759-A(442)	
(6) (合)ふうむ今弾ぜしは蕗組の	1759-B(443)	
(7) なお望まるるさみ線の	1760-A(444)	
(8) ふすまの夜すがらも＊	1760-B(445)	
(9) それこきゅうすれ	1761-A(446)	
(10) (合)夢とさめてはんな＊	1761-B(447)	
(1) しらべかきならしかげというも	52698-A(5162)	琴も仙三郎か
(2) (合)月の縁かげ清き	52698-B(5163)	
(3) (合)	52699-A(5164)	
(4) 今弾ぜしは蕗組の＊	52699-B(5165)	
(5) (合)なれしふすまの	52700-A(5166)	=6—77A
(6) そなたの空よとながむれど＊	52700-B(5167)	= B
(7) 吉野竜田の花もみじ	52701-A(5168)	
(8) (合)夢とさめてはんな跡もなし	52701-B(5169)	
(＊) ……		
(5) (合)なれしふすまの	52700-A(5166)	=6—66A
(6) そなたの空よとながむれど＊	52700-B(5167)	= B
(1) かりかものはぎ短しとはいえども	11224(A11224)	
(1) すだれを上げて引きいだす	2657(2657-1-X-1)	
(1) やあやあ者ども阿古屋めに	1137(〃)	
(1) かものはぎ短しといえども	1109(〃)	
(2) 秩父の庄司次郎重忠＊	1110(〃)	
(1) 姿はだてのうちかけや	50124-A(B50124A)	
(1)・阿古屋は聞いてさっても＊	17390-A (NE30048)	(9)(10)カケ
(2) さあ景清がゆくえはと＊	17390-B (NE30023)	
(3) かげというも月の縁	17391-A (NE30024)	
(4) 月の縁かげ清き名のみにて	17391-B (NE30025)	
(5) (合)	17421-A (NE30026)	
(6) 聞かぬうちはいつまでもと	17421-B (NE30027)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				145A B 146A B
57	**壇浦兜軍記** 堀川御所の場	(歌) 後藤楓江 (三) Ⅳ勝平・後藤梅雪 (琴・胡) 後藤梅雪	ホガ Ⅱb 赤	8—302A B 303A B 304A B 305A B 306A B 307A B 308A B 309A B 310A B 311A B 312A B
58	**近頃河原の達引** 与次郎内の場	(歌) Ⅱ津太夫 (三) Ⅳ猿糸・猿作	コロ Ⅲa 青	1— 14 15 16 17 18
58	**近頃河原の達引** 与次郎内の場	(歌) Ⅱ津太夫 (三) Ⅳ猿糸・猿作	コロ Ⅲa 青	1— 19
58	**近頃河原の達引** 与次郎内の場	(歌) <Ⅱ津太夫> (三) <Ⅳ猿糸・猿作>	コロ Ⅲa 黒	1— 20
58	**近頃河原の達引** 与次郎内の場	(歌) Ⅱ相生太夫 (三) 弥七	グラモホンコンサアトⅠa 黒	1— 23

詞章	音盤番号	備考
(7) (合)なれしふすまの	17422-A (NE30028)	
(8) あだしことばの人心＊	17422-B (NE30029)	
(9) あいと答えて気は張り弓	17423-A (NE30030)	
(10) (合)夢とさめてはんな跡もなし	17423-B (30031)	
(1) かものはぎ短しといえども	01021(〃)	(5)(6)ヒビ
(2) 禁裏守護の代官として＊	01022(〃)	
(3) 姿はだてのうちかけや	01023(〃)	
(4) ひろう半ばに岩永左衛門	01024(〃)	
(5) 景清がゆくえ存ずべき者	01025(〃)	
(6) 何を言うても知らぬが真実	01026(〃)	
(7) 水責め火責めはこたようが	01027(〃)	
(8) 庭のかたえの井戸やかた	01028(〃)	
(9) こりゃなんじゃ興がるわ	01029(〃)	
(10) 底の心は知らねども	01030(〃)	
(11) かげというも月の縁	01031(〃)	
(12) (合)かげ清き名のみにて	01032(〃)	
(13) (合)	01033(〃)	
(14) 今弾ぜしは蕗組の	01034(〃)	
(15) 普門品第二十五日の夜さ	01035(〃)	
(16) すい帳紅けいにまくら並ぶる	01036(〃)	
(17) (合)ことばの人心	01037(〃)	
(18) 言うが互いの比翼連理	01038(〃)	
(19) (合)吉野竜田の花もみじ	01039(〃)	
(20) (合)夢とさめてはんな跡もなし	01040(〃)	
(21) 誠を表わす一曲に	01041(〃)	
(22) 重忠重ねて阿古屋がせん議	01042(〃)	
(1) しゅうげんの杯と祝い歌うも	2896-A (2896-A-1-1)	
(2) (合)婿入り姿ものっしりと	2896-B (2896-B-1-1)	
(3) さんなまたあろかいな	2896-C (2896-C-1-3)	=1—20
(4) (合)起きたら互いに	2896-D (2896-D-1-1)	≡1—19
(5) 日よりを見たらば落ちてたも	2896-E (2896-E-1-1)	
(＊) ……		
(4) (合)起きたら互いに	2896-D (2896-D-1-1)	≡1—17
(＊) ……		カケ
(3) さんなまたあろかいな	ナシ(2896-C-1-3)	=1—16
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	G. C. 12706(E376)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅳ染太夫 (三) Ⅳ広作	コロ Ⅲa 黒	17—13 14
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	シンホニイ Ⅰb 赤	1—108 109 110
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	シンホニイ Ⅰb 赤	1—111A B 112A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	シンホニイ Ⅰb 赤	1—113A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	シンホニイ Ⅰb 赤	1—114
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	ニポ Ⅰa 赤	1—115A B 1—116A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	ニポ Ⅰa 赤	1—117A B 118A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	ニポ Ⅰc 赤	1—119A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	コロ Ⅳb 赤	1—120A B 121A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—138A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎・松十郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—139A B 140A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	17—25

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 同じ都も世につれて (2) 女はだには白むくや	ナシ(2805-A-1-1) ナシ(2805-B-1-X-)	30cm
(1) 女はだには白むくや (2) 二十一期の色盛りをば (3) こぞの初秋たなばたの	27(〃) 28(〃) 29(〃)	=[1—111]α
(1) 女はだには白むくや (2) 二十一期の色盛りをば (3) こぞの初秋たなばたの	27(〃) 28(〃) 29(〃)	=[1—108]α =1—113B =1—119A
(1) 女はだには日むくや (2) 二十一期の色盛りをば	27(〃) 28(〃)	=1—111A =　　B
(*) …… (3) 嫁御の昼寝もころりとせ	32(〃)	=1—116A 1—118A
(1) 祝い歌うも声低に (2) 婿入り姿ものっしりと (3) 嫁御の昼寝もころりとせ (4) ああよい女房じゃに	30(〃) 31(〃) 32(〃) 33(〃)	=[1—117] =[1—120] =1—114
(1) 祝い歌うも声低に (2) 婿入り姿ものっしりと (3) 嫁御の昼寝もころりとせ (4) ああよい女房じゃに	30(〃) 31(〃) 32(〃) 33(〃)	=[1—115] ≒[1—120] =1—114
(*) …… (3) こぞの初秋たなばたの	29(〃)	=1—112A
(1) 祝い歌うも声低に (2) 婿入り姿ものっしりと (3) 嫁御の昼寝もころりとせ (4) ああよい女房じゃに	28822(D30) 28822(D31) 28823(D32) 28823(D33)	≒[1—115] [1—117]
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん (2) 今ではわれがほうがよっぽと	70556(〃) 70557(〃)	
(1) しゅうげんの杯と祝い歌うも (2) 婿入り姿ものっしりと (3) (合)これ嫁御の昼寝も (4) (合)起きたら互いに	70560(〃) 70561(〃) 70562(〃) 70563(〃)	
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	12014(A12014)	30cm =17—26

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅲa 黒	17—26
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ南部太夫 (三) Ⅳ鶴太郎	コロ Ⅲa 赤	17—37
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎・Ⅱ友造	コロ Ⅹa 青	1—335A B 336A B 337A B 338A B 339A B 340A B 341A B 342A B 343A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅳ綱造・寛市	キング Ⅰa 赤	1—349A B 350A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造・徳若	ポリ Ⅰb 黒	2— 26A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	12014(F12014)	30cm =17—25
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	2926-A(2926-A-1-2)	30cm
(1)　同じ都も世につれて	35192-A (NE40908)	
(2)　どれどれお繁さんの代わりに	35192-B (NE40909)	
(3)　男もはだは白小そでにて	35193-A (NE40910)	
(4)　おおいえいえそれではとんと	35193-B (NE40911)	
(5)　母じゃ人今もどったぞや	35194-A (NE40912)	
(6)　身を悔やみたるむせび泣き＊	35194-B (NE40913)	
(7)　ころしもしわす十五夜の	35195-A (NE40914)	
(8)　これいなあ兄さんわしゃ表に	35195-B (NE40915)	
(9)　こりゃやいこりゃ伝兵衛	35196-A (NE40916)	
(10)　おおのみこんでいる＊	35196-B (NE40917)	
(11)　われこそ死なでかなわぬ身	35197-A (NE40918)	
(12)　大事の夫の難儀命のきわに	35197-B (NE40919)	
(13)　したがこれもうし伝兵衛さん	35198-A (NE40920)	
(14)　ああ伝兵衛さんの泣かしゃるも＊	35198-B (NE40921)	
(15)　おさるはめでたやめでたやね	35199-A (NE40922)	
(16)　やこれこれこれ婿さん足で杯を	35199-B (NE40923)	
(17)　(合)起きたら互いに	35200-A (NE40924)	
(18)　くるりと返って立ったりな	35200-B (NE40925)	
(1)　祝い歌うも声低に	12006(219)	
(2)　婿入り姿ものっしりと	12006(220)	
(3)　(合)嫁御の昼寝もころりとせ	12007(221)	
(4)　起きたら互いに抱きつきゃれ	12007(222)	
(1)　祝い歌うも声低に	369-A(2842BF)	
(2)　婿入り姿ものっしりと	369-B(2843BF)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				27A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅱa 赤	2— 45B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六・宗吉	トキ Ⅱa 赤	2—211A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸	オリ Ⅵa 赤	2—242A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六・猿太郎	ビク Ⅴc 赤	4— 36A B 37A B 38A B 39A B 40A B 41A B 42A B 43A B 44A B 45A B 46A B 47A B 48A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	トキ Ⅱa 赤	4— 97A B
58	近頃河原の達引 与次郎の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六・芳之助	ニト Ⅰa 黒	4—211A B 212A B 213A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　(合)これ嫁御の昼寝も (4)　起きたら互いに抱きつきゃれ	370-A(2844BF) 370-B(2845BF)	
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	608(〃)	
(1)　おおおつるさんさぞ待ち遠に (2)　男もはだは白小そでにて	2315(〃) 2316(〃)	(2)キズ
(1)　ことばにわっと泣きいだし (2)　不孝とも悪人とも＊	3707-A(〃) 3707-B(〃)	
(1)　同じ都も世につれて (2)　おつるさん待ち遠にあろうなあ (3)　雨にしおるる立ち姿 (4)　あのおもしろさを見るときは (5)　おおおきょうはまあそこまで (6)　この養生がなるものかと (7)　たなだなのだんな衆からは (8)　さあわしもその入り訳を (9)　どこにどうしてござるやら (10)　若い気にあと先思わず (11)　ことにまた伝兵衛さん (12)　いやいやそのように訳立てると (13)　書き残すとはつゆ知らぬ (14)　鐘も哀れ添うころしもしわす (15)　いやそりゃこそ突きに来おったぞ (16)　こりゃやいこりゃやい (17)　そなたは無筆わしは盲 (18)　ええ気づかいなこれ兄や (19)　おことば無理とは思わねど (20)　ああこりゃまあどうしたら (21)　これ拝んます頼んますと (22)　祝い歌うも声低に (23)　(合)婿入り姿ものっしりと (24)　これこれこれ婿さん足で杯を (25)　そこらでちょいと起こしたり (26)　ああよい女房じゃに	13171-A(3098) 13171-B(3099) 13172-A(3100) 13172-B(3101) 13173-A(3102) 13173B(3103) 13174-A(3104) 13174-B(3105) 13175-A(3106) 13175-B(3107) 13176-A(3108) 13176-B(3109) 13177-A(3110) 13177-B(3111) 13178-A(3112) 13178-B(3113) 13179-A(3114) 13179-B(3115) 13180-A(3116) 13180-B(3117) 13181-A(3118) 13181-B(3119) 13182-A(3120) 13182-B(3121) 13183-A(3122) 13183-B(3123)	
(1)　かかさん兄さんおふたりの＊ (2)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	1535(〃) 1536(〃)	
(1)　同じ都も世につれて (2)　女はだには白むくや (3)　男もはだは白小そでにて (4)　あのおもしろさを見るときは (5)　あいあいあいあいそうで	474-A(〃) 474-B(〃) 475-A(〃) 475-B(〃) 476-A(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 214A B 215A B 216A B 217A B 218A B 219A B 220A B 221A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸・Ⅳ清二郎	コロ Ⅺa・Ⅹa 黒	4—328A B 329A B 330A B 331A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 嵐太夫 (三) Ⅲ吉作・作之助	ウオルド Ⅰa 黒	5— 28A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八・Ⅵ団六	ビク Ⅴb 黒	5— 78A B 79A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅵ団六・Ⅲ団二郎	ニト Ⅱa 赤	5—263A B 264A B

詞章	音盤番号	備考
(6) たなだなのだんな衆からは	476-B(〃)	
(7) おしゅんやあこれおしゅん	477-A(〃)	
(8) これこれおしゅん何も案じる	477-B(〃)	
(9) かかさん兄さんおふたりの	478-A(〃)	
(10) わが身に心引かされては	478-B(〃)	
(11) まあまあ母じゃ人もおちつかしゃれ	479-A(〃)	
(12) ころしもしわす十五夜の	479-B(〃)	
(13) がおれひとりでは手が回らぬ	480-A(〃)	
(14) 口惜しいと歯をくいしばる	480-B(〃)	
(15) 不孝とは思いながら	481-A(〃)	
(16) おことば無理とは思わねど	481-B(〃)	
(17) こりゃまあどうしたら	482-A(〃)	
(18) ああ伝兵衛さんの嘆かしゃるも	482-B(〃)	
(19) (合)おさるはめでたや	483-A(〃)	
(20) これお初つぁんえ婿さんが	483-B(〃)	
(21) これこれこれ婿さんあんまり	484-A(〃)	
(22) (合)日よりを見たらば	484-B(〃)	
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	25260-A (16751A)	
(2) こりゃやいこりゃこれで死ぬると	25260-B (16751B)	
(3) これ拝んます頼んますと	25261-A (16752A)	
(4) 祝い歌うも声低に	25261-B (16752B)	
(5) (合)婿入り姿ものっしりと	25262-A (16753A)	
(6) 足で杯を差すとは	25262-B (16753B)	
(7) (合)起きたら互いに	25263-A (16754A)	
(8) (合)日よりを見たらば	25263-B (16754B)	
(1) 同じ都も世につれて	H.2815(D255)	題紙には「下」
(2) 雨にしおるる立ち姿	H.2816(D256)	題紙には「上」
(1) おさるはめでたやめでたやね	50572-A(〃)	
(2) これこれこれ婿さん足で杯を	50572-B(〃)	
(3) 起きたら互いに抱きつきゃれ	50573-A(〃)	
(4) 日よりを見たらば落ちてたも	50573-B(〃)	
(1) 同じ都も世につれて	1893-A(〃)	
(2) 上に紫ふじの紋	1893-B(〃)	
(3) 鳥辺の山はそなたぞと＊	1894-A(〃)	
(4) ことばにわっと泣きいだし	1894-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥・八造	ニト Ⅳa 黒	5—337A B 338A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ猿之助	ビク Ⅰa 黒	6—129
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 黒	6—163B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—165
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) 〈円光〉	グロオブ Ⅰa 紫	6—258
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 小仙 (三) 小仙・仙久	オデオン Ⅰa 青	6—282A B 283A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 小仙 (三) 小仙・仙久	ニト Ⅱa 赤	6—292A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 小土佐 (三) 美佐尾	ツルジルシ Ⅱa 赤	6—306A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 駒若 (三) 三生 〔ツレ弾入〕	ニツポン Ⅰa 黒	6—319A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 三蝶 (三) 綱助・越子	オリ Ⅵb 黒	6—335A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	オリ Ⅵb 黒	6—359A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 昇之助 (三) 〈力松〉 (洋楽) 〈アサヒ オーケストラ〉	ツルジルシ Ⅱa 赤	7— 10A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 15A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　祝い歌うも声低に (2)　婿入り姿ものっしりと (3)　これ嫁御の昼寝もころりとせ (4)　(合)くるりと返って立ったりな	5445-A(〃) 5445-B(〃) 5446-A(〃) 5446-B(〃)	
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	11225(A11225)	
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	1123(〃)	
(1)　同じ都も世につれて	1143(〃)	
(*)　…… (3)　起きたら互いに抱きつきゃれ	1280(〃)	
(1)　祝い歌うも声低に (2)　婿入り姿ものっしりと (3)　嫁御の昼寝もころりとせ (4)　起きたら互いに抱きつきゃれ*	U-2036A (Jp126) U-2036B (Jp127) U-2037A (Jp149) U-2037B (Jp150)	
(1)　同じ都も世につれて (2)　女はだには白むくや	2412-A(〃) 2412-B(〃)	
(1)　ことばにわっと泣きいだし* (2)　言うもおろおろ母親も*	2395-A(〃) 2395-B(〃)	
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん* (2)　おさるはめでたやめでたやね	15237-A(〃) 15237-B(〃)	カビ
(*)　…… (3)　(これこれ婿さん足で杯を) (4)　(合)起きたら互いに	4106-A(〃) 4106-B(〃)	カケ
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	4719-A(9699)	
(1)　男もはだは白小そでにて	2425-A(〃)	カビ
(1)　そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	2050-A(一三〇)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 末千代 (三) 小住	オリ Ⅵa 黒	7— 24A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 清糸 (三) 小竜	ニポ Ⅰb 赤	7— 33A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 清松 (三) ?	ミリオン Ⅰa 赤	7— 36
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 団路 〔口上入〕	スタアクトン Ⅰa 緑・赤	7— 63A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 東広 (三) 仙平・東歌	リガ Ⅰb 黒	7—101A B 102A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 東広 (三) 東重 〔ツレ弾入〕	テイ Ⅲa 黒	7—144A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 東広 (三) 〈東重〉〔ツレ弾入〕	スタンダアド Ⅰa 緑	7—147A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 東広 (三) 仙平・〈鶴栄〉	キリン Ⅰa 黒	7—155A B 156A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 美光	ロオヤル Ⅱa 赤	7—212B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 雛駒 (三) 長之助・雛朝	ヒコ Ⅲa 青	7—220A B 221A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 雛昇 (三) 仙喜代〔ツレ弾入〕	リガ Ⅰa 黒	7—228A B 229A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 女はだには白むくや (2) どこへ取り付く島とてもなし	2817-A(〃) 2817-B(〃)	
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん (2) まあまあ待ちおれやい	9016, 4773(4773) 9016, 4774(4774)	
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	M2299(〃)	
(1) (序)なんとことばも伝兵衛 (2) 互いに胸を明かし合い	70710(Jap70710) 70711(Jap70711)	スレ
(1) 祝い歌うも声低に (2) 婿入り姿ものっしりと＊ (3) これこれ婿さんあんまりつれのう (4) おおよい女房じゃに	66141-A (62109) 66141-B (62110) 66142-A (62111) 66142-B (62112)	
(＊) …… (3) (合)やこれこれ婿さん足で杯を＊ (4) 起きたら互いに抱きつきゃれ＊	5844-A(〃) 5844-B(〃)	カビ・キズ ＝[7—147]
(＊) …… (3) (合)やこれこれ婿さん足で杯を＊ (4) 起きたら互いに抱きつきゃれ＊	S111 (3151, 5844A) S111(3152)	＝[7—144]
(1) おさるはめでたやめでたやな (2) これこれ婿さん足で杯を (3) (合)起きたら互いに (4) おおよい女房じゃに	K.765-A(〃) K.765-B(〃) K.766-A(〃) K.766-B(〃)	スレ・カビ
(1) ことばにわっと泣きいだし	1809(〃)	
(1) 祝い歌うも声低に (2) 婿入り姿ものっしりと (3) これ嫁御の昼寝もころりとせ (4) くるりと返って立ったりな	1090-A(〃) 1090-B(〃) 1091-A(〃) 1091-B(〃)	
(1) ことばにわっと泣きいだし＊ (2) (合)おさるはめでたや (3) おお徳兵衛さんござんせ＊ (4) 起きたら互いに抱きつきゃれ	66717(81290) 66717(81291) 66718(81292) 66718(81293)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 雛昇 (三) 雛昇・雛玉	ニト Ⅳa 黒	7—235A B 236A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 雛昇	ツル Ⅰa 紫	7—239A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 二三竜 (三) 一二 〔ツレ弾入〕	ビク Ⅲa 黒	7—250A B 251A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰb 黒	7—261
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇 〔ツレ弾入〕	ニポ Ⅰa 赤	7—300A B 301A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—301B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇 〔ツレ弾入〕	ニポ Ⅰb 赤	7—328A B 329A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—330A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・金昇	ニポ Ⅰc 赤	7—359A B 360A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 43A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・喜昇	ライ Ⅰa 緑・赤	8— 52A B 53A

詞章	音盤番号	備考
(1) 祝い歌うも声低に (2) さんなまたあろかいな (3) これ嫁御の昼寝もころりとせ (4) くるりと返って立ったりな	4037-A(3165) 4037-B(3166) 4038-A(3167) 4038-B(3168)	(4)カビ
(*) (3) 世話せられても恩に着ぬ (4) そなたの心に恥じ入って	 6615-A(〃) 6615-B(〃)	
(1) 祝い歌うも声低に (2) おお徳兵衛さんござんせ (3) (合)起きたら互いに (4) (合)日よりを見たらば	50225-A1 (A50225A-1) 50225-B2 (D50225B-2) 50226-A3 (C50226A-3) 50226-B4 (E50226B-4)	
(1) 思い回せば回すほど	11157(J11157)	
(1) 女はだには白むくや (2) 二十一期の色盛りをば (3) こぞの初秋たなばたの	1524(〃) 1525(〃) 1526(〃)	
(1) ことばにわっと泣きいだし	1527(〃)	
(1) 同じ都も世につれて (2) 女はだには白むくや (3) 二十一期の色盛りをば (4) あのおもしろさを見るときは	10171(〃) 10172(〃) 10173(〃) 10174(〃)	
(1) なんとことばも伝兵衛 (2) 世話しられても恩に着ぬ	15003-A(〃) 15003-B(〃)	
(1) これ拝みます頼みますと (2) (合)おさるはめでたや (3) 婿入り姿ものっしりと* (4) (合)起きたら互いに*	15051-A(?) 15051-B(?) 15052-A(10179) 15052-B(?)	
(1) ことばにわっと泣きいだし (2) まあ待ちおれやい待ちおれやい*	24018-A (NE31066) 24018-B (NE31067)	
(1) 女はだには白むくや (2) 黒きりんずに色浅黄裏 (3) あのおもしろさを見るときは	70332(〃) 70333(Jap70333) 70334(Jap70334)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　呂昇 (三)　呂昇・金昇	オリ　Ⅵa 黒	8— 80A B 81A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　呂昇 (三)　呂昇・金昇	ニト　Ⅰa・Ⅱa 赤	8—118A B 119A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　呂之助 (三)　新造・新三郎	ヒコ　Ⅳa 黒	8—168A B 169A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　愛助 (三)　Ⅲ寛治郎	ホガ　Ⅱb 赤	8—201B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　尾上元太郎 (三)　吉左　〔ツレ弾入〕 〔柝入〕	ナイガイ　Ⅰa 白	8—218A B 219A B 220A B 221A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　斎藤山生 (三)　Ⅶ広助・仙松	ホガ　Ⅱb 赤	8—237A B 238A B 239A B 240A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌)　村上信昇 (三)　Ⅳ叶・叶太郎 〔解説入〕	ホガ　Ⅱb 青	8—275A B 276A B 277A B

詞章	音盤番号	備考
(1) ことばにわっと泣きいだし＊ (2) (合)おさるはめでたや (3) 婿入り姿ものっしりと (4) (合)嫁御の昼寝もころりとせ	1635-A(154) 1635-B(155) 1636-A(156) 1636-B(157)	
(1) ことばにわっと泣きいだし＊ (3) (合)おさるはめでたや (3) 婿入り姿ものっしりと＊ (4) (合)起きたら互いに	34-A(?) 34-B(イ68) 35-A(イ69) 35-B(?)	
(1) 老いてひく手もしおらしき (2) 男もはだは白小そでにて (3) ひくさみ線は祇園町＊ (4) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	70918-A (80264) 70918-B (80265) 70919-A (80266) 70919-B (80267)	カビ
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん	ナシ(3590)	
(＊) …… (5) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん (6) 不孝とも悪人とも (7) おしゅん伝兵衛と言わす気か (8) がこれ伝兵衛さん母じゃ人が (9) おさるはめでたやめでたやね (10) ひぞらずとほんまにさして (11) (合)起きたら互いに (12) (合)日よりを見たらば	 S.41(41) S.42(42) ナシ(43) ナシ(44) S.45(45) S.46(46) ナシ(47) ナシ(48)	
(1) そりゃ聞こえませぬ伝兵衛さん (2) 不孝とも悪人とも＊ (3) ああ伝兵衛さんの嘆かしゃるも (4) (合)おさるはめでたや (5) のう杯をいただかんせ (6) これこれこれ婿さんあんまり (7) (合)くるりと返って立ったりな (8) さあさあきりきりこの家を	02095(〃) 02096(〃) 02097(〃) 02098(〃) 02099(〃) 02100(〃) 02101(〃) 02102(〃)	
(1) 同じ都も世につれて (2) 女はだには白むくや (3) 男もはだは白小そでにて (4) あのおもしろさを見るときは＊ (5) なんとことばも伝兵衛 (6) 不孝とも悪人とも＊	9785(〃) 9786(〃) 9787(〃) 9788(〃) 9789(〃) 9790(〃)	(4)の盤末に解説あり

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				278A B 279A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 村上信昇 (三) Ⅳ叶・叶太郎	ホガ Ⅱb 青	8—280A B 281A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 初音 (三) Ⅳ綱造・綱佐	ニポ Ⅰa 赤	8—301A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平	シンホニイ Ⅰa 赤	1—105 106
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平	シンホニイ Ⅰa 赤	1—107
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 谷底の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六・Ⅳ鶴太郎	コロ Ⅲa 黒	17—15 16 17 18 19 20 21
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 谷底の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	コロ Ⅳb 赤	1—122A B 123A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 谷底の場	(歌) 大隅太夫 (三) Ⅲ団平・仙之助	コロ Ⅻa 赤	1—124A B 125A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅳ吉三郎	ニポ Ⅰc 赤	1—162A B 163A B 164A B 165A B 166A B

詞章	音盤番号	備考
(7) おさるはめでたやめでたやね	9791(〃)	
(8) やこれこれ婿さん足で杯を	9792(〃)	
(9) (合)起きたら互いに	9793(〃)	
(10) 日よりを見たらば落ちてたも	9794(〃)	
(1) 同じ都も世につれて	9709(〃)	
(2) 女はだには白むくや	9710(〃)	
(3) 恋という字に身を捨て小舟	9711(〃)	
(4) 染殿そなたとそれがしが	9712(〃)	
(1) 同じ都も世につれて	8863, 4468(4468)	
(2) 女はだには白むくや	8863, 4469(4469)	
(1) ととさんやかかさんに別れてから	34(〃)	≒1—122 A α
(2) 観音様も聞こえぬと	35(〃)	≒ B α
(1) いかに沢市承れ	36(〃)	≒1—123 A α
(1) A. 夢が浮き世か浮き世が夢か	ナシ(2830-A-1-2)	30cm
(2) 音もかすかの暮らしなり	ナシ(2830 B-1-1)	
(3) わが身とおれがこういっしょに	ナシ(2830-C-1-2)	
(4) ととさんやかかさんに別れてから	ナシ(2830-D-1-2)	
(5) ほかに男があるように	ナシ(2830-E-1-2)	
(6) 夫を思う貞心の＊	ナシ(2830-F-1-2)	
(7) B. 御利生ありけるや見えぬ目も	ナシ(2831-1-X-1)	
(1) A. ととさんやかかさんに	28824(D34)	=〔1—124〕
(2) 観音様も聞こえぬと＊	28824(D35)	
(3) B. いかに沢市承れ	28825(D36)	
(4) 観音の御利生ありけるや	28825(D37)	
(1) A. ととさんやかかさんに	A1002(D34)	=〔1—122〕
(2) 観音様も聞こえぬと＊	A1002(D35)	
(3) B. いかに沢市承れ	A1003(D36)	
(4) 観音の御利生ありけるや	A1003(D37)	
(1) A. 夢が浮き世か浮き世が夢か	15879-A(〃)	
(2) 生まれついたる正直の	15879-B(〃)	
(3) おおこれはこれは沢市つぁん	15880-A(〃)	
(4) どうでわれの気に入らぬは	15880-B(〃)	
(5) おまえのお目を直さんと	15881-A(〃)	
(6) 初めて聞きし妻の誠	15881-B(〃)	
(7) 沢市涙にくれながら	15882-A(〃)	
(8) B. たどり行く伝え聞く＊	15882-B(〃)	
(9) むむ幸いに夜はふけたり	15883-A(〃)	
(10) かかる事ともつゆ知らず	15883-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				167A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅶ吉兵衛	キング Ⅰa 赤	1—175A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) ?	ダイニツポンセルロイド Ⅱa 多色	1—180A
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰa 黒	1—227
59	壺坂観音霊験記 壺坂寺の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	1—231
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) 竹三郎・団治郎	コロ Ⅳb 黒	2—130
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅹa 黒	2—159A B 160A B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六・Ⅳ富治	ライ Ⅰa 緑・赤	2—167A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場 C. 谷底の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅴb・Ⅵa 黒	2—180A B 181A B 182A B 183A B 184A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅴ生駒太夫 (三) 粂造	ポリ Ⅰb 黒	2—234A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場 C. 谷底の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—238A B 239A B 240A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(11)　はあこりゃまあどうしょう (12)　この世も見えぬ盲目の	15884-A(〃) 15884-B(〃)	
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと	22004(189) 22004(190)	
(1)　夢が浮き世か浮き世が夢か	01662(ナシ)	題字は鉛筆書き遠心式
(1)　夢が浮き世か浮き世が夢か	11105(A11105)	
(1)　これ沢市つぁん信心は	11445(A11445)	
(1)　観音の御利生ありけるや	2738(2738-1-X-1)	ソリ
(1)　おおこれはこれは沢市つぁん (2)　むむそう言やればこっちも (3)　三つ違いの兄さんと (4)　観音様も聞こえぬと	24028-A(NE40186) 24028-B(NE40187) 24029-A(NE40188) 24029-B(NE40189)	
(1)　いとも気高き上ろうの (2)　観音様がおじきじきに	71077(〃) 71078(〃)	
(1)　A．夢が浮き世か浮き世が夢か (2)　夫の手助け賃仕事＊ (3)　ととさんやかかさんに別れてから (4)　観音様も聞こえぬと (＊)　…… (7)　B．おおよう言うて＊ (8)　むむ最前聞けばあの坂を (9)　なりける次第なりかかる事とも (10)　こりゃまあどうしょう悲しやと＊ (11)　C．ころはきさらぎ中空や＊ (12)　御利生ありけるや見えぬ目も	1856-A(京193) 1856-B(京194) 1857-A(京195) 1857-B(京196) 2078-A(〃) 2078-B(〃) 2079-A(〃) 2079-B(〃) 2080-A(〃) 2080-B(〃)	
(1)　もととさんやかかさんに (2)　観音様も聞こえぬと	118-A(2179BF) 118-B(2180BF)	
(1)　A．夢が浮き世か浮き世が夢か (2)　夫の手助け賃仕事 (3)　ほかの事でもないが (4)　ええそりゃ胴欲な沢市つぁん (5)　観音様も聞こえぬと (6)　ええなんのいなあわたしのからだ	2699(〃) 2700(〃) 2701(〃) 2702(〃) 2703(〃) 2704(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				241A B 242A B 243A B 244A B 245A B 246A B
59	**壺坂観音霊験記** A．沢市内の場 B．谷底の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六・卯三郎 〔口上入〕	ライ Ⅰa 緑・赤	4— 82A B 83A B 84A B
59	**壺坂観音霊験記** A．沢市内の場 B．谷底の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六・清一 〔口上入〕	トキ Ⅱa 赤	4— 98A B 99A B
59	**壺坂観音霊験記** A．沢市内の場 B．壺坂寺の場 C．谷底の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅳ清六・猿太郎	ニト Ⅰa 黒	4—222A B 223A B 224A B 225A B 226A B 227A B 228A B 229A B
59	**壺坂観音霊験記** 沢市内の場	(歌) (三) Ⅵ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—269A B

詞章	音盤番号	備考
(7) B. たどり行く伝え聞く	2705(〃)	
(8) ふむほんにそうじゃのう	2706(〃)	
(9) いとしんしんと殊勝なる	2707(〃)	
(10) おおどこへ行こうぞ今夜から	2708(〃)	
(11) かかる霊地の土となれば	2709(〃)	
(12) ようようのぼる坂の上	2710(〃)	
(13) この年月のかん難も	2711(〃)	
(14) C. 水やまさるらんようよう涙の	2712(〃)	
(15) いとも気高き上ろうの	2713(〃)	
(16) ああうれしやうれしや	2714(〃)	
(17) 御利生ありけるや見えぬ目も	2715(〃)	
(18) 誓いの重きは岩をたて	2716(〃)	
(1) A. (序)夢が浮き世か浮き世が	70805(〃)	
(2) 壺坂の片ほとり土佐町に	70806(〃)	
(3) 落ちて流るる妹背の川を	70807(〃)	
(4) がそれともなんぞまた	70808(〃)	
(5) もうととさんやかかさんに＊	70809(〃)	
(6) B. 御利生ありけるや見えぬ目も	70810(〃)	
(1) A. (序)夢が浮き世か浮き世が	1966(〃)	
(2) 琴のけいこやさみ線の	1967(〃)	
(＊) ……		
(5) そっと抜けいでただひとり＊	1970(〃)	
(6) B. 観音の御利生ありけるや	1971(〃)	
(1) A. 夢が浮き世か浮き世が夢か	1611-A(E-62)	
(2) 夫の手助け賃仕事	1611-B(再E 8)	
(3) ほかの事でもないが	1612-A(再E 9)	
(4) りっぱに言えど目にもるる	1612-B(再E10)	
(5) そっと抜けいでただひとり	1613-A(再E11)	
(6) ええそりゃまあ何を	1613-B(E12再)	
(7) B. たどり行く伝え聞く	1614-A(E-91)	
(8) うきが情けか情けがうきか	1614-B(E-92)	
(9) 岩をたて水をたたえて	1615-A(E-93)	
(10) ほんに言やればそのとおり	1615-B(再E16)	
(11) ようように顔を上げ	1616-A(再E17)	
(12) いとものすごき谷水の	1616-B(再E-18)	
(13) 谷を見やれば照る月の	1617-A(再E-19)	
(14) C. この世も見えぬ盲目の	1617-B(再E20)	
(15) 聞こゆる音楽の音もたえなる＊	1618-A(再E21)	
(16) ふたたび拝む日の光は	1618-B(E94)	
(1) ととさんやかかさんに別れてから	9847(〃)	
(2) 観音様も聞こえぬと＊	9848(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 巌太夫 (三) 新造	テイ Ⅳa 緑	5— 27A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 80A B 81A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 82A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八 (口上) 隅栄太夫	ポリ Ⅰa 黒	5— 96A B 97A B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八・福太郎	ポリ Ⅰa 黒	5— 98A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—184A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳb 黒	5—350A B
59	壺坂観音霊験記 壺坂寺の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳc 黒	5—353A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅳa 緑	6— 10A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴc 黒	6— 78A B 79A B
59	壺坂観音霊験記 A. 壺坂寺の場 B. 谷底の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸・仙三郎	ビク Ⅴc 黒	6— 80A B 81A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸・仙三郎	タイ Ⅲa 灰	6—106A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 叶女 (三) 綱歳	タカシマヤ Ⅱa 黒	6—266A B

詞章	音盤番号	備考
(1) どうぞ明かして言うてたもと (2) そっと抜けいでただひとり	15166(5745) 15166(5746)	
(1) 夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 壺坂の片ほとり土佐町に＊ (3) ととさんやかかさんに別れてから (4) 観音様も聞こえぬと	50734-A(〃) 50734-B(〃) 50735-A(〃) 50735-B(〃)	=5—82A =　　B
(1) 夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 壺坂の片ほとり土佐町に	50734-A(〃) 50734-B(〃)	=5—80A =　　B
(1) (序)夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 壺坂の片ほとり土佐町に＊ (3) ととさんやかかさんに別れてから (4) 観音様も聞こえぬと	943-A(N1506) 943-B(N1507) 944-A(N1508) 944-B(N1509)	
(1) ほのぼの暗き谷間には (2) 御利生ありけるや見えぬ目も	1204-A(2226NⅡ) 1204-B(2227NⅡ)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) くどきたてたる貞節の	1034-A(エ15) 1034-B(エ16)	
(1) これどうぞ明かして言うてたもと (2) おまえのお目を直さんと	4246-A(3949W) 4246-B(〃)	
(＊) …… (3) かかる事ともつゆ知らず (4) ええこちの人聞こえませぬ	 5941-A(5862) 5941-B(5863)	 ↔[6—10]
(1) これどうぞ明かして言うてたもと (2) おまえのお目を直さんと	X-70074(5860) X-70074(5861)	↔[5—353]
(1) 夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 夫の手助け賃仕事 (3) おおそれわが身とおれが (4) ととさんやかかさんに別れてから	50466-A(〃) 50466-B(〃) 50467-A(〃) 50467-B(〃)	
(1) A. ほんに思えばこの身ほど (2) B. ころはきさらぎ中空や (3) ほのぼの暗き谷間には (4) 御利生ありけるや見えぬ目も	52604-A(3869) 52604-B(3870) 52605-A(3871) 52605-B(3872)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと	10153-A(56094A, 14245) 10153-B(56094B, 14246)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 山路いとわず三とせ越し	5061-A(?) 5061-B(2164)	17cm

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 小清	スタアクトン Ⅰa 緑・赤	6—277A B
59	壺坂観音霊験記 壺坂寺の場	(歌) (三) 小土佐	コロ Ⅳa 青	6—305
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 小土佐 (三) 美佐尾	ツルジルシ Ⅱa 赤	6—307A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 駒若 (三) ?	シヨオワ Ⅱa 緑	6—316A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	6—330A B 331A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 三蝶 (三) 力松	スタンダアド Ⅰa 黒	6—337A B
59	壺坂観音霊験記 壺坂寺の場	(歌) 三蝶 (三) 〈東重〉	ニト Ⅳc 緑	6—339A B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) 昇之助 (三) 〈力松〉 (洋楽) 〈アサヒオーケストラ〉	ツルジルシ Ⅱa 赤	7— 10B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) 仙竜 (三) 小住 〔ツレ弾入〕	オリ Ⅴa 黒	7— 39A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 団司 (三) 〈小住〉	ニト Ⅰa 赤	7— 48A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 団司 (三) 〈小住〉	ニト Ⅰa 赤	7— 49A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場	(歌) 団司 (三) 小住	ナイガイ Ⅰa 赤	7— 51A B 52A B

詞章	音盤番号	備考
(1) ととさんやかかさんに別れてから (2) いかなる報いぞや観音様も	70386(〃) 70387(〃)	
(1) 唱うる詠歌の声澄みて	2544(2544-1-X-1)	
(1) ととさんやかかさんに別れてから (2) 観音様も聞こえぬと	2329-A(〃) 2329-B(〃)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと	987-A(〃) 987-B(〃)	カケ (1)カビ
(1) りっぱに言えど目にもるる (2) おまえのお目を直さんと (3) 初めて聞きし妻の誠 (4) 沢市涙にくれながら	65082-A (80206) 65082-B (80207) 65083-A (80208) 65083-B (80209)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	2824-A(〃) 2824-B(〃)	
(1) おりしも坂の下よりも (2) 歌をしばしの道草に	S1674-A(30159A) S1674-B(30159B)	
(1) 御利生ありけるや見えぬ目も	2425-B(〃)	カビ
(1) ころはきさらぎ中空や＊ (2) 御利生ありけるや見えぬ目も	1786-A(480) 1786-B(481)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	977-A(マ78) 977-B(マ79)	=〔7—49〕
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	977-A(マ78) 977-B(マ79)	=〔7—48〕
(1) A. ととさんやかかさんに (2) 観音様も聞こえぬと＊ (3) B. おりしも坂の下よりも＊ (4) ほんに思えばこの身ほど	5551(〃) 5552(〃) 5553(〃) 5554(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 団司 (三) 小住	キリン Ⅰa 黒	7— 60A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 団艶 (三) 駒登久	ニッポン Ⅱa 青	7— 64A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 団艶 (三) 駒登久	フタミ Ⅰa 黒	7— 65A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 東猿	コロ Ⅲa 青	7— 66
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 80A B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰb 黒	7—103A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 東広 (三) 〈鶴栄〉	ナイガイ Ⅱa 黒	7—140A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 東広 (三) 鶴栄	キリン Ⅰa 黒	7—157A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場	(歌) (三) 長広 〔口上入〕	オリ Ⅴa・Ⅵb 黒	7—189A B 190A B
59	壺坂観音霊験記 壺坂寺の場	(歌) (三) 美光	ニポ Ⅰa 赤	7—212A
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 美朝 (三) 猿都糸	パイオニア Ⅰa 赤	7—217A B
59	霊坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 谷底の場	(歌) 雛昇 (三) 雛昇・雛世 (小) 望月太計夫	エトワアル Ⅰa 黒	7—243A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰb 黒	7—262

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　ととさんやかかさんに別れてから (2)　観音様も聞こえぬと＊	K.796-A(〃) K.796-B(〃)	
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと	15363-A(?) 15363-B(3674)	=〔7—65〕
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと	F187-A(381) F187-B(382)	=〔7—64〕
(1)　目かいの見えぬその上に	47517(47517-1-1)	
(1)　ととさんやかかさんに別れてから (2)　観音様も聞こえぬと＊	66450-A (62105) 66450-B (62106)	
(1)　いかに沢市承れ＊ (2)　御利生ありけるや見えぬ目も	65064-A (62107) 65064-B (62108)	
(1)　もととさんやかかさんに (2)　観音様も聞こえぬと＊	8016-A(?) 8016-B(7195)	カビ・キズ・スレ
(1)　もととさんやかかさんに (2)　観音様も聞こえぬと＊	K.669-A(〃) K.669-B(〃)	
(1)　A.(序)三つ違いの兄さんと (2)　切なる願いに御利生の (3)　B.むむ幸いに夜はふけたり＊ (4)　ほんに思えばこの身ほど	1499-A(?) 1499-B(?) 1500-A(?) 1500-B(イ45)	
(1)　ああこれこちの人こよいこそ	1808(〃)	
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと＊	181-A(〃) 181-B(〃)	カビ
(1)　A.目かいの見えぬその上に (2)　B.御利生ありけるや見えぬ目も	1103-A(〃) 1103-B(〃)	
(1)　三つ違いの兄さんと	11154-A(F11154, 4815e)	=7—263 7—268

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	**壺坂観音霊験記** 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰb 黒	7—263 264
59	**壺坂観音霊験記** 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅱa 黒	7—268 269
59	**壺坂観音霊験記** 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅳa 青	7—273
59	**壺坂観音霊験記** 壺坂寺の場	(歌) (三) 呂昇	ロオヤル Ⅱa 赤	7—283A B
59	**壺坂観音霊験記** A. 壺坂寺の場 B. 谷底の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・喜昇	ニポ Ⅰa・Ⅰc Ⅰb 赤	7—302A B 303A B 304A B 305A
59	**壺坂観音霊験記** 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—331A B
59	**壺坂観音霊験記** A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場 C. 谷底の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・金昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 1A B 2A B 3A B 4A B 5A B 6A B 7A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと	11154-A(H11154, 4815e) 11155-B(I 11155, 4816e)	=7—262 [7—268]
(1)　三つ違いの兄さんと (2)　観音様も聞こえぬと	11154-A(K11154, 4815e) 11155-B(L11155, 4816e)	=7—262 [7—263]
(*)　…… (2)　三とせ越し切なる願いに	2733-B (2733-B-1-X-1)	キズ
(*)　…… (9)　かかる事ともつゆ知らず* (10)　ほんに思えばこの身ほど	2270(〃) 2271(〃)	↔[7—302]
(*)　…… (5)　A. 伝え聞く壺坂の観世音 (6)　そんならあのさらえと思うて (7)　さあさあ沢市つぁんそれ観音様* (8)　ようように顔を上げ* (*)　…… (11)　B. ころはきさらぎ中空や (12)　ほのぼの暗き谷間には (13)　御利生ありけるや見えぬ目も	2266(〃) 2267(〃) 2268(〃) 2269(2269, 2270) 2272(〃) 2273(〃) 2274(〃)	↔[7—283]
(*)　…… (3)　ととさんやかかさんに別れてから (4)　観音様も聞こえぬと	2060(〃) 2061(〃)	
(1)　A. 夢が浮き世か浮き世が夢か (2)　夫の手助け賃仕事* (3)　三つ違いの兄さんと (4)　観音様も聞こえぬと* (5)　B. 細き心も細からぬ (6)　これ沢市つぁん信心は (7)　さあさあ沢市つぁんそれ観音様* (8)　ほんに言やればそのとおり* (9)　いざ最期どき急がんと (10)　尋ねまわれど声だにも (11)　この年月のかん難も* (12)　C. ようよう涙の顔を上げ (13)　なんじ前生の業により* (14)　御利生ありけるや見えぬ目も	15594-A(11995) 15594-B(11996) 15595-A(11997) 15595-B(11998) 15596-A(11999) 15596-B(12000) 15597-A(10001) 15597-B(12002) 15598-A(12003) 15598-B(12004) 15599-A(12005) 15599-B(12006) 15600-A(12007) 15600-B(12008)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 8A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 9A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅲb 赤	8— 29A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ライ Ⅰa 緑・赤	8— 54A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 95A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅴa 緑	8—104A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	スヒンクス Ⅱb 赤	8—108A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 壺坂寺の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—120A B 121A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 呂之助 (三) 新造	ニポ Ⅲc 赤	8—150A B
59	壺坂観音霊験記 A. 沢市内の場 B. 谷底の場	(歌) 呂之助 (三) 仙平・仙勝	リガ Ⅰa 黒	8—159A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 和広	コロ Ⅳb 黒	8—172
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 粟津清亮 (三) 勝八 〔口上入〕	ギンザ Ⅰa 赤	8—289A B 290A B
59	壺坂観音霊験記 谷底の場	(歌) 高木ふく子 (三) Ⅴ猿之助・猿幸	エジソン Ⅰa 赤	2—232B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 鳥の声鐘の音さえ身にしみて	2264(〃) 2265(〃)	＝[8—9]
(1) 夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 鳥の声鐘の音さえ身にしみて	2264(〃) 2265(〃)	＝[8—8]
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと	17123-A (NE31056) 17123-B (NE31057)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	70318(Jap70318) 70319(Jap70319)	
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	1065A(〃) 1065B(〃)	＝[8—104]
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	1065-A (H1065A) 1065-B (H1065B)	＝[8—95]
(1) ととさんやかかさんに別れてから (2) 観音様も聞こえぬと＊	5119(〃) 5120(〃)	
(1) A. 三つ違いの兄さんと＊ (2) B. 沢市涙にくれながら (3) おりしも坂の下よりも＊ (4) ほんに思えばこの身ほど	31-A(?) 31-B(?) 32-A(イ54) 32-B(イ65)	(3)キズ
(1) 三つ違いの兄さんと (2) 観音様も聞こえぬと＊	17619-A (NE40492) 17619-B (NE40493)	
(1) A. 夢が浮き世か浮き世が夢か＊ (2) B. 御利生ありけるや見えぬ目も	67677 (NE40890) 67677 (NE40891)	
(1) 三つ違いの兄さんと	2412(2412-1-X-1)	
(1) (序)夢が浮き世か浮き世が夢か (2) 糸より細き身代の (3) いやこれお里わしゃそなたに (4) 聞くにお里は身も世もあられず	K-125(〃) K-126(〃) K-127(〃) K-128(〃)	
(1) 御利生ありけるや見えぬ目も	E280(ナシ)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
60	日蓮聖人御法海 勘作内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 78A B
60	日蓮聖人御法海 勘作内の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅰa 黒	8— 61B
61	箱根霊験躄仇討 勝五郎小屋の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅶ団六	オリ Ⅲa 緑	2— 7A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) Ⅱ相生太夫 (三) 弥七	グラモホンコンサアトⅠa 黒	1— 24
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa 黒	4—276 277
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰb 赤	4—299A B
61	箱根霊験躄仇討 A. 阿弥陀寺の場 B. 滝の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ヒコ Ⅱa 赤	4—350A B 351A B 352A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸	ニポ Ⅰc 赤	4—315A B 316A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) 東広 (三) 東重	リガ Ⅰb 黒	7—104A B 105A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—113A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) 東広 (三) 東重	ヒコ Ⅲb 青	7—126A B 127A B
61	箱根霊験躄仇討 阿弥陀寺の場	(歌) 〈東広〉 (三) 〈東重〉	キングレコオデングデスク Ⅱa 橙	7—133A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) いでこの川にて夫が罪障 (2) 妻子はあっとありがた涙	836(〃) 837(〃)	
(1) ようよう涙の顔を上げ	A294(〃)	
(1) 行き来も多きその中に (2) ああもうしこの手をお放し	A1369(ホノ十一) A1370(ホノ十一)	
(1) おお治郎さん入つぁん	G.C.12705(375)	
(1) 尋ねに治郎は目をすえて (2) こんな結構な法事する人さえ	11110-A(C11110) 11111-B(F11111)	
(1) なんじゃ施行はまだ (2) こりゃ月の輪よわりゃ何が	1787(〃) 1788(〃)	
(1) A. 忠孝の身にも因果は (2) 非人施行と書いた札 (3) いったいまああいつはいざり (4) こんな結構な法事する人さえ (5) 笑いこぼれて初花が＊ (6) B. 追うもむやくと勝五郎	5403(〃) 5404(〃) 5405(〃) 5406(〃) 5407(〃) 5408(〃)	
(1) 忠孝の身にも因果は (2) 非人施行と書いた札 (3) いったいまああいつはいざり (4) さぞやさぞ父上や母上が	15810-A(9485, 売15810A) 15810-B(9486) 15811-A(9487, 売15811A) 15811-B(9488)	
(1) もうし勝五郎さんこのあたりは (2) ななんじゃいいざりのみょうと (3) こりゃ月の輪よわりゃ何が (4) へそがへそがよれる(笑)	65053-A (70981) 65053-B (70982) 65054-A (70983) 65054-B (70984)	
(1) 尋ねに治郎は目をすえて (2) (笑)こいつはまた泣きおるわい	B792(A792) B793(〃)	
(1) もうし勝五郎さんこのあたりは (2) ななんじゃいいざりのみょうと (3) こりゃ月の輪よわりゃ何が (4) (笑)へそがへそがよれると	7488-A(0858) 7488-B(0859) 7489-A(0860) 7489-B(0861)	≒7—133A ≒7—133B
(1) もうし勝五郎さんこのあたりは＊ (2) こりゃ月の輪よわりゃ何が	ナシ 92(ナシ)	≒7—126A ≒7—127A LP盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
61	**箱根霊験譬仇討** 阿弥陀寺の場	(歌) (三) 東広	トオア Ⅱa 赤	7—160A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅰ染太夫 (三) Ⅳ広作	ライ Ⅰa 緑・赤	1— 60A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	1—232
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅱa 黒	1—234
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニポ Ⅰa 赤	1—248A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 叶太夫 (三) Ⅵ叶	トオア Ⅱa 赤	2— 49A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニポ Ⅰa 赤	2—134B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	オリ Ⅵb 黒	2—198A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 相模太夫 (三) Ⅳ清二郎	ツルジルシ Ⅰa 赤	4—259A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	コロ Ⅲa 青	4—281
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅱ源路太夫 (三) 〈友若〉	オリ Ⅵb 黒	5—106A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—185A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 68A B 69A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 仙竜 (三) 小住	ナシヨナル Ⅱa 多色	7— 41A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 81A B 82A

詞　　章	音盤番号	備　　考
（1）　おりからどやどや非人ども （2）　一文の銭もろうさえ	881（〃） 882（〃）	
（＊）　…… （3）　とと様や母様を思う案じは （4）　それにこそ子細ぞあらん	 71127（〃） 71128（〃）	
（1）　そのお心とはつゆ知らず	11099（J 11099）	＝1—234
（1）　そのお心とはつゆ知らず	11099（L 11099）	＝1—232
（1）　母様お越し遊ばしたか （2）　そのお心とはつゆ知らず	65（〃） 66（〃）	
（1）　わが本城へわれながら （2）　ああこれもうし清郷様	379（五九一） 380（五九二）	
（1）　そのお心とはつゆ知らず	412（〃）	
（1）　母様お越し遊ばしたか （2）　そのお心とはつゆ知らず	4145-A（〃） 4145-B（〃）	
（1）　たったひとことおっしゃっても＊ （2）　あ思えばはかないわたしの身の上	767-A（〃） 767-B（〃）	
（1）　母様お越し遊ばしたか	2880-A（2880-A-1-1）	
（1）　わが本城へわれながら＊ （2）　とと様や母様を思う案じは	3210-A（〃） 3210-B（〃）	
（1）　わが本城へわれながら＊ （2）　そのお心とはつゆ知らず	1151-A（〃） 1151-B（〃）	
（1）　行く先は二重に建てし （2）　わが本城へわれながら （3）　夢ではないかとうれしさの （4）　とと様や母様を思う案じは	52173-A（2077） 52173-B（2078） 52174-A（2079） 52174-B（2080）	
（1）　不孝のとがにもよもなるまい＊ （2）　悲しやと柵葉末	A445A（445-A） A445B（445-B）	
（1）　わが本城へわれながら＊ （2）　これもうし清郷様 （3）　こがれ慕うているものを＊	65069-A （63101） 65069-B （63102） 65070-A （63103）	カビ

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) 東広 (三) ?	ナイガイ Ⅲa 青	7—141A B 142A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰa 黒	7—259
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—332A B
62	**八陣守護城** 政清居城の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅴb 黒	8— 76A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ住太夫 (三) Ⅱ竜助	コロ Ⅳa 青	17— 1 2 3 4 5 6
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ住太夫 (三) Ⅱ竜助	コロ Ⅳa 青	17— 7
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ住太夫 (三) Ⅱ竜助	コロ Ⅳb 黒	17— 8 9 10 11 12
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	1—130
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	トキ Ⅱa 赤	1—143A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　ふりほどいてがんづかつかみ	65070-B (63104)	
(1)　わが本城へわれながら (2)　切り戸押し明け走り寄り (3)　とと様や母様を思う案じは＊ (4)　怪しや庭の草隠れ	20112-A(〃) 20112-B(〃) 20113-A(〃) 20113-B(〃)	(2)(3)カケ
(1)　不孝のとがにもよもなるまい	11163(E11163)	
(1)　母様お越し遊ばしたか (2)　そのお心とはつゆ知らず	15088-A(〃) 15088-B(〃)	
(1)　たったひとことおっしゃっても＊ (2)　生まれてこのかたふた親の	1646-A(〃) 1646-B(〃)	
(＊)　…… (2)　おおこれはこれは宗岸様 (＊)　…… (4)　やっぱりもとの嫁娘と (5)　こなたはなんでなわを (6)　一日なりとものばしてやりたい＊ (＊)　…… (8)　今ごろは半七つぁん (＊)　…… (10)　こらえてたべ半七つぁん	 2741-B(2741-B-1-1) 2741-D(2741-D-1-1) 2741-E(2741-E-1-1) 2741-F(2741-F-1-1) 2741-H (2741-H-1-X-1) 2741-J (2741-J-1-X-1)	30cm ↔[17—8] =17—11 ≡17—7
(＊)　…… (10)　こらえてたべ半七つぁん	 2741-J (2741-J-1-X-1)	カケ　30cm ≡17—6
(1)　鐘に散り行く花よりも (＊)　…… (3)　圍めも昼夜泣き悲しみ (＊)　…… (7)　半兵衛ようよう顔を上げ (8)　今ごろは半七つぁん (9)　いっそ死んでしもうたら	2741-A(2741-A-1-1) 2741-C (2741-C-1-X-1) 2741-G(2741-G-1-1) 2741-H (2741-H-1-X-1) 2741-I(2741-I-1-1)	30cm ↔[17—1] =17—5
(1)　今ごろは半七つぁん	11322(A11322)	ヒビ
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　添いぶしはかなわずとも	1157(〃) 1158(〃)	

題番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅳ吉三郎	ニポ Ⅰc 赤	1—168A B 169A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅶ吉兵衛	キング Ⅰa 赤	1—176A B 177A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) <Ⅵ土佐太夫> (三) <Ⅳ吉三郎>	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 茶	1—178B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲa 黒	17—46
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅲa 黒	1—237 238
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	シンホニイ Ⅰb 赤	1—245A B 246A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ライ Ⅰa 緑	1—249A
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 叶太夫 (三) Ⅳ叶	トオア Ⅱa 赤	2— 50A B 51A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴc 黒	2—118A B 119A B 120A B 121A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅹa・Ⅹb 黒	2—155A B 156A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　しゅうと殿に話すうち (2)　今ごろは半七つぁん (3)　お気に入らぬと知りながら (4)　こらえてたべ半七つぁん	15590-A(?) 15590-B(?) 15591-A(11931) 15591-B(11932)	≒1—178B
(1)　半兵衛ようよう顔を上げ (2)　今ごろは半七つぁん (3)　お気に入らぬと知りながら (4)　こらえてたべ半七つぁん	12009(185) 12009(186) 12010(187) 12010(188)	
(1)　しゅうと殿に話すうち	ナシ	≒1—168A 題字はペン書き 遠心式
(*)　…… (2)　とくにも呼び入れさしゃんしたら	 ナシ(2833-B-1-1)	30cm
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	11100-A(N11100, 4761 e) 11101-B(L11101, 4762 e)	
(1)　あやまり入ったるあいさつに* (2)　あとには園がうき思い (3)　しゅうと御様もお通に免じ (4)　お気に入らぬと知りながら	61(〃) 62(〃) 63(〃) 64(〃)	
(*)　…… (3)　お気に入らぬと知りながら	 70305(〃)	
(1)　あとには園がうき思い (2)　とくにも呼び入れさしゃんしたら (3)　添いぶしはかなわずとも (4)　夫を思う真実心	91(〃) 92(〃) 93(〃) 94(〃)	
(1)　鐘に散り行く花よりも (2)　あやまり入ったるあいさつに* (3)　半兵衛ようよう顔を上げ (4)　今ごろは半七つぁん (5)　去年の秋のわずらいに (6)　一年前にこの園が (7)　半兵衛宗岸母親も* (8)　むざんやな半七は	53284-A(5965) 53284-B(5966) 53285-A(5967) 53285-B(5968) 53286-A(5969) 53286-B(5970) 53287-A(5971) 53287-B(5972)	
(1)　半兵衛ようよう顔を上げ (2)　繰り返したるひとりごと (3)　半七つぁんの身持ちも直り (4)　これまでいたのがお身のあだ	25823-A(NE40182) 25823-B(NE40183) 25824-A(NE40184) 25824-B(NE40185)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅵb 黒	2—199A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅴ生駒太夫 (三) 粂造	ポリ Ⅰb 黒	2—235A B 236A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸	オリ Ⅵa 黒	2—243A B 244A B 245A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) Ⅴ猿糸 (琴) 清丸	オリ Ⅵa 赤	2—246A B 247A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ホガ Ⅱa 赤	2—254A B 255A B 256A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—247A B 248A B 249A B 250A B 251A B 252A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助 〔ツレ弾入〕	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—253A B 254A B 255A B

詞章	音盤番号	備考
(1) もうしかかさんおまえ様の＊	1693-A(〃)	
(2) おしの片羽のとぼとぼと＊	1693-B(〃)	
(1) あとには園がうき思い	208-A(2181-BF)	
(2) とくにも呼び入れさしゃんしたら	208-B(2182-BF)	
(3) 添いぶしはかなわずとも	209-A(2183-BF)	
(4) 夫を思う真実心	209-B(2184-BF)	
(1) あるじの妻はひをともし	2565-A(ナシ)	
(2) こりゃ宗岸が一生の＊	2565-B(?)	
(3) あとには園がうき思い	2566-A(ナシ)	
(4) わしというもの無いならば	2566-B(ナシ)	
(5) お気に入らぬと知りながら	2567-A(1304)	
(6) こらえてたべ半七つぁん	2567-B(?)	
(1) ああこれもうしおまえ様の＊	3206-A(〃)	
(2) むざんやな半七は＊	3206-B(〃)	
(3) ただただお通がことのみ＊	3207-A(〃)	
(4) いつまで泣いても返らぬ＊	3207-B(〃)	
(1) こそは入りあいの鐘に	8373(〃)	
(2) これはこれは宗岸様	8374(〃)	
(3) こりゃ宗岸が一生の	8375(〃)	
(4) おっしゃってくださりませ	8376(〃)	
(5) 小手をゆるめしはがい締め	8377(〃)	
(6) ほめる人もあろうが親となり	8378(〃)	
(1) こそは入りあいの鐘に	9839(1777)	(1)に(15)の題紙を使用
(2) あい母様お変わりも	1778(〃)	
(3) おれも天満に年古う	1779(〃)	(3)(4)カケ
(4) おおなんのまあそっちさえ	1780(〃)	
(5) 問えどもさらに返答は	1781(〃)	
(6) わびことがかなわねば	1782(〃)	
(7) 半兵衛涙のうちよりも	1783(〃)	
(8) 半兵衛ようよう顔を上げ	1784(〃)	
(9) 繰り返したるひとりごと	1785(〃)	
(10) 思えば思えばこの園が	1786(〃)	
(11) 今の思いに比ぶれば	1787(〃)	
(12) あすはとうからととさんに	1788(〃)	
(＊) ……		
(13) やなんじゃ書き置きの事と	9837(〃)	
(14) ええあのまた善右衛門という＊	9838(〃)	
(15) 子を持って親の御恩を知ると	9839(〃)	
(16) こりゃやい娘未来で夫婦と	9840(〃)	
(17) 乳はここにあるものを	9841(〃)	
(18) なんと千万無量の思い＊	9842(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸	ニポ Ⅱa 赤	4—324A B 325A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅵ才治	ニト Ⅰa 黒	5— 16A B 17A B 18A B 19A B 20A B 21A B 22A B 23A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) 巌太夫 (三) 紋左衛門	スタアクトン Ⅱb 赤	5— 25A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—186A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	ニト Ⅳb 黒	5—283A B 284A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅱ越名太夫 (三) Ⅳ勝平	ビク Ⅴb 黒	5—299A B 300A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	コロ Ⅹa 黒	5—311A B 312A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 半兵衛ようよう顔を上げ	16578-A(13511)	
(2) 世のあじきなさ身一つに	16578-B(13512)	
(3) 半七つぁんの身持ちも直り	16579-A(13513)	
(4) 今の思いに比ぶれば	16579-B(13514)	
(1) こそは入りあいの鐘に	1453-A(B 94)	
(2) あるじの妻はひをともし	1453-B(B 95)	
(3) 園めも昼夜泣き悲しみ	1454-A(B 96)	
(4) おおおおなんのまあそっちさえ	1454-B(B 97)	
(5) いやいやまだまだ驚く事が	1455-A(B 98)	
(6) ああもうこういう仕儀に	1455-B(B 99)	
(7) 半兵衛涙のうちよりも	1456-A(B100)	
(8) 半兵衛ようよう顔を上げ	1456-B(B101)	
(9) 今ごろは半七つぁん	1457-A(B102)	
(10) 添いぶしはかなわずとも	1457-B(B103)	
(11) あすはとうからととさんに	1458-A(B104)	
(12) 聞いているさの障子より	1458-B(B105)	
(13) むざんやな半七は	1459-A(B106)	
(14) こなたはお園がなお涙	1459-B(B107)	
(15) この上はなからんあとの	1460-A(B108)	
(16) 半七は歯をくいしめ＊	1460-B(B109)	
(＊) ……		
(3) とくにも呼び入れさしゃんしたら	5570(〃)	カケ・カビ・スレ
(4) 添いぶしはかなわずとも	5571(〃)	
(1) 今ごろは半七つぁん	650-A(〃)	
(2) お気に入らぬと知りながら	650-B(〃)	
(1) 半兵衛ようよう顔を上げ	6551-A(6863B)	
(2) 繰り返したるひとりごと	6551-B(6864)	
(3) 思えば思えばこの園が	6552-A(6865)	
(4) 今の思いに比ぶれば	6552-B(6866)	
(1) 半兵衛ようよう顔を上げ	50398-A(〃)	
(2) 今ごろは半七つぁん	50398-B(〃)	
(3) 去年の秋のわずらいに	50399-A(〃)	
(4) こらえてたべ半七つぁん	50399-B(〃)	
(1) 半兵衛ようよう顔を上げ	26248-A (NE40833)	
(2) 繰り返したるひとりごと	26248-B (NE40834)	
(3) 御勘当もあるまいに	26249-A (NE40835)	
(4) 今の思いに比ぶれば	26249-B (NE40836)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa・Ⅳb 黒	5—339A B 340A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—341A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅳa 緑	6— 11A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴc 黒	6— 82A B 83A B 84A B 85A B 86A B 87A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	タイ Ⅰa 赤	6—104A B 105A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ袈之助	ビク Ⅰa 黒	6—130
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 重寿太夫 (三) 仲造	スタンダアド Ⅰa 緑	6—136A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉 〔口上入〕	コロ Ⅲb 黒	6—152A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅳa 青	6—155
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉 〔口上入〕	コロ Ⅳb 黒	6—157
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇太夫 (三) 〈喜三郎〉	ナシヨナル Ⅰa 青	6—176A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　半兵衛涙のうちよりも (2)　言わねばならぬこともあれど (3)　今ごろは半七つぁん (4)　添いぶしはかなわずとも	6265-A(〃) 6265-B(〃) 6266-A(〃) 6266-B(〃)	
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	5025-A(〃) 5025-B(〃)	
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	X-70079(3947) X-70079(3948)	
(1)　こそは入りあいの鐘に (2)　丸い頭の光さえ (3)　娘を連れていなれたからは (4)　園もうじうじ手をつかえ* (5)　宗岸涙の目をしばたたき (6)　こうこういう仕儀になった (7)　我強う生まれし半兵衛も (8)　それでわびこと聞き入れぬ (9)　あとには園がうき思い (10)　いまさら返らぬ事ながら (11)　こうした難儀はできまいもの (12)　一年前にこの園が	51725-A(2081) 51725-B(2082) 51726-A(2083) 51726-B(2084) 51727-A(2085) 51727-B(2086) 51728-A(2087) 51728-B(2088) 51729-A(2089) 51729-B(2090) 51730-A(2091) 51730-B(2092)	
(1)　あとには園がうき思い (2)　いまさら返らぬ事ながら (3)　こうした難儀はできまいもの (4)　一年前にこの園が	56117-A(14241) 56117-B(14452-1W) 56118-A(14243) 56118-B(14244)	
(1)　聞いているさの障子より	11221(A11221)	
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　添いぶしはかなわずとも	S114(5362, T6065A) S114(5363, ?)	カビ
(1)　(序)あとには園がうき思い (2)　いまさら返らぬ事ながら	2656-A(2656-A1-6) 2656-B(2656-1-3)	=6—157 ↔6—155
(*)　…… (3)　お気に入らぬと知りながら	 2656-C(2656-C-1-1)	↔[6—152]
(1)　(序)あとには園がうき思い	2656-A(2656-A-1-3)	=6—152A
(1)　あとには園がうき思い (2)　わしというもの無いならば	ナシ(1166) ナシ(1167)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 綾菊 (三) 三平	ビク Ⅲa 黒	6—247A B 248A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 綾助 (三) 小住	ホガ Ⅱb 紫	6—251A B 252A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) 〈円光〉	グロオブ Ⅰa 紫	6—259 260
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 越寿 (三) 花沢梅幸	メノホン Ⅰa 緑・赤	6—274A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅳa 黒	6—297A B 298A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ Ⅱa 黒	6—313
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 三蝶 (三) 東重	リガ Ⅰa 黒	6—321A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 三蝶 (三) 東重	ニト Ⅳc 緑	6—340A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 三蝶	ニト Ⅳc 緑	6—341A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇之助 (三) 力松・春子	ポリ Ⅱa 白	7— 8A B 9A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ツルジルシ Ⅱa 赤	7— 11A B

詞章	音盤番号	備考
(1) あとには國がうき思い (2) 三勝殿とくにも呼び入れ (3) 添いぶしはかなわずとも＊ (4) 表に半七涙をぬぐい＊	50237-A1 (E50237A-1) 50237-B2 (D50237B-2) 50238-A3 (C50238A-3) 50238-B4 (B50238B-4)	(1)(2)題紙にカビ
(1) あとには國がうき思い (2) 今ごろは半七つぁん (3) 去年の秋のわずらいに (4) 今の思いに比ぶれば	01481(〃) 01482(〃) 01483(〃) 01484(〃)	
(1) あとには國がうき思い (＊) …… (3) これまでいたのがお身のあだ	1274(〃) 1275(〃)	
(＊) …… (3) 未練なわたしがりんねゆえ＊ (4) むざんやな半七はこよい限りの＊	 1112(〃) 1113(〃)	
(1) 半兵衛涙のうちよりも (2) 半兵衛ようよう顔を上げ (3) 今ごろは半七つぁん (4) お気に入らぬと知りながら	5991-A(〃) 5991-B(〃) 5992-A(〃) 5992-B(〃)	
(1) 今ごろは半七つぁん	2132(2132-1E)	ヒビ
(1) 今ごろは半七つぁん (2) 添いぶしはかなわずとも	65081-A (80156) 65081-B (80157)	
(1) 鐘に散り行く花よりも (2) あやまり入ったるあいさつに	S1672-A(30113A, 09473) S1672-B(30113B, 09473)	
(1) 今ごろは半七つぁん (2) お気に入らぬと知りながら	S1671-A(7785) S1671-B(7786)	
(1) 今ごろは半七つぁん (2) お気に入らぬと知りながら＊ (3) 聞いていますわいの＊ (4) 乳はここにあるものを＊	8268-A(3485BF) 8268-B(3486BF) 8267-A(3483BF) 8267-B(3484BF)	題紙は(3)を(1), (4)を(2), (1)を(3), (2)を(4)とする
(1) 今ごろは半七つぁん (2) お気に入らぬと知りながら	2357-A(〃) 2357-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 仙竜 (三) 小住	オリ Ⅲa 赤	7— 37A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 団司 (三) 小住	ナイガイ Ⅰa 赤	7— 53A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 東広 (三) <仙平>	キリン Ⅰa 黒	7—158A B 159A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 長広	ビク Ⅰa 黒	7—164
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 長広	コロ Ⅲb 黒	7—171 172 173
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 旭嬢 (三) 広春	ホガ Ⅱb 紫	7—207A B 208A B 209A B 210A B 211A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 雛駒 (三) ? 〔口上入〕	ヒコ Ⅲa 青	7—222A B 223A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔口上入〕 〔柝入〕	ニポ Ⅰa 赤	7—306A B 307A
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—307B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔ツレ弾入〕	ニポ Ⅰc 赤	8— 10A B 11A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	2438A(〃) 2438B(〃)	
(*)　…… (3)　思えば思えばこの園が (4)　今の思いに比ぶれば	 4387(〃) 4388(〃)	
(1)　半兵衛ようよう顔を上げ (2)　繰り返したるひとりごと (3)　去年の秋のわずらいに (4)　一年前にこの園が	K.642-A(?) K.642-B(?) K.643-A(7771) K.643-B(?)	
(1)　今ごろは半七つぁん	11147(B11147)	
(1)　あとには園がうき思い (2)　いまさら返らぬ事ながら (3)　お気に入らぬと知りながら	2898-A (2898-A-1-X-1) 2898-B (2898-B-1-X-1) 2898-C (2898-C-1-X-1)	(2)カケ (3)カビ
(1)　鐘に散り行く花よりも (2)　いやもう人様についしょう言わぬ (3)　いったん殿御ときわまった (4)　いやでござるせがれめは勘当 (5)　よいときに勘当さしゃって (6)　おれもこなたほどはなけれども (7)　半七がことは思わぬが (8)　と三人はしおしお奥へ (9)　いまさら返らぬ事ながら (10)　お気に入らぬと知りながら	9273(〃) 9274(〃) 9275(〃) 9276(〃) 9277(〃) 9278(〃) 9279(〃) 9280(〃) 9281(〃) 9282(〃)	
(1)　(序)あとには園がうき思い (2)　今ごろは半七つぁん (3)　去年の秋のわずらいに (4)　今の思いに比ぶれば	1087-A(〃) 1087-B(〃) 1088-A(〃) 1088-B(〃)	
(1)　(序)あとには園がうき思い (2)　今ごろは半七つぁん (3)　お気に入らぬと知りながら	1535(〃) 1536(〃) 1537(〃)	 =8—13A
(1)　むごい心いじらしやと	1777(〃)	=8—13B
(1)　あとには園がうき思い (2)　とくにも呼び入れさしゃんしたら (3)　今の思いに比ぶれば*	15256-A(9647) 15256-B(9648) 15257-A(9649)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 12A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇 〔析入〕	ニポ Ⅰc 赤	8— 13A
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 13B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅲb 赤	8— 30A B 31A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 44A B 45A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ライ Ⅰa 緑・赤	8— 55A B 56A
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	スタアクトン Ⅱa 緑・赤	8— 57A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵb 黒	8— 84A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲb 青	8—102A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—122A B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) (三) 呂昇	ミカド Ⅰa 赤	8—130A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　かかる哀れも知らぬ子の (5)　聞いているさの障子より＊ (6)　こりゃ孫よもうとともかかも	15257-B(9650) 15258-A(9651) 15258-B(9652)	
(＊)…… (3)　お気に入らぬと知りながら	1537(〃)	=7—307A
(1)　むごい心いじらしやと	1777(〃)	=7—307B
(1)　あとには園がうき思い (2)　とくにも呼び入れさしゃんしたら (3)　今の思いに比ぶれば＊ (4)　半七は歯をくいしめ＊	17141-A (NE31052) 17141-B (NE31053) 17142-A (NE31054) 17142-B (NE31055)	=[8—44]
(1)　あとには園がうき思い (2)　とくにも呼び入れさしゃんしたら (3)　今の思いに比ぶれば＊ (4)　半七は歯をくいしめ＊	25446-A (NE31052) 25446-B (NE31053) 25447-A (NE31054) 25447-B (NE31055)	=[8—30]
(1)　あとには園がうき思い (2)　しゅうと御さんもお通に免じ (3)　未練なわたしがりんねゆえ	70315(Jap70315) 70316(Jap70316) 70317(Jap70317)	
(1)　あとには園がうき思い (2)　しゅうと御さんもお通に免じ	274(〃) 275(〃)	
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	1609-A(〃) 1609-B(〃)	カビ (1)カケ
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　添いぶしはかなわずとも	2016-A(〃) 2016-B(〃)	
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　添いぶしはかなわずとも	24-A(〃) 24-B(〃)	スレ
(1)　今ごろは半七つぁん (2)　お気に入らぬと知りながら	21536(〃) 21537(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 呂之助 (三) 広春	コロ Ⅳa 黒	8—157A B 158A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 阿賀皆春 (三) 亀鶴	ニッポン Ⅲa 赤	8—208A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) 真砂 (三) 金吾	オリ Ⅲa 灰	8—317A B 318A B
63	**艶容女舞衣** 茜屋の場	(歌) (三) ?	ホガ Ⅰa 赤	8—177
64	**花上野誉碑** 志渡寺の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—256A B 257A B 258A B 259A B 260A B 261A B 262A B 263A B 264A B 265A B
64	**花上野誉碑** 志渡寺の場	(歌) Ⅰ静太夫 (三) Ⅷ吉弥 〔口上入〕	ニト Ⅰb 茶	5— 51A B 52A

詞章	音盤番号	備考
(1) あとには園がうき思い	25134-A(15970A, 92907)	(3)(4)カビ
(2) 今ごろは半七つぁん	25134-B(15970B, ?)	
(3) 去年の秋のわずらいに	25135-A(15971A, ?)	
(4) 今の思いに比ぶれば	25135-B(15971B, 92908)	
(1) あとには園がうき思い	4293(〃)	
(2) いまさら返らぬ事ながら	4294(〃)	
(1) あとには園がうき思い	A559(〃)	(3)(4)カケ
(2) とくにも呼び入れさしゃんしたら	A560(〃)	
(3) (これまでいたのが)お身のあだ*	A561(〃)	
(4) (いつまで泣いても返らぬ)*	A562(〃)	
(1) 今ごろは半七つぁん	ナシ	邦楽同好会開会記念試供盤
(1) 泣く泣く立って行く	3363(〃)	
(2) 長者のささげし万燈より	3364(〃)	
(3) 続いて内記弟子方丈	3365(〃)	
(4) 持っていでたる小坊主の	3366(〃)	
(5) 源太左衛門目にかど立て	3367(〃)	
(6) がてん行かずと思いしが	3368(〃)	
(7) うばの辻が来たほどに	3369(〃)	
(8) 方丈への言いわけばかりで	3370(〃)	
(9) これこれ御内証それ薬でも	3371(〃)	
(10) たらだら立ち帰る無念と思えど	3372(〃)	
(11) 花は昔と散りうせて	3373(〃)	
(12) これわこええこなたはのう	3374(〃)	
(13) そのよこしまな心から	3375(〃)	
(14) 祈るお辻がまことの心	3376(〃)	
(15) 息も絶え絶え絶食に	3377(〃)	
(16) さっきにおば様へうばが	3378(〃)	
(17) これこらえてくだされ許して	3379(〃)	
(18) 三つの年より生き別れ	3380(〃)	
(19) うちながめささあわこ	3381(〃)	
(20) ひと間をいずる槌谷内記	3382(〃)	
(1) (序)花は昔と散りうせて	ナシ(写289A)	鴻池家依嘱盤
(2) これわこええこなたはのう	ナシ(写289B)	
(3) そのよこしまな心から	ナシ(写290A)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 53A B 54A B 55
64	花上野誉碑 志渡寺の場	(歌) 永藤呂篤 (三) Ⅳ叶	ホガ Ⅱa 赤	8—337A B 338A B 339A B 340A B 341A B
65	花雲佐倉曙 下総屋の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—266A B 267A B 268A B 269A B 270A B
65	花雲佐倉曙 惣五郎内の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—114A B
66	彦山権現誓助剣 六助内の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲa 青	1—241 242
66	彦山権現誓助剣 六助内の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅲa 黒	1—243
66	彦山権現誓助剣 六助内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	ニポ Ⅰa 赤	4— 79A B
66	彦山権現誓助剣 六助内の場	(歌) (三) 長広	オリ Ⅲa 赤	7—181A B
66	彦山権現誓助剣 六助内の場	(歌) (三) 新橋幸喜	ビク Ⅲa 黒	8—225A B

詞章	音盤番号	備考
(4) これ紙一枚筆一本	ナシ(写290B)	
(5) 何書かしゃるなんじゃ	ナシ(写291A)	
(6) これこらえてくだされ許して	ナシ(写291B)	
(7) はっと心を取り直し	ナシ(写292A)	
(8) むむこれほどに祈誓をかけ	ナシ(写292B)	
(9) 坊太郎に口留めなし置く	ナシ(写293A)	
(1) こそ入りあいの花は昔と	7785(〃)	
(2) 思えば思い回すほど	7786(〃)	
(3) 方丈様の手前内記様御夫婦の	7787(〃)	
(4) 祈るお辻がまことの心	7788(〃)	
(5) 何思いけん坊太郎	7789(〃)	
(6) おおかわいの子やと引き寄せて	7790(〃)	
(7) 現在母御はありながら	7791(〃)	
(8) (合)ああさあ物を言わっしゃれ	7792(〃)	
(9) さては金毘羅権現も	7793(7793再)	
(10) まった坊太郎かくてあるならば	7794(〃)	
(1) 空さえいとど薄曇る	3125(〃)	
(2) 昔のことよわが待つ人は	3126(〃)	
(3) 落つる涙のつららより	3127(〃)	
(4) せじょや万じょの鳥追いが	3128(〃)	
(5) こう見たところが卑しゅうもない	3129(〃)	
(6) わしはちと子細あって	3130(〃)	
(7) 苦労をしやるをいとしさに	3131(〃)	
(8) 始終残らず聞くうちに	3132(〃)	
(9) おお賢い賢いはて利口な	3133(〃)	
(10) きょうは四月十七日	3134(〃)	
(1) 鎌倉の花に目が止まって＊	B266(〃)	
(2) いつまでなごり惜しめばとて	B267(〃)	
(1) 問われて園は涙ぐみ	2908-A(2908-A-1-3)	↔1—243
(＊) ……		
(4) もしや隠れていようかと	2908-D(2908-D-1-1)	
(＊) ……		↔[1—241]
(3) あとに見捨ててふるさとを	ナシ(2908-C-1-1)	
(1) 園はとりわけ悲しさを	844(〃)	
(2) もしや隠れていようかと＊	845(〃)	
(1) 園はとりわけ悲しさを	1541-A(九一九一)	
(2) つらい悲しい恥ずかしい＊	1541-B(ナシ)	
(1) 園はとりわけ悲しさを	50002-A(A50002A)	
(2) うき苦労つらい悲しい	50002-B(A50002B)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—271A B 272A B
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) <越登太夫> (三) <Ⅳ浅造>	ニト Ⅰa 黒	5—187A B 188A B 189A B 190A B
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—191A B
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) 長広 (三)	ビク Ⅰa 黒	7—165
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) 呂昇 (三)	ニポ Ⅰa 赤	7—308A B
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) 呂昇 (三)	ビユウテイ Ⅰa 赤	8—129
67	鶴山古跡松 豊成館の場	(歌) 西村銀司 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅵa 黒	8—212A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ライ Ⅰa 緑・赤	1—141A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅰ七五三太夫 (三) Ⅳ勇造	コロ Ⅲa 青	1—182 183
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅰ七五三太夫 (三) Ⅳ勇造	コロ Ⅲa 黒	1—184
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅰ七五三太夫 (三) Ⅳ勇造	コロ Ⅲb 黒	1—185A
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 殿太夫 (三) <Ⅲ和佐太夫>	コロ Ⅱa 黒	1—214
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	1—233

詞章	音盤番号	備考
(＊) …… (17) こりゃこりゃ桐の谷＊ (18) 必ず必ず争うなと (19) 継母岩根がつれなきも (20) 父の御恩のありがたさ	 2185(〃) 2186(〃) 2187(〃) 2188(〃)	
(1) あら痛わしの中将姫 (2) 剣を踏むがごとくにて (3) 広次はるかに見下し (4) それ家来ども上着をひっぱぎ (5) 五体に流れしみ渡り (6) 道たてもあんまりと (7) 思えばかしゃくもつらからず (8) おおやさしいそなたの志	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	
(1) あら痛わしの中将姫 (2) 剣を踏むがごとくにて	369-A(〃) 369-B(〃)	
(1) あら痛わしの中将姫	11153(A11153, 4814e)	
(1) あら痛わしの中将姫 (2) 素足に雪の氷道	1580(〃) 1581(〃)	
(1) 親は隠れて血の涙	1581(ナシ)	
(1) あら痛わしの中将姫 (2) 行けとうちたたくこずえの雪が	2543-A(C2543A) 2543-B(C2543B)	
(1) 最前からのあらましは (2) あんまりむごいと取り付いて	70552(〃) 70553(〃)	
(＊) …… (2) 今から行儀改めて (3) 身にしみじみと片時も	 2807-B(2807-B-1-1) 2807-C(2807-C-1-1)	↔1—184 ＝1—185A
(＊) …… (5) お政は苦しき顔を上げ	 ナシ(2807-E-1-1)	↔[1—182]
(＊) …… (3) 身にしみじみと片時も	 2807-C(2807-C-1-1)	↔1—182 ＝1—183 ↔1—184
(1) とは言いながら情けない	2296(2296-1A)	17cm
(1) とは言いながら情けない	11102(I 11102)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅱa 赤	2— 46A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	トキ Ⅱa 赤	2—212A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	ニト Ⅰa 赤	2—217A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅴ猿糸 (三)	オリ Ⅵa 黒	2—248A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	オリ Ⅳb 多色	4— 87A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅲ清六	オリ Ⅴb 黒	4— 88A B 89A B 90A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰa 赤	4—289A
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ勝市	ニポ Ⅰc 赤	4—317A B 318A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 巌太夫 (三) Ⅲ吉作	ウオルド Ⅰa 黒	5— 29A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—192A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	ビク Ⅴb 黒	6— 70A B 71A B
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅲb 黒	6—150A
68	日吉丸稚桜 久吉居城の場	(歌) 越喜美 (三) 清一	ポリ Ⅰa 緑	6—270A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 最前からのあらましは (2) あんまりむごいと取り付いて	609(〃) 610(〃)	
(*) …… (3) もしや見捨てはなされぬかと (4) 言い放したる理の当然	 2751(〃) 2752(〃)	
(1) とは言いながら情けない (2) あんまりむごいと取り付いて	998-A(〃) 998-B(〃)	
(1) 最前からのあらましは* (2) あいそのおことばが知識の引導	2732-A(〃) 2732-B(〃)	
(*) …… (7) 虎之助はにこにこ顔* (8) しょうぶ刀の統かんだけ	 1670-A(ナシ) 1670-B(217)	↔[4—88]
(1) 散る花の別れをしばし (2) 武家の三つ指手はもじもじ (3) もしや見捨てはなされぬかと (4) これこれ五郎助殿娘が自害 (5) 始終聞きいる五郎助は (6) 五郎助は声を荒らげ	1667-A(245) 1667-B(246) 1668-A(247) 1668-B(248) 1669-A(220) 1669-B(221)	↔[4—87]
(1) いざ本城へ出立せん	1783(〃)	
(1) 散る花の別れをしばし (2) みずからはしかるびょう存じまする (3) 年月隔つそのうちに (4) 悔やんで返らぬ互いの縁	15197-A(5330) 15197-B(5331) 15198-A(ナシ) 15198-B(ナシ)	
(1) 散る花の別れをしばし (2) 最前からのあらましは	D.257(〃) D.258(〃)	
(1) とは言いながら情けない (2) 色にひかるる吉晴も	1333-A(写100) 1333-B(ナシ)	
(1) 散る花の別れをしばし (2) 武家の三つ指手はもじもじ (3) ほんにあらゆる神様や (4) 母はせん方なくなくも	52273-A(3046) 52273-B(3047) 52274-A(3048) 52274-B(3049)	
(1) とは言いながら情けない	2655(2655-1-1)	
(1) とは言いながら情けない* (2) 先だつこの身の経だらに	3573-A(1702NJ) 3573-B(1704NJ)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 雛昇 (三) 仙喜代	リガ Ⅰb 黒	7—230A B 231A B
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 雛昇 (三) (口上) 昇華	タイ Ⅱa 黒	7—237A B
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 雛昇 〔口上入〕 (三)	ツル Ⅰa 紫	7—240A B
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 広春 (三) 東馬鶴	コロ Ⅳb 黒	7—247
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—290A
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 呂昇 (三)	ニポ Ⅰc 赤	8— 14A B 15A B
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 呂之助 (三) 広春	ニポ Ⅰc 赤	8—135A B 136A B
68	**日吉丸稚桜** 久吉居城の場	(歌) 呂之助 (三) 新造	リガ Ⅰa 黒	8—160A B
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅰ文太夫 (三) Ⅰ勝太郎	コロ Ⅲb 黒	1—262
69	**ひらかな盛衰記** 松右衛門内の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅵ友次郎	ニポ Ⅰb 赤	1—289A B 290A B 291A B
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	ビク Ⅰa・Ⅰb 黒	4—278 279

詞　　章	音盤番号	備　　考
（1）　わがつまにはお居間へござって （2）　年月隔つそのうちに （3）　色にひかるる吉晴も （4）　お政は苦しき顔を上げ	65079-A (62857) 65079-B (62858) 65080-A (62859) 65080-B (62860)	
（1）　(序)とは言いながら情けない＊ （2）　明くる障子のうちくつろぎ	4540-A(13011) 4540-B(13012)	
（1）　(序)最前からのあらましは （2）　案じ暮らしたかいものう	6104-A(〃) 6104-B(〃)	カビ
（1）　いざ本城へ出立せん＊	2713(2713-1-X-1)	カケ
（1）　最前からのあらましは	1684(〃)	
（1）　散る花の別れをしばし （2）　存じまするといんぎんに （3）　もしや見捨てはなされぬかと （4）　これこれ五郎助殿娘が自害	15482-A(11584) 15482-B(11585) 15483-A(11586) 15483-B(11587)	
（1）　とは言いながら情けない （2）　案じ暮らしたかいものう＊ （3）　親の御恩をつゆほども＊ （4）　母も思いに正体なく	16180-A(13551) 16180-B(13552) 16181-A(13553) 16181-B(13554)	
（＊）　…… （3）　年月隔つそのうちに＊ （4）　親の御恩をつゆほども	 66637(81077) 66637(81078)	
（1）　こうこうとこそ聞こえけれ	2877-A(2877-A-1-1)	
（1）　光を添えぬらんつま恋うしかの （2）　かどに印のそんじょそこと （3）　何が知るべになろうやら （4）　はて早う会いたいな娘ちゃっと （5）　改めて申すもあじきなき＊ （6）　前のととさんに抱かれて	5243(〃) 5244(〃) 5245(〃) 5246(〃) 5247(〃) 5248(〃)	
（1）　はや約束のたそがれ時 （2）　行くことも早けれど	11120-A(A11120) 11121-B(D11121)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) <Ⅳ勝市>	ヒイロオベスト Ⅰa 多色	4—359B
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅰ静太夫 (三) 芳之助	ニト Ⅰa 黒	5— 33A B
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ビク Ⅴb 黒	5— 83A B 84A B
69	**ひらかな盛衰記** 福島浜の場	(歌) Ⅳ大隅太夫 (三) 道八	ポリ Ⅰa 黒	5— 99A B 100A B
69	**ひらかな盛衰記** A. 松右衛門内の場 B. 福島浜の場	(歌) Ⅳ織太夫 (三) Ⅶ団六	ダイヤモンド Ⅰa 赤	6—109A B 110A B 111A B 112A B 113A B 114A B 115A B 116A B 117A B 118A B
70	**双蝶々曲輪日記** 治部右衛門内の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—270A B
70	**双蝶々曲輪日記** 治部右衛門内の場	(歌) 綾助 (三) 小住	ホガ Ⅱb 紫	6—253A B
70	**双蝶々曲輪日記** 与兵衛内の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) 芳之助	ニト Ⅰa 黒	4—230A B 231A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　はや約束のたそがれ時	ナシ	題紙には「糸猿之助」
(1)　はや約束のたそがれ時 (2)　知っての通り潮につれ	951-A(ヤ52) 951-B(ナシ)	
(1)　とこそ聞こえけれはや約束の (2)　そうじてくがの戦いは (3)　さあそのとものろを押した (4)　推量に違わぬ上は＊	51094-A(1201) 51094-B(1202) 51095-A(1203) 51095-B(1204)	
(1)　とこそ聞こえけれはや約束の (2)　そうじてくがの戦いは (3)　さあそのとものろを押した (4)　推量に違わぬ上は＊	966-A(N1489) 966-B(N1490) 967-A(N1491) 967-B(N1492)	
(1)　A. 光を添えぬらんつま恋う (2)　苦労するすみうき事を (3)　てさて興がるたしなめ (4)　わるさよわが内を忘れたかい (5)　(恥を包みめんぼくをしのいで) (6)　(高うは言われぬ事ながら) (7)　お果てなされたお子の事は (8)　きょうは連れて来るか (9)　どのつらの皮でがやがやがやがや (10)　もどりおって見おったら (11)　さっきにからのもやくや (12)　天地にとどろく鳴るいかずちの (13)　若君のためにはおおおじながら (14)　殺されし槌松は樋口が仮の＊ (15)　船だまみょうり再び丸額に (16)　涙にくれぐれ若君を (17)　B. ともに涙に暮れの鐘 (18)　のう松右衛殿舟で妻子を (19)　妻子に再び会われぬじゃないか (20)　樋口かんら(笑)からとうち笑い＊	4162A(〃) 4162B(〃) 4163A(〃) 4163B(〃) 4164A(〃) 4164B(〃) 4165A(〃) 4165B(〃) 4166A(〃) 4166B(〃) 4167A(〃) 4167B(〃) 4168A(〃) 4168B(〃) 4169A(〃) 4169B(〃) 4170A(〃) 4170B(〃) 4171A(〃) 4171B(〃)	(5)(6)ワレ・カビ
(1)　吾妻は涙おしぬぐい (2)　よう思うてもみさしゃんせ	9851(〃) 9852(〃)	
(1)　吾妻は涙おしぬぐい (2)　神や仏が恨めしい	01485(〃) 01486(〃)	
(1)　二階へしおれ行く人の出世は (2)　やれやれそれはめでたい事 (3)　語るをひと間に母親が (4)　まず御両所は楠葉橋本の辺を	882-A(〃) 882-B(〃) 883-A(〃) 883-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				232A B 233A B 234A B 235A B 236A B 237A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅲb 黒	1— 1A B 2A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅶa 青	1— 9A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅳb 黒	1— 3 4
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅵa 青	1— 5A B 6A B 7A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅵa 青	1— 8A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	コロ Ⅷa 茶	1— 10A B 11A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(5)　いえいえなんのそれがおうれし	884-A(〃)	
(6)　こりゃなんとする女房	884-B(〃)	
(7)　ああ鳥のあわを拾うように	885-A(〃)	
(8)　常常からも万事の品	885-B(〃)	
(9)　こたえかねたる長五郎	886-A(〃)	
(10)　それがどう見ておらりょうぞ	886-B(〃)	
(11)　ああいやいややっぱりこのままで	887-A(〃)	
(12)　涙でもんでそり落とす	887-B(〃)	
(13)　かわいの者やと取り付いて	888-A(〃)	
(14)　かたわな子がかわいいと	888-B(〃)	
(15)　いったんかぼうたは恩愛	889-A(〃)	
(16)　濡髪長五郎を召し取ったぞ	889-B(〃)	
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の	2716-A(2716-A-1-1)	=1—5Aα
(2)　ひと間を立ちいでわれ民間に	2716-B(2716-B-1-1)	=　　Bα
(*)　……		
(5)　もうし勝頼様親と親との	2716-E(2716-E-1-2)	=1—7Aα
(6)　名画の力もあるならば	2716-F(2716-F-1-2)	=　　Bα
(*)　……		
(5)　もうし勝頼様親と親との	2716-E(2716-E-1)	=1—7Aα
(6)　名画の力もあるならば	2716-F(2716-F-1-2)	=　　Bα
(*)　……		
(5)　もうし勝頼様親と親との	2716-E(2716-E-1-2)	=1—7Aα
(6)　名画の力もあるならば	2716-F(2716-F-1-1)	=　　Bα
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の	2716-A(ナシ)	=1—1Aα
(2)　ひと間を立ちいでわれ民間に	2716-B(2716-B-1-1)	=　　Bα
(3)　おん経読じゅのりんの音	2716-C (2716-C-1-X-1)	=1—11A
(4)　手を合わせ広い世界に	2716-D(ナシ)	=　　B
(5)　もうし勝頼様親と親との	2716-E(2716-E-1)	=1—3α
(6)　名画の力もあるならば	2716-F(2716-F-1-2)	=1—4α
(*)　……		
(5)　もうし勝頼様親と親との	2716-F(2716-E-1)	≡1—7Aα
(6)　名画の力もあるならば	2716-E(2716-F-1-2)	≡1—7Bα (5)に(6), (6)に(5)の題紙を使用
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の	2716-A(ナシ)	=1—5Aα
(2)　ひと間を立ちいでわれ民間に	2716-B(2716-B-1-1)	=　　Bα
(3)　おん経読じゅのりんの音	2716-C (2716-C-1-X-1)	=1—6A
(4)　手を合わせ広い世界に	2716-D(2716-1D)	=　　B

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 摂津大掾 (三) Ⅵ広助	ダンス Ⅰa 赤	1— 12
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅶ時太夫 (三) Ⅲ燕四	ニポ Ⅰa 赤	1—155A B 156A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 殿太夫 (三) <Ⅲ和佐太夫>	コロ Ⅲb 黒	1—217A
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	シンホニイ Ⅰb 赤	1—247A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅱ春子太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ライ Ⅰa 赤	1—249B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造 〔囃子入〕	ニポ Ⅰa 赤	2— 37A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb・Ⅴc 黒	2—100A B 101A B 102A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	オリ Ⅵa 黒	2—193A B 194A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅰa 赤	2—218A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—273A B 274A B 275A B 276A B 277A B 278A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の	3041(ナシ)	≒1—5Aα
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の (2)　やかたの娘八重垣姫 (3)　いはいに向かい手を合わせ (4)　こんな殿御と添いぶしの	3842(〃) 3843(〃) 3844(〃) 3845(〃)	
(1)　こんな殿御と添いぶしの	2283(2283-1-4)	
(1)　もうし勝頼様親と親との＊ (2)　かわゆがってたもるように	59(〃) 60(〃)	
(1)　身は姫御ぜの果報ぞと	70306(〃)	
(＊)　…… (3)　たった今この水に映った影は (4)　おおそれよ思い出したり	 3133(〃) 3134(〃)	
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の (2)　やかたの娘八重垣姫 (3)　広い世界にたれあって (4)　身は姫御ぜの果報ぞと＊ (5)　はて滅相な勝頼呼ばわり (6)　そも見まごうてあらりょうか	52073-A(2969) 52073-B(2970) 52074-A(2971) 52074-B(2972) 52075-A(2973) 52075-B(2974)	
(1)　もうし勝頼様親と親との＊ (2)　かわゆがってたもるように＊ (3)　みじん覚えのない蔑作 (4)　世にも人にも忍ぶなる	2545-A(〃) 2545-B(〃) 2546-A(〃) 2546-B(〃)	
(1)　さそのおことばに違いなくば (2)　いかにお顔が似ればとて	1638-A(ヒ22) 1638-B(ヒ23)	
(1)　ふしどへ行く水の流れと人の (2)　それと悟ってかかえしや (3)　鳴く音にそでも濡衣が (4)　暮れ行く月日もひとせ余り (5)　名画の力もあるならば (6)　よみしは別れを悲しむ歌 (7)　はかなき女の心から (8)　ふたりの手前恥ずかしながら (9)　顔にそであてやかなりし (10)　そのおことばに違いなくば (11)　いかにお顔が似ればとて	9605(〃) 9606(〃) 9607(〃) 9608(〃) 9609(〃) 9610(〃) 9611(〃) 9612(〃) 9613(〃) 9614(〃) 9615(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 279A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) Ⅶ島太夫 (三) <Ⅳ清二郎> (琴) 清丸	ヒコ Ⅲb 青	5—116A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造 〔琴・ツレ弾入〕	ニト Ⅰb 茶	5—252A B 253A B 254A B 255
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅱa 赤	5—265A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 小春太夫 (三) 綱右衛門	ニト Ⅳb 黒	5—285A B 286A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	コロ Ⅳb 黒	5—308A B 309A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲb 黒	6— 3A B 4A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ猿之助	ビク Ⅰa 黒	17—96
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	コロ Ⅳa 青	6—156
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ロオヤル Ⅰa 黒	6—166
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	ニポ Ⅰa 赤	6—174A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(12)　やあ聞き分けなき戯れごと (13)　やあやあ者ども用意よくば (14)　過ぎ去りたまいしわがつまに	9616(〃) 9617(〃) 9618(〃)	
(1)　思いにやこがれて燃ゆる＊ (2)　いやいや泣いてはおられぬところ	7089-A(〃) 7089-B(〃)	題紙には「三味線鶴沢清二」
(1)　思いにやこがれて燃ゆる (2)　きつね火やきつね火野べの (3)　いさめても嘆いても (4)　かぶとの前に手をつかえ (5)　映るはおのが影ばかり (6)　誠や当国諏訪明神は (7)　(合)おおそれよ思いいだしたり＊	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	鴻池家依嘱盤
(1)　こんな殿御と添いぶしの＊ (2)　人目にそれとわからねど	319-A(〃) 319-B(〃)	
(1)　広い世界にたれあって (2)　月にも花にも楽しみは＊ (3)　いえいえそれもこっちに望みが (4)　いかにお顔が似ればとて	6572-A(6922) 6572-B(6923) 6573-A(6924) 6573-B(6925)	
(1)　見れば見るほど美しい (2)　あの泣き声は八重垣姫よな (3)　泣く声もれてひと間には (4)　またのぞいては絵姿に	26152-A (NE40837) 26152-B (NE40838) 26153-A (NE40839) 26153-B (NE40840)	
(1)　これ濡衣この裘作とやら (2)　おおお姫様としたことが (3)　やあなんと言やる諏訪法性の (4)　恋しと思う勝頼様	10648(4670) 10648(4671B) 10649(4672) 10649(4673, 5240B)	
(1)　言う顔つれずれうちまもり	12005(A12005)	30cm
(1)　こんな殿御と添いぶしの	2654(2654-1-1)	
(1)　人目にそれとわからねど	1124(〃)	
(＊)　…… (3)　広い世界にたれあって	1115(〃)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
				B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) 昇太夫 (三) 兵吉	キンシ　Ⅰa 緑	6—177
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 越喜美 (三) 清一	ポリ　Ⅰb 黒	6—273 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 小土佐	コロ　Ⅲb 黒	6—304 A
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ　Ⅱa 黒	6—314
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平	リガ　Ⅰb 黒	6—332 A B 333 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 団司	オリ　Ⅴb 黒	7— 47 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 長広	コロ　Ⅲa 青	7—168
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 長広	ビク　Ⅰb 黒	7—167
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 長広	ビク　Ⅰa 黒	17—109
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 雛昇 (三) 仙喜代	リガ　Ⅰb 黒	7—232 A B 233 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ　Ⅲa 青	7—270
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ　Ⅲb 黒	7—272

詞章	音盤番号	備考
(4) 身は姫御ぜの果報ぞと	1116(〃)	
(1) 勝頼様の今の御難儀	1434(〃)	
(1) 身は姫御ぜの果報ぞと＊ (2) 人目にそれとわからねど	828-B(2760BF) 828-A(2759BF)	題紙は(2)を「上」,(1)を「下」とする
(1) 言う顔つれずれうちまもり	2542(2542-1-2)	
(1) いかにお顔が似ればとや	2140(2140-1-C)	
(1) まことにきょうは霜月はつか (2) 回向しょうとてお姿を＊ (3) はて滅相な勝頼呼ばわり (4) いかにお顔が似ればとや	65090-A (80398) 65090-B (80399) 65091-A (80414) 65091-B (80415)	
(1) 言う顔つれずれうちまもり (2) そも見まごうてあらりょうか	1877-A(京187) 1877-B(京188)	
(1) 回向しょうとてお姿を	2901(ナシ)	
(1) こんな殿御と添いぶしの	11152(E11152, 4813e)	
(1) そこつばしのたもうなと	12001(A12001)	30cm
(1) まことにきょうは霜月はつか (2) 煙も香げとなったるか＊ (3) はて滅相な勝頼呼ばわり (4) いかにお顔が似ればとや	65859-A (62588) 65859-B (62589) 65860-A (62590) 65860-B (62591)	
(1) こんな殿御と添いぶしの	2915-A(?)	キズ・ヒビ ↔7—272
(＊) …… (3) そも見まごうてあらりょうか	 2915-C (2915-C-1-X-1)	↔7—270

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅳa 青	7—274
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—298 B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰa 赤	7—309 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—333 A B
71	**本朝廿四孝** A. 謙信館の場 B. 奥庭の場	(歌) 呂昇 (三) 呂昇・喜昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 16 A B 17 A B 18 A B 19 A B 20 A B 21 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹb 黒	8— 37 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅱb 赤	8— 88 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 96 A B 97 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) 呂之助 (三) 〈綱之助〉 〔ツレ弾入〕	ニポ Ⅰc 赤	8—137 A B
71	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(歌) 呂之助 (三) 〈綱之助〉 〔琴・ツレ弾入〕	コロ Ⅹa 黒	8—153 A B 154 A

詞章	音盤番号	備考
(1) 言う顔つれずれうちまもり	2735-A (2735-A-1-1)	
(1) こんな殿御にかしずきの	1677(〃)	
(1) はて滅相な勝頼呼ばわり (2) いかにお顔が似ればとて	1582(〃) 1583(〃)	=〔7—333〕
(1) はて滅相な勝頼呼ばわり (2) いかにお顔が似ればとて	1582(〃) 1583(〃)	=〔7—309〕
(1) A. 流れと人の裳作が (2) こなたも同じ松虫の (3) まことにきょうは霜月はつか (4) 魂かえす反魂香 (5) よみしは別れを悲しむ歌＊ (6) いいなずけばかりにてまだ (7) ついこうこうとお身の上＊ (8) B. 思いにやこがれて燃ゆる (9) (合)あれあの奥の間で (10) ああ翼がほしい羽がほしい＊ (11) 誠や当国諏訪明神は (12) たとえきつねは渡らずとも	16123-A(〃) 16123-B(〃) 16124-A(〃) 16124-B(〃) 16125-A(〃) 16125-B(〃) 16126-A(〃) 16126-B(〃) 16127-A(〃) 16127-B(〃) 16128-A(〃) 16128-B(〃)	
(1) こんな殿御にかしずきの (2) あの泣き声は八重垣姫よな	24027-A (NE40029) 24027-B (NE40030)	
(1) 見れば見るほど美しい＊ (2) 言う顔つれずれうちまもり	5681(〃) 5682(〃)	カケ
(1) 広い世界にたれあって (2) 月にも花にも楽しみは＊ (3) そのおことばに違いなくば (4) いかにお顔が似ればとて	1037A(?) 1037B(?) 1038A(195) 1038B(ナシ)	スレ
(＊) …… (5) (合) (6) おおそれよ今思いいだしたり＊	 16961-A (NE30040) 16961-B (NE30041)	カケ ↔〔8—153〕
(1) きつね火やきつね火野べの (2) あれあの奥の間でけんぎょうが (3) ああ翼がほしい羽がほしい	25387-A (16959, 30036) 25387-B (30037) 25388-A (16960, 30038)	(3)(4)カビ ↔〔8—137〕

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B
71	**本朝廿四孝** 謙信館の場	(歌) 呂之助 (三) 新造	リガ Ⅰb 黒	8—161A B 162A B
72	**迎駕野中の井戸** 由兵衛内の場	(歌) 富田屋玉子 (三) 紀庄末八	ビク Ⅰa 黒	8—294
73	**嬢景清八島日記** 日向島の場	(歌) 小西い京 (三) 〈Ⅲ寛治郎〉	ホガ Ⅱb 赤	8—193A B 194A B 195A B 196A B 197A B 198A B 199A B 200A B 201A
74	**冥途の飛脚** 米屋町の場	(歌) Ⅰ文太夫 (三) Ⅰ勝太郎	コロ Ⅲa 青	1—260
74	**冥途の飛脚** 新口村の場	(歌) Ⅶ時太夫 (三) Ⅲ燕四	ニポ Ⅰa 赤	1—157A B
74	**冥途の飛脚** 新口村の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2—103A B 104A B 105A B 106A B

詞章	音盤番号	備考
(4) 今のはたしかにきつねの姿＊	25388-B(30039)	
(1) いいなずけある勝頼の＊	65042-A (80174)	(2)カケ
(2) こんな殿御と添いぶしの＊	65042-B (80175)	
(3) 言う顔つれずれうちまもり	65043-A (80176)	
(4) いかにお顔が似ればとや	65043-B (80177)	
(1) 死ぬる所まで見て来たわいのと	11086(A11086)	
(1) 松門ひとり閉じて	ナシ(3573)	題紙には「三味線鶴沢寛市」
(2) うき事しげる草の糸	ナシ(3574)	
(3) さながら盲こつじきの	ナシ(3575)	
(4) あっぱれ君は三世を見抜く	ナシ(3576)	
(5) はあ不覚の繰りこと今日った	ナシ(3577)	
(6) 悪七兵衛景清が供うるぜんかと	ナシ(3578)	
(7) ありかを知らば教えてたも	ナシ(3579)	
(8) 娘はされどもあい見んの	ナシ(3580)	
(9) 奥へと尋ね行く折ふし里人	ナシ(3581)	
(10) 引けば引かるる悪心の	ナシ(3582)	
(11) われ熱田の大宮司の娘に契り	ナシ(3583)	
(12) 何から何まで気がついて	ナシ(3584)	
(13) 景清がさびぬ勇士の心は	ナシ(3585)	
(14) 人に憎まれ笑われず	ナシ(3586)	
(15) 船よのう返せもどれと	ナシ(3587)	
(16) ともに涙に暮れけるが	ナシ(3588)	
(17) 四海波風静かにて	ナシ(3589)	
(1) 金懐中に羽織のひも	2876-A (2876-A-1-X-1)	
(1) あとは門口はたと締め	3846(〃)	カケ
(2) 京の六条珠数屋町	3847(〃)	
(1) おちうどのためかや今は	52747-A(4495)	
(2) 石原道を足びきの＊	52747-B(4496)	
(3) さだめてこのあいだせんぎに＊	52748-A(4497)	
(4) あれあれありゃ皆在所の	52748-B(4498)	
(5) 孫右衛門は老足の	52749-A(4499)	
(6) ててごに似た親じ様の＊	52749-B(4500)	
(7) 奈良のはたごや三輪の茶屋＊	52750-A(4501)	
(8) 孫右衛門は飛び立つうれしさ	52750-B(4502)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	コロ Ⅹa 黒	2—161A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎	オリ Ⅴb 黒	2—185A B 186A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—280A B 281A B 282A B 283A B 284A B 285A B 286A B 287A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) Ⅳ叶	ハンプカイ Ⅱa 青	4—271A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—193A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—194A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—195A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—196A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅱ越名太夫 (三) Ⅳ勝平	ビク Ⅴb 黒	5—301A B 302A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	タイ Ⅲb 黒	6— 5A B

詞章	音盤番号	備考
(1) おちうどのためかや今は (2) 石原道を足びきの＊	25696-A(NE32476) 25696-B(NE32477)	
(1) 梅川いとどむなつぼらしく (2) ことばの端に孫右衛門＊ (3) 涙のひまにきんちゃくより (4) 金ゆえ大事の忠兵衛さん＊	1733-A(256) 1733-B(257) 1734-A(258) 1734-B(259)	
(1) 前にさしかかるおちうどの (2) なけれども世を忍ぶ身の (3) まあまあここへとかどの口 (4) ことばもなかりしが (5) さだめてこのあいだせんぎに (6) は雪が降るそうな (7) よう似たことわいなあ (8) もうしもうしどこも痛みは (9) さぞ連れ合いは飛びさあ飛び立つ (10) 盗みする子は憎のうて (11) 雑行ながら神たたきも (12) 泣き沈み分けたる血筋ぞ (13) 五日三日夜を明かし (14) おおかたじけのうござる (15) へいさのうとう血の涙 (16) (解説)	1647(〃) 1648(〃) 1649(〃) 1650(〃) 1651(〃) 1652(〃) 1653(〃) 1654(〃) 1655(〃) 1656(〃) 1657(〃) 1658(〃) 1659(〃) 1660(〃) 1661(〃) 1662(〃)	
(1) おちうどのためかや今は＊ (2) 生みの母の墓所	9913(〃) 9914(〃)	
(1) 前にさしかかるおちうどの (2) すすき尾花はなけれども	926-A(〃) 926-B(〃)	
(1) あとは門口はたと締め (2) さだめてこのあいだせんぎに	1129-A(398) 1129-B(399)	
(1) 渡せば梅川おしいただき＊ (2) 孫右衛門な飛び立つうれしさ	927-A(〃) 927-B(〃)	=[5—196]
(1) 渡せば梅川おしいただき＊ (2) 孫右衛門な飛び立つうれしさ	927-A(〃) 927-B(〃)	=[5—195]
(1) おちうどのためかや今は (2) 石原道を足びきの (3) ふたりははっと胸にくぎ (4) それはうれしゅうござんしょう	50451-A(〃) 50451-B(〃) 50452-A(〃) 50452-B(〃)	
(1) 孫右衛門は気の毒さ (2) さぞ連れ合いは飛び立つように＊	10078-A(4901) 10078-B(4902)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				6A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅴb 黒	6— 72A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) Ⅲ田喜太夫 (三) 友衛門	チヤンピオン Ⅰa 多色	6—127A B 125B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 重寿太夫 (三) 仲造	テイ Ⅳb 黒	6—134A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—293A B 294A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ Ⅰa 黒	6—310
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 三蝶 (三) 仙平 〔口上入〕	タイ Ⅱb 黒	6—347A B 348A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 仙竜 (三) 小住	オリ Ⅳa 多色	7— 38A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 仙竜 (三) 小住	ナシヨナル Ⅱa 多色	7— 42A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ビク Ⅰb 黒	7—265
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb 赤	7—334A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰb・Ⅰc 赤	7—335A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	8— 22A B 23A B 24A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　大坂を立ちのいても＊ (4)　所は長谷の山続きに	10079-A(4903,5391A) 10079-B(4904,5391B)	
(1)　お心ついたこのお金＊ (2)　この裏道の小川を渡り＊	50471-A(〃) 50471-B(〃)	
(1)　おちうどのためかや今は (2)　いたわる身さえ雪風に＊ (3)　奈良のはたごや三輪の茶屋	ナシ ナシ ナシ	金属製盤面の樹脂様物質剝落して聴取不能，テープに録音済み題字はペン書き
(1)　男気な忠三郎頼んで今夜は＊ (2)　お心づいたこのお金	6131(5358) 6131(5359)	
(1)　おちうどのためかや今は＊ (2)　これ忠兵衛さんほんにここは＊ (3)　なおも涙をおしぬぐい＊ (4)　涙のひまにきんちゃくより	2095-A(〃) 2095-B(〃) 2096-A(〃) 2096-B(〃)	
(1)　さかさまながらいただきます	2135(2135-1C)	カケ
(1)　(序)おちうどのためかや今は (2)　いたわる身さえ雪風に＊ (3)　それはうれしゅうござんしょう＊ (4)　お心づいたこのお金	3878-A(〃) 3878-B(〃) 3879-A(〃) 3879-B(〃)	
(1)　嫁しゅうとめと引き合わせ＊ (2)　お心づいたこのお金	2425(A2425) 2426(A2426)	=[7—42]
(1)　嫁しゅうとめと引き合わせ＊ (2)　お心づいたこのお金	A425(A426) A426(A425)	=[7—38]
(1)　大坂を立ちのいても	11156(F11156)	
(1)　おちうどのためかや今は＊ (2)　嫁しゅうとめと引き合わせ	1679(〃) 1584(〃)	
(1)　おお道理じゃ道理じゃ＊ (2)　お心ついたこのお金	1680(〃) 1585(〃)	
(1)　おちうどのためかや今は＊ (2)　これもうし忠兵衛さんほんに (3)　おおおお道理じゃ道理じゃ＊ (4)　おおあれあれあそこに見えるが＊ (5)　大坂を立ちのいても＊ (6)　順礼姿の八右衛門	15527-A(?) 15527-B(11577) 15528-A(11580) 15528-B(11581) 15529-A(11582) 15529-B(11583)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅲb 赤	8— 32A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	ウグイス Ⅰa 橙	8— 70B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅲb 黒	1—185B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 呂之助 (三) 広春	ニポ Ⅰc 赤	8—138A B 139A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 北新地北助 (三) 北新地吉助	ニト Ⅰa 赤	8—210A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ビク Ⅰa 黒	1—131
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 朝太夫 (三) 松太郎	ヒコ Ⅰa 橙	1—142A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅵ土佐太夫 (三) Ⅳ吉三郎	ニポ Ⅰc 赤	1—170A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ勇造	ポリ Ⅰb 黒	2— 28A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 竹三郎	コロ Ⅳb 黒	2— 35A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅳ雛太夫 (三) 新造	トオア Ⅱa 赤	2— 44A B 45A
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 十文字楼 (三) 友花	ホガ Ⅱb 紫	2— 63A B 64A B 65A B 66A B

詞章	音盤番号	備考
(1) お心ついたこのお金＊ (2) 孫右衛門は飛び立つうれしさ	17493-A (NE40031) 17493-B (NE40032)	
(1) 大坂を立ちのいても	398(〃)	
(1) お心ついたこのお金	2918-C (2918C-1-X-1)	
(1) おちうどのためかや今は (2) こごえる手先ふところに＊ (3) それはうれしゅうござんしょう＊ (4) 大坂を立ちのいても	16541-A(〃) 16541-B(〃) 16542-A(〃) 16542-B(〃)	(1)カケ
(1) おちうどのためかや今は＊ (2) 嫁しゅうとめと引き合わせ	70-A(〃) 70-B(〃)	
(1) とは言うもののかわいやな	11325(B11325)	
(1) とは言うもののかわいやな (2) 三千世界に子を持った	435(〃) 436(〃)	
(1) どれこしらようとかい立って (2) いつ水差しをかしぎおけ	15593-A(11733-2) 15593-B(11734-2)	
(1) あとにはひとり政岡が (2) とは言うもののかわいやな	664-A(2838BF) 664-B(2839BF)	
(1) とは言うもののかわいやな (2) 二年待てどもまだ見えぬと	2729-A(2729-A-1-1) 2729-B(2729-B-1-1)	
(1) 皆心は同腹中 (2) そなたが命捨ちゃったゆえ (3) 七つ八つから金山へ	605(〃) 606(〃) 607(〃)	スレ・キズ
(1) ふすま押し開かせ梶原平三 (2) 八汐引っ取りこれはこれは (3) やあ何をざわざわ騒ぐことは (4) 忠義は先代末代まで (5) あと先見回し栄御前 (6) あとにはひとり政岡が (7) とは言うもののかわいやな (8) そなたは百年待ったとて	5843(〃) 5844(〃) 5845(〃) 5846(〃) 5847(〃) 5848(〃) 5849(〃) 5850(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb・Ⅴc 黒	2—107A B 108A B 109A B 110A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅴb 黒	2—111A B 112A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅲ燕四	スヒンクス Ⅱb 赤	2—207A B 208A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅱa 赤	2—222A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅱ新左衛門	ニト Ⅱa 赤	2—223A B 224A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) Ⅶ広助	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—288A B 289A B 290A B 291A B 292A B 293A B 294A B 295A B 296A B 297A

詞章	音盤番号	備考
(1) あと見送りて政岡が＊	52208-A(3719)	
(2) 御前のおこらえ遊ばすため＊	52208-B(3720)	
(3) やい政岡大名というものは	52209-A(3721)	
(4) お末がわざをしがらきや	52209-B(3722)	
(5) かまに移してふろの炭＊	52210-A(3723)	
(6) 一羽のすずめが言うことにゃ＊	52210-B(3724)	
(7) 若殿小陰をうちながめ	52211-A(3725)	
(8) よこしま非道に組み従い	52211-B(3726)	
(1) あとにはひとり政岡が	53139-A(5973)	
(2) とは言うもののかわいやな	53139-B(5974)	
(3) 三千世界に子を持った	53140-A(5975)	
(4) やあこの八汐に白状とは	53140-B(5976)	
(1) ひと間へ入りにけるあと先見回し	4667(〃)	スレ
(2) あとにはひとり政岡が	4668(〃)	
(3) とは言うもののかわいやな	4669(〃)	
(4) 三千世界に子を持った	4670(〃)	
(1) こりゃ早うままを上げざなるまい	1998-A(?)	
(2) (合)流す涙の水こぼし	1998-B(ケ69)	
(1) ひと間へ入りにけるあと先見回し	2084-A(ケ70)	
(2) あとにはひとり政岡が	2084-B(ケ-71)	
(3) とは言うもののかわいやな	2085-A(ケ-72)	
(4) 三千世界に子を持った＊	2085-B(ケ-73)	
(1) 押し明け入りにけりあと見送りて	1607(〃)	
(2) 心一つのうき思い	1608(〃)	
(3) もうこしらえて上げますと	1609(〃)	
(4) これかか様侍の子というものは	1610(〃)	
(5) おおそうじゃそうじゃつわ者じゃ	1611(〃)	
(6) も楽ならでお末がわざを	1612(〃)	
(7) 心も清き洗いよね	1613(〃)	
(8) 歩む姿もたよたよと	1614(〃)	
(9) いつも歌うすずめの歌	1615(〃)	
(10) わしがむすこの千松が	1616(〃)	
(11) ほろりほろりとお泣きゃるが	1617(〃)	
(12) 聞く悲しさをこらえかね	1618(〃)	
(13) すずめや犬に劣ったる	1619(〃)	
(14) うばが今泣いたのは	1620(〃)	
(15) 涙のおりからに梶原様の奥方	1621(〃)	
(16) 八汐引っ取りこれはこれは	1622(〃)	
(17) 若君いだきわがへやへ	1623(〃)	
(18) ただ若君が大事ぞと	1624(〃)	
(19) 年ごろ仕込みしそなたの願望	1625(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 298A B
75	**伽羅先代萩** 伊達館の場	(歌) 山城少掾 (三) Ⅳ清六	コロ Ⅷb 紫	17—74A B 75A B 76A B 77A B 78A B 79A B 80A B 81A B 82A B 83A B
75	**伽羅先代萩** 伊達館の場	(歌) Ⅶ源太夫 (三) 吉松	コロ Ⅲa 青	4—282
75	**伽羅先代萩** 伊達館の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) 一弥	ニポ Ⅰa 赤	5— 4A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(20)　わが子の死がいいだき上げ (21)　素性いやしい銀兵衛が (22)　胴欲非道な母親が	1626(〃) 1627(〃) 1628(〃)	
(1)　押し明け入りにけりあと見送りて	G 9,155640 (M55640)	30cm (19)(20)カケ
(2)　物案じなる母親の	G 9,255641 (M55641)	
(3)　このほどから怪しいことども	G10,155642 (M55642)	
(4)　それまではあすまでも	G10,255643 (M55643)	
(5)　おおおお強いお強い	G11,155644 (M55644)	
(6)　(合)流す涙の水こぼし	G11,255645 (M55645)	
(7)　がまちっと煮え立つそのあいだ	G12,155646 (M55646)	
(8)　いつも歌うすずめの歌	G12,255647 (M55647)	
(9)　わしがむすこの千松が	G13,155648 (M55648)	
(10)　力なくなく泣き声を	G13,255649 (M55649)	
(11)　涙ながらに政岡が	G14,155650 (M55650)	
(12)　そちたちふたりが食べぬうちは	G14,255651 (M55651)	
(13)　お心静かに召しませと	G15,155652 (M55652)	
(14)　夫景時承れども	G15,255653 (M55653)	
(15)　やあ何をざわざわ騒ぐことは	G16,155654 (M55654)	
(16)　栄はしじゅう政岡が	G16,255655 (M55655)	
(17)　若殿にして置くわが子が大事	G17,155656 (M55656)	
(18)　これというのもこの母が	G17,255657 (M55657)	
(19)　三千世界に子を持った	G18,155658 (M55658)	
(20)　手柄手柄と沖の井小巻	G18,255659 (M55659)	
(1)　お強うてはこりゃ早うままを	2884-A(2884-A-1-1)	
(1)　どれこしらようとかい立って (2)　流す涙の水こぼし＊	862(〃) 863(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				5A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造	ニト Ⅰa 赤	5—197A B 198A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 〈越登太夫〉 (三) 〈Ⅳ浅造〉	ニト Ⅰa 黒	5—199A B 200A B 201A B 202A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 〈越登太夫〉 (三) 〈Ⅳ浅造〉	ニト Ⅰa 黒	5—203A B 204A B 205A B 206A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 越登太夫 (三) Ⅳ浅造 〔口上入〕	ニト Ⅰb 茶	5—256A B 257A B 258A B 259A B 260A B 261A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 小春太夫 (三) Ⅳ清二郎	ニト Ⅳb 黒	5—287A B 288A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—342A B

詞章	音盤番号	備考
(3) そこへ直してお慰み (4) これ千松なんともないと	864(〃) 865(〃)	
(1) どれこしらようとかい立って (2) いつ水差しをかしぎおけ＊ (3) あとにはひとり政岡が＊ (4) 素性いやしい銀兵衛が	346-A(〃) 346-B(〃) 347-A(〃) 347-B(〃)	
(1) 涙のおりからに梶原様の奥方 (2) 梶原平三景時の奥方 (3) さすがわらべのうれしげに (4) 頼朝公より下されし (5) 忠義は先代末代まで (6) 伴いひと間へ入りにける＊ (7) そなたが命捨てたゆえ (8) 思い回せばこのほどから	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	三〔5—203〕鴻池家依嘱盤
(1) 涙のおりからに梶原様の奥方 (2) 梶原平三景時の奥方 (3) さすがわらべのうれしげに (4) 頼朝公より下されし (5) 忠義は先代末代まで (6) 伴いひと間へ入りにける＊ (7) そなたが命捨てたゆえ (8) 思い回せばこのほどから	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	三〔5—199〕鴻池家依嘱盤
(1) (序)押し明け入りにけり (2) 一つのうき思い物案じなる (3) ここにあるこのぜんを (4) わしゃなんとも言わずに (5) おおそうじゃそうじゃつわ者じゃ (6) お末がわざをしがらきや (7) 直してあおぐ扇さえ (8) 軒ばの竹に飛びかわす (9) こちの裏のちさの木に (10) これ七つ八つから金山へ (11) 何が不足でお泣きゃるぞ (12) たとえいやしい下下でも	ナシ(写257A) ナシ(写257B) ナシ(写258A) ナシ(写258B) ナシ(写260A) ナシ(写259B) ナシ(写260A) ナシ(写261B) ナシ(写262A) ナシ(写262B) ナシ(写263A) ナシ(写263B)	鴻池家依嘱盤
(1) 若殿小陰をうちながめ (2) 現在身内の御家来が＊ (3) これというのもこの母が (4) 思い回せばこのほどから	6513-A(〃) 6513-B(〃) 6514-A(〃) 6514-B(〃)	
(1) どれこしらようとかい立って (2) (合)流す涙の水こぼし＊	5293-A(〃) 5293-B(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				343A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ仙糸	タイ Ⅲb 黒	6—107A B 108A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 重寿太夫 (三) 仲造	テイ Ⅳb 黒	6—135A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 綾菊 (三) 三平	ビク Ⅲa 黒	6—249A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) 土佐尾	グラモホンコンサアトⅠa 黒	6—255
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) Ⅰ綾之助 (三) 土佐尾	ビク Ⅰa 黒	6—256
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 小豊後 (三) 団光	コロ Ⅰa 黒	6—311
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 駒若 (三) 三生	シヨオワ Ⅰa 紫	6—315A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 三蝶 (三) 東重	ニト Ⅳc 緑	6—342A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 三蝶 (三) 東重	ニト Ⅴa 赤	6—343A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 昇之助 (三) 東重	ビク Ⅴb 黒	6—357A B 358A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 団司 (三) 小住	ナイガイ Ⅰa 黒	7— 54A B 55A B 56A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 団司 (三) 小住	キリン Ⅰa 黒	7— 61A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 83A B 84A

詞　　章	音盤番号	備　考
(3)　そなたの命は出羽奥州 (4)　二年待てどもまだ見えぬと	5294-A(〃) 5294-B(〃)	
(1)　若殿小陰をうちながめ (2)　よこしま非道に組み従い＊ (3)　そなたの命は出羽奥州 (4)　二年待てどもまだ見えぬと	10437(14447-1, 56143A) 10437(14448, 56143B) 10438(14449-1, 56144A) 10438(14450, 56144B)	
(1)　あとにはひとり政岡が＊ (2)　二年待てどもまだ見えぬと	6024-A(〃) 6024-B(〃)	
(1)　とは言うもののかわいやな (2)　たよりがあろぞいの三千世界に	50239-A(E50239A-1) 50239-B(D50239B-2)	
(1)　あいあいあいと千松が	G. C. 13133(E-355)	=6—256
(1)　あいあいあいと千松が	11415(A11415, E-355)	=6—255
(1)　とは言うもののかわいやな	2139(2139-1B)	
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　思い回せばこのほどから	887-A(〃) 887-B(〃)	
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　思い回せばこのほどから	S1676-A(09474) S1676-B(09475, 3330B)	=[6—343]
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　思い回せばこのほどから	20340(9474, S1676A) 20340(9475, S1676-B)	=[6—342]
(1)　どれこしらようとかい立って (2)　(合)流す涙の水こぼし＊ (3)　そなたの命は出羽奥州 (4)　同じ名のつく千松の	50943-A(776) 50943-B(777) 50944-A(778) 50944-B(779)	
(1)　これ千松そなたは言うこと (2)　母はけなげさいじらしさ (3)　お末がわざをしがらきや (4)　かまに移してふろの炭 (5)　ちゅうと教える親鳥の (6)　こちの裏のちさの木に	4573(〃) 4574(〃) 4575(〃) 4576(〃) 4577(〃) 4578(〃)	(1)カケ・ キズ・カビ
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　とは言うもののかわいやな	K.842-A(〃) K.842-B(〃)	
(1)　こりゃ早うままを上げざなるまい (2)　いつ水差しをかしぎおけ＊ (3)　あとにはひとり政岡が＊	65783-A(63097) 65783-B(63098) 65784-A(63099)	カビ

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
				B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　長広	コロ　Ⅲb 黒	7—174
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　長広	オリ　Ⅲa 赤	7—183A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌)　美朝 (三)　巴住	パイオニヤ　Ⅰa 赤	7—218A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ビク　Ⅰb 黒	7—266 267
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	コロ　Ⅳa 青	7—275 276
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ロオヤル　Ⅱa 赤	7—281
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa・Ⅰb ・Ⅰc 赤	7—310A B 311A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa 赤	7—312A B 313A
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa 赤	7—314A B 315A
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰa 赤	7—316
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅰc 赤	8— 25A B 26A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三)　呂昇	ニポ　Ⅲa 赤	8— 27A B

詞章	音盤番号	備考
(4) 思い回せばこのほどから	65784-B (63100)	
(1) とは言うもののかわいやな	2899-A(2899-A-1-1)	
(1) もう親鳥が来る時分＊ (2) これうばおりゃあのちんに	1480-A(〃) 1480-B(〃)	
(1) あとにはひとり政岡が＊ (2) とは言うもののかわいやな	318-A(545) 318-B(546)	
(1) こしらようとかい立って (2) (合)流す涙の水こぼし	11161-A(E11161) 11162-B(G11162)	
(1) どれこしらようとかい立って (＊) …… (3) かまに移してふろの炭	2734-A (2734-A-1-1) 2734-C (2734-C-1-X-1)	
(＊) …… (2) 礎ぞやとは言うものの	1260(〃)	=7—316α
(1) 早うままを上げざなるまい (2) (合)流す涙の水こぼし (3) あいと千松が返事はすれど (4) こちの裏のちさの木に	890(〃) 891(〃) 892(〃) 893(〃)	
(1) あとにはひとり政岡が (2) 礎ぞやとは言うものの (3) 三千世界に子を持った	1259(〃) 1260(〃) 1261(〃)	=〔7—314〕 =7—316α
(1) あとにはひとり政岡が (2) 礎ぞやとは言うものの (3) 三千世界に子を持った	1259(〃) 1260(〃) 1261(〃)	=〔7—312〕 =7—316α
(1) 礎ぞやとは言うものの	1260(〃)	=7—281α
(1) ひと間へ入りにけるあと先＊ (2) あとにはひとり政岡が (3) とは言うもののかわいやな (4) 三千世界に子を持った	15767-A(〃) 15767-B(〃) 15768-A(〃) 15768-B(〃)	
(1) どれこしらようとかい立って (2) (合)流す涙の水こぼし	17165-A (NE31058) 17165-B (NE31059)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				28A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	コロ Ⅹa 黒	8— 46A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	リガ Ⅱa 黒	8— 51A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	ウグイス Ⅰa 橙	8— 70A
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	オリ Ⅵa・Ⅵb 黒	8— 82A B 83A
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	ヒコ Ⅲa 青	8— 98A B 99A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	ニト Ⅰa 赤	8—123A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 呂之助 (三) 〈綱之助〉	ニポ Ⅰc 赤	8—140A B 141A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 富田屋玉子 (三) 伊丹幸梅八	ビク Ⅰa 黒	8—295
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 富田屋玉子 (三) 伊丹幸梅八	ビク Ⅰa 黒	8—296
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 真砂 (三) 金吾 〔口上入〕	オリ Ⅲa 灰	8—319A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—332
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅱa 黒	8—333A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　あれもうままじゃとごきげんの (4)　涙を隠すうない髪	17166-A (NE31060) 17166-B (NE31061)	
(1)　あとにはひとり政岡が＊ (2)　思い回せばこのほどから	25506-A (NE31062) 25506-B (NE31063)	
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　とは言うもののかわいやな	65038-A (1600A) 65038-B (1600B, 64)	=8—82A =　　B
(＊)　…… (3)　三千世界に子を持った	397(〃)	
(1)　あとにはひとり政岡が (2)　とは言うもののかわいやな (3)　三千世界に子を持った	1600-A(〃) 1600-B(〃) 1601-A(〃)	=8—51A =　　B
(1)　こしらようとかい立って (2)　(合)流す涙の水こぼし＊ (3)　あいと千松が返事はすれど (4)　これ千松なんともないと	1069-A(〃) 1069-B(〃) 1070-A(〃) 1070-B(〃)	
(1)　とは言うもののかわいやな (2)　三千世界に子を持った＊	26-B(26A, イ31) 26-B(〃)	(2)に(1)の題紙を使用
(1)　こちの裏のちさの木に＊ (2)　日本国のその中に＊ (3)　そなたの命は出羽奥州 (4)　二年待てどもまだ見えぬと	16900-A(?) 16900-B(?) 16901-A(18997) 16901-B(ナシ)	(1)～(4)ヒビ (3)カビ
(1)　いやその刑部もそちたちも	11087(D11087, 4748e)	=8—296
(1)　いやその刑部もそちたちも	11087(D11087, 4748e)	=8—295
(1)　(序)そなたの命は出羽奥州 (2)　二年待てどもまだ見えぬと	A557(〃) A558(〃)	
(1)　ほむれば千松これかかさん	11511(B11511)	
(1)　いえいえわしはせがみはしませぬ	50105-A-3(A50103B, D50105A-3)	↔[8—334]

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅱa 黒	8—333B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅲa 黒	8—334A B
76	由良湊千軒長者 由良裏山の場	(歌) 十文字楼 (三) 友花	ホガ Ⅱb 紫	2— 67A B 68A B 69A B 70A B
76	由良湊千軒長者 由良裏山の場	(歌) 山城少掾 (三) Ⅳ清六	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 多色	17—84A 85A 84B 85B 86A 87A 86B 87B 88A 89A 88B 89B 90A 91 90B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅲ大隅太夫 (三) Ⅲ清六	コロ Ⅲa 黒	1— 95
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅲ津太夫 (三) Ⅳ叶	コロ Ⅳb 青	1—296A B 297A B 298A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) 十文字楼 (三) 小仙	ホガ Ⅱb 紫	2— 71A B 72A B

詞章	音盤番号	備考
(1) とは言うもののかわいやな	50105-B (DF50105B)	
(1) しかられておろおろ涙	50104-A1 (C50104A-1)	↔8—333A
(2) おおお道理じゃお道理じゃと	50104-B2 (D50104B-2)	
(1) (序)	6157(〃)	
(2) 豊かなる歌人の＊	6158(〃)	
(3) そのうき事の身に積もる	6159(〃)	
(4) もうし姉様きょうはなおしも	6160(〃)	
(5) つらい悲しいかんなんにも	6161(〃)	
(6) 姉様止めずとどうぞ殺してたべ	6162(〃)	
(7) もしもおかくれなされたら	6163(〃)	
(8) 坂へかかればこれ対王	6164(〃)	
(1) (序)豊かなる歌人の	6876(ナシ)	題字はペン書き
(2) の港の風景は筆に及ばぬ	6858(ナシ)	遠心式
(3) 木こりしば刈り一群れに	ナシ	NHK放送の録音盤
(4) 山でしばをえ刈らず泣いている	ナシ	
(5) そのうき事の身に積もる	ナシ	
(6) 重き思いの父母に	ナシ	
(7) とと様にも母様にも	6854(ナシ)	
(8) きょうはだれが助けてくりょう	6848(ナシ)	
(9) さあ浜へおいで遊ばせ	6851(ナシ)	
(10) 死ぬるともぎ放すその手を	6856(ナシ)	
(11) あろうことかあるまいことか	ナシ	
(12) 会わるればつれない命	ナシ	
(13) 言うても返らぬ繰り言	5197(ナシ)	ほかに(13)以下のNG盤3枚あり
(14) まだよも山に残る雪	ナシ	
(15) 呼べど答えも山びこの	ナシ	
(1) 父も聞こえず母様も	2874-A(2874-A-1-1)	
(1) 神ならず仏ならねば＊	35277-A(NEQ40576)	
(2) とと様かいのうなつかしや	35277-B(NEQ40577)	
(3) かわいや金吾は深手の別れ	35278-A(NEQ40578)	
(4) 義理にこれまで契りしと	35278-B(NEQ40579)	
(5) 夢にも知らしてくださったら＊	35279-A(NEQ40580)	
(6) お里はさそくに心づき	35279-B(NEQ40581)	
(1) 神ならず仏ならねば	5837(〃)	
(2) 幼きを連れた旅の女	5838(〃)	
(3) こよいはとりわけ都のこと	5839(〃)	
(4) そでのないこの羽織に	5840(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				73A B
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅶ広助 (三)	ハンプカイ Ⅰa 緑	3—299A B 300A B 301A B 302A B 303A B 304A B 305A B 306A B 307A B 308A B 309A B 310A B 311A B
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅵ友次郎	ビク Ⅴb・Ⅴc 赤	4— 13A B 14A B 15A B 16A B 17A B 18A B 19A B 20A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(5) 語りたまえば伏したる娘	5841(〃)	
(6) たとえこがれて死ぬればとて	5842(〃)	
(1) 春は来ねども花咲かす	2456(2455)	(1)に(2),
(2) がきょうはにわかに役所から	2455(2456)	(2)に(1),
(3) やっぱり弥助どうせいこうせいと	2457(〃)	(18)に(17)の題
(4) こりゃまたるすを考え	2458(〃)	紙を使用
(5) 親の物は子の物と	2459(〃)	
(6) どうで死なねばなりますまい	2460(〃)	
(7) ええこりゃまたどいつも寝て	2461(〃)	
(8) 尋ねたまえばははあわたくしめは	2462(〃)	
(9) 娘お里はこよい待つ	2463(〃)	
(10) これまでこそ仮の情け	2464(〃)	
(11) 一夜の宿とこいたまえば	2465(〃)	
(12) ことばはなくて三人は	2466(〃)	
(13) めぐり会うたはうれしいが	2467(〃)	
(14) 語りたまえば伏したる娘	2468(〃)	
(15) 夢にも知らしてくださったら	2469(〃)	
(16) 維盛きょうは気の毒の	2470(〃)	
(17) おおがねになる大仕事	2537(〃)	
(18) このやに維盛かくまいあること	2537(2538)	
(19) おやじのまいすが三位維盛を	2539(〃)	
(20) なんどきでも鎌倉へ	2540(〃)	
(21) 天命知れや不孝の罪	2541(〃)	
(22) 手負いは顔をうちながめ	2542(〃)	
(23) お変わりないかとびっくりも	2543(〃)	
(24) 手を回すればせがれめも	2544(〃)	
(25) 嫁ん女や孫の顔見覚えて＊	2545(〃)	
(26) ふびんふびんと維盛の	2546(〃)	
(1) 春は来ねども花咲かす	13325-A(5490)	=4—24A
(2) 締め木にせんを打ち込んで	13325-B(5491)	=　　B
(3) 母はにこにこ笑いを含み	13326-A(5492)	(5)(6)カビ
(4) ええきょときょとしい	13326-B(5493)	
(5) 遠い所へ参りますほどに	13327-A(5494)	
(6) 覚悟きわめておりまする	13327-B(5495)	
(7) ええついがん首でこちこちが	13328-A(5496)	
(8) 内外見回し表をしめ	13328-B(5497)	
(9) ははわたくしめは平家御代盛りの	13329-A(5498)	
(10) 娘お里はこよい待つ	13329-B(5499)	
(11) 思わせぶりとお里は立ち寄り	13345-A(5500)	
(12) 神ならず仏ならねば	13345-B(5501)	
(13) 幼きを連れた旅の女	13346-A(5502)	
(14) まずまず内へとひそかに伴い	13346-B(5503)	
(15) そでのないこの羽織に	13347-A(5504)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				B 21A B 22A B 23A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅱ古靱太夫 (三) Ⅵ友次郎	ビク Ⅴb 赤	4— 24A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅳ南部太夫 (三) Ⅷ吉弥	ニト Ⅳa 黒	5—344A B 345A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) Ⅱつばめ太夫 (三) Ⅳ勝市	ビク Ⅳa・Ⅴa 黒	6— 31A B 32A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) (三) 小仙	オデオン Ⅰa 青	6—284A B 285A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) (三) 小仙	ニト Ⅱa 赤	6—295A B 296A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) 昇之助 (三) 力松	ポリ Ⅰb 黒	7— 7A
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) 昇之助 (三) 長之助	トツキヨ Ⅰa 紫	7— 17A B
77	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	リガ Ⅰa 黒	7— 85A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(16) あだなまくらも親どもへ (17) 父も聞こえず母様も (18) 維盛きょうは気の毒の (19) 追うて行くのうととさんかかさん (20) おのれに今日維盛が事 (21) 維盛夫婦がきめまで (22) ほうびには親の弥左衛門めが命	13347-B(5505) 13348-A(5506) 13348-B(5507) 13349-A(5508) 13349-B(5509) 13350-A(5510) 13350-B(5511)	
(1) 春は来ねども花咲かす (2) 締め木にせんを打ち込んで	13325-A(5490) 13325-B(5491)	=4—13A =　　B
(1) まずまず内へとひそかに伴い (2) そでのないこの羽織に (3) こは何ゆえと驚く内侍 (4) (泣)たとえこがれて死ぬればとて	5636-A(〃) 5636-B(〃) 5637-A(〃) 5637-B(〃)	
(1) 涙のうちにも若葉の君 (2) わたくしは里と申して (3) たとえこがれて死すればとて* (4) げにその事は弥左衛門	50355-A-1 (B50355A) 50355-B-2 (A50355B) 50356-A-3 (A50356A) 50356-B-4 (A50356B)	
(1) 神ならず仏ならねば (2) 内侍と六代君はっと戸をさし (3) 泣いてばっかり暮らせしに* (4) 父も聞こえず母様も	U-2002A (JP121) U-2002B (JP122) U-2003A (JP123) U-2003B (JP124)	
(1) 神ならず仏ならねば (2) 若葉の内侍か六代か (3) めんぼくなさに維盛も (4) 維盛様とはつゆ知らず	1977-A(〃) 1977-B(〃) 1978-A(〃) 1978-B(〃)	(1)キズ
(1) 父も聞こえず母様も	729-A(3491BF)	
(1) こよいはとりわけ都のこと* (2) わたくしは里と申して	2052-A(〃) 2052-B(〃)	
(1) わたくしは里と申して (2) 雲居に近きおん方に	66541-A (63685) 66541-B (63686)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
				86A B
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) (三) 東広	オリ Ⅱa 緑・桃	7—115A B
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) 東広 (三) 仙平	ポリ Ⅰa 黒	7—132A B
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) (三) 呂昇	ニポ Ⅰc 赤	7—323A
77	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(歌) 井上里貴司 (三) Ⅱ新左衛門	ビク Ⅰb 黒	8—331B
77	**義経千本桜** 道行初音旅	(歌) 角太夫 (三) Ⅴ猿糸 〔囃子入〕	オリ Ⅵa 赤	2— 8A B 9A B
77	**義経千本桜** 道行初音旅	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅴ徳太郎・広太郎 (囃) 田中伝左衛門社中	ニポ Ⅰa・Ⅰb 赤	2—147A B 148A B 149A B
77	**義経千本桜** 道行初音旅	(歌) Ⅶ源太夫 (三) Ⅳ仙糸・Ⅳ清二郎 (囃) 松川社中 〔柝入〕	ニポ Ⅰc 赤	4—319A B 320A B 321A B 322A B
77	**義経千本桜** 道行初音旅	(歌) (静)Ⅳ伊達太夫・(忠信)Ⅲつばめ太夫・(ツレ)Ⅲ越名太夫・古住太夫 (三) Ⅱ喜左衛門・Ⅱ勝太郎・Ⅳ錦糸・Ⅴ燕三 (囃) (笛)望月太明三郎	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 茶	5—293A 294A 293B 294B 295A 296A 295B 296B

詞章	音盤番号	備考
(3) お里はさそくに心づき (4) のうととさんかかさん	66542-A (63687) 66542-B (63688)	
(1) わたくしは里と申して (2) 一生連れ添う殿御じゃと	B790(〃) B791(〃)	
(1) 重重厚き夫婦が情け (2) 父も聞こえず母様も	1346-A(5837BF) 1346-B(5838BF)	
(1) 父も聞こえず母様も	1781(〃)	
(1) 父も聞こえず母様も	50102-B(C50102B)	
(1) (囃)恋と忠義はいずれが重い＊ (2) 慕い行く＊ (＊) …… (5) まことにそれよこし方の (6) 勝負の花を見捨つるかと＊	3382-A(〃) 3382-B(〃) 3384-A(〃) 3384-B(〃)	
(1) 恋と忠義はいずれが重い＊ (2) 谷のうぐいすな初音の鼓 (3) 静は鼓をおん顔と (4) かりとつばめはどちらがかわい (5) まことにそれよこし方を (6) 勝負の花を見捨つるかと＊	804(#804B) 805(?) 806(?) 807(?) 808(#808-B) 809(#809-C)	
(1) 恋と忠義はいずれが重い＊ (2) おかしがらすのひと節に (3) 調べあやなすおとに連れて (4) 静は鼓をおん顔と (5) かりとつばめはどちらがかわい＊ (6) 思いぞいずる壇の浦の (7) 刀を払うなぎなたの (8) 能登守範経と名のりもあえず＊	16639-A(ナシ) 16639-B(ナシ) 16640-A(14603) 16640-B(?) 16641-A(ナシ) 16641-B(14606) 16642-A(ナシ) 16642-B(?)	
(1) (序)(囃)恋と忠義はいずれが重い (2) 忠義はいずれが重い (3) 今は芳野と人づての (4) よものこずえもほころびて (5) われも初音のこの鼓 (6) (合)遅ればせなる忠信が旅姿 (7) おんきせながを取りいだし (8) 荒くおん船を住吉浦に	04200(ナシ) ナシ ナシ 05240(ナシ) 05247(ナシ) 05241(ナシ) ナシ ナシ	題字はペン書き 遠心式 NHK放送の録音盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(小)望月太明蔵 (大)望月太意蔵		297A 298A 297B 298B
77	義経千本桜 道行初音旅	(歌) Ⅱ越名太夫・Ⅲ相生太夫・辰太夫・宮太夫 (三) Ⅲ歌助・猿太郎・吉左 (囃) 望月社中	ニト Ⅳa 赤	5—303A B 304A B 305A B
77	義経千本桜 道行初音旅	(歌) Ⅱつばめ太夫・Ⅱ越名太夫・辰太夫 (三) Ⅳ勝市・友衛門・勝三郎・団伊三 (囃) 六郷吉兵衛社中	ビク Ⅴb 黒	6— 73A B 74A B
77	義経千本桜 道行初音旅	(歌) 文楽座若手連〈(忠信)Ⅱつばめ太夫・(静)越登太夫・(ツレ)辰太夫〉 (三) 文楽座若手連〈芳之助・Ⅳ浅造・清一・清丸〉 (囃) 望月社中	ニト Ⅰa 赤	6— 95A B 96A B 97A B
77	義経千本桜 道行初音旅	(歌) (静)Ⅴ常子太夫(忠信)隅若太夫 (三) Ⅶ広助・広二・仙作 〔口上入〕	ホガ Ⅰb 青	6—119A B 120A B 121A B 122A B 123A B
77	義経千本桜 道行初音旅	(歌) 石子・いし・石之助 (三) 米二・扇ぶり・菊太郎 (堀江廓義太夫名妓連)	ニポ Ⅲb 赤	8—202A B

詞章	音盤番号	備考
(9) なりまことにそれよこし方を	ナシ	
(10) 花にあらしのちりちりぱっと	05243(ナシ)	
(11) (笑)笑いしあとは入り乱れ	05246(ナシ)	
(12) がいにいさめいさめられ	ナシ	
(1) 恋と忠義はいずれが重い＊	4023-A(3448)	スレ
(2) 谷のうぐいすな初音の鼓	4023-B(3449)	
(3) 静は鼓をおん顔と	4024-A(3450)	
(4) (合)かりとつばめはどちらが	4024-B(3451)	
(5) 思いぞいずる壇の浦の	4025-A(3452)	
(6) 勝負の花を見捨つるかと＊	4025-B(3453B)	
(1) 恋と忠義はいずれが重い＊	50527-A(〃)	
(2) 谷のうぐいすな初音の鼓＊	50527-B(〃)	
(3) まことにそれよこし方を	50528-A(〃)	
(4) 腕の強さと言いければ＊	50528-B(〃)	
(1) 恋と忠義はいずれが重い＊	256-A(〃)	
(2) 慕い行く＊	256-B(〃)	
(3) 静は鼓をおん顔と	257-A(〃)	
(4) かりとつばめはどちらがかわい	257-B(〃)	
(5) 思いぞいずる壇の浦の	258-A(〃)	
(6) 勝負の花を見捨つるかと＊	258-B(〃)	
(1) (序)恋と忠義はいずれが重い＊	4217(〃)	
(2) 大和路さして慕い行く＊	4218(〃)	
(3) 谷のうぐいすな初音の鼓	4219(〃)	
(4) 野道あぜ道ゆらりゆらり	4220(〃)	
(5) 静は鼓をおん顔と	4221(〃)	
(6) やがてぞ参りそうらわんと	4222(〃)	
(7) ええそうじゃいなええそうじゃいな	4223(〃)	
(8) なにがしは平家の侍	4224(〃)	
(9) むんずとしころを引っ切って	4225(〃)	
(10) いつかおん身ものびやかに＊	4226(〃)	
(1) いいがいなしとよ方方よ	17502-A (NE40294)	
(2) 能登守教経と名のりもあえず＊	17502-B (NE40295)	

番　外　曲

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
	相生松	(歌) Ⅵ友次郎 (三) (囃) 望月朴清	ホガ　Ⅱa 赤	2— 52A B 53A B
	面影如月帖	(歌) (三) 道八	キングレコオデングスタジオ Ⅰa 緑	1—251A B 252A B 253A B
	面影如月帖	(歌) (三) 道八	チヤンピオン Ⅰa 多色	1—254A B 255A B 256A B
	面影如月帖	(歌) (三) 道八		1—257A B 258A B 259A B
	かさね	(歌) 鏡太夫 (三) 八重造	コロ　Ⅹb 黒	5—269A B
	日露戦記歓迎会余興	(歌) 薩摩太夫 (三) Ⅴ猿之助	ビク　Ⅰa 黒	6—131
	のらこや猫実見	(歌) (三) 糸吉	ビク　Ⅰb 黒	6—264
	文楽糸の調べ	(三) 八造 (囃) 新三郎社中 〔ツレ弾入〕	キング　Ⅰa 赤	6— 25A B 26A B
	文楽糸の調べ	(三) 八造 (囃) 新三郎社中 〔ツレ弾入〕	キング　Ⅰa 赤	6— 27A B 28A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 四海波静かにて国も治まる (2) げにや仰ぎても事もおろかや (3) われ見ても久しくなれる (4) 神と君との道すぐに	7853(〃) 7854(〃) 7855(7855再) 7856(〃)	
(1) (序) (2) 今海を離るる舟を (3) 走り書き謡の本は (4) あるとも知らぬ死に神に (5) あいさつ切れると取りかわせし (6) 小春もわきざし取り上げて	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	≒[1—254] [1—257] 作詞 食満南北 作曲 鶴沢道八 題字 墨書
(1) (序) (2) 今海を離るる舟を (3) 走り書き謡の本は (4) あるとも知らぬ死に神に (5) あいさつ切れると取りかわせし (6) 小春もわきざし取り上げて	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	≒[1—251] [1—257] 作詞 食満南北 作曲 鶴沢道八 題字 ペン書き
(1) (序) (2) 今海を離るる舟を (3) 走り書き謡の本は (4) あるとも知らぬ死に神に (5) あいさつ切れると取りかわせし (6) 小春もわきざし取り上げて	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	≒[1—251] [1—254] 作詞 食満南北 作曲 鶴沢道八 題紙 なし
(1) つるべ落としの秋の日も (2) それとも知らでうぬぼれな	29846, 1204762 (M204762) 29846, 2204763 (M204763)	作詞 伊東深水 作曲 竹本鏡太夫
(1) 時は今明治の	11223(A11223)	
(1) 未練とねこ笑うてくださんすな	11219(D11219)	
(1) やなぎ・野崎 (2) 初音の鼓・宮ぞの (3) 六下り・砧・沼津 (4) 三番叟・髪すき・チャリ	D4105(7767) D4105(7768) D4106(7769) D4106(7770)	≡[6—27] [6—29]
(1) やなぎ・野崎 (2) 初音の鼓・宮ぞの (3) 六下り・砧・沼津 (4) 三番叟・髪すき・チャリ	D4105(7767) D4105(7768) D4106(7769) D4106(7770)	≡[6—25] [6—29]

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	文楽糸の調べ	(三) 入造 (囃) 新三郎社中 〔ツレ弾入〕	キング Ⅰa 赤	6— 29A B 30A B
	万歳の曲	(三) Ⅱ新左衛門・団治郎 〔胡弓入〕	ビク Ⅰb 黒	1—250

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	義太夫入門 第一回	(対談) 三宅周太郎 他質問者二人 (実演) (歌) Ⅷ綱太夫 (三) Ⅹ弥七	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 赤 キングレコオデングデスク Ⅰa 黄	6—179A 180A 181A 182A 183A 179B 180B 181B 182B 184A 185A 183B 186A 187A
	義太夫入門 第三回	(対談) 三宅周太郎 竹本綱太夫 他質問者二人 (実演) (歌) Ⅷ綱太夫 (三) Ⅹ弥七	デンオン Ⅰa 青	6—188A 189A 188B 189B 190A 191A 192A 191B 193A 194A 195A 196A 197A 196B 198A 199A 200A 201A 202A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　やなぎ・野崎	D4105(7767)	≡[6—25]
(2)　初音の鼓・宮ぞの	D4105(7768)	[6—27]
(3)　六下り・砧・沼津	D4106(7769)	
(4)　三番叟・髪すき・チャリ	D4106(7770)	
(1)	11479(A11479)	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　浄るりの起源	ナシ	遠心式
(2)　竹本義太夫の事など	ナシ	
(3)　竹本義太夫・近松門左衛門らの事	ナシ	
(4)　世話物について	ナシ	
(5)　豊竹座の事	ナシ	
(6)　風の事，二座入れ替わり事件	ナシ	
(7)　二座入れ替わり事件	ナシ	
(8)　二座入れ替わり事件	ナシ	
(9)　二座入れ替わり事件	ナシ	
(10)　忠臣蔵九段目実演	ナシ	
(11)　実演続き，近松・竹田出雲らの事	ナシ	
(12)　豊竹・竹本座の作者たちについて	ナシ	
(13)　文楽の衰退	ナシ	
(14)　文楽軒と文楽の関係	ナシ	
(1)　文楽の修行法	ナシ	遠心式
(2)　文楽の修行，大序の太夫について	ナシ	
(3)　大序の太夫について	ナシ	
(4)　代役について	ナシ	
(5)　代役，むずかしい箇所について	ナシ	
(6)　むずかしい箇所について	ナシ	
(7)　合邦の事	ナシ	
(8)　音楽としての義太夫	ナシ	
(9)　音楽としての義太夫	ナシ	
(10)　近松の義太夫について	ナシ	
(11)　国性爺合戦実演	ナシ	
(12)　実演続き	ナシ	
(13)　重井筒の六軒町について	ナシ	
(14)　重井筒実演	ナシ	
(15)　実演続き	ナシ	
(16)　実演続き	ナシ	
(17)　実演続き	ナシ	
(18)　実演続き	ナシ	
(19)　重井筒の演奏について	ナシ	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	義太夫入門第四回	(対談) 三宅周太郎 Ⅵ友次郎 他質問者二人	ダイニツポンセルロイド Ⅰa 赤	6—203A 204A 205A 206A 207A 208A 203B 204B 205B 206B 207B 208B
	三世津太夫の逆櫓	(解説) 安原仙三	ダイニツポンセルロイド Ⅱa 多色	6—209A B

特殊再生装置を要する音盤

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	明烏六花曙 山名屋の場	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-131A B
7	絵本太功記 さつき内の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-127A
37	卅三間堂棟由来	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-132A
43	心中天網島 紙屋の場	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-132B
44	新版歌祭文 久作内の場	(三) Ⅱ猿二郎・Ⅲ吉作	パテ Ⅰa 黒	17-124B
45	菅原伝授手習鑑 源蔵内の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	パテ Ⅰa 黒	17-121A B
56	玉藻前曦袂 道春館の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-128A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 団平の事 (2) むだな声について (3) 笑い・泣きについて (4) 三味線の朱について (5) 三味線の朱について (6) 浄るりの形式 (7) 菅原伝授手習鑑の分析，世話物の形式 (8) 忠臣蔵四段目の文章について (9) 外国への紹介，文楽の価値 (10) 文楽の保存・更生 (11) 結びのことば (12) 結びのことば	ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ ナシ	遠心式
(1) 三世津太夫の事，ひらかな盛衰記の事，二世義太夫の語り方とその影響，レコード収録部分の解説 (2) レコード収録部分の解説，三世津太夫の語り方と人柄等	1468, 02659(ナシ) 1468(ナシ)	遠心式 LP盤

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) (2)	34555(79678-RA) 34564(79711-RA)	30cm
(1)	34515(79764-RA)	30cm
(1)	34557(79653-RA)	30cm
(1)	34556(80089-RA)	30cm
(1)	34567(79655-RA)	30cm
(1) (2)	34665 (84985-ER-3-14) 34666(84971-ER)	30cm
(1)	34522(79684-RA)	30cm

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
57	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(三) Ⅱ猿二郎・Ⅲ吉作	パテ Ⅰa 黒	17-123A B 124A
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(三) Ⅱ猿二郎・Ⅲ吉作	パテ Ⅰa 黒	17-125A B 126A B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-127B
58	近頃河原の達引 与次郎内の場	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-133A
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-129A B
59	壺坂観音霊験記 沢市内の場	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-133B
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅴ錣太夫 (三) Ⅵ団六	パテ Ⅰa 黒	17-122A B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-128B
74	冥途の飛脚 新口村の場	(歌) 貴若 (三) 小住	パテ Ⅰa 黒	17-134A B
75	伽羅先代萩 伊達館の場	(歌) (三) 呂昇	パテ Ⅰa 黒	17-130A B
27	恋女房染分手綱 由留木館の場	(歌) Ⅳ伊達太夫 (三) Ⅵ友次郎	ヒルモン Ⅰa	
42	生写朝顔話	(歌) Ⅳ伊達太夫 (三) Ⅵ友次郎	ヒルモン Ⅰa	
63	艶容女舞衣 茜屋の場	(歌) Ⅶ駒太夫 (三) Ⅳ清二郎	ヒルモン Ⅰa	
	広助さわり集 (一)	(歌) (三) Ⅶ広助	ヒルモン Ⅰa	
	広助さわり集 (二)	(歌) (三) Ⅶ広助	ヒルモン Ⅰa	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) (2) (3)	34568(79661-RA) 34569(79971-RA) 34570(79712-RA)	30cm
(1) (2) (3) (4)	34572(79626-RA) 34573(80088-RA) 34574(80011-RA) 34575(79761-RA)	30cm
(1)	34516(79984-RA)	30cm
(1)	34558(80091-RA)	30cm
(1) (2)	34523(79631-RA) 34524(81075-RA)	30cm
(1)	34562(79810-RA)	30cm
(1) (2)	34658(81527-RA) 34659(81610-RA)	30cm
(1)	34517(80090-RA)	30cm
(1) (2)	34565(79613-RA) 34559(79662-RA)	30cm
(1) (2)	34520(79647-RA) 34521(79645-RA)	30cm
(1)	5015(ナシ)	長時間エンドレステープ式
(1)	5010(ナシ)	長時間エンドレステープ式
(1)	5006(ナシ)	長時間エンドレステープ式
(1)　(酒屋・壺坂内・八陣・堀川)	7007(ナシ)	長時間エンドレステープ式
(1)　(合邦・紙治・野崎・本下・すしや)	7008(ナシ)	長時間エンドレステープ式

題名場名表(義太夫節)

題名	表音	題名略号	場名	場名略号
明烏六花曙	アケガラスユキノアケボノ	明烏	山名屋浦里部屋の場 (山名屋)奥庭の場	
芦屋道満大内鑑	アシヤドオマンオオウチカガミ	芦屋	保名内の場	
伊賀越道中双六	イガゴエドオチュウスゴロク	伊賀	政右衛門内の場	政
			沼津宿はずれの場	沼
			平作内の場	平
			千本松原の場	千
			藤川新関休み茶屋の場	藤
			幸兵衛内の場	幸
伊勢音頭恋寝刃	イセオンドコイノネタバ	伊勢	油屋の場 (油屋)奥庭の場	
一谷嫩軍記	イチノタニフタバグンキ	一谷	須磨の浦の場	須
			直実陣屋の場	直
妹背山婦女庭訓	イモセヤマオンナテイキン	妹背	道行恋のおだまき	
絵本太功記	エホンタイコオキ	絵本	妙心寺の場	妙
			杉の森砦の場	杉
			さつき内の場	皐
奥州安達原	オオシュウアダチガハラ	奥州	環の宮館の場	
近江源氏先陣館	オオミゲンジセンジンヤカタ	近江	盛綱陣屋の場	
女舞剣紅楓	オンナマイツルギノモミジ	女舞	三勝内の場	
加賀見山旧錦絵	カガミヤマコキョオノニシキエ	加賀	又助内の場	又
			足利館長廊下の場 (足利館)屋上部屋の場 (足利館)門外の場 (足利館)屋上部屋の場 (足利館)奥庭の場	足

題名	表音	題名略号	場名	場名略号
重井筒	カサネイズツ	重井	重井筒屋の場	
敵討檻褸錦	カタキウチツズレノニシキ	檻褸	大安寺堤の場	
桂川連理柵	カツラガワレンリノシガラミ	桂川	帯屋の場	
仮名手本忠臣蔵	カナデホンチュウシングラ	仮名	足利館長廊下の場 (足利館)裏門の場	足
			塩冶館の場	塩
			山崎街道の場	山
			与市兵衛内の場	与
			一力の場	一
			道行旅路の嫁入	道
			由良之助内の場	由
鎌倉三代記	カマクラサンダイキ	鎌倉	三浦之助母内の場	
紙子仕立両面鑑	カミコジタテリョオメンカガミ	紙子	大文字屋の場	
勧進帳	カンジンチョオ	勧進	安宅新関の場	
鬼一法眼三略巻	キイチホオゲンサンリャクノマキ	鬼一	五条橋の場	
岸姫松轡鑑	キシノヒメマツクツワカガミ	岸姫	飯原館の場	
義士銘々伝	ギシメイメイデン	義士	弥作内の場	弥
			源左衛門内の場	源
楠昔噺	クスノキムカシバナシ	楠昔	生駒山の場	生
			徳太夫内の場	徳
廓文章	クルワブンショオ	廓文	吉田屋の場	
傾城阿波の鳴戸	ケイセイアワノナルト	阿波	十郎兵衛内の場	
傾城反魂香	ケイセイハンゴンコオ	反魂	将監内の場	
源平布引滝	ゲンペイヌノビキノタキ	源平	鳥羽離宮の場	
恋女房染分手綱	コイニョオボオソメワケタズナ	恋女	八蔵内の場	八
			由留木館の場	由

題名	表音	題名略号	場名	場名略号
恋娘昔八丈	コイムスメムカシハチジョオ	恋娘	城木屋の場	城
			鈴ケ森の場	鈴
国性爺合戦	コクセンヤカッセン	国性	獅子ケ城楼門の場	
御所桜堀川夜討	ゴショザクラホリカワヨウチ	御所	侍従太郎館の場	
碁太平記白石噺	ゴタイヘイキシライシバナシ	碁太	大福屋の場	
寿式三番叟	コトブキシキサンバソオ	寿式		
寿連理の松	コトブキレンリノマツ	寿連	佐次兵衛内の場	
金毘羅利生記	コンピラリショオキ	金毘	百度平内の場	
桜時雨	サクラシグレ	桜時	三郎兵衛内の場	
桜鍔恨鮫鞘	サクラツバウラミノサメザヤ	桜鍔	八郎兵衛内の場	
卅三間堂棟由来	サンジュウサンゲンドオムナギノユライ	卅三	平太郎内の場	平
			街道の場	街
七福神宝の入船	シチフクジンタカラノイリフネ	七福		
修禅寺物語	シュゼンジモノガタリ	修禅		
出世太平記	シユッセタイヘイキ	出世	嘉平次内の場	
酒呑童子枕言葉	シュテンドオジマクラノコトノハ	酒呑	酒呑童子岩屋の場	
生写朝顔話	ショオウツシアサガオバナシ	生写	戎屋の場	戎
			大井川の場	大
心中天網島	シンジュウテンノアミジマ	心中	河内屋の場	河
			紙屋の場	紙
新版歌祭文	シンパンウタザイモン	新版	久作内の場	
菅原伝授手習鑑	スガワラデンジュテナライカガミ	菅原	河内郡領館の場	河
			道真下館の場	道
			源蔵内の場	源
勢州阿漕浦	セイシュウアコギガウラ	勢州	平治内の場	

題名	表音	題名略号	場名	場名略号
関取千両幟	セキトリセンリョオノボリ	千両	猪名川内の場	猪
			角力場の場	角
摂州合邦辻	セッシュウガッポオガツジ	合邦	合邦内の場	
摂津国長柄人柱	セッツノクニナガラノヒトバシラ	摂津	入鹿館の場	
増補大江山	ゾオホオオエヤマ	増大	戻橋の場	
増補菅原伝授手習鑑	ゾオホスガワラデンジュテナライカガミ	増菅	松王丸内の場	
増補忠臣蔵	ゾオホチュウシングラ	増忠	本蔵内の場	
			(本蔵内)奥庭の場	
染模様妹背門松	ソメモヨオイモセノカドマツ	染模	油屋賓店の場	
			(油屋)蔵前の場	
太平記忠臣講釈	タイヘイキチュウシンコオシャク	太平	喜内内の場	
伊達娘恋緋鹿子	ダテムスメコイノヒガノコ	伊達	火の見櫓の場	
玉藻前曦袂	タマモノマエアサヒノタモト	玉藻	道春館の場	
壇浦兜軍記	ダンノウラカブトグンキ	壇浦	堀川御所の場	
近頃河原の達引	チカゴロカワラノタテヒキ	近頃	与次郎内の場	
壺坂観音霊験記	ツボサカカンノンレイゲンキ	壺坂	沢市内の場	沢
			壺坂寺の場	壺
			谷底の場	谷
日蓮聖人御法海	ニチレンショオニンミノリノウミ	日蓮	勘作内の場	
箱根霊験躄仇討	ハコネレイゲンイザリノアダウチ	箱根	勝五郎小屋の場	勝
			阿弥陀寺の場	阿
			滝の場	滝
八陣守護城	ハチジンシュゴノホンジョオ	八陣	政清居城の場	
艶容女舞衣	ハデスガタオンナマイギヌ	艶容	茜屋の場	
花上野誉碑	ハナノウエノホマレノイシブミ	花上	志渡寺の場	

題名	表音	題名略号	場名	場名略号
花雲佐倉曙	ハナノクモサクラノアケボノ	花雲	下総屋の場	下
			惣五郎内の場	惣
彦山権現誓助剣	ヒコサンゴンゲンチカイノスケダチ	彦山	六助内の場	
鷸山古跡松	ヒバリヤマコセキノマツ	鷸山	豊成館の場	
日吉丸稚桜	ヒヨシマルワカキノサクラ	日吉	久吉居城の場	
ひらかな盛衰記	ヒラカナセイスイキ	平仮	松右衛門内の場	松
			福島浜の場	福
双蝶々曲輪日記	フタツチョオチョオクルワニッキ	双蝶	治部右衛門内の場	治
			与兵衛内の場	与
本朝廿四孝	ホンチョオニジュウシコオ	本朝	謙信館の場	
			(謙信館)奥庭の場	
迎駕野中の井戸	ムカエカゴノナカノイド	迎駕	由兵衛内の場	
嬢景清八島日記	ムスメカゲキヨヤシマニッキ	嬢景	日向島の場	
冥途の飛脚	メイドノヒキャク	冥途	米屋町の場	米
			新口村の場	新
伽羅先代萩	メイボクセンダイハギ	伽羅	伊達館の場	
由良湊千軒長者	ユラノミナトセンゲンチョオジャ	由良	由良裏山の場	
義経千本桜	ヨシツネセンボンザクラ	千本	釣瓶鮓屋の場	釣
			道行初音旅	道

題名場名表作成要項

第1条 音盤カード記入規定(以下「規定」と略称)第11条により、当研究所の所蔵する音盤の整理に便なことを目的として、統一題名を設定する。その際、所蔵する他の資料の題名との関連性に注意を払う。

第2条 規定第12条により、独立した小演目に分割し得る演目においては、各小演目の題名を用いる。

第3条 題名の設定に当っては、題名の俗称・通称・略称を用いないが、現行題名の普及度を考慮し、必ずしも初演題名に拠らない。

第4条　題名の文字づかいは、規定第2条第1項により、当用漢字字体表による字体、またはそれに準ずる字体を用いる。

第5条　題名は、前条までの目的と注意とに従い、各種目ごとに基準を設けて決定する。

第6条　規定第14条における、本来二場以上にわたる演目においては、場の名称を題名表に添える。

第7条　場の名称は、規定第16条により、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いない。

第8条　場の名称の決定に際しては、本文を尊重し、従来の慣用には従わない。

奏演者代数表(義太夫節)

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
2	竹本相生太夫	明治 6	呉竹	Ⅳ組・Ⅱ綾瀬
3	竹本相生太夫	大正 9	小若・Ⅲ越代	
4	鶴沢浅造	明治 44		Ⅳ重造
1	竹本綾之助	明治 20	玉之助	
5	豊竹生駒太夫	大正 15	朝路・羽・Ⅷ都	Ⅷ都(再)
5	豊竹和泉太夫	大正 8	津留・鶴	
3	野沢歌助	明治 45	春治郎	
5	鶴沢燕三	昭和 18	友花	
4	豊沢猿糸	明治 31	小庄・大造	Ⅵ友次郎
5	豊沢猿糸	大正 12	竹三郎	Ⅶ広助
3	鶴沢燕四	明治 45	大糸	Ⅵ才治
2	豊沢猿二郎	明治 26	小作	Ⅳ仙糸
5	豊沢猿之助	明治 30	惣太郎	
3	竹本大島太夫	明治 41	生島	
3	竹本大隅太夫	明治 17	Ⅰ春子	
4	竹本大隅太夫	昭和 2	Ⅰ静	
4	竹本織太夫	昭和 13	Ⅱつばめ	Ⅷ綱
4	野沢勝市	明治 44	Ⅰ勝太郎	
1	野沢勝太郎	明治 34		Ⅳ勝市
2	野沢勝太郎	昭和 17	勝芳	
4	野沢勝平	明治 37		Ⅱ喜左衛門
4	鶴沢叶	大正 2	Ⅱ鶴五郎・Ⅳ鶴太郎	Ⅱ清八
2	鶴沢観西翁	昭和 13	小寛・文吾・和三郎・八兵衛・大造・梅本香伯・K若太夫	
3	鶴沢寛治郎	昭和 12	団治郎・Ⅵ団六	Ⅵ寛治
2	野沢喜左衛門	昭和 17	Ⅳ勝平	
9	野沢吉五郎	大正 4	常造・Ⅲ兵内	Ⅷ吉兵衛
3	野沢吉作	明治 41	吉千代・吉兵	
4	野沢吉三郎	明治 41	兵市・市治郎	Ⅶ吉兵衛
7	野沢吉兵衛	大正 15	兵市・市治郎・Ⅳ吉三郎	
8	野沢吉弥	大正 5	吉子・八助	
4	野沢錦糸	昭和 17	綱延	
6	豊沢源吉	明治 45	仙之助	
2	竹本源路太夫	明治 42		Ⅷ源

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
7	竹本源太夫	明治39	源子	
2	豊竹古靱太夫	明治42	小津賀・津葉芽・津葉免・津ばめ	山城少掾
2	竹本越名太夫	大正6		Ⅳ南部
3	竹本越名太夫	昭和5		Ⅴ南部
11	鶴沢小庄	大正11		
7	豊竹駒太夫	大正3	小富・Ⅳ富	
6	鶴沢才治	大正13	大糸・Ⅲ燕四	
5	竹本さの太夫	明治32	団次郎・小さの	
8	鶴沢三二	明治33	吉丸・Ⅱ三造・Ⅳ徳太郎	
5	竹本錣太夫	明治30	雀・識子	
1	竹本静太夫	明治36		Ⅳ大隅
7	豊竹島太夫	大正9	Ⅱ英	Ⅲ呂・Ⅹ若
1	竹本七五三太夫	明治11		
2	竹本七五三太夫	昭和16	陸路	
2	豊沢新左衛門	明治31	松吉・松三郎	
3	豊沢新三郎	大正5	新之助	
5	竹本住太夫	明治30	Ⅲ雛・Ⅴ越	
4	鶴沢清二郎	大正3		藤蔵
3	鶴沢清六	明治36	福太郎・Ⅲ鶴太郎・Ⅲ叶	
4	鶴沢清六	大正12	政二郎・Ⅴ徳太郎	
4	豊沢仙糸	大正3	小作・Ⅱ猿二郎	
9	竹本染太夫	明治30	登勢・谷	
3	竹本田喜太夫	昭和17	文字栄・Ⅴ常子	
4	竹本伊達太夫	昭和11	小春	Ⅶ土佐
2	竹沢団二郎	明治43	団吾	Ⅴ宗七
3	竹沢団二郎	大正12		Ⅶ団六・Ⅹ弥七
2	豊沢団八	明治29	新六	
3	豊沢団平	明治40	九市・Ⅴ源吉・仙左衛門	
6	竹沢団六	明治43	団治郎	Ⅲ寛治郎・Ⅵ寛治
7	竹沢団六	昭和13	Ⅲ団二郎	Ⅹ弥七
2	竹本津太夫	元治1	緑	Ⅶ綱
3	竹本津太夫	明治43	浜子・Ⅰ文・Ⅳ浜	
4	鶴沢綱造	明治29	Ⅱ小綱	
8	竹本綱太夫	昭和22	Ⅱつばめ・Ⅳ織	
5	竹本常子太夫	昭和8	文字栄	Ⅲ田喜
1	竹本津ばめ太夫	明治22	小津賀・津葉芽・津葉免	Ⅱ古靱・山城少掾

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
2	豊竹つばめ太夫	大正 6		Ⅳ織・Ⅷ綱
3	豊竹つばめ太夫	昭和 16	小松	
4	鶴沢鶴太郎	明治 32	Ⅱ鶴五郎	Ⅳ叶・Ⅱ清八
7	豊竹時太夫	明治 36	寛八・高尾太夫・	
5	鶴沢徳太郎	大正 1	政二郎	Ⅳ清六
6	竹本土佐太夫	大正 13	馬・Ⅲ伊達	
4	豊沢富治	明治 36		
6	鶴沢友次郎	明治 45	小庄・大造・Ⅳ猿糸	(十文字楼)
2	鶴沢友造	明治 45	大八	
3	鶴沢友之助	明治 43	猿童	
5	鶴沢仲助	明治 36	Ⅱ寛三郎	
3	竹本南部太夫	明治 32	Ⅱ鶴尾	
4	竹本南部太夫	昭和 5	Ⅱ越名	
5	竹本播磨太夫	明治 40	仙之助・門造	
2	竹本春子太夫	明治 18		
4	竹本雛太夫	明治 27	組栄	
4	豊沢広作	明治 38	小仙・仙昇	
6	豊沢広助	明治 38	Ⅰ猿二郎・Ⅰ竜助・Ⅱ仙糸・助八・Ⅲ広作	名庭紘阿弥
7	豊沢広助	昭和 6	竹三郎・Ⅴ猿糸	
1	竹本文太夫	明治 21	浜子	Ⅳ浜・Ⅲ津
7	竹本文字太夫	大正 14	Ⅱ小常・Ⅱ常子・Ⅶ八十	Ⅵ住
10	竹沢弥七	昭和 22	Ⅲ団二郎・Ⅶ団六	
7	竹本八十太夫	大正 4	Ⅱ小常・Ⅱ常子	Ⅶ文字・Ⅵ住
6	竹本弥太夫	大正 2	Ⅲ長子	
4	鶴沢勇造	明治 29	鬼奴松・Ⅱ鬼勇・花助	Ⅴ文蔵
5	鶴沢勇造	大正 3	Ⅱ花勇	
2	豊沢竜助	慶応 2		
10	豊竹若太夫	昭和 25	Ⅱ英・Ⅶ島・Ⅲ呂	
3	竹本和佐太夫	明治 18		Ⅵ津賀

奏演者代数表(義太夫節)

凡　　例

1. 本表は、本巻目録で使用した義太夫節奏演者名の世代数を示し、襲名した年および前名・後名を付記した。
2. 奏演者名は、名の五十音順に配列した。
3. 前名欄・後名欄では、世代数をローマ数字で頭記した。また、三味線弾名と太夫名とが混在する場合以外、「太夫」の文字を省略した。

奏演者代数表作成要項

第1条　奏演者の代数は、芸能界通行の代数に従い、考証による改訂は行なわない。

第2条　奏演者が故人の場合は、信用度の高い文献を根拠とするが、現存する場合は、当人の意見を尊重する。

第3条　二種以上の代数が行なわれる場合は、考証により、もっとも適当と思われるものを採用する。

義太夫節主奏演者配列表 （安原コレクション整理用）

凡　例

1　本表には、安原コレクション義太夫レコードについて、それぞれに主奏演者一名を選び、次の三表に分けて掲げ、本目録における配列順を示した。

（1）本流義太夫
（2）女義太夫
（3）素人義太夫

2　第一表には、本流義太夫について、配列番号・代数・名・姓・生没年月日を記入した。

a　配列は、生年月日順に行ない、生年のみ判明している場合は、生年を同じくする者の末尾に配列した。

b　生年不明で、前項に配列しがたい者については、最後部に一括し、名の五十音順に配列した。

c　襲名・改名等で、同一人が二つ以上の名で奏演している場合は、改名順に配列し、最後名を、備考欄→印のあとに示した。

d　名に二通り以上の文字をあてている場合は、その他の文字を、備考欄＊印のあとに示した。

e　配列番号は、一人一番号とし、洋数字を用いた。ただし、改名した者については、その初名にのみ付した。

f　代数は、ローマ数字を用いた。

g　生没年月日は、義太夫年表により、不明の点を、現代音楽大鑑・此君帖等で補った。

3　第二表には、女義太夫について、配列番号・名・姓を記入した。

a　配列は、名の五十音順に行なった。

b　襲名・改名等で、同一人が二つ以上の名で奏演している場合は、第一表に準じた。

c　同一人が二つの名を併用している場合は、盤数の多い名にまとめて配列し、他の一方を＝印のあとに示した。

d　上記の場合で盤数の同じものは、任意の一方にまとめて配列した。

e　配列番号は、第一表に準じて付し、同一人が二つの名を併用している場合は、先出の名に付した。

4　第三表には、素人義太夫について、配列番号・名・姓又は姓に準ずるものを記入した。

a　配列は、名の五十音順に行なった。

b　同一人が二つの名を併用している場合は、第二表に準じて配列した。

c　名に二通りの文字をあてている場合は、第一表に準じた。

d　配列番号は、第二表に準じて付した。

第一表　本流義太夫

配列番号	代数	奏演者名	生没年月日	備考
1		摂津大掾(竹本)	天保 7・3・15 ～ 大正 6・10・9	
2	Ⅱ	津太夫(竹本)	天保10 ～ 大正元・7・23	→ Ⅶ綱太夫
3	Ⅴ	住太夫(竹本)	弘化 4 ～ 明治42・9	
4	Ⅱ	相生太夫(竹本)	嘉永元・1 ～ 明治44・2・18	→ Ⅱ綾瀬太夫
5	Ⅸ	染太夫(竹本)	嘉永 6 ～ 大正 5・2・17	
6	Ⅲ	大隅太夫(竹本)	安政元 ～ 大正 2・7・31	
7		朝太夫(竹本)	安政 3・2・8 ～ 昭和 8・1・30	
8	Ⅲ	大島太夫(竹本)	安政 3 ～ 大正 4・12・4	
9		祖太夫(竹本)	安政 4・1・29 ～ 昭和 5・9・26	→ Ⅱ呂太夫
10	Ⅴ	播磨太夫(竹本)	安政 6 ～ 大正11・3・23	
11	Ⅶ	時太夫(豊竹)	文久 2・2・18 ～ 大正	
12	Ⅵ	土佐太夫(竹本)	文久 3・9・15 ～ 昭和16・4・2	
13	Ⅰ	七五三太夫(竹本)	文久 4 ～ 明治44・8・30	
14	Ⅱ	観西翁(鶴沢)	元治元・10・2 ～ 昭和21	
15	Ⅲ	和佐太夫(竹本)	慶応元・4・24 ～ 昭和19	→ Ⅵ津賀太夫
16	Ⅲ	南部太夫(竹本)	慶応元・9・7 ～ 大正11・4・24	
17		殿太夫(竹本)	慶応元・10・19 ～	
18	Ⅵ	弥太夫(竹本)	慶応 2 ～ 大正13・6・6	
19	Ⅱ	春子太夫(竹本)	慶応 3・2・9 ～ 昭和 3・5・5	
20	Ⅱ	新左衛門(豊沢)	慶応 3・5・23 ～ 昭和18・3・24	
21		道八(鶴沢)	明治 2・6・27 ～	
22	Ⅰ	文太夫(竹本)	明治 2・12 ～ 昭和16・5・7	→ Ⅲ津太夫
	Ⅲ	津太夫(竹本)	同上	
23		角太夫(竹本)	明治 4・5・5 ～ 昭和20・12	→ Ⅴ重太夫
24	Ⅳ	雛太夫(竹本)	明治 4・9・1 ～ 大正15・8・13	
25		叶太夫(竹本)	明治 6・4・5 ～ 昭和18	→ Ⅶ春太夫
26	Ⅵ	友次郎(鶴沢)	明治 7・1 ～ 昭和26・10・8	＊ 十文字楼
27	Ⅴ	錣太夫(竹本)	明治 9・3・3 ～ 昭和15・12	
28	Ⅱ	猿二郎(豊沢)	明治 9・4・26 ～ 昭和21・4・11	→ Ⅳ仙糸
29	Ⅴ	猿之助(豊沢)	明治 9・10・20 ～	
30	Ⅴ	生駒太夫(豊竹)	明治11・10・17 ～ 昭和35・2・9	→ Ⅷ都太夫
31	Ⅴ	猿糸(豊沢)	明治11・2・4 ～ 昭和32・1・24	→ Ⅶ広助
	Ⅶ	広助(豊沢)	同上	＊ 津バメ太夫
32	Ⅴ	さの太夫(竹本)	明治11・8・31 ～	＊ つばめ太夫
33	Ⅰ	津ばめ太夫(竹本)	明治11・12・15 ～ 現存	＊ 燕太夫 → 山城少掾
	Ⅱ	古靭太夫(豊竹)	同上	→ 山城少掾
		山城少掾(豊竹)	同上	

配列番号	代数	奏演者名	生没年月日	備考
34		相模太夫(竹本)	明治11 ～ 昭和11・9・16	
35	Ⅳ	叶 (鶴沢)	明治12・3・11 ～ 現存	→ Ⅱ清八
36	Ⅶ	源太夫(竹本)	明治14・7・7 ～ 昭和10・4・7	
37	Ⅶ	駒太夫(豊竹)	明治15・2・20 ～ 昭和16・3	
38		巌太夫(豊竹)	明治15・3・24 ～	
39	Ⅰ	静太夫(竹本)	明治15・10・27 ～ 昭和27・7・12	→ Ⅳ大隅太夫
	Ⅳ	大隅太夫(竹本)	同上	
40	Ⅴ	和泉太夫(豊竹)	明治15 ～	
41	Ⅱ	源路太夫(竹本)	明治18・12 ～	→ Ⅷ源太夫
42		米太夫(竹本)	明治20・7・4 ～ 昭和19	
43	Ⅶ	島太夫(豊竹)	明治21・5 ～ 現存	→ Ⅹ若太夫
	Ⅹ	若太夫(豊竹)	同上	
44		越登太夫(竹本)	明治22・9・5 ～ 大正15・6・2	
45		鏡太夫(竹本)	明治23 ～	
46		小春太夫(竹本)	明治27・9・27 ～ 現存	→ Ⅶ土佐太夫
	Ⅳ	伊達太夫(竹本)	同上	→ Ⅶ土佐太夫
47	Ⅱ	越名太夫(竹本)	明治28 ～ 昭和21	→ Ⅳ南部太夫
	Ⅳ	南部太夫(竹本)	同上	
48		陸路太夫(竹本)	明治29・5・13 ～ 昭和	→ Ⅱ七五三太夫
49		八造(野沢)	明治35・12・15 ～ 昭和38・5・28	
50	Ⅱ	つばめ太夫(豊竹)	明治37・1・3 ～ 現存	→ Ⅷ綱太夫
	Ⅳ	織太夫(竹本)	同上	→ Ⅷ綱太夫
	Ⅷ	綱太夫(竹本)	同上	
51	Ⅴ	常子太夫(竹本)	明治40 ～	→ Ⅲ田喜太夫
	Ⅲ	田喜太夫(竹本)	同上	
52		薩摩太夫(豊竹)		
53		重寿太夫(竹本)		
54		新靱太夫(豊竹)		
55		千駒太夫(豊竹)		
56		鶴寿太夫(竹本)		
57		鶴登太夫(竹本)		
58		錦太夫(竹本)		
59		昇太夫(竹本)		
60		兵吉(豊沢)		→ 広兵衛
		広兵衛(豊沢)		

第二表　女　義　太　夫

配列番号	奏演者名			配列番号	奏演者名	
1	朝　重	（竹本）		34	美　光	（竹本）
2	綾　菊	（竹本）		35	瓢	（竹本）
3	綾　助	（竹本）		36	美　朝	（竹本）
4	綾之助	（竹本）		37	雛　駒	（竹本）
5	糸　吉	（竹本）		38	雛　昇	（竹本）
6	叶　女	（竹本）		39	広　春	（竹本）
7	京　子	（竹本）		40	二三竜	（竹本）
8	越喜美	（竹本）		41	文　福	（竹本）
9	越　寿	（竹本）		42	豆之助	（豊竹）
10	小　清	（竹本）		43	素　女	（竹本）
11	小　仙	（竹本）		44	呂　玉	（豊竹）
12	小土佐	（竹本）		45	呂　昇	（豊竹）
13	小豊後	（豊竹）		46	呂之助	（豊竹）
14	駒　若	（竹本）		47	和　広	（豊竹）
15	三　蝶	（竹本）				
16	七五三之助	（竹本）		48	進義会	
17	春　華	（竹本）		49	邦楽同好会	
18	昇之助	（豊竹）	＝玄番米子			
	米　子	（玄番）	＝昇之助			
19	末千代	（竹本）				
20	住　広	（竹本）				
21	清　糸	（竹本）				
22	清　松	（竹本）				
23	仙　竜	（豊竹）				
24	伊達子	（竹本）				
25	伊達若	（竹本）				
26	団　司	（豊竹）				
27	団　路	（竹本）				
28	団　艶	（竹本）				
29	東　猿	（竹本）				
30	東　広	（竹本）				
31	時　子	（竹本）				
32	友之助	（竹本）				
33	長　広	（竹本）	→旭嬢			
	旭　嬢	（竹本）				

第三表　素人義太夫

配列番号	奏演者名	配列番号	奏演者名
1	愛助（小西）	34	蘭瓶（吉川）
2	い京（小西）	35	里貴司（井上）
3	石子　＊いし子（油屋席）	36	呂篤（永藤）
4	皆春（阿賀）		
5	貴若		
6	北助（北新地）		
7	貴鳳		
8	銀司（西村）		
9	元太郎（尾上）		
10	小円（京山）		
11	幸喜（新橋）		
12	湖州（大音）		
13	山生（斎藤）		
14	三造		
15	三木（三木）		
16	児雀（鈴木）		
17	如水（岩崎）		
18	信昇（村上）		
19	清二郎		
20	清亮（粟津）		
21	赤松（赤松）		
22	千隆（堀井）		
23	玉子（富田屋）		
24	常次郎（原田）＝越巴 越巴（原田）＝常次郎		
25	初音		
26	楓江（後藤）		
27	ふく子（高木）		
28	福助（南地）		
29	分銅（笹村）		
30	真砂		
31	無関居士		
32	名木（浜名）		
33	らく（宮城）		

付　　記

前表のうち生駒太夫には明治9年生れのV竹本生駒太夫と、明治11年生れのV豊竹生駒太夫とがあり、前者として整理順を決定したが、訂正不能の段階において明治11年生れの豊竹生駒太夫と判明したため、整理順の変更は行なわず、生没年月日のみの訂正を行なった。

音　盤　目　録

Ⅱ

（演　劇）

凡　例

1　東京国立文化財研究所に所蔵する音盤のうち、故安原仙三氏旧蔵の音盤（安原レクション）の演劇を本巻に収めた。

2　音盤目録の配列は次の順位に拠った。

第一順位　音盤分類表(別表1『音盤目録』Ⅰ～Ⅳ所載。本巻には省略)の順。

第二順位　題名番号順。

第三順位　主奏演者名の五十音順。ただし、同題名の中では、幕の異なるごとに配列順位を改めた。

第四順位　奏演面数の多い順。

第五順位　録音状態の良い順。

第六順位　準主奏演者名の五十音順。

なお、題名番号のない音盤は、各種目の末尾に一括した。また、「歌舞伎」の末尾に「陰囃子」を一括し、主奏演者名の五十音順に配列した。

3　常用漢字および現代かなづかいを用いることを原則とし、題名・人名その他の固有名詞にかぎり、常用漢字以外の文字を用いた。

4　題名番号欄・題名欄・奏演者欄・題紙欄・整理番号欄・詞章欄・音盤番号欄・備考欄を設けた。各欄の記入事項は下記のとおりである。

(1)　題名番号欄

各種目の題名を五十音順に配列して付けた番号を記入した。

(2)　題　名　欄

(Ⅰ)　題紙の記載にかかわりなく、統一した題名を用い、本来二場以上にわたる演目においては場名を記入した。(454ページ参照)

(Ⅱ)　題名は、現行の上演外題名を基準として定めた。

(Ⅲ)　場名は、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いなかった。また台本の本文を尊重し、従来の慣用には従わなかった。

(Ⅳ)　奏演部分が二場以上に及ぶ場合は、場名にA・B等と頭記した。

(Ⅴ)　奏演部分に特定の名称があるものは、場名に準じて添記した。(例・駒の段)

(Ⅵ)　奏演形式の名称を、〔小謡〕〔独吟〕〔独吟番謡〕〔囃子〕〔番囃子〕〔素囃子〕

〔独鼓〕〔狂言小謡〕〔陰囃子〕等と付記した。

(3) 奏 演 者 欄

(Ⅰ) 奏演者の姓名を記入し、演劇的役名を（　）に入れて頭記した。

(Ⅱ) 奏演者名で代数の明らかなものや区別を要するものは、代数をローマ数字でⅡ・Ⅲ等と頭記する（466 ページ参照）か、区別し得る名称を〈　〉に入れて付記した。

(Ⅲ) 題紙の記載の不備や誤りを、他の資料によって補い、または訂正したものは〈　〉を付けた。ただし、音盤に添えられたパンフレットの記載は、題紙に記載されたものと同等に扱い、〈　〉を付けなかった。

(Ⅳ) 題紙に奏演者の所属集団名だけが記載されていて、個個の奏演者名が不明の場合は、その集団名だけを記入し、全く不明の場合は「？」とした。

(Ⅴ) 演劇的役名は、姓・名のうち、どちらか通りのよい方だけを用いた。

(Ⅵ) 音楽の奏演者名を記入する場合は、歌唱者・三味線・囃子などの順に各別行で記入し、その役割を頭記した。

この場合、本欄に用いた略号は下記のとおりである。

（歌） 歌唱者　（三） 三味線　（上） 上調子　（大） 大　鼓
（小） 小　鼓　（太） 太　鼓　（囃） 囃　子　（陰） 陰囃子

(Ⅶ) 歌舞伎など、奏演の進行に従って、囃子が伴奏することを原則とする種目以外の種目で、囃子の奏演者名が不明の場合は〔陰囃子入〕、歌舞伎・新派など柝を用いるのを原則とする種目以外の種目で、柝を用いている場合は〔柝入〕、洋楽を用いているものは〔洋楽入〕と付記した。

(4) 題　紙　欄

(Ⅰ) まず音盤名を下記の略記号によって記入した。ただし、下記以外の音盤名は省略せずに、カタカナで発音どおりに(促音･拗音は小字にせず)記入した。

オリ＝オリエント	ビク＝ビクタア
コロ＝コロンビア	ヒコ＝ヒコオキ
タイ＝タイヘイ	ホガ＝ホオガク
テイ＝テイチク	ポリ＝ポリドオル
トキ＝トオキヨオ	ライ＝ライロホン
ニト＝ニツトオ	リガ＝リイガル
ニポ＝ニツポノホン	

(Ⅱ) 次に、音盤題紙識別表（別表5。『音盤目録』Ⅰ～Ⅳ所載。本巻には省略）の様式記号欄に設けた分類記号を記入した。

(Ⅲ) 次の行に、音盤題紙の地色を下記の色名を用いて記入した。

白・桃・赤・橙・黄・緑・青・紫・茶・灰・黒

ただし、地色に二色以上を使用したものは「多色」とした。また、盤の表裏の色名が異なる場合は、A面B面の順に二色を並記した。

(5) 整理番号欄

本研究所の音盤収蔵箱の番号と各箱の中の番号との組み合わせによる整理番号を記入した。また音盤の表裏ともに音がはいっているものは、表面をA、裏面をBとして区別した。

(6) 詞　章　欄

(Ⅰ) まず面の順序を(1)(2)等と頭記した。ただし、欠面のある場合は(＊)で示した。

(Ⅱ) 次に、各面における初めの五･七音節分、七･五音節分程度の詞章を、奏演のとおりに記入した。ただし、句読点は用いず、二人以上の会話の替り目だけに 」印を用いた。また欠面の場合は……と記入した。

(Ⅲ) 二場以上を収めた演目においては、題名欄と関連づけて、各場の冒頭の部分を収めた面に、A・B等と頭記した。

(Ⅳ) 一面の途中、または次の面との間に、奏演を省略した部分がある場合は、詞章の末尾に＊印を付けた。

(Ⅴ) 詞章が全く聴き取れないものは「？」とし、一部が不分明なものは、その音節の数ほど○を記入した。また他の資料で補った場合は〈　〉を付けた。

(Ⅵ) 詞章以外、初めに口上・解説等がはいっている場合は(序)、長い合方や陰囃子があるものは(合)(陰)、笑い声や泣き声がある場合は(笑)(泣)等と記入した。

(Ⅶ) 解説を主とするものや、詞章のない場合は、その内容を要約して記入したが、器楽の演奏だけで内容を表現しがたいものは空欄にした。

(7) 音盤番号欄

(Ⅰ) 題紙記載の番号のうち、発行番号を記入し、そのあとに題紙の周辺等に打ち込まれた番号のうち、製作番号を（　）の中に記入した。

(Ⅱ) 発行番号と製作番号とが同じ場合は、製作番号は(〃)と略記した。

(Ⅲ) 二種以上の番号がある場合は、主要なものだけを記入したが、その主要度の差が認めにくいときは、「,」でくぎって並記した。

(Ⅳ) 発行番号または製作番号がない場合は、ナシと記入した。

(8) 備 考 欄

(Ⅰ) 同種音盤との相互関係を、下記の記号と整理番号とを用いて示した。

≡ 全く同じ音盤

＝ 同原版の異版または異装

≒ 同音源の別原版

ただし、二面以上にわたる場合は、最初の盤の整理番号を〔 〕の中に記入して、他を省略した。

(Ⅱ) 音盤の方式・規格等を記入した。本巻ではほとんどがＳＰ盤なので、ＬＰ盤だけを指摘した。また大部分が直径 25 センチ盤なので、30 センチ盤だけを 30 ㎝ と記入した。さらに、盤面の中央部から外縁部へ向かって針が移動する方式の音盤を、「遠心式」と記して区別した。

(Ⅲ) 音盤の破損状態を下記の略称を用いて記入した。

カケ　盤の縁の欠けているもの

カビ　盤面のかびの除き得ないもの

キズ　盤面に傷のあるもの

スレ　盤面のすり減っているもの

ソリ　盤のそっているもの

ヒビ　盤にひびがはいっているもの

(Ⅳ) その他、題紙に記載された作者・脚色者名、題紙の記載との相違点等特記事項を記入した。

5　その他の細部については、本研究所の音盤カード記入規定（『音盤目録』Ⅰ～Ⅳ所載。本巻には省略）ならびに細則に準拠した。

1 演　　劇

11 能

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	嵐　山 〔囃子〕	(歌)　Ⅰ梅若万三郎 梅若六郎〈景昭〉	ビク　Ⅰb 黒	9—　1A
2	蟻　通 〔独吟〕	(歌)　宝生新	ニポ　Ⅰa 赤	9—　2A
3	杜　若 〔囃子〕	(歌)　Ⅰ梅若万三郎 (囃)　(笛)一噌要三郎 (小)三須平司 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎	ニポ　Ⅰa 赤	9—　3A
4	加　茂 〔小謡〕	(歌)　桜間金太郎	テイ　Ⅴa 黒	9—　4A
5	鞍馬天狗 〔独吟〕	(歌)　喜多六平太〈能心〉	ニポ　Ⅰc 赤	9—　5A B
5	鞍馬天狗 〔小謡〕	(歌)　桜間金太郎	テイ　Ⅴa 黒	9—　4A
6	小　督 駒の段　〔独吟〕	(歌)　金子亀五郎	ライ　Ⅰa 赤	9—　6B
6	小　督 〔独吟番謡〕	(歌)　観世左近〈元滋〉	タイ　Ⅵa 紫・赤	9—　7A B 8A B 9A B 10A B 11A B 12A
7	胡　蝶 〔囃子〕	(歌)　宝生九郎〈知栄〉	ビク　Ⅰa 黒	9—　13

詞章	音盤番号	備考
(1) 和光利物のおん姿	50029-A(A50029A)	
(1) 夢に寝てうつつにいずる	2513(〃)	
(1) 昔男の名を留めて	1500(〃)	
(1) 石川や瀬見の小川の	1456(N663)	四季小謡集の内夏
(1) あら痛わしやおん身と申すは (2) さてもこのほどお供して	3016(〃) 3017(〃)	
(1) 花咲かば告げんと言いし	1456(N663)	四季小謡集の内春
(1) 嵯峨野の方の秋の空	71050(〃)	
(1) これは高倉の院に仕え奉る (2) さようのしずが屋には片折り戸と (3) あからさまなる事ながら (4) おしかん鳴くこの山里と (5) 疑いもなき小督の局の (6) 人もとい来て会いにおう (7) 仲国おん目にかからざらんほど (8) 恐れながらじきのおんべんじ (9) たとえを知るも数ならぬ (10) これはさすがに同じ世の (11) こがらしに吹き合わすめる	F-168 (N3614, 60099A) F-168 (N3615, 60099B) F-169(3616) F-169(N3617) F-170 (N3618, 東3618) F-170 (N3619, 60101B) F-171 (N3620, 60102A) F-171(N3621) F-172(N3622) F-172(N3623) F-173(3624)	
(1) 春夏秋の花も尽きて	11319(B11319)	=9—14B

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	胡蝶 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	ビク Ⅳb 黒	9— 14B
8	桜川 網の段 〔独吟〕	(歌) 粟谷益二郎	ポリ Ⅰa 黒	9— 15B
9	隅田川 〔囃子〕	(歌) Ⅰ梅若万三郎 梅若六郎〈景昭〉	ビク Ⅰb 黒	9— 1B
9	隅田川 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉 野口政吉 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)三須錦吾 〈錦掌〉 (大)石田清吉	ニポ Ⅰa 赤	9— 16A
10	殺生石 〔独吟〕	(歌) 宝生新	ニポ Ⅰa 赤	9— 2B
11	高砂 〔独吟〕	(歌) 粟谷益二郎	ニト Ⅳa 黒	9— 17A B
12	竹生島 〔囃子〕	(歌) 喜多六平太〈能心〉 金子亀五郎 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)大倉喜太郎 (大)川崎利吉 (太)観世元規	ライ Ⅰa 緑	9— 6A
13	忠霊 〔番囃子〕	(歌) (忠霊)観世銕之丞 〈華雪〉・(男)観世 元正・(国士)Ⅰ梅 若万三郎 (地謡)大槻十三・ 観世緞雄・坂井音 次郎・浅見真健 (囃) (笛)一噌鍈二 (小)北村一郎 (大)高安道喜 (太)金春惣右衛門 〈国泰〉	ビク Ⅶa 赤	9— 18A B 19A B 20A B 21A B 22A B 23A B 24A B
14	鶴亀 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	ビク Ⅳb 黒	9— 14A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　春夏秋の花も尽きて	11318-B (11319)	=9—13
(1)　あたら桜のあたら桜の	F 2-B (N1782)	
(1)　われもまたいざこと問わん	50029-B (A 50029 B)	
(1)　われもまたいざこと問わん	1330(〃)	
(1)　肝胆の砕き祈りしかば	2514(〃)	
(1)　昔の人の申ししは＊ (2)　ありがたのようごうや	5208-A (〃) 5208-B (東2007)	
(1)　りゅうじん湖しょうに出現して	71043(〃)	
(1)　(囃)わが日のもとに生まれ来て (2)　しかれどもちょうこくの昔より (3)　うき事のなおこの上に (4)　天が下家となさばや (5)　おのずから春のたむけの (6)　いかにこれなる人に申すべき (7)　君が代のみ影を仰ぐ (8)　踏みて進まん道の上に (9)　かけまくも大君のみことのりに (10)　たとえがい陣するとても (11)　夜もふけ過ぎてしののめや (12)　頻もしや夢うつつとも (13)　大神に告げ奉るわが心 (14)　やす国の神の庭神慮	5871(J-1875) 5871(J-1876) 5872(J-1877) 5872(J-1878) 5873(J-1879) 5873(J-1880) 5874(J-1881) 5874(J-1882) 5875(J-1883) 5875(J-1884) 5876(J-1885) 5876(J-1886) 5877(J-1887) 5877(J-1888)	
(1)　月宮殿のはくえのたもと	11318-A (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
15	天鼓〔囃子〕	(歌) 梅若六郎〈景昭〉 (囃) (笛)杉山立枝 (小)大倉宜利 (大)斎田喜一郎	コロ Ⅹa 青	9— 25A B
15	天鼓〔独鼓〕	(歌) 喜多六平太〈能心〉	コロ Ⅰa 黒	9— 26
16	融〔独吟〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Ⅴa 黒	9— 27A B
17	難波〔独吟〕	(歌) 観世左近〈元滋〉	タイ Ⅵa 赤	9— 12B
18	羽衣〔独吟番謡〕	(歌) 観世左近〈元滋〉	ニト Ⅳc 紫	9— 28A B 29A B 30A B 31A B 32A B
18	羽衣〔囃子〕	(歌) 喜多六平太〈能心〉	コロ Ⅸb 青	11— 5B
18	羽衣〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉 野口政吉 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)幸五郎 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎	グロオブ Ⅰa 紫	9— 33
18	羽衣〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉 野口政吉 (囃) <(笛)藤田多賀造 (小)幸五郎 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎>	ニポ Ⅰa 赤	9— 34A
18	羽衣〔独吟番謡〕	(歌) <宝生九郎〈重英〉>	白	9— 35A B
19	鉢木〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Ⅴa 黒	9— 4B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　これは天鼓が亡霊なるが (2)　おもしろや時もげにおもしろや	35117-A (№33744) 35117-B (№33745)	
(1)　おもしろや時もげに秋風楽	2239(2239-1C)	
(1)　あれこそ夕ざれば野辺の秋風 (2)　あらしふけ行く秋の夜の	1749(N667) 1749(N668)	
(1)　あらおもしろの音楽や	F-173(3625)	
(1)　かざ早の三保の浦わを (2)　風向こう雲の浮き波 (3)　それは天人の羽衣とて (4)　涙の露の玉かずら (5)　かりょうびんがの慣れ慣れし (6)　いやこの衣を返しなば (7)　しかるに月宮殿のありさま (8)　この松原の春の色を (9)　落日の紅はそめいろの (10)　左右左左右さっさつの	3951-A (3189) 3951-B (3190) 3952-A (3191) 3952-B (3192-1) 3953-A (〃) 3953-B (3194) 3954-A (3195) 3954-B (3196) 3955-A (3197) 3955-B (3198)	
(1)　東遊びの数数に	35415-B (38427)	伊庭孝編「日本音楽史」(10)
(1)　東遊びの数数に	1333(〃)	=9—34A
(1)　東遊びの数数に	1333(〃)	=9—33
(1)　かざ早の三保の浦わを (2)　おとめは衣を着しつつ	ML2004(LSX-86) ML2004(LSX-87)	LP盤，題紙は白紙にペン書き
(1)　さて松はさしもげに枝を	1456(N664)	四季小謡集の内冬

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
19	鉢木〔独吟〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	トキ Ⅰa 赤	9— 36A
20	花筐〔囃子〕	(歌) Ⅰ梅若万三郎	ニポ Ⅰb 赤	9— 37B
21	船弁慶〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉 野口政吉	ニポ Ⅰa 赤	9— 34B
22	松風〔独吟〕	(歌) 観世清廉	コロンビアデスク Ⅰa 桃	9— 38
22	松風〔独吟番謡〕	(歌) 観世左近〈元滋〉	タイ Ⅵa 赤・紫	9— 39A B 40A B 41A B 42A B 43A B 44A B 45A B 46A B
22	松風〔独吟〕	(歌) Ⅰ観世喜之	ニポ Ⅰa 赤	9— 47A B
22	松風〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉 野口政吉 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)三須錦吾〈錦掌〉 (大)石田清吉	ニポ Ⅰa 赤	9— 16B
22	松風〔独吟〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	トキ Ⅱa 赤	9— 48A
23	松虫〔囃子〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	ビク Ⅲa 黒	9— 49
24	三井寺 鐘の段〔独吟〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	トキ Ⅰa 赤	9— 36B

詞章	音盤番号	備考
(1) まず冬木より咲きそむる	145(〃)	
(1) かように申せばかように申せば	1503(〃)	
(1) 一門のげっけいうんかのごとく	1334(〃)	
(1) 運ぶは遠きみちのくの	2247(2247-1A)	
(1) これは諸国一見の僧にて (2) 潮くみ車わずかなる (3) 関吹き越ゆるとながめたもう (4) 影恥ずかしきわが姿 (5) 沖に小さきいさり舟の (6) ふけ行く月こそさやかなれ (7) 松の群立ちかすむ日に (8) しばらくおん待ちそうらえ (9) 始めよりお宿参らせたくは (10) げにや思い内にあれば (11) この上は何をかさのみ (12) かくて三とせも過ぎ行けば (13) あわれいにしえを思いいずれば (14) 三つ瀬川絶えぬ涙の (15) げにのう忘れてさむろうぞや (16) 松に吹き来る風も狂じて	F-152(V95) F-152(V96) F-153(V97) F-153(V98) F-154(V99) F-154(V100) F-155(60212A, X47) F-155(X48) F-156(X49) F-156(X50) F-157(X51) F-157(X52) F-158(X53) F-158(X54) F-159(X55) F-159(X56)	
(1) 松島や雄島のあまの (2) それは鳴海潟ここは鳴尾の	3479(〃) 3480(〃)	
(1) 松の群立ちかすむ日に	1331(〃)	
(1) 松の群立ちかすむ日に	144(〃)	
(1) おもしろや千草にすだく	11321(D11321)	
(1) かほどの聖人なりしだに	148(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
25	紅葉狩 〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 4B
26	山姥 〔囃子〕	(歌) Ⅰ梅若万三郎	ニポ Ⅰb 赤	9— 37A
26	山姥 〔独吟〕	(歌) 宝生九郎〈知栄〉	トキ Ⅱa 赤	9— 48B
27	熊野 〔独吟〕	(歌) 喜多六平太〈能心〉	ポリ Ⅰa 黒	9— 15A
28	弱法師 〔囃子〕	(歌) Ⅰ梅若万三郎 (囃) (笛)一噌要三郎 (小)三須平司 (大)石田清吉	ニポ Ⅰa 赤	9— 3B

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	早舞 クツロギ 〔素囃子〕	(囃) (笛)一噌又六郎 (小)幸悟朗 (大)川崎利吉 (太)金春惣右衛門〈国泰〉	コロ Ⅸb 青	9— 50A B
	名人のおもかげ	(解説) 沼艸雨	NHR Ⅰa 多色	9— 51A B

12 狂言

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	靱猿	(大名)茂山千五郎〈Ⅰ千作〉・(太郎冠者) 田中保清・(猿引) 茂山真一・(猿)茂山政次 (地謡) 武藤達三	ハンプカイ Ⅲa 緑	9— 61A B 62A B
2	柿山伏	(山伏)山脇和泉〈元照〉 (百姓)藤江又喜	トキ Ⅱa 緑	9— 63A B
3	不聞座頭	(太郎冠者)山本東次郎〈則忠〉・(菊市)岡田紫男	グラモホンコンサアト Ⅰa 黒	9— 64

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　一河の流れをくむ酒を	1456(N664)	四季小謡集の内秋
(1)　いとま申して帰る山の	1502(〃)	
(1)　そもそも山んばは生所も知らず	146(〃)	
(1)　寺は桂の橋柱	F2-A(1847NJ)	
(1)　さて難波の浦の致景の数数	1501(〃)	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　初段・二段目 (2)　三段目・四段目	35268-A(№35943) 35268-B(№35944)	二段目地頭アトーカン省略
(1)　梅若万三郎について (2)　野口兼資について	PH180-B (PB192-A) PH180-A (PB192-B)	NHK放送の録音

詞　　章	音盤番号	備　　考
(*)　…… (5)　こなたも聞いてくだされこのさるは (6)　太郎冠者殿太郎冠者殿 (7)　ずっと出て寝よ寝よ」なんじゃ (8)　あいやあいとし殿御のござるやら	 8685(〃) 8686(〃) 8687(〃) 8688(〃)	
(1)　これは出羽の羽黒山よりいでたる (2)　(笑)さてさてじょうずにまねを	234(〃) 235(〃)	
(1)　(笑)」これはいかな事」さても	G.C.14589 (14589Ⅱ, E364)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
1	暁 〔狂言小謡〕	(歌) 野村万斎	コロ Ⅸb 青	11— 5A
2	七　つ　子 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山真一	ニポ Ⅰb 赤	9— 65A
2	七　つ　子 〔狂言小謡〕	(歌) 野村万斎	コロ Ⅸb 青	11— 5A
3	子　の　日 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山千五郎 〈Ⅰ千作〉	ニポ Ⅰb 赤	9— 65B
4	福　の　神 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山千五郎 〈Ⅰ千作〉	ニポ Ⅰb 赤	9— 65B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　暁の明星は西へちろり	35415-A (121538)	伊庭孝編「日本音楽史」(9)
(1)　七つになる子がいたいけな	5904(〃)	
(1)　七つになる子がいたいけな	35415-A (121538)	伊庭孝編「日本音楽史」(9)
(1)　春ごとにねの日の松の	5905(〃)	
(1)　いでいでこのついでに楽しゅう	5905(〃)	

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	**青砥稿花紅彩画** 浜松屋の場	(菊之助)XV市村羽左衛門 (駄右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (南郷)XⅢ守田勘弥・(幸兵衛)Ⅱ尾上幸蔵・(番頭)Ⅰ尾上梅十郎	ニポ　Ⅰc 赤	9— 71A B 72A B
1	**青砥稿花紅彩画** 浜松屋の場	(菊之助)XV市村羽左衛門 (駄右衛門)松本錦四郎・(南郷)Ⅶ松本幸四郎	コロ　Ⅹa 青	9— 73A B
1	**青砥稿花紅彩画** 浜松屋の場	(菊之助)Ⅵ尾上菊五郎・(駄右衛門)Ⅲ尾上菊三郎 (南郷)Ⅵ大谷友右衛門	ニト　Ⅰa 黒	9— 74A B 75A B 76A B
1	**青砥稿花紅彩画** 浜松屋の場	(菊之助)Ⅵ尾上菊五郎 <(駄右衛門)Ⅵ坂東彦三郎 (南郷)Ⅳ市川男女蔵 (幸兵衛)Ⅲ尾上菊三郎> (陰)　Ⅰ柏伊三郎社中	ビク　Ⅴb 赤	9— 77A B 78A B
1	**青砥稿花紅彩画** 稲瀬川の場	(菊之助)XV市村羽左衛門 (駄右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (南郷)XⅢ守田勘弥・(忠信)Ⅵ尾上梅幸・(赤星)Ⅶ市村家橘	ニポ　Ⅲb 赤	9— 79A B
2	**明烏夢泡雪** 山名屋浦里部屋の場	(時次郎)XⅢ守田勘弥・(浦里)初瀬浪子・(おかや)藤間房子 (歌)　清元喜久太夫 (三)　清元梅次・(上)清元東三郎	ニポ　Ⅰc 赤	9— 80A B 81A B 82A B
2	**明烏夢泡雪** 山名屋奥庭の場	(時次郎)XⅢ守田勘弥・(浦里)初瀬浪子・(ゆかり)阪東三津児・(みどり)市川時子 (歌)　清元喜久太夫 (三)　<清元梅次>	ニポ　Ⅰc 赤	9— 83A B 84A B
3	**赤穂義士伝** 三島藤家の場	(丑五郎)Ⅱ尾上卯三郎・(与五郎)尾上喜久太郎・(仁助)中村芝十郎・(女房)片岡当次郎・(おと	ニト　Ⅰa 黒	9— 85A B 86A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) あいやお侍ちょっと待って (2) たくみしかたりがあらわれても (3) さこれから先あこっちの働き (4) あったあったこっちが悪いゆえ	16704-A (14816) 16704-B (14817) 16705-A (〃) 16705-B (〃)	
(1) やあさては女と思いのほか (2) その相ずりのしり押しゃあ	35298-A (NE36058) 35298-B (NE36059)	
(1) あいやお侍しばらくお待ち (2) やあさては女と思ったは (3) その相ずりのしり押しは (4) なんだなんでえ刀ひねくり回して (5) なんだこう薬代が二十両かい (6) おう出かけようじゃねえか	567-A (〃) 567-B (〃) 568-A (〃) 568-B (〃) 569-A (〃) 569-B (〃)	
(1) あいやお侍ちょっとお待ち (2) さては女と思ったは (3) その相ずりのしり押しゃあ (4) ああこれこれおまえ方も	13163-A (1857) 13163-B (1858) 13164-A (1859) 13164-B (1860)	
(1) 動くな」こりゃあわいらは (2) 続いてあとにひけえしは	50038-A (16817A) 50038-B (16817B)	
(1) 白雪の積もるも恋に (2) 会うた初手からかわいさが (3) いつまでこうしていたとても (4) 回向を頼むさらばやと (5) どうで死なんす覚悟なら (6) いえいえそうは抜けさせぬ	15089-A (9470) 15089-B (9471) 15090-A (9472) 15090-B (9473) 15091-A (9474) 15091-B (9475)	
(1) 浦里あとをうちながめ (2) 今はわが身につまされて (3) これゆかりそなたはさぞ悲しかろ (4) この世のなごりに今一度	15365-A (9476) 15365-B (9477) 15366-A (9478) 15366-B (9479)	
(1) お休みなさいませ」藤家で (2) おおいおとら一ぺえ飲まして (3) いらねえおせっけえだええ	587-A (〃) 587-B (〃) 588-A (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		ら)尾上卯十郎		B 87A B
3	**赤穂義士伝** 三島本陣の場	(丑五郎)Ⅱ尾上卯三郎・(盛山)尾上喜久太郎・(亭主)尾上昇鶴・(番頭)尾上岐三郎・(聴衆)尾上卯多次	ニト Ⅰa 黒	9— 88A B 89A B
4	**伊賀越道中双六** 伊賀上野街道の場 〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク Ⅴb 黒	10—84B
5	**伊勢音頭恋寝刃** 二見ケ浦の場 〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク Ⅴb 黒	10—85A
5	**伊勢音頭恋寝刃** 油屋の場	(貢)Ⅻ市村羽左衛門・(お紺)Ⅵ尾上梅幸・(万野)Ⅳ尾上松助	ニポ Ⅰb 紫	9— 90A B 91A B 92A B 93A B 94A B 95A B 96A B
5	**伊勢音頭恋寝刃** 油屋の場	(貢)Ⅶ沢村宗十郎・(お紺)河村菊江	ポリ Ⅰa 赤	9— 97A B 98A B
5	**伊勢音頭恋寝刃** 油屋の場	(貢)Ⅱ実川延若・(お紺)中村魁車	ニポ Ⅲc 赤	9— 99A B 100A B
5	**伊勢音頭恋寝刃** 油屋の場	(貢)Ⅰ中村鴈治郎・(お紺)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉・(万野)市川莚女・(喜助)中村魁車・(お鹿)Ⅱ市川	コロ Ⅹa 青	9—101A B 102A

詞章	音盤番号	備考
(4) おい丑てめえなんてえまねを (5) いやまだ日差しも高し畜類 (6) こりゃこりゃてい主これをば	588-B(〃) 589-A(〃) 589-B(〃)	
(1) ?<この場のおさまり> (2) ?<おりから聞こゆる> (3) もしもしちょっちょっと待って (4) おい先生おれはねえおれはばかだ	590-A(〃) 590-B(〃) 591-A(〃) 591-B(〃)	(1)(2)カケ
(1) 駅路入り馬子唄(箱八)・山おろし・早め合方・三つ太鼓・大小入り合方・ごん・竹笛入り合方(繁蔵)・早双盤合方・つっかけ・かけり・三絃入り早笛・しゃぎり	50538-B(〃)	芝居囃子(春の巻下)
(1) 波の音・只合方・唄入り四丁目(赤い物)・早禅の勤め・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)・駅路入り馬子唄(伊勢は津)・しゃぎり	50539-A(〃)	芝居囃子(夏の巻上)
(1) ああよいよい今わしゃちょっと (2) これお紺そんならわが身は (3) 皆さん聞いてくださんせ (4) ついにこれまで大ぜいの (5) なんじゃ仲居の万野じゃ (6) これ貢さんおまえがなんと (7) おまえ覚えがないと言わしゃんす (8) なんとみんな聞いたかおいらは (9) それほど手詰めの金ならば (10) ささその腹の立つはもっとも (11) おがくずも言えば言わるると (12) なんじゃいねああいぬたとえ (13) さあさあ貢さん早ういにな* (14) さあさあ音頭の始まり始まり	8930(4600) 8930(4601) 8931(4602) 8931(4603) 8932(4604) 8932(4605) 8933(4606) 8933(4607) 8934(4608) 8934(4609) 8935(4610) 8935(4611) 8936(4612) 8936(4652)	(9)(10)カケ・ヒビ
(1) 先だって本国阿波なる* (2) こよいお鹿さんを呼ばしゃんした (3) そんならなぜ初めからそれを* (4) さあさあ音頭の始まり始まり*	5036-A(3228BF) 5036-B(3229BF) 5037-A(3230BF) 5037-B(3231BF)	
(1) なに貢さんがおいなんしたとな (2) ああしゅんな話で座がめいった (3) そう潔白には言われまい (4) おがくずも言わば言わるると	17567-A(NE40464) 17567-B(NE40465) 17568-A(NE40466) 17568-B(NE40467)	
(1) なに貢さんがおいでなんしたとえ (2) なあ岩さんおまえもそうで (3) ええ腹が立つ腹が立つ	35152-A(NE41155) 35152-B(NE41156) 35153-A(NE41157)	

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
		箱登羅・(お岸)中村鴈之助・(万次郎)林長三郎・(岩次)中村扇・(北六)中村成三 (歌)　阪東徳三郎 (三)　中村新三郎		B 103A B 104A B
5	**伊勢音頭恋寝刃** 油屋の場　〔陰囃子〕	(歌)　中村六広 (三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—93B
6	**一谷嫩軍記** 須磨の浦の場	(直実)Ⅰ中村吉右衛門・(敦盛)Ⅲ中村時蔵・(平山)中村吉之丞・(玉織姫)Ⅳ市川紅若	ニポ　Ⅰc 赤	9—105A B 106A B 107A B
6	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(直実)Ⅶ市川中車・(相模)Ⅱ市川松蔦	ニポ　Ⅰc 赤	9—108A B
6	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(直実)Ⅰ中村鴈治郎・(相模)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉・(藤の局)Ⅵ嵐吉三郎	ニト　Ⅰa 黒	9—109A B 110A B 111A B
6	**一谷嫩軍記** 直実陣屋の場	(直実)Ⅶ松本幸四郎・(相模)Ⅲ坂東秀調・(宗清)Ⅻ守田勘弥・(義経)Ⅶ沢村宗十郎・＜(藤の方)Ⅳ沢村訥升・(梶原)松本錦四郎＞ (歌)　竹本重寿太夫 (三)　豊沢才三郎	コロ　Ⅹa 青	9—112A B 113A B
7	**茨　　木**	(茨木)Ⅵ尾上梅幸・(綱)Ⅶ松本幸四郎 (歌)　＜Ⅵ芳村伊十郎＞	コロ　Ⅹa 青	9—114A B 115A B
7	**茨　　木**	(茨木)Ⅵ尾上梅幸・(綱)Ⅶ松本幸四郎 (歌)　Ⅵ芳村伊十郎	トキ　Ⅰa 黒	9—116A B

詞章	音盤番号	備考
(4) もうし貢さんこの手紙にある (5) それを今となって受け取らんの (6) なんぼわたしへのつら当てじゃ (7) 喜助どん喜助どん早うござんせ (8) 万野喜助喜助万野喜助＊	35153-B (NE41158) 35154-A (NE41159) 35154-B (NE41160) 35155-A (NE41161) 35155-B (NE41162)	
(1) 唄入り踊り地(伊勢に遊ばば)太鼓入り・本釣鐘・竹笛入り音頭唄入り(桜花)	398-B (1817BF)	芝居囃子十二ヶ月(八月)伊勢音頭
(1) かかりける所に後ろより (2) 敦盛を取って押え (3) われこそ参議経盛のばっし (4) 向こうの山より平山が (5) やあ愚かや直実悪人の (6) いそに伏したる玉織姫	15805-A (12587) 15805-B (12588) 15806-A (12589-1) 15806-B (12590) 15807-A (12591-1) 15807-B (12592)	
(1) こりゃ女房そのほうはこれへ＊ (2) さてもさんぬる六日の夜	15390-A (11356) 15390-B (11357)	
(1) あと見送って熊谷は (2) 小次郎がうい陣に (3) のう熊谷いかにいくさの (4) 申し上げんと座を構え (5) さればおん顔よく見奉れば (6) おん涙を浮かめたまい	860-A (〃) 860-B (〃) 861-A (〃) 861-B (〃) 862-A (〃) 862-B (〃)	
(1) 物語らんと座を構え (2) おおと勧めさしゃんしたか＊ (3) 聞いた聞いた義経熊谷 (4) いかに義経殿あのとき	35217-A (NE34837) 35217-B (NE34838) 35218-A (NE34839) 35218-B (NE34840)	
(1) これは津の国渡辺の (2) いかなる猛将勇士たりとも (3) お聞き及びあらざるか (4) はて勇ましき和殿の手柄＊	35329-A (M36819) 35329-B (M36820) 35330-A (M36821) 35330-B (M36822)	新古演劇十種の内
(1) 七日の内はからひつの＊ (2) それよう気満ち満ちて	339(〃) 340(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(囃) Ⅹ田中伝左衛門社中		
8	**妹背山婦女庭訓** 入鹿館の場	(鰺七)Ⅱ市川右団治・(お三輪)Ⅳ市川新升	ニト Ⅱa 紫	9—117A B 118A B
9	**いろは仮名四十七訓** A. 弥作内の場① B. 七太夫内の場 C. 弥作内の場②	(弥作)Ⅱ尾上卯三郎・(かや)Ⅳ片岡愛之助・(和助)尾上喜久太郎・(七太夫)尾上卯十郎	オリ Ⅵa 黒	9—119A B 120A B 121A B
10	**江戸育お祭佐七** A. 菊本の場 B. 菊本裏手の場 C. 小糸内の場 D. 柳原土手の場	(佐七)Ⅻ市村羽左衛門・(小糸)Ⅵ尾上梅幸・(伴平)Ⅱ尾上幸蔵・(九助)Ⅱ坂東村右衛門・(三吉)Ⅳ片岡市蔵・(おてつ)Ⅳ尾上松助	ニポ Ⅰb 紫	9—122A B 123A B 124A B 125A B 126A B 127A B 128A B
10	**江戸育お祭佐七** 柳原土手の場	(佐七)Ⅻ市村羽左衛門・(小糸)Ⅲ坂東秀調・(伴平)Ⅱ市川左升	コロ Ⅸb 青	9—129A B
10	**江戸育お祭佐七** 菊本裏手の場 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—92B
11	**絵本太功記** さつき内の場	(光秀)Ⅶ松本幸四郎・(操)Ⅲ坂東秀調・(十次郎)Ⅻ守田勘弥・(さつき)松本錦四郎 (歌) 竹本重寿太夫 (三) 豊沢才三郎	コロ Ⅹa 青	9—130A B 131A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　姿心も荒荒しく (2)　じろりと見やり」女喜べ (3)　げに秋しかの妻恋うごとく (4)　手負いは苦しき顔を上げ	1757-A(〃) 1757-B(〃) 1758-A(〃) 1758-B(〃)	
(1)　A．おおいかか今もどったぞよ (2)　志はかたじけなけれど (3)　B．へえおたの申します (4)　さ早く訳を申せ」だんなさん (5)　C．なんにもござんせぬが＊ (6)　弥作はどれにおるおお弥作	2036-A(〃) 2036-B(〃) 2037-A(〃) 2037-B(〃) 2038-A(〃) 2038-B(〃)	
(1)　A．ちょいと九助どん後生だから (2)　こんなわたしをそのように (3)　B．おいおうおう兄いここまで (4)　町人待て」ああれえ (5)　こんな事も言いたくねえが (6)　C．知らぬ事とは言いながら (7)　さっき別れてけえったばかりで (8)　いやあありがてえありがてえ (9)　さあそのびっくりはもっとも (10)　そりゃあ言わずと知れた事だ (11)　ううんうぬ畜生破りゃあがったな (12)　D．今向こうがしの曲がりっかどで (13)　一筆しめし参らせそろさように (14)　こ小糸その代わりにゃあな	8923(4587) 8923(4588) 8924(4589) 8924(4590) 8925(4591) 8925(4592) 8926(4593) 8926(4594) 8927(4595) 8927(4596) 8928(4597) 8928(4598) 8929(4599) 8929(4613)	
(1)　今向こうがしの曲がりっかどで (2)　ああほぞの緒書きにて相わかり	35435-A(M38520) 35435-B(M38521)	
(1)　唄入り聖天(初恋の)・菖蒲浴衣合方・木遣くずし合方・三絃入り屋台囃子	297-B(1815BF)	芝居囃子十二ヶ月(六月)お祭佐七
(1)　夕顔だなのこなたより＊ (2)　妻は涙にむせかえり＊ (3)　あわやと見やる表口 (4)　真柴筑前守久吉の家臣	35186-A(NE34841) 35186-B(NE34842) 35187-A(NE34843) 35187-B(NE34844)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
12	**大杯觴酒戦強者** 内藤館の場	(三郎兵衛)Ⅱ市川左団次 (直孝)Ⅵ市川寿美蔵・(治右衛門)Ⅲ市川莚升 (歌)　竹本琴路太夫 (三)　豊沢重次郎	コロ　Ⅹa 青	9—132A B
12	**大杯觴酒戦強者** 内藤館の場	(三郎兵衛)Ⅱ実川延若・(直孝)Ⅲ阪東寿三郎・(紀伊守)Ⅱ市川荒太郎・(平岡)Ⅲ浅尾大吉	ニト　Ⅰa 黒	9—133A B
13	**近江源氏先陣館** 盛綱陣屋の場	(盛綱)Ⅰ中村吉右衛門・(微妙)<Ⅳ市川紅若>	ビク　Ⅴb 赤	9—134A B 135A B
14	**大森彦七** 谷川の場	(大森)Ⅶ松本幸四郎・(千早姫)Ⅶ尾上梅幸 (歌)　竹本重寿太夫 (三)　鶴沢小次郎	トキ　Ⅱa 赤	9—136A B
15	**女殺油地獄** 豊島屋の場	(与兵衛)Ⅱ市川猿之助・(お吉)Ⅲ坂東秀調・(徳兵衛)Ⅱ市川左升・(お沢)Ⅲ沢村源十郎 (歌)　竹本琴路太夫 (三)　Ⅲ野沢錦糸	リガ　Ⅰa 黒	9—137A B 138A B
16	**鏡山錦楓葉** 鏡山の場　〔陰囃子〕	(三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—94B
17	**篭釣瓶花街酔醒** 八橋部屋の場	(次郎左衛門)Ⅶ沢村訥子(八橋)Ⅰ中村歌門・(九重)片岡卯左衛門・(次六)嵐立花 (歌)　吉住小扇次 (三)　杵屋十作	ヒコ　Ⅱb 赤	9—139A B 140A B
17	**篭釣瓶花街酔醒** 立花屋屋根の場〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク　Ⅴb 黒	10—86B
18	**梶原平三誉石切** 星合寺の場	(景時)ⅩⅤ市村羽左衛門・(六郎太夫)ⅩⅢ守田勘弥・(梢)Ⅴ中村福助<成駒屋> (歌)　竹本一登太夫	ポリ　Ⅰa 赤	9—141A B 142A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　呼び次ぐ声に原才助＊ (2)　三郎兵衛は威儀を改め	35237-A (№34045) 35237-B (№34046)	原作河竹黙阿弥
(1)　直孝公うち驚き」およそ天下に (2)　こりゃこりゃ才助その杯を	544-A (〃) 544-B (〃)	
(1)　盛綱はただぼう然と (2)　してその願いと言やるのは (3)　これぞ兄弟弓矢の情け (4)　母は手を打ち」もっとも兄の	13111-A (1892) 13111-B (1893) 13112-A (1894) 13112-B (1895)	
(1)　やあ何やつなれば盛長を (2)　ころは建武二年五月	54(〃) 55(〃)	
(1)　この節季越すに越されぬ (2)　おお徳兵衛殿ここにか (3)　隠さっしゃるな知っております (4)　誠らしとは思えども	66874(73368) 66874(73369) 66875(73370) 66875(73371)	
(1)　こだま入り合方・山おろし・砧・本釣鐘・木の葉落とし合方・虫の合方(謡　よもつきじ)・虫笛	473-B (1819BF)	芝居囃子十二ケ月(十月)加賀騒動(紅葉山)
(1)　(陰)佐野さん待ち遠でありんした (2)　これおいらんそりゃまた何で＊ (3)　これ八橋どんそれじゃあこんた (4)　そりゃもうおまはんが足を近う	5867(〃) 5868(〃) 5869(〃) 5870(〃)	
(1)　送りましょかよ唄入り・大小太鼓騒ぎ・風の音・本釣鐘・凄み合方・夜番太鼓・金棒・三味線入り騒ぎ・早め合方(梅の栄前弾)・しゃぎり	50263-B (〃)	芝居囃子（秋の巻下）
(1)　六郎太夫は歯がみをなし (2)　あたり見回し平三景時 (3)　これ幸いと味方を欺き	5051-A (4645BF) 5051-B (4646BF) 5052-A (4647BF)	(1)～(4)ヒビ

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　紙	整理番号
		(三)　Ⅲ野沢吉作 (陰)　Ⅲ杵屋栄蔵社中		B
18	**梶原平三誉石切** 星合寺の場	(景時)XV市村羽左衛門・(六郎太夫)Ⅱ市川左升・(梢)Ⅶ市村家橘	コロ　Ⅸb 青	9—143A B
19	**復讐談高田馬場** A．安兵衛内の場 B．高田馬場付近の場 C．高田馬場の場	(安兵衛)嵐璃徳・(勇平次)嵐厳右衛門・(弥兵衛妻)片岡門童・(荻野・村上)嵐小笑・(おとら)市川才十郎・(定助・中津川)市川河十郎	オリ　Ⅵa 赤	9—144A B 145A B
20	**敵討襤褸錦** 大安寺堤の場	(春藤)Ⅰ中村鴈治郎・(高市)Ⅲ尾上多見蔵・(嘉村)Ⅵ嵐吉三郎	ニポ　Ⅰb 赤	9—146A B 147A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 鶴ヶ岡八幡社の場	(師直)Ⅵ大谷友右衛門・(桃井)Ⅶ沢村宗十郎・(塩冶)XV市村羽左衛門・(顔世)XII片岡仁左衛門・(直義)Ⅶ坂東三津五郎 (歌)　竹本鏡太夫 (三)　鶴沢市作	ビク　Ⅶa 赤	9—148A B 149A B 150A B 151A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 鶴ヶ岡八幡社の場	(師直)Ⅶ松本幸四郎・(桃井)XII守田勘弥・(顔世)Ⅲ坂東秀調・(直義)松本純蔵・(雑式)沢村千鳥 (歌)　竹本重寿太夫	コロ　Ⅹa 青	9—152A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 鶴ヶ岡八幡社の場 〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10—96A
21	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	(師直)Ⅵ大谷友右衛門・(桃井)Ⅶ沢村宗十郎・(塩冶)XV市村羽左衛門・(伴内)Ⅴ助高屋高助・(茶道)Ⅰ市川たかし (歌)　豊竹厳太夫 (三)　豊沢扇之助	ビク　Ⅶa 赤	9—153A B 154A B 155A B 156A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場	(師直)Ⅶ松本幸四郎・(桃井)XII守田勘弥・(塩冶)Ⅶ沢村宗十郎・(判内)Ⅴ	ニポ　Ⅲc 赤	9—157A B

詞章	音盤番号	備考
(4) 厚さ尺余の青目の石	5052-B (4648BF)	
(1) あたり見回し平三景時 (2) 死後の悪名受くるとも	35425-A (M38522) 35425-B (M38523)	
(1) A. お頼み申すお頼み申す (2) うういああいい心持ちだ (3) B. これ娘よ今高田の馬場にて (4) C. ややおじ上にはもはや	3821-A (〃) 3821-B (〃) 3822-A (〃) 3822-B (〃)	
(1) とったと掛かるを身をかわし (2) 武右衛門なことばの端端 (3) うぬそれが定なら抜いて見せい (4) あいさつすれば次郎右衛門	15129-A (9121) 15129-B (9122) 15130-A (9123) 15130-B (9124)	
(1) (陰)かこうありといえども (2) 太平の世の政 (3) 直義仰せいださるるは (4) こはごもっともなる評議ながら (5) 厳命さえも柔らかに (6) 見れば所も名にし負う (7) ああいやあ顔世殿 (8) さようなれば御免なされて	5843(J-1538) 5843(J-1539) 5844(J-1540) 5844(J-1541) 5845(J-1542) 5845(J-1543) 5846(J-1544) 5846(J-1545)	(3)(4)カビ
(1) 直義御覧じ」召しいだす事 (2) あとに顔世は継ぎ穂なく	35124-A (NE34205) 35124-B (NE34206)	
(1) 天王立・置鼓・床(かこうありといえども)	3322(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ケ月」大序
(1) わき能過ぎておん楽屋に (2) 金が言わするついしょうとは (3) ほどもあらせず塩冶判官 (4) ああさなきだに重きが上の (5) うういやいやおてまえいつ御酒 (6) こうおてまえなぞがそのとおり (7) 伯州の城主塩冶判官高貞を (8) あ御出頭しばらくしばらく	5847(J-1495) 5847(J-1496) 5848(J-1497) 5848(J-1498) 5849(J-1499) 5849(J-1500) 5850(J-1501) 5850(J-1502)	
(1) 若狭介はかねて待つ (2) ほどもあらせず塩冶判官	50074-A (NE34207) 50074-B (NE34208)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
		助高屋高助・(茶道)沢村千鳥 (歌)　竹本重寿太夫		158A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 足利館長廊下の場 〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (陰)　X田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10—96B
21	**仮名手本忠臣蔵** 戸塚道行の場　〔陰囃子〕	(歌)　清元喜久太夫 (三)　清元順三郎 (陰)　X田中伝左衛門	ニポ　Ⅰb 赤	10—97A
21	**仮名手本忠臣蔵** A．塩冶館の場 B．門外の場	(由良之助)Ⅶ松本幸四郎 (塩冶)XV市村羽左衛門・(石堂)Ⅶ沢村宗十郎・(薬師寺)Ⅵ大谷友右衛門・(顔世)XII片岡仁左衛門・(力弥)Ⅶ市村家橘・(郷右衛門)Ⅴ助高屋高助・(諸士)松本錦四郎ら (歌)　Ⅰ竹本米太夫 (三)　竹沢仲造	ビク　Ⅶa 赤	9—159A B 160A B 161A B 162A B 163A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 塩冶館門外の場〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (陰)　X田中伝左衛門	ニポ　Ⅰb 赤	10—97B
21	**仮名手本忠臣蔵** 山崎街道の場①	(勘平)XV市村羽左衛門・(千崎)Ⅶ市村家橘 (歌)　豊竹巌太夫	コロ　Xa 青	9—164A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 山崎街道の場②〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (陰)　(三)杵屋新右衛門 (囃)X田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10—98A
21	**仮名手本忠臣蔵** 与市兵衛内の場	(勘平)XV市村羽左衛門・(おかる)XII片岡仁左衛門・(母)Ⅲ尾上多賀之丞・(源六)Ⅱ河原崎権十郎・(お才)Ⅶ市村家橘・(不破)Ⅶ松本幸四郎・(千崎)Ⅶ坂東三津五郎・(弥八)松本錦四郎・(六)市川松三郎・(角兵衛)坂東録三郎 (歌)　竹本鏡太夫	ビク　Ⅶa 赤	9—165A B 166A B 167A B 168A B 169A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　ううむさようでござったか (4)　伯州貴公などがそのとおりじゃ	50075-A (№34209) 50075-B (№34210)	
(1)　調べ・床(わき能過ぎて)・序の舞・早舞	3323(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」二段目 題紙に「義太夫竹本寿太夫・唄中村兵蔵」
(1)　浄瑠璃(やどっこい桜桜と)・大拍子	3460(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」三段目
(1)　A．御上使のお入り」両人出迎う (2)　懐中より御書取りいだし (3)　あっぱれのお覚悟御心中 (4)　力弥御意を承り (5)　国家老大星由良之助とは (6)　ゆ由良之助」はっ」近う近う (7)　由良之助にじり寄り九寸五分 (8)　み台所は正体なく＊ (9)　B．おんから見送り奉り (10)　血に染まる切っ先を	5851(J-1565) 5851(J-1566) 5852(J-1567) 5852(J-1568) 5853(J-1569) 5853(J-1570) 5854(J-1571) 5854(J-1572) 5855(J-1573) 5855(J-1574)	
(1)　床(おんから見送り)・本釣鐘・床メリ・愁三重・送り三重	3324(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」四段目 題紙に「唄　中村兵蔵」
(1)　たかは死しても穂は摘まず (2)　あかたじけなき弥五郎殿	35127-A (№33942) 35127-B (№33943)	
(1)　雨の音・早笛・山おろし・床（あわやと見送る)・ごん・忍び三重・床と上下・風の音	3325(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」五段目
(1)　さあお茶一つお上がりなされませ (2)　えどうもおかみさんどうも (3)　ええええちょちょちょちょいと (4)　さてはゆうべ鉄砲で打ち殺したは (5)　親の死に目もつゆ知らず (6)　母はあとを見送りて (7)　母は涙のひまよりも (8)　遠慮会釈も荒おのこの (9)　おのれどこへ行きおる	5856(J-1468) 5856(J-1469) 5857(J-1470) 5857(J-1471) 5858(J-1472) 5858(J-1473) 5859(J-1474) 5859(J-1475) 5860(J-1476)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(三) 鶴沢市作		B 170A B 171A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 与市兵衛内の場	(勘平)XV市村羽左衛門・(不破)XIII守田勘弥・(千崎)VII市村家橘・(母)II尾上幸蔵 (歌) 豊竹巌太夫	コロ Xa 青	9—172A B 173A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 与市兵衛内の場	(勘平)I中村鴈治郎 (歌) <竹本>井菱太夫	ナショナル IIa 多色	9—174A
21	**仮名手本忠臣蔵** 与市兵衛内の場〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) (歌)III中村兵蔵 (囃)X田中伝左衛門	ニポ Ia 赤	10—98B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(由良之助)I中村鴈治郎 (おかる)III中村雀右衛門 (平右衛門)II実川延若	ニト Ia 黒	9—175A B 176A B 177A B 178A B 179A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(由良之助)I中村鴈治郎 (おかる)IV中村芝雀 (歌) 竹本小松太夫	オリ IVb 多色	9—180A B 181A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(由良之助)VII松本幸四郎 (おかる)XII片岡仁左衛門 (平右衛門)I中村吉右衛門 (歌) I竹本米太夫 (三) 竹沢仲造	ビク VIIa 赤	9—182A B 183A B 184A B 185A B 186A B 187A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(10)　まずもってその方たくわえもなき (11)　さほどの事のわきまえなき (12)　ううんいかなればこそ勘平は (13)　ああ母じゃ人」おいのう (14)　このたび亡君の御うっぷんを	5860(J-1477) 5861(J-1478) 5861(J-1479) 5862(J-1480) 5862(J-1481)	
(1)　弥五郎刀おっ取って (2)　あえししばらくしばらく (3)　弥五郎ずっと立ち上がり (4)　仏果を得よや早野勘平	35128-A(№33938) 35128-B(№33939) 35129-A(№33940) 35129-B(№33941)	
(1)　鋭きまなこに涙を浮かめ	A238(〃)	
(1)　床(身の誤りに)・隣柿の木唄・竹笛入り合方・本釣鐘・風の音	3326(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」六段目
(1)　おりに二階へ勘平が (2)　思いついたる延べ鏡 (3)　えそんならここから降りるので (4)　うそでない証拠は身請けしょう (5)　おりにいでおう平右衛門 (6)　ああああうれしやうれしや (7)　もうしいな兄さんわたしには (8)　はあわかったそんなら勘平さんは (9)　小身者の悲しさは (10)　もし兄さん自害したその跡で	683-A(〃) 683-B(〃) 684-A(〃) 684-B(〃) 685-A(〃) 685-B(〃) 686-A(〃) 686-B(〃) 687-A(〃) 687-B(〃)	
(1)　あたり見回し由良之助 (2)　おお由良さんか」おおたれじゃ (3)　道理で船玉様が見えるわ (4)　侍みょうり三日でも囲うて	A2234(〃) A2235(2235) 2236(A2236) 2237(〃)	(1)(2)カケ
(1)　(陰)おりに二階に勘平が (2)　あたり見回し由良之助 (3)　おおそんならそこにいて最前から (4)　はて疑い深いやつじゃ (5)　そんならおまえしかってじゃ (6)　うんそんならそちを勘平の (7)　これまあまあまあ待って (8)　髪の飾りのけわいして (9)　ささささあささ水だ水だ (10)　おかるはしじゅうせき上げ (11)　自害して死んだその跡で	5863(J-1595) 5863(J-1596) 5864(J-1597) 5864(J-1598) 5865(J-1599) 5865(J-1600) 5866(J-1601) 5866(J-1602) 5867(J-1603) 5867(J-1604) 5868(J-1605)	

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
				B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(由良之助)Ⅶ松本幸四郎 (おかる)Ⅵ尾上梅幸・(平右衛門)Ⅹ市村羽左衛門	ニポ　Ⅰc 赤	9—188A B 189A B 190A B 191A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(平右衛門)Ⅱ実川延若・(おかる)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉 (歌)　竹本岸太夫 (三)　豊沢団信 (陰)　(歌)芳村喜三郎 (三)中村新三郎 (囃)小川源次	タイ　Ⅱb 茶	9—192A B 193A B
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	(平右衛門)Ⅰ実川延二郎 (おかる)Ⅳ中村芝雀	ニポ　Ⅰa 赤	9—194A
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場	〈(平右衛門)Ⅰ実川延二郎・(おかる)Ⅳ中村芝雀〉	ヨシノ　Ⅰa 緑	9—195A
21	**仮名手本忠臣蔵** 一力の場　〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (陰)　(歌)Ⅲ中村兵蔵 (囃)Ⅹ田中伝左衛門	ニポ　Ⅰb 赤	10—99A
21	**仮名手本忠臣蔵** 東海道道行の場〔陰囃子〕	(歌)　常磐津和歌太夫 (三)　常磐津和歌吉 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10—99B
21	**仮名手本忠臣蔵** 由良之助内の場〔陰囃子〕	(歌)　竹本重寿太夫 (三)　野沢市造 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10-100A
21	**仮名手本忠臣蔵** 楠屋の場　〔陰囃子〕	(歌)　Ⅲ中村兵蔵 (三)　杵屋新右衛門 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門	ニポ　Ⅰa 赤	10-100B
21	**仮名手本忠臣蔵** 師直館の場　〔陰囃子〕	(三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太	ポリ　Ⅰb 黒	10—95B

詞章	音盤番号	備考
(12) とりわけこよいは殿のたい夜	5868(J-1606)	
(1) おりにいでおう平右衛門 (2) おおまあ兄さんまあおまえも (3) もし兄さんあるぞえあるぞえ (4) ああもし兄さんまあ待って (5) 髪の飾りにけわいして (6) これ妹気を確かに持て (7) さここの道理を聞き分けて (8) 自害したその跡でお役に	15669-A(〃) 15669-B(9274) 15670-A(9275) 15670-B(9276) 15671-A(9277) 15671-B(9278) 15672-A(?) 15672-B(9280)	
(1) (陰)おりにいでおう平右衛門 (2) もし兄さん久しぶりで (3) 兄さん来たがなんじゃいな (4) 見られた状が一でえじ	5113-A(10556) 5113-B(10557) 5114-A(10558) 5114-B(10559)	カビ
(1) もしもうしまあ兄さんいな	187(〃)	=9—195A
(1) もしもうしまあ兄さんいな	ナシ	=9—194A キズ
(1) 唄入り踊り地(花に遊ばば)・独吟(父よ母よ)・床(あたり見回し)	3327(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ケ月」七段目
(1) 山おろし・駅路・浄瑠璃(鐘がな鳴るかよ)	3463(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ケ月」八段目
(1) 尺八・床(つるのすごもり)・風の音	3328(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ケ月」九段目
(1) 忘れ貝唄・二人椀久合方・斎藤合方・楽三段目合方	3329(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ケ月」十段目
(1) 本調子早め合方・四つ太鼓・合方(チチレチリチツ)・八千代くずし合方・修羅囃子合方・大小・大小入り合方(忠弥・なぎなた)	533-B(1821BF)	芝居囃子十二ケ月(十二月)義士討入

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
		喜一郎		
22	**鐘もろとも恨鮫鞘** A．丹波屋の場 B．坂町裏道の場 C．千日前墓所の場	(八郎兵衛)Ⅱ実川延若・(おつま)Ⅱ市川荒太郎・(才兵衛)Ⅲ阪東寿三郎・(弥兵衛)Ⅲ浅尾大吉	ニト　Ⅰa 黒	9—196A B 197A B
23	**神明恵和合取組** 喜三郎内の場	(辰五郎)Ⅵ尾上菊五郎・(喜三郎)Ⅵ大谷友右衛門・(おいの)Ⅲ尾上菊三郎	ニト　Ⅰa 黒	9—198A B 199A B 200A B
23	**神明恵和合取組** 辰五郎内の場	(辰五郎)Ⅻ市村羽左衛門・(お仲)Ⅵ尾上梅幸・(亀右衛門)Ⅻ守田勘弥 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中	ポリ　Ⅰb 赤	9—201A B 202A B
24	**勧　進　帳**	(弁慶)Ⅷ市川高麗蔵	ベカグランド Ⅰa 白	9—203
24	**勧　進　帳**	(弁慶)Ⅻ市村羽左衛門・(富樫)Ⅵ尾上梅幸	ポリ　Ⅱa 白	9—204A B
24	**勧　進　帳**	(弁慶)中村蕗香・(富樫)栗島狭衣	オリ　Ⅲa 灰	9—205A B
24	**勧　進　帳**	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富樫)Ⅻ市村羽左衛門・(義経)Ⅻ片岡仁左衛門・(海尊)Ⅱ市川荒次郎・(亀井)Ⅶ市村家橘・(片岡)Ⅸ市川海老蔵・(駿河)Ⅴ市川染五郎・(軍内)松本錦四郎・(兵内)坂東録三郎・(源内)市川荒司 (歌)　Ⅴ富士田新蔵・Ⅶ富士田千蔵・富士田音松・富士田徳松 (三)　Ⅰ柏伊三郎・松島寿三郎・杵屋勝志郎・富士田勇吉 (囃)　(笛)Ⅲ堅田喜三郎・(小)Ⅸ望月太左衛	ビク　Ⅶa 赤	9—206A B 207A B 208A B 209A B 210A B 211A B 212A B 213A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　A．ああ暑いこっちゃ暑いこっちゃ (2)　かわいいお方ができたによって (3)　B．おお八郎兵衛ではないか (4)　C．(陰)書き残す一書の事	547-A(〃) 547-B(〃) 548-A(〃) 548-B(〃)	
(1)　ちょいとおせんさんよくまあ (2)　(陰)おいごめんなせえ」だれだい (3)　なに塔の足場かけに行くのか (4)　忘れもしねえこの正月 (5)　親切づくでそう言って (6)　いやこいつぁわっちが悪かった	564-A(〃) 564-B(〃) 565-A(〃) 565-B(〃) 566-A(〃) 566-B(〃)	
(1)　おおいい所へ来ておくれだ (2)　かしらあたしゃあおまえに改めて (3)　うううお仲待て」待てとはなんぞ (4)　これまで人に負けることの	5025-A(3669BF) 5025-B(3670BF) 5026-A(3671BF) 5026-B(3672BF)	作　竹柴其水
(1)　それつらつら思んみれば	2507(〃)	
(1)　勧進帳聴もんの上は (2)　これぞかかしの弓矢に似たれど	5062 (5062A,3673BF) ナシ (5062B,3674BF)	題字はペン書き
(*)　…… (3)　近ごろ殊勝のおん覚悟 (4)　ここに中ごろのみかどおわします	B900(〃) B901(〃)	
(1)　かようにそうろう者は加賀の国の (2)　旅の衣はすずかけの (3)　これやこの行くも帰るも (4)　さんぞうろう帯せしたちは (5)　いざ通らんと旅衣 (6)　いいやきのうも山伏三人まで (7)　元より勧進帳のあらばこそ (8)　天も響けと読み上げたり (9)　仏門にありながら帯せしたちは (10)　感心してぞ見えにける (11)　判官殿に似たりと申す (12)　大だんなの仰せなくんば (13)　それ世は末世に及ぶといえども (14)　よろいに添いしそでまくら (15)　さてもそれがしあまりに卒じを	5834(J-1295) 5834(J-1296) 5835(J-1297) 5835(J-1298) 5836(J-1299) 5836(J-1300) 5837(J-1301) 5837(J-1302) 5838(J-1303) 5838(J-1304) 5839(J-1305) 5839(J-1306) 5840(J-1307) 5840(J-1308) 5841(J-1309)	

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
		門・六郷新右衛門・(大)柏扇十郎		B 214A B
24	**勧　進　帳**	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富樫)Ⅵ尾上梅幸 (歌)　＜Ⅳ芳村孝次郎＞	トキ　Ⅱa	9—215A B 216A B
24	**勧　進　帳**	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富樫)Ⅰ中村鴈治郎	ニポ　Ⅰb 赤	9—217A B
25	**勧善懲悪覗機関** A．長庵内の場 B．赤羽根橋の場 C．平河天神裏門の場	(長庵)Ⅱ市川猿之助・(道十郎)Ⅷ市川八百蔵・(重兵衛)Ⅱ市川小太夫・(忠蔵)Ⅲ市川段四郎	コロ　Ⅹa 黒	9—218A B 219A B
26	**鬼一法眼三略巻** 鬼一館の場　〔陰囃子〕	(三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—94A
27	**木曾街道膝栗毛** 亀屋の場	(弥次郎兵衛)Ⅱ市川猿之助・(北八)Ⅵ大谷友右衛門・(お梅)Ⅶ松本錦吾	リガ　Ⅰa 黒	9—220A B
28	**吉様参由緑音信** 釜屋の場	(吉三)Ⅹⅴ市村羽左衛門・(おかん)Ⅵ尾上梅幸・(弁秀)Ⅻ守田勘弥 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中	ポリ　Ⅰa 赤	9—221A B
29	**侠客春雨傘** 吉原仲の町の場	(暁雨)Ⅶ沢村宗十郎・(薄雲)Ⅰ沢村宗之助 (歌)　Ⅵ芳村伊十郎 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中	ヒコ　Ⅱa 赤	9—222A B
29	**侠客春雨傘** 吉原仲の町の場	(暁雨)Ⅰ中村吉右衛門・(葛城)Ⅲ中村時蔵・(薄雲)Ⅳ中村もしほ・(鉄心斎)Ⅳ市川九蔵・(新兵衛)中村吉之丞 (陰)　Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビクトロオラ Ⅰa 赤	9—223A B 224A B
30	**桐　一　葉** 大阪城淀君部屋の場	(淀君)Ⅵ尾上梅幸・(正栄尼)Ⅳ尾上松助	ニポ　Ⅰb 紫	9—225A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(16) 人目の関のやるせなや (17) (合)元より弁慶は三塔の (18) 鳴るはん滝の水日は照るとも	5841(J-1310) 5842(J-1311) 5842(J-1312)	
(1) それ山伏といっぱ (2) 大恩教主の秋の月は (3) いかにそうろう勧進帳聴もんの (4) 仏門にありながら帯せしたちは	56(〃) 57(〃) 58(〃) 59(〃)	カビ
(1) いかに申しそうろう勧進ちょ聴もん (2) してまた修験に伝わりしは	15084-A(9161) 15084-B(9162)	
(1) A. いまだ残暑も去りかねて (2) 吉原から麹町までは (3) おまえのお陰で娘を吉原に (4) B. やれやれこう大降りになって	26083-A(№33718) 26083-B(№33719) 26084-A(№33720) 26084-B(№33721)	原作河竹黙阿弥
(1) 修羅囃子・調べ入り合方(供奴)・大小入り合方(供奴)・序の舞・恋慕合方・早舞	473-A(1818BF)	芝居囃子十二ケ月(九月)菊畑
(1) おいおいおいいい加減に (2) それでのおれが一番手前の戸へ	68057(№33313) 68057(№33314)	原作十返舎一九 作　木村錦花
(1) ああとうとうこらまあ降り出して (2) 天人香の看板に	5041-A(3667BF) 5041-B(3668BF)	カビ 作　河竹黙阿弥
(1) (合)春雨になかばつぼめし (2) 主の情けの恵みの雨は	5241(〃) 5242(〃)	
(1) おおおおだんなもおいらんも* (2) うわさに聞いた暁雨というのは (3) ええ投げ打ちいたす無礼者めが (4) その起こりも知れてある	13053-A(A1067) 13053-B(A1068) 13054-A(A1069) 13054-B(B1070)	作福地桜痴居士
(1) 夢は五ぞうの疲れと言えど* (2) なんにもせよともし火これへ	8912(4565) 8912(4566)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
30	**桐一葉** 大阪城黒書院の場	(重成)Ⅷ市川高麗蔵	コロ Ⅲb 黒	9—226A
30	**桐一葉** 大阪城黒書院の場	(重成)Ⅴ市村羽左衛門・(淀君)Ⅵ尾上梅幸・(道軒)Ⅱ尾上幸蔵・(内蔵介)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ Ⅰb 紫	9—227A B
31	**極付幡随長兵衛** 水野内湯殿の場	(長兵衛)Ⅱ市川猿之助・(水野)Ⅱ市川小太夫・(近藤)Ⅱ中村翫右衛門・(保昌)Ⅰ市川段猿	リガ Ⅱa 黒	9—228A B
31	**極付幡随長兵衛** 水野内湯殿の場	(長兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(水野)Ⅻ守田勘弥・(保昌)松本錦四郎	コロ Ⅹa 青	9—229A B
32	**天衣紛上野初花** 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅴ市村羽左衛門・(高木)Ⅻ守田勘弥・(北村)Ⅱ市川荒次郎 (陰) Ⅹ田中伝左衛門社中	ポリ Ⅰa 赤	9—230A B 231A B
32	**天衣紛上野初花** 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅰ中村吉右衛門・(高木)Ⅳ市川紅若・(北村)中村吉之丞・(数馬)中村辰之丞	ビク Ⅴb 赤	9—232A B 233A B
32	**天衣紛上野初花** 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅰ中村吉右衛門・(高木)Ⅳ市川紅若・(北村)中村吉之丞	ニポ Ⅰc 赤	9—234A B 235A B
32	**天衣紛上野初花** 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅶ松本幸四郎・(高木)Ⅻ守田勘弥・(北村)Ⅱ尾上幸蔵 (陰) Ⅹ田中伝左衛門社中	コロ Ⅹa 黒	9—236A B 237A B
32	**天衣紛上野初花** 入谷村の場	(直次郎)Ⅴ市村羽左衛門(丈賀)Ⅳ尾上松助・(丑松)Ⅳ片岡市蔵・(仁八)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ Ⅰb 紫	9—238A B 239A B
32	**天衣紛上野初花** 入谷村の場	(直次郎)Ⅴ市村羽左衛門(丑松)Ⅶ坂東三津五郎	コロ Ⅸb 青	9—240A B
32	**天衣紛上野初花** 大口屋寮の場	(直次郎)Ⅴ市村羽左衛門(三千歳)Ⅵ尾上梅幸・(市之丞)Ⅶ松本幸四郎・(千代春)Ⅶ尾上栄三郎・(喜	ニポ Ⅰc 赤	9—241A B 242A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　いいや恐るるは関東の	47847(47847-1-4)	
(1)　慮外なり長門守大切なる (2)　恐るるは関東の勢いならず	8913(4567) 8913(4568)	
(1)　保昌殿」よもや今日参るまいと (2)　いかにも命は差し上げやしょう	65385-A (NE34426) 65385-B (NE34427)	作　河竹黙阿弥
(1)　さあこうおいでなされませ (2)　いかにも命ゃ差し上げやしょう	35309-A (NE36056) 35309-B (NE36057)	
(1)　御使僧のお立ち」もはやこれまで (2)　やいかほどしらを切らるるとも (3)　引かれ者の小歌とやら (4)　ああまたしてもまたしても	5066-A (3683BFI) 5066-B (3684BFI) 5067-A (3685BFI) 5067-B (3686BFI)	
(1)　お立ち」もはやこれまで参って (2)　大膳は知っていたか（笑） (3)　引かれ者の小歌とやら (4)　すりゃかたりだと申せしは	13087-A (1888) 13087-B (1889) 13088-A (1890) 13088-B (1891)	作　河竹黙阿弥
(1)　お立ち」もはやこれまで参って (2)　大膳は知っていたか（笑） (3)　引かれ者の小歌とやら (4)　東叡山の御使僧に	15808-A (〃) 15808-B (12584) 15809-A (12585) 15809-B (〃)	
(1)　お使僧のお立ち」おおこれは (2)　あじゃ大膳はそれを知って (3)　引かれ者の小歌とやら (4)　やあまたしてもまたしても	25615-A (NE31982) 25615-B (NE31983) 25616-A (NE31984) 25616-B (NE31985)	作　河竹黙阿弥
(1)　今そばを食いにへえって来たのは (2)　おい丈賀さん冗談はさておいて (3)　こんなにきびしくなったのも (4)　ううとまた降って来やがった	8910(4561) 8910(4562) 8911(4563) 8911(4564)	(2)キズ
(1)　思いがけなく丈賀に出会い (2)　うんそうしててめえどっちの方へ	35421-A (M37328) 35421-B (M37329)	
(1)　千代春案内しやれ」こうおいで (2)　さぞ寒うござんしたに (3)　悪事をいちいち言い立てられ (4)　真影流で五本の指へ	15236-A (9335) 15236-B (9336A) 15237-A (9337) 15237-B (9362)	

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
		兵衛)Ⅱ坂東村右衛門 (歌)　竹本重寿太夫		243A B
33	**鞍馬山だんまり** 〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク　Ⅴb 黒	10—87A B
34	**黒手組曲輪達引** A．不忍池の場 B．吉原仲の町の場	(権九郎・助六)XV市村羽左衛門	ニポ　Ⅰb 赤	9—244A B
35	**慶安太平記** 江戸城堀の場	(丸橋)Ⅱ市川左団次・(松平)Ⅵ市川寿美蔵・(勘助)Ⅱ市川荒次郎	コロ　Ⅸb 青	9—245A B
35	**慶安太平記** 江戸城堀の場	(丸橋)Ⅱ市川左団次・(松平)Ⅶ市川中車・(勘助)Ⅱ市川荒次郎	ニポ　Ⅰc 赤	9—246A B
36	**傾城阿波の鳴門** どんどろ大師の場	(お弓)Ⅲ坂東秀調・(お鶴)Ⅶ坂東又太郎	テイ　Ⅳb 緑	9—247A B
37	**恋女房染分手綱** 由留木館の場	中村歌扇一座	スタンダード Ⅰb 緑	9—248A B 249A B
38	**恋飛脚大和往来** A．井筒屋奥座敷の場 B．表座敷の場	(忠兵衛)Ⅱ実川延若	ニト　Ⅰa 黒	9—250A B 251A B 252A B
38	**恋飛脚大和往来** A．井筒屋表座敷の場 B．奥座敷の場 C．表座敷の場	(忠兵衛)Ⅱ実川延若・(梅川)Ⅲ中村雀右衛門・(八右衛門)Ⅱ市川右団次・(おえん)Ⅱ市川荒太郎	ニポ　Ⅰb 赤	9—253A B 254A B 255A B
38	**恋飛脚大和往来** A．井筒屋表座敷の場 B．奥座敷の場 C．表座敷の場	(忠兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(梅川)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉・(八右衛門)市川箱登羅・(おえん)中村魁車・(治右衛門)Ⅳ市川市蔵	コロ　Ⅸb 青	9—256A B 257A B 258A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(5) あわちきを先へ切って (6) やまだまださような事を申すか	15238-A (9363) 15238-B (9364)	
(1) 山おろし・早禅合方・大薩摩（それ月も）・せり合方 (2) こだま入り合方・唄浄瑠璃（追っかけ行かんと）・修羅囃子合方・夜神楽合方・かけり・大太鼓入り合方・しゃぎり	50264-A (〃) 50264-B (〃)	芝居囃子（冬の巻）
(1) A．あああひどい目に会わしおった (2) B．おれの名が聞きたくば	15131-A (〃) 15131-B (〃)	
(1) ええいいい心持ちに＊ (2) ななにおこってやがる	35118-A (Ⓝ34041) 35118-B (Ⓝ34042)	
(1) ええいきょうはたんとも＊ (2) ななんでなんでおれを	15319-A (11121-1) 15319-B (11122-2)	
(1) さとせど娘は聞き入れず＊ (2) 父母の恵みも深き	15066-A (〃) 15066-B (〃)	
(1) (陰)お乳の人は大高に (2) お乳ははっと気も乱れ (3) 母は衣装を着飾って (4) 山川でけがしやるな＊	S 146 (2356, 5774 A) S 146 (2357, 5774 B) S 147 (2358, 5775 A) S 147 (2359, 5775 B)	カビ
(1) A．(陰)もうし忠さんおまえ＊ (2) B．八右衛門したり顔 (3) 親方さんおやかましゅう申し (4) 忠兵衛わしもこの中へ入れて (5) 八右衛門気を飲まれ＊ (6) 川辛抱してたももうわが身には	159-A (〃) 160-B (159 B) 160-A (〃) 160-B (〃) 161-A (〃) 161-B (〃)	
(1) A．いやおえんさん相も変わらぬ (2) B．(陰)もうし忠さんきょうで＊ (3) C．八右衛門したり顔 (4) おい忠兵衛はんわてが今 (5) 五十両百両ええ今出して見せて＊ (6) さあ川今の内に行こさあ行こ	5275 (〃) 5276 (〃) 5277 (〃) 5278 (〃) 5279 (〃) 5280 (〃)	
(1) A．(陰)ほほうあの歌は鳥辺山 (2) B．お川さんあぶないぞえ (3) もし忠さん」お」なんじゃいな (4) C．八右衛門したり顔 (5) 忠兵衛おまえここにいたのか	35222-A (Ⓝ41139) 35222-B (Ⓝ41140) 35223-A (Ⓝ41141) 35223-B (Ⓝ41142) 35224-A (Ⓝ41143)	

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
				B 259A B
39	勾当内侍	(勾当内侍)Ⅴ中村歌右衛門・(兵庫助)Ⅻ市村羽左衛・(与右衛門)Ⅵ大谷友右衛門・(桔梗)Ⅲ中村時蔵・(小菊)Ⅶ市村家橘 (陰)　Ⅲ杵屋栄蔵社中	ポリ　Ⅰa 赤	9—260A B 261A B 262A B
40	小袖曾我薊色縫 稲瀬川百本杭の場	(清心)Ⅻ市村羽左衛門・(求女)Ⅳ市村竹松	ニポ　Ⅰb 紫	9—263A B 264A B 265A B 266A B
40	小袖曾我薊色縫 白蓮内の場	(清吉)Ⅻ市村羽左衛門・(おさよ)Ⅵ尾上梅幸・(白蓮)Ⅶ松本幸四郎・(お藤)Ⅱ中村芝鶴・(杢助)Ⅱ尾上幸蔵	コロ　Ⅹa 青	9—267A B 268A B
41	寿曾我対面	(工藤・時宗)Ⅰ実川延二郎・(祐成・八幡)Ⅳ中村芝雀・(近江・少将)中村歌十郎	ニポ　Ⅰa 赤	9—194B
41	寿曾我対面	<(工藤・時宗)Ⅰ実川延二郎・(祐成・八幡)Ⅳ中村芝雀・(近江・少将)中村歌十郎>	ヨシノ　Ⅰa 緑	9—195B
41	寿曾我対面 〔陰囃子〕	(三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—90A
42	西郷と豚姫	(お玉)Ⅱ実川延若・(西郷)Ⅲ阪東寿三郎・(大久保)Ⅱ市川荒太郎	ニト　Ⅰa 黒	9—269A B 270A B
43	三千両黄金蔵入	(長七郎)Ⅳ片岡我童	ニト　Ⅰa	9—271A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(6)　五十両百両百五十両二百両 (7)　ああうれしやうれしや (8)　へおめでとう」ええおめでとう	35224-B (№41144) 35225-A (№41145) 35225-B (№41146)	
(1)　浜の盆踊りが夜ごと夜ごとに (2)　もしお腰元衆内侍様が＊ (3)　ここは矢走の渡しであろうな (4)　これ兵庫助あとを早う (5)　見覚えのある着替えのひおどし (6)　夫の最期を聞くからは	5103-A (6811BF) 5103-B (6812BF) 5104-A (6813BF) 5104-B (6814BF) 5105-A (6815BF) 5105-B (6816BF)	作　岡本綺堂
(1)　行く空も薄墨流す (2)　(陰)せめてあの世は迷わぬよう (3)　今打ちしは後夜の鐘 (4)　またもや雨となりふりも (5)　絞る気転のさそくの気付け (6)　そんなら若衆殿や気を付けて (7)　言えどいらえもなき人と (8)　しかし待てよきょう十六夜が	8951(4643) 8951(4644) 8952(4645) 8952(4646) 8953(4647) 8953(4648) 8954(4649) 8954(4650)	
(1)　ああいや来るには及ばない (2)　どうしてどうしてだんなにゃあ (3)　ほんにこんな頭にされた (4)　へいどうもじゃあ済みません	35082-A (№32703) 35082-B (№32704) 35083-A (№32705) 35083-B (№32706)	
(1)　思いいだせばおおそれよ	188(〃)	＝9—195B
(1)　思いいだせばおおそれよ	ナシ	＝9—194B
(1)　管絃・壱調・対面三重・岩戸神楽・肥前節・三保神楽	142-A (1810BF)	芝居囃子十二ヶ月(正月)寿曾我対面
(1)　まああれほど御苦労のある中で (2)　忘れもせぬあたしの十三の冬 (3)　今まで賢う見えたお客さんが (4)　あんたはんそんな事お言やすけど	514-A(〃) 514-B(〃) 515-A(〃) 515-B(〃)	
(1)　(陰)まことや人間は有為転変	424-A(〃)	片岡十二種の内

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
			黒	B 272A B
44	**三人吉三廓初買** 両国橋北河岸の場	(お嬢)XV市村羽左衛門・(和尚)VII松本幸四郎・(お坊)VII沢村宗十郎・(おとせ)VII尾上栄三郎 (歌) III中村兵蔵 (三) 杵屋六一郎	ニポ Ib・Ic 赤	9—273A B 274A B 275A B
44	**三人吉三廓初買** 両国橋北河岸の場	(お嬢)XV市村羽左衛門・(和尚)VII松本幸四郎・(お坊)XIII守田勘弥	コロ Xa 青	9—276A B 277A B
44	**三人吉三廓初買** 両国橋北河岸の場	中村歌扇一座	スタンダアド Ib 緑	9—278A B
44	**三人吉三廓初買** 両国橋北河岸の場 〔陰囃子〕	III杵屋栄蔵社中	ビク Vb 黒	10—84A
44	**三人吉三廓初買** 両国橋北河岸の場 〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト IVa 赤	10-112B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)II実川延若・(久吉)III阪東寿三郎	タイ V 白	9—279A B 280A B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)V中村歌右衛門・(秀吉)XV市村羽左衛門 (歌) VI芳村伊十郎 (三) III杵屋栄蔵 (陰) III杵屋栄蔵社中	ポリ Ia 黒	9—281A B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)V中村歌右衛門・(秀吉)XV市村羽左衛門	D.C.C. IIa・ 多色	9—282

詞章	音盤番号	備考
(2) どうどうどうどうえい早うせんかい (3) やああもしお殿様あなたこれに (4) やあしからば改め物申さん	424-B (〃) 425-A (〃) 425-B (〃)	
(1) ああもうしお女中様 (2) もしねえさんちょっと待って (3) うむそうかそりゃあ大きな (4) こりゃあおれが悪かった (5) ああいやさあふたりとも待って (6) うむそうしてふたりが命をかけ	15077-A (9331) 15077-B (9356) 15078-A (9357) 15078-B (9358) 15079-A (9359) 15079-B (9360)	
(1) 月もおぼろに白魚の (2) ほしい金ならこっちより (3) いいやのかれぬふたりの衆 (4) そうしてふたりが命をかけ	35270-A (NE36060) 35270-B (NE36061) 35271-A (NE36062) 35271-B (NE36063)	
(1) 月もおぼろに白魚の (2) 貸さぬ金なら借りもしめえ	S 148 (2380, 5617 A) S 148 (2381, 5617 B)	カビ
(1) ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・どん・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	50538-A (〃)	芝居囃子（春の巻上）
(1) ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	4147-B (〃)	
(1) それ緑林白浪の (2) 五右衛門よもをうちながめ (3) この白絹に血汐をもって (4) (陰)石川や浜のまさごは	ナシ ナシ ナシ ナシ	題字はペン書き 遠心式 大阪歌舞伎座公演の録音
(1) それ緑林白浪の (2) はて心得ぬあのたかが	2439-A (4460 B F) 2439-B (4462 B F)	≒9—282
(1) はて心得ぬあのたかが	04462 (ナシ)	≒9—281 B 題字は鉛筆書き 遠心式 ヒビ

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　紙	整理番号
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)Ⅵ尾上梅幸	コロ　Ⅸb 青	9—283A B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)Ⅶ沢村宗十郎 (歌)　Ⅵ芳村伊十郎 (三)　Ⅲ杵屋栄蔵	ニポ　Ⅰc 赤	9—284A B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)XIII守田勘弥 (歌)　XIV杵屋六左衛門 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中	ニポ　Ⅲa 赤	9—285A B
45	**楼門五三桐** 南禅寺の場　〔陰囃子〕	(歌)　中村六広 (三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—91A
46	**錣　　引**	(景清)Ⅱ市川猿之助・(美保谷)Ⅵ市川寿美蔵 (歌)　Ⅵ芳村伊十郎 (三)　Ⅲ杵屋栄蔵 (陰)　<Ⅸ望月太左衛門社中> (口上)Ⅷ市川八百蔵	ニポ　Ⅰa 橙	17-141A B 142A B 143A B
46	**錣　　引**	(景清)Ⅶ松本幸四郎・(美保谷)XV市村羽左衛門	ニポ　Ⅰc 赤	9—286A B
47	**実録先代萩** 亀千代館の場	(浅岡)Ⅴ中村歌右衛門・(小十郎)Ⅶ市川中車 (陰)　Ⅲ杵屋栄蔵社中	ポリ　Ⅰa 赤	9—287A B 288A B 289A B
48	**忍夜恋曲者**	(滝夜叉)Ⅵ尾上梅幸・(光国)Ⅶ松本幸四郎 (歌)　Ⅲ常磐津松尾太夫 (三)　Ⅲ常磐津文字兵衛	ニポ　Ⅰc 赤	9—290A B
49	**暫**	(景政)Ⅶ松本幸四郎・(武衡)XIII守田勘弥 (歌)　Ⅵ芳村伊十郎 (三)　Ⅲ杵屋栄蔵	ニポ　Ⅰc 赤	9—291A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　それ緑林白浪の (2)　はて心得ぬわれを恐れず	S-365(M36817) S-365(M36818)	予約限定盤
(1)　それ緑林白浪の (2)　は絶景かなや絶景かな	9129(〃) 9130(〃)	
(1)　それ緑林白浪の (2)　あ絶景かなや絶景かな	17317-A(№31986) 17317-B(№31987)	
(1)　大薩摩(それ緑林)・三絃入り楽・磬入り・かけり・寺鐘	224-A(1812BF)	芝居囃子十二ヶ月(三月)楼門五三桐
(1)　(序) (2)　(陰)それ計策をいばくのうちに (3)　はて心得ぬ春もようやく (4)　さればさ今鎌倉で頼朝が (5)　こなたは源氏わしは平家 (6)　いいやぼろんじなればともかくも	1000(9000) 1000(9001) 1001(9002) 1001(9003) 1002(9004) 1002(9005)	30cm ソリ 題紙には(1)を(序),(2)～(6)を(1)～(5)とする
(1)　それ計策をいばくのうちに (2)　ぼろんじどんには今の羽音に＊	15245-A(〃) 15245-B(〃)	
(1)　小十郎ひざを進め (2)　せっかくのおぼしめし (3)　君へ仕えてこの年月 (4)　これそちの名はなんと申すぞ (5)　これ浅岡千代松は予が (6)　いかにも嘆きに果てしなきゆえ	7005-A(4454BF) 7005-B(4455BF) 7006-A(4456BF) 7006-B(4457BF) 7007-A(4458BF) 7007-B(4459BF)	
(1)　もうしもうし光国様 (2)　くるわの者に連れられて＊	15213-A(10240) 15213-B(10241)	
(1)　しばらく」何しばらくとは (2)　今しばらくと声を掛け	15420-A(10246) 15420-B(10247)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
49	**暫** 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—95A
50	**島衛月白浪** 招魂社の場	(島蔵)Ⅱ市川猿之助・(千太)Ⅷ市川八百蔵・(輝)Ⅱ市川小太夫	コロ Ⅹa 黒	9—292A B
50	**島衛月白浪** 招魂社の場	(島蔵)Ⅻ市村羽左衛門・(千太)Ⅻ守田勘弥 (陰) Ⅹ田中伝左衛門社中	ポリ Ⅰa 赤	9—293A B 294A B
50	**島衛月白浪** 招魂社の場 〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク Ⅴb 黒	10—86A
51	**十二時会稽曾我** 祐経仮屋の場	(時致)Ⅱ市川猿之助・(祐成)Ⅷ市川八百蔵・(団三郎)Ⅲ市川段四郎・(祐経)Ⅱ市川荒次郎	コロ Ⅹa 黒	9—295A B
52	**修禅寺物語** A. 夜叉王内の場① B. 夜叉王内の場②	(夜叉王)Ⅱ市川左団次・(頼家)Ⅵ市川寿美蔵(桂)Ⅱ市川松蔦・(楓)市川松莚・(春彦)Ⅲ市川莚升・(僧)Ⅱ市川左升・(下田)市川左近	コロ Ⅹa 青	9—296A B
53	**新皿屋舗月雨暈** A. 磯部内玄関の場 B. 奥庭の場	(宗五郎)Ⅵ尾上菊五郎・(お浜)Ⅲ尾上多賀之丞・(磯部)Ⅳ市川男女蔵・(浦戸)Ⅵ坂東彦三郎・(岩上)尾上蟹十郎 (陰) Ⅰ柏伊三郎社中	ビクトロオラ Ⅱa 赤	9—297A B 298A B
54	**心中天網島** 河内屋の場	(治兵衛)Ⅰ実川延二郎	ニポ Ⅰa 赤	9—299A
54	**心中天網島** 河内屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(小春)Ⅲ中村雀右衛門・(孫右衛門)Ⅱ尾上卯三郎 (歌) ＜竹本一登太夫＞ (三) ＜鶴沢友太郎＞	コロ Ⅸb 赤	9—300A B 301A B 302A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 早神楽・時の太鼓・大薩摩（咸宮万里の）・片しゃぎり	533-A (1820BF)	芝居囃子十二ヶ月(十一月)暫
(1) それじゃあこれほど訳を言っても (2) 売りことばに買いことばで	26228-A (NE34428) 26228-B (NE34429)	作　河竹黙阿弥
(1) おお千太おれに手を貸して (2) それじゃあおめえはそれゆえに (3) そりゃあてめえあんまりわからねえ (4) 売りことばに買いことばで	5073-A (3679BF) 5073-B (3680BF) 5074-A (3681BF) 5074-B (3682BF)	作　河竹黙阿弥
(1) あほだら・新内よう・風の音・新内流し・虫の合方・虫笛・鶏笛・本神楽・新内前弾・しゃぎり	50263-A (〃)	芝居囃子（秋の巻上）
(1) 珍しや工藤祐経 (2) ひきょうなりと言わば言え	26129-A (NE34420) 26129-B (NE34421)	作　福地桜痴居士
(1) A．偽りならぬ証拠これ御覧＊ (2) B．たれやら表に」これ傷は	35156-A (NE34039) 35156-B (NE34040)	作　岡本綺堂 杏花戯曲十種の内
(1) A．ああもうし皆様方お待ち (2) 酔って言うんじゃございませんが (3) 一つ血筋の妹が (4) B．こりゃ宗五郎酔いはさめしか	13093-A (1878) 13093-B (1879) 13094-A (1880) 13094-B (1881)	(3)(4)ヒビ
(1) 魂抜けてとぼとぼうかうか	194(〃)	
(1) よい月の影傾きて物案じ (2) ここにいると吹き込んで (3) 御誓言での情けのおことば (4) これのみ悲しさ」わたしとても＊ (5) 人立ちすけば侍立ち寄って (6) 治兵衛大地に手をつかえ	28628(D9071) 28628(D9072) 28629(D9073) 28629(D9074) 28630(D9075) 28630(D9076)	近松翁弐百年祭記念劇 ≒〔9—303〕 〔9—306〕の前篇

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
54	**心中天網島** 河内屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(小春)Ⅲ中村雀右衛門・(孫右衛門)Ⅱ尾上卯三郎 (歌)　<竹本一登太夫> (三)　<鶴沢友太郎>	ニポ　Ⅰb 赤	9—303A B 304A B
54	**心中天網島** 河内屋の場	(小春)Ⅳ中村芝雀 (歌)　<竹本>小松太夫	ナショナル　Ⅱa 多色	9—305A B
54	**心中天網島** 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(おさん)Ⅳ中村福助<高砂屋>・(五左衛門)Ⅱ尾上卯三郎 (歌)　<竹本一登太夫> (三)　<鶴沢友太郎>	コロ　Ⅸb 赤	9—306A B 307A B 308A B 309A B
54	**心中天網島** 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(おさん)Ⅳ中村福助<高砂屋>・(五左衛門)Ⅱ尾上卯三郎 (歌)　<竹本一登太夫> (三)　<鶴沢友太郎>	ニポ　Ⅰb 赤	9—310A B 311A B 312A B 313A B
54	**心中天網島** 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・(おさん)Ⅳ中村福助<高砂屋>・(三五郎)市川荒太郎	ニト　Ⅰa 黒	9—314A B 315A B 316A B
55	**水滸伝雪挑**	(魯智深)Ⅴ助高屋高助・(史進)Ⅴ沢村田之助・(小乙)沢村其答・(道成)沢村連舎	ニポ　Ⅰb 赤	9—317A B 318A B
56	**菅原伝授手習鑑** 都大路の場	(松王丸)Ⅹⅴ市村羽左衛門(梅王丸)Ⅶ松本幸四郎・(桜丸)Ⅶ沢村宗十郎・(時平)Ⅳ尾上松助・(杉王丸)Ⅳ市村竹松 (歌)　竹本重寿太夫	ニポ　Ⅰb 赤	9—319A B 320A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(＊)　……		〔9—310〕の前篇
(3)　御誓言での情けのおことば＊	9073(〃)	≒〔9—301〕
(4)　これのみ悲しさ」わたしとても＊	9074(〃)	
(5)　人立ちすけば侍立ち寄って	9075(〃)	
(6)　治兵衛大地に手をつかえ	9076(〃)	
(＊)　……		
(5)　一分立たずいっそ死んで	A246(A248)	
(6)　ほんの事は死にともない	A247(A249)	
(1)　かど送りさえそこそこに	28631(D9077)	≒〔9—310〕
(2)　ようよう母様おじ様の	28631(D9078)	近松翁弐百年祭
(3)　義理の悪い身代行き詰まり	28632(D9079)	記念劇
(4)　騒げば夫も敗もうし	28632(D9080)	〔9—300〕の続篇
(5)　夫の恥とわが義理と	28633(D9081)	題紙には(7)～
(6)　立ちいずるかどの口	28633(D9082)	(14)とする
(7)　元の身代に仕上げお目に	28634(D9083)	
(8)　治兵衛殿こそ他人なれ	28634(D9084)	
(1)　かど送りさえそこそこに	9077(〃)	≒〔9—306〕
(2)　ようよう母様おじ様の	9078(〃)	〔9—303〕の続篇
(3)　義理の悪い身代行き詰まり	9079(〃)	
(4)　騒げば夫も敗もうし	9080(〃)	
(5)　夫の恥とわが義理と	9081(〃)	
(6)　立ちいずるかどの口	9082(〃)	
(7)　元の身代に仕上げお目に	9083(〃)	
(8)　治兵衛殿こそ他人なれ	9084(〃)	
(1)　かど送りさえそこそこに	397-A(〃)	
(2)　おととしの十月中のいの子に	397-B(〃)	
(3)　おおもっともじゃあやまった	398-A(〃)	
(4)　この事はどうあっても	398-B(〃)	
(5)　明けて取り出す染め小そで	399-A(〃)	
(6)　必ず案じてくださんすな	399-B(〃)	
(1)　それ楼門にせいたいを帯び	8742(4227)	
(2)　丘小乙」崔道成」今うせおった	8742(4228)	
(3)　(陰)	8743(4229)	
(4)　(陰)おおおん身は花和尚魯智深	8743(4230)	
(1)　車やらぬ」車やらぬと	15075-A(〃)	
(2)　桜丸と」この梅王牛に	15075-B(1316)	
(3)　鼻づら取って引き出す車	15076-A(1317)	
(4)　血をあやさば社参の恐れ	15076-B(1318)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
56	**菅原伝授手習鑑** 都大路の場	(松王丸)Ⅰ中村鴈治郎・(梅王丸)Ⅱ実川延若・(桜丸)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉・(時平)Ⅵ嵐吉三郎・(杉王丸)＜中村＞雁童	ニト Ⅰa 黒	9—321A B 322A B
56	**菅原伝授手習鑑** 都大路の場	(松王丸)Ⅶ松本幸四郎・(梅王丸)Ⅻ市村羽左衛門・(桜丸)Ⅶ沢村宗十郎・(時平)Ⅱ尾上幸蔵・(杉王丸)Ⅶ市村家橘	コロ Ⅸb 青	9—323A B 324A B
57	**鈴ケ森**	(長兵衛)Ⅶ市川中車・(権八)Ⅻ市村羽左衛門	ポリ Ⅰa 赤	9—325A B 326A B
57	**鈴ケ森**	(長兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(権八)Ⅻ市村羽左衛門	ニポ Ⅰc 赤	9—327A B 328A B
57	**鈴ケ森**	(長兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(権八)Ⅶ沢村宗十郎	タイ Ⅱb 赤	9—329A B
57	**鈴ケ森**	(長兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(権八)Ⅰ中村鴈治郎	ニポ Ⅰb 赤	9—330A B
57	**鈴ケ森** 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—91B
58	**増補桃山譚** 伏見城奥庭の場	(清正)Ⅰ中村吉右衛門・(幸蔵主)Ⅳ市川紅若・(政所)＜Ⅲ中村時蔵＞	ビク Ⅴb 赤	9—331A B 332A B 333A B
59	**曾我綉俠御所染** 五条坂仲の町の場	(五郎蔵)Ⅵ尾上菊五郎・(土右衛門)Ⅵ大谷友右衛門・(与五郎)Ⅲ尾上菊三郎	ニト Ⅰa 黒	9—334A B 335A B 336A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 車やらぬ」車やらぬと (2) くれえ自慢に食れえふとった (3) やあいわれぬしゅうの肩持ち顔 (4) わいらいい兄弟持って	681-A (〃) 681-B (〃) 682-A (〃) 682-B (〃)	
(1) 車やらぬ」車やらぬと (2) 斉世の君様菅丞相 (3) 松王が引っかけたこの車 (4) さすがの梅王桜丸	35104-A (NE33142) 35104-B (NE33143) 35105-A (NE33144) 35105-B (NE33145)	
(1) おわけえの待たっしゃりませ (2) 御親切なるそのおことば (3) お身の上のひととおり (4) 御親切なるそのおことば	5060-A (4428BF) 5060-B (4429BF) 5061-A (4430BF) 5061-B (4431BF)	
(1) おわけえのあいや待たっせえやし (2) 御親切なるそのおことば (3) お身の上のひととおり (4) 御親切なるそのおことば	15963-A (10252) 15963-B (10253) 15964-A (10254) 15964-B (10255)	
(1) おわけえの待たっせえやし (2) はてや大丈夫承れば	6018-A (12515) 6018-B (12516)	
(1) おわけえのうむいや待たっせえやし (2) 別して用事もござらねど	9163(〃) 9164(〃)	
(1) 駅路入り馬子唄(箱八)・浪の音・早禅の勤め・一つ鉦・本釣鐘・竹笛入り合方(木の葉)・ごん・忍び三重	224-B (1813BF)	芝居囃子十二ケ月(四月)鈴ケ森
(1) 御意を心得幸蔵主 (2) あとに清正吐息つき (3) 雨に打たれ雪に凍え (4) われ三才にして父に離れ (5) そのお嘆きはごもっとも (6) ごもっともなるその仰せ	13062-A (1223) 13062-B (1224) 13063-A (1225) 13063-B (1226) 13064-A (1227) 13064-B (1228)	
(1) 筑波なれえを吹きけえす (2) あいやちょっと待ってもらいたい (3) そんならいつぞや殿様へ (4) 貧に迫って千人の (5) またしてもいらぬ口出し (6) 飲めぬとあらばえいっ	558-A (〃) 558-B (〃) 559-A (〃) 559-B (〃) 560-A (〃) 560-B (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
59	曾我綉俠御所染 甲屋の場	(五郎蔵)XV市村羽左衛門・(土右衛門)VII松本幸四郎・(皐月)VI尾上梅幸・(逢州)VII市村家橘・(吾平)II尾上幸蔵 (陰) X田中伝左衛門社中	コロ Xa 青	9—337A B 338A B
59	曾我綉俠御所染 五条坂廓の場 〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト IVa 赤	10-112A
60	伊達競曲輪鞘当	(不破)XV市村羽左衛門・(名古屋)VI尾上梅幸・(鳶頭)XIII守田勘弥 (陰) X田中伝左衛門社中	ポリ Ia 赤	9—339A B 340A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破)VI坂東簑助・(名古屋)II市川小太夫・(紀伊国屋)IV沢村源之助	ビク Vc 黒	9—341A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破)VII松本幸四郎・(名古屋)XV市村羽左衛門	ニポ IIIa 赤	9—342A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破)VII松本幸四郎・(名古屋)VI尾上梅幸 (歌) VI芳村伊十郎社中 (陰) X田中伝左衛門社中	トキ IIb 多色	9—343A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破)VII松本幸四郎・(名古屋)VII沢村宗十郎	ニポ Ic 赤	9—344A B
61	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(阿古屋)IV片岡我童 (歌) 竹本松葉太夫・阪東徳三郎 (三) 野沢清登・中村新三郎・豊沢力松	オリ IIIa 灰	9—345A B 346A B 347A B 348A B
62	忠臣いろは実記 丈左衛門内の場	(一角)XV市村羽左衛門・(おまき)VI尾上梅幸	コロ IXb 青	9—349A B
63	忠臣蔵後日建前 A. 鳥羽啜の場	(お市)IV沢村源之助・(おかや)IV市川紅若	ポリ Ia 黒	9—350A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) ああもしその金わたしが (2) おれに愛想が尽きたと言うのか (3) これさこれさ五郎蔵さん (4) 逢州さんなんにも言わぬ	35045-A (Ⓝ31036) 35045-B (Ⓝ31037) 35046-A (Ⓝ31038) 35046-B (Ⓝ31039)	
(1) 風の音・本釣鐘・竹笛入り待宵唄・八千代獅子合方・大小・竹笛	4147-A (〃)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) 刀のこじり捕えしおん方 (3) その行き違いのさや当てが (4) 待った待った待った待った	5053-A (3675BF) 5053-B (3676BF) 5054-A (3677BF) 5054-B (3678BF)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) そりゃこの方より申すこと	53422-A (6387) 53422-B (6388)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) 刀のこじりを捕えるおん方	50067-A (Ⓝ32699) 50067-B (Ⓝ32700)	
(1) 遠からん者は音羽屋に聞け (2) 刀のこじり捕えしおん方	341(〃) 342(〃)	
(1) (合)花の雨濡れにくるわの (2) 遠からん者は音にも聞け	15001-A (10242) 15001-B (10243)	
(1) かげというも」月の縁 (2) かげ清き名のみにて (3) (合)＊ (4) すい帳紅けいに」まくら並ぶる (5) 秋より先に必ずと＊ (6) あいと答えて気は張り弓 (7) (合) (8) 夢とさめてはんな跡もなし＊	A1307(〃) A1308(〃) A1309(〃) A1310(〃) A1311(〃) A1312(〃) A1313(〃) A1314(〃)	
(1) あとには姉がかこち言 (2) こよいももはや三更過ぎ	35252-A (Ⓝ33140) 35252-B (Ⓝ33141)	ヒビ
(1) A. やれやれひどい雨じゃ (2) B. おっかさんゆうべはひどい	1147-A (4424BF) 1147-B (4425BF)	作　河竹黙阿弥

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	B．与市兵衛内の場			
64	**土蜘**	(土蜘)Ⅵ尾上梅幸・(頼光)Ⅶ坂東三津五郎・(保昌)Ⅶ松本幸四郎・(小姓)Ⅲ坂東亀三郎 (歌)＜Ⅵ芳村伊十郎＞ (囃)＜Ⅹ田中伝左衛門＞	コロ　Ⅸb 青	9—351A B 352A B
65	**土屋主税** 土屋館の場	(土屋)Ⅰ中村鴈治郎・(お園)Ⅳ中村福助＜高砂屋＞・(大高)中村魁車・(其角)Ⅳ市川市蔵・(其月)Ⅱ市川箱登羅・(六弥)林長三郎 (歌)　豊竹越太夫 (三)　鶴沢友太郎 (陰)　(歌)阪東徳三郎・(三)中村新三郎	コロ　Ⅹa 青	9—353A B 354A B 355A B 356A B
66	**壺坂霊験記** 沢市内の場	(沢市)Ⅶ沢村宗十郎・(お里)Ⅴ沢村田之助 (陰)　田中伝次社中	ポリ　Ⅰb 赤	10— 1A B 2A B
67	**積恋雪関扉**	(関兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(墨染)Ⅵ尾上梅幸 (歌)　Ⅲ常磐津松尾太夫 (三)　Ⅲ常磐津文字兵衛 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中	トキ　Ⅱa・Ⅰa 赤・黒	10— 3A B 4A B
68	**梅雨小袖昔八丈** 永代橋の場	(新三)Ⅵ尾上菊五郎・(忠七)Ⅳ市川男女蔵・(源七)Ⅵ坂東彦三郎 (陰)　Ⅰ柏伊三郎社中	ビク　Ⅴb 赤	10— 5A B 6A B
68	**梅雨小袖昔八丈** 新三内の場	(新三)Ⅹ市村羽左衛門・(長兵衛)Ⅳ尾上松助・(勝奴)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ　Ⅰb 赤	10— 7A B
68	**梅雨小袖昔八丈** 新三内の場	(新三)Ⅵ尾上菊五郎・(源七・長兵衛)Ⅵ大谷友右衛門・(勝奴)Ⅱ尾上伊三郎・(善八)Ⅲ尾上菊三郎・(お角)Ⅱ中村翫助	ニト　Ⅰa 黒	10— 8A B 9A B 10A B
68	**梅雨小袖昔八丈**	(新三)Ⅹ市村羽左衛門・	ニポ　Ⅰb	10—11A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　月清きよわとも見えず (2)　ちりの浮き世をのがれては (3)　いらたかのじゅず携えて (4)　君のおん声いぶかしく	35393-A (M37941) 35393-B (M37942) 35394-A (M37943) 35394-B (M37944)	作　河竹黙阿弥 新古演劇十種の内
(1)　まだ其角は参らぬか (2)　はっ其角殿ただ今伺候いたされ (3)　其角そちはどうか申しおるが＊ (4)　お招きもなき当お席へ＊ (5)　雪の夜に積もる思いの (6)　折から聞こゆる剣撃の音 (7)　折から聞こゆる呼び子の笛 (8)　大高氏やめんぼく次第もござらぬ	35164-A (NE41147) 35164-B (NE41148) 35165-A (NE41149) 35165-B (NE41150) 35166-A (NE41151) 35166-B (NE41152) 35167-A (NE41153) 35167-B (NE41154)	玩辞楼十二曲の内
(1)　鳥の声鐘の音さえ (2)　どこやら濁ることばの端 (3)　ととさんやかかさんに別れてから (4)　観音様も聞こえぬと＊	5006-A (3224BF) 5006-B (3225BF) 5007-A (3226BF) 5007-B (3227BF)	
(1)　あとは手じゃくのひとり酒 (2)　音はそうそうとうとうと＊ (3)　やあいずくともなく見馴れぬ女＊ (4)　最前より色に事寄せ	335(〃) 336(〃) 337(〃) 338(〃)	
(1)　おおおい忠七さんおめえ (2)　おうおうおい忠七さんおめえ (3)　これよく聞けよふだんは (4)　なむあみだ仏」おおおわけえの	13077-A (1861) 13077-B (1862) 13078-A (1863) 13078-B (1864)	作　河竹黙阿弥
(1)　やあ新三ああよくまあてめえ (2)　おい上が十両あるよ下が五両 (＊)　……	15165-A (〃) 15165-B (〃)	
(1)　それじゃあ親分この金で (2)　ほんに好かねえおじさんさねえ (3)　ええええようがすたとえどんな (4)　おやそれじゃあ親分さんは＊ (5)　ううやあどうもまあ娘っ子は (6)　おうおい」へえ」新三」へえ	561-A (〃) 561-B (〃) 562-A (〃) 562-B (〃) 563-A (〃) 563-B (〃)	
(1)　雨を幸い大川へ	15167-A (10256)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	閻魔堂橋の場	(源七)Ⅶ松本幸四郎	赤	B
69	**東海道四谷怪談** 隠亡堀の場　〔陰囃子〕	(三)　Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ　Ⅰb 黒	10—93A
70	**藤十郎の恋** 宗清奥座敷の場	(藤十郎)Ⅰ中村鴈治郎・(お梶)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉	ニト　Ⅰa 黒	10—12A B 13A B 14A B
70	**藤十郎の恋** 宗清奥座敷の場	(藤十郎)Ⅰ中村鴈治郎・(お梶)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉	コロ　Ⅸb 赤	10—15A B 16A B
71	**唐人塚** 長崎丸山揚屋の場	(仁謝)Ⅱ市川猿之助・(連山)Ⅲ坂東秀調・(長四郎)Ⅷ市川八百蔵・(お秀)Ⅶ松本錦吾 (歌)　竹本琴路太夫 (三)　Ⅲ野沢錦糸	ニポ　Ⅲc 赤	10—17A B 18A B
72	**時今也桔梗旗揚** 本能寺の場	(光秀)Ⅶ松本幸四郎・(春永)Ⅻ市村羽左衛門	ニポ　Ⅰc 赤	10—19A B 20A B
73	**鳥辺山心中** 四条河原の場	(半九郎)Ⅱ市川左団次・(お染)Ⅱ市川松蔦	コロ　Ⅺ 黒	10—21A B
73	**鳥辺山心中** 四条河原の場	(半九郎)Ⅱ市川左団次・(お染)Ⅱ市川松蔦	D.C.C.　Ⅱa 多色	10—22
74	**博多小女郎浪枕** 船中の場	(九右衛門)Ⅶ松本幸四郎・(宗七)Ⅶ沢村宗十郎	ニポ　Ⅰc 赤	10—23A B
75	**橋弁慶**	(弁慶)Ⅱ市川猿之助・(牛若丸)Ⅵ市川寿美蔵・(従者)Ⅷ市川八百蔵	ニポ　Ⅰa 橙	17-144A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(2)　まだ駆け出しの遊び人	15167-B (10257)	
(1)　木魚入り合方・水の音・佃合方・薄どろどろ・寝鳥合方・大どろどろ・一つ鉦・竹笛入り合方(君は春咲く)・狸囃子・本釣鐘	398-A (1816BF)	芝居囃子十二ヶ月(七月)四谷怪談(おんぼぼり)
(1)　(陰)ええいやいや大事ない大事ない (2)　ああさようでござりまするかいなあ (3)　はい改まったおっしゃり様 (4)　おおそれはそれはまことに (5)　さあこれほど思うている藤十郎を (6)　そりゃもう男の口から	416-A (〃) 416-B (〃) 417-A (〃) 417-B (〃) 418-A (〃) 418-B (〃)	
(1)　(陰)ええいやいや大事ない大事ない (2)　いやもう今度のやよい狂言は (3)　あの藤様のお口のじょうずな (4)　わたくしも人間の定命に近し	28626 (D15199A) 28626 (D15199B) 28627 (D15200A) 28627 (D15200B)	
(1)　もう日が暮るるか」ほんに気に (2)　おまえはもろこしわたしは日本 (3)　その女の血の流れた跡に (4)　女は手負いに取り付いて	17690-A (№33535) 17690-B (№33536) 17691-A (№33537) 17691-B (№33538)	作　岡本綺堂
(1)　御不興を被りしその日より (2)　喜ばしいか」はあ」さもそうず (3)　すりゃこの器を光秀へ (4)　かほどに申せどお心解けざる	15633-A (10258) 15633-B (10259) 15634-A (10260) 15634-B (10261)	
(1)　おおそうじゃこれを知っている者 (2)　店出しのよいからおまえの	25069-A (15321A, 11123-1) 25069-B (15321B, 11124)	≒10—22
(1)　おおそうじゃこれを知っている者	ナシ	≒10—21A 題字はペン書き遠心式
(1)　長門の秋の夕暮れは (2)　九右衛門顔色うち解けて (*)　……	15762-A (〃) 15762-B (〃)	
(1)　(陰)これは西塔のかたわらに住む (2)　十禅寺もうでを思い止まろうずる	1003 (9006) 1003 (9007)	30cm

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(歌) Ⅵ芳村伊十郎 (三) Ⅲ杵屋栄蔵 (囃) <Ⅸ望月太左衛門社中>		145 A B
76	**番町皿屋敷** 播磨内の場	(播磨) Ⅱ市川左団次・(お菊) Ⅱ市川松蔦・(十太夫) Ⅱ市川左升・(権次) Ⅱ市川荒次郎	ニポ Ⅰc 赤	10—26 A B
76	**番町皿屋敷** 播磨内の場	(播磨) Ⅱ市川左団次・(お菊) Ⅱ市川松蔦・(十太夫) Ⅱ市川左升・(権次) Ⅱ市川荒次郎	コロ Ⅺa 黒	10—27 A B
77	**一つ家**	(茨) Ⅵ尾上梅幸・(浅茅) Ⅶ尾上栄三郎・(観世音) Ⅹ市村羽左衛門	ニポ Ⅰb 紫	10—28 A B 29 A B 30 A B
78	**双蝶々曲輪日記** 与兵衛内の場	(与兵衛) Ⅱ実川延若・(おはや) 中村魁車・(母) Ⅲ浅尾大吉	リガ Ⅱa 黒	10—31 A B
78	**双蝶々曲輪日記** 与兵衛内の場	(与兵衛) Ⅰ中村鴈治郎 (歌) <竹本井菱太夫> (三) <鶴沢勇七>	コロ Ⅲb 黒	9—226 B
78	**双蝶々曲輪日記** 与兵衛内の場	(与兵衛) Ⅰ中村鴈治郎 (歌) <竹本>井菱太夫	ナシヨナル Ⅱa 多色	9—174 B
79	**二つの櫓** 東の芝居楽屋の場	(義太夫) Ⅳ中村福助 <高砂屋>・(お瑠璃) Ⅲ中村雀右衛門・(加賀掾) Ⅲ尾上多見蔵	ニポ Ⅰb 赤	10—32 A B
80	**沓手鳥孤城落月** 大阪城糒庫の場	(淀の方) Ⅴ中村歌右衛門・(秀頼) Ⅹ市村羽左衛門・(内膳) Ⅶ市川中車・(修理亮) Ⅶ坂東三津五郎・(正栄尼) Ⅳ沢村源之助・(大蔵局) Ⅲ坂東秀調・(饗庭局) Ⅲ中村時蔵	ポリ Ⅰb 赤	10—33 A B 34 A B 35 A B
81	**本朝廿四孝** 謙信館奥庭の場	(八重垣姫) Ⅴ中村歌右衛門 (歌) 豊竹巌太夫 (三) 竹沢仲蔵	ポリ Ⅰa 赤	10—36 A B

詞章	音盤番号	備考
(3) すでに夜を待つ時も来て (4) 切って掛かれば牛若は	1004(9008) 1004(9009)	
(1) いや粗相とは言わせませぬ (2) こりゃ菊それほどまでにして	15320-A(11125-1) 15320-B(11126-1)	=〔10—27〕 作 岡本綺堂 松莚戯曲十種の内
(1) いや粗相とは言わせませぬ (2) こりゃ菊それほどまでにして	25068-A (15320A, 11125-1) 25068-B (15320B, 11126-1)	=〔10—26〕 作 岡本綺堂 松莚戯曲十種の内
(1) 時刻もふけて三更の (2) 足にさわりし以前のそだ (3) 来世は無間地獄へ落ち (4) われこそは観音さったの (5) そんならどうでもかかさんは (6) あとに娘はただうろうろ	8948(4637) 8948(4638) 8949(4639) 8949(4640) 8950(4641) 8950(4642)	新古演劇十種の内
(1) おはやはあとを見送りて＊ (2) 内は真夜となりにけり＊	65388-A(Ne40462) 65388-B(Ne40463)	
(1) 哀れ数うる暮れの鐘	47889(47889-1-X-1)	
(1) 言いつつ立って一思案	A239(〃)	
(1) お瑠璃様」おおあなたは (2) 去年の夏西行物語を出したとき	9119(〃) 9120(〃)	
(1) ああれまたおそり遊ばしまする (2) ああもうしあさましいお心お静め (3) もしこりゃなんと遊ばしまする (4) もし御前様おん方様 (5) わあわあ」使者より重ねて (6) 恐れながらわが君へ	7001-A(4463BF) 7001-B(4464BF) 7002-A(4465BF) 7002-B(4466BF) 7003-A(4467BF) 7003-B(4468BF)	作 坪内逍遙博士
(1) 思いにや焦がれて燃ゆる＊ (2) 誠や当国諏訪明神は	7008-A(6253BF) 7008-B(6254BF)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(陰) Ⅲ杵屋栄蔵社中		
82	**宮島だんまり** 〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト Ⅳa 赤	10-111 A B
83	**処女翫浮名横櫛** 赤間屋の場	(お富)Ⅳ沢村源之助・(源左衛門)Ⅵ坂東簑助・(安蔵)Ⅲ沢村源十郎・(お滝)中村辰之丞	ビク Ⅴc 黒	10—37 A B
83	**処女翫浮名横櫛** A. 薩埵峠の場 B. 赤間屋の場	(お富)Ⅳ沢村源之助・(与三郎)Ⅲ阪東寿三郎	オリ Ⅲb 黄	10—38 A B
84	**紫被布千鳥浮織** 松井館玄関の場	(お関)Ⅳ沢村源之助・(平吉)Ⅵ坂東簑助・(馬五郎)Ⅲ沢村源十郎・(和泉)中村辰之丞	ビク Ⅴb 黒	10—39 A B
85	**伽羅先代萩** A. 鶴喜代館奥殿の場 B. 床下の場	(政岡・仁木)Ⅵ尾上梅幸・(八汐・男之助)Ⅶ松本幸四郎 (歌) 竹本重寿太夫 (三) 鶴沢才二郎	コロ Ⅹa 青	10—40 A B 41 A B
85	**伽羅先代萩** 鶴喜代館奥殿の場	(政岡)中村歌扇 (歌) 竹本音女太夫 (三) 鶴沢八重蔵	タイ Ⅰa 黒	10—42 A B 43 A B
85	**伽羅先代萩** 問注所の場	(勝元)Ⅹ市村羽左衛門・(仁木)Ⅶ松本幸四郎・(外記)Ⅳ尾上松助・(宗全)Ⅱ尾上幸蔵	ニポ Ⅰc 赤	10—44 A B 45 A B
86	**戻橋** A. 戻橋の場 B. 二条通りの場	(小百合)Ⅵ尾上梅幸・(綱)Ⅶ松本幸四郎 (歌) Ⅲ常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ常磐津文字兵衛 (上)常磐津菊三郎	ニポ Ⅰc 赤	10—46 A B 47 A B 48 A B
86	**戻橋** A. 戻橋の場 B. 二条通りの場	(小百合)Ⅵ尾上梅幸・(綱)Ⅶ松本幸四郎 (歌) Ⅲ常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ常磐津文字兵衛	トキ Ⅰa 黒	10—49 A B 50 A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 浜唄(沖はなぎようて)・浪の音・大薩摩(それ咸宮万里の)・せり合方 (2) 本釣鐘・こだま入り合方・浪の音・唄浄瑠璃上げ(群れ立つ羽音)・三絃入り大べし夜神楽・かけり・唄入り大太鼓入り(様に会う夜)・しゃぎり	4051-A(〃) 4051-B(〃)	
(1) さあいいからずっと出るがいいぜ＊ (2) 金のかからぬ奉公人は	53241-A (6385) 53241-B (6386)	作　河竹黙阿弥
(1) A. 今打ちしはもはや入相＊ (2) B. なんですかあなたがこちらの＊	B176(〃) B177(〃)	
(1) 御使僧のお立ち」御丁寧なる (2) 言わしておけば不敵の雑言	53130-A (6381) 53130-B (6382)	作　河竹黙阿弥
(1) A. あとにはひとり政岡が (2) とは言うもののかわいやな (3) 三千世界に子を持った (4) B. ああら怪しやな今荒獅子	35099-A (№33154) 35099-B (№33155) 35100-A (№33156) 35100-B (№33157)	
(1) 奥より走って千松が＊ (2) あとにはひとり政岡が (3) なぶり殺しを現在に (4) 三千世界に子を持った	4495-A (12398) 4495-B (12399) 4496-A (12400) 4496-B (12401)	
(1) う待とうぞ待とうぞ待とうぞ (2) はっ恐れ入ってはござりますれど (3) うむしからば愚か者にして (4) しからば執権のその方一人でよい	16424-A (9305) 16424-B (9306) 16425-A (9307) 16425-B (9308)	
(1) A. またむら立ちし雨雲の (2) かつぎに身をばしのぶずり (3) おお女性はいずくへ参らるるぞ＊ (4) B. 最前より見しところ (5) 花の散り行く嵐山 (6) えにしを結ぶ露もがな	15080-A(〃) 15080-B(〃) 15081-A(〃) 15081-B(〃) 15082-A(〃) 15082-B(〃)	新古演劇十種の内
(1) A. たどる大路に人影も＊ (2) B. 恥ずかしながら都の舞を (3) はておもしろき事でありしぞ＊ (4) おん身はさように言わるれど＊	343(〃) 344(〃) 345(〃) 346(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		(陰) Ⅹ田中伝左衛門社中		
87	**夜討曾我狩場曙** A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 C. 頼朝仮屋裏手の場	(時致)XV市村羽左衛門・(祐成)Ⅵ尾上梅幸・(忠常)Ⅶ松本幸四郎・(亀鶴)Ⅶ尾上栄三郎	ニポ Ⅰc 赤	10—51A B 52A B
87	**夜討曾我狩場曙** A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 C. 頼朝仮屋裏手の場	(時致)Ⅱ市川猿之助・(祐成)Ⅲ市川段四郎・(忠常)Ⅱ市川左升・(亀鶴)Ⅱ坂東勝太郎・(冬保)Ⅱ市川寿猿・(成景)Ⅱ中村翫右衛門	コロ Ⅹa 黒	10—53A B
87	**夜討曾我狩場曙** A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—92A
87	**夜討曾我狩場曙** 頼朝仮屋の場	(時致)XV市村羽左衛門・(頼朝)Ⅵ尾上梅幸・(忠常)Ⅶ松本幸四郎	ニポ Ⅰc 赤	10—54A B 55A B
88	**義経千本桜** 伏見稲荷社の場 〔陰囃子〕	(三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—90B
88	**義経千本桜** 大物浦の場	(知盛)Ⅱ市川猿之助・(義経)Ⅲ市川段四郎・(弁慶)Ⅱ市川荒次郎・(典侍局)Ⅱ坂東勝太郎	リガ Ⅰa 黒	10—56A B 57A B
88	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(権太)XV市村羽左衛門・(弥左衛門)Ⅳ尾上松助・(母)Ⅱ坂東村右衛門・(梶原)Ⅱ尾上幸蔵・(惟盛)Ⅳ尾上紋三郎	ニポ Ⅰc 赤	10—58A B 59A B
88	**義経千本桜** 釣瓶鮓屋の場	(権太)Ⅵ尾上菊五郎・(弥左衛門)Ⅲ尾上菊三郎・(母)尾上華幸・(梶原)Ⅵ坂東彦三郎・(惟盛)Ⅳ市	ビク Ⅴb 赤	10—60A B 61A

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　A．すでに建久四つの年 (2)　ねぐらさまよう浦千鳥 (3)　五つや三つのころなれば (4)　B．(勢子声)弟はいずれへ参る	15480-A (9332) 15480-B (9333) 15481-A (9334) 15481-B (9361)	
(1)　A．げにや三千年に一度花咲き＊ (2)　遠からん者は音にも聞け	26540-A (№34614) 26540-B (№34615)	作　河竹黙阿弥
(1)　A．牢番合方・雨の音・大薩摩（すでに建久）・かけり B．石段合方・大小・三つ太鼓	297-A (1814BF)	芝居囃子十二ヶ月(五月)夜討曾我
(1)　いかに時致承れ＊ (2)　してまた工藤の仮屋まで (3)　してまた岡部弥三郎＊ (4)　こりゃ時致これなる首級に	15525-A (〃) 15525-B (〃) 15526-A (1297) 15526-B (1298)	
(1)　遠寄せ・早三つ太鼓・大太鼓入り合方(山姥)・さらし・雷序・どろどろ・大太鼓入り合方(幕外六方)	142-B (1811BF)	芝居囃子十二ヶ月(二月)鳥居前忠信
(1)　知盛見るよりかっとせき込み (2)　持ったるいらたか知盛の (3)　知盛は御座近く涙を (4)　われかく深手を負うたれば	67451 (№34610) 67451 (№34611) 67452 (№34612) 67452 (№34613)	
(1)　権太郎面を上げい (2)　えぐりかくるも心は涙 (3)　ふむその根性でなんでまた (4)　災いも三年と	15259-A (〃) 15259-B (〃) 15260-A (〃) 15260-B (〃)	
(1)　聞き及んだいがみの権太という (2)　もしほうびの金を忘れちゃ (3)　手負いは顔をうちながめ	13134-A (1882) 13134-B (1883) 13135-A (1884)	

題番号	名	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
			川男女蔵・(お里)Ⅲ坂東竹三郎		B 62A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)XV市村羽左衛門・(お富)Ⅵ尾上梅幸・(安蔵)Ⅳ尾上松助・(多左衛門)Ⅱ尾上幸蔵・(藤八)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ　Ⅰb 紫	10—63A B 64A B 65A B 66A B 67A B 68A B 69A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)XV市村羽左衛門・(お富)XII片岡仁左衛門・(安蔵)Ⅵ大谷友右衛門・(多左衛門)Ⅷ沢村訥子・(藤八)Ⅱ市川荒次郎 (陰)　Ⅲ杵屋栄蔵社中	ヒク　Ⅶa 赤	10—70A B 71A B 72A B 73A B 74A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)XV市村羽左衛門・(お富)Ⅵ尾上梅幸・(安蔵)XIII守田勘弥	ポリ　Ⅰa 赤	10—75A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)XV市村羽左衛門・(お富)Ⅵ尾上梅幸・(安蔵)Ⅳ尾上松助	コロ　Ⅹa 青	10—76A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)XV市村羽左衛門・(お富)Ⅵ尾上梅幸・(安蔵)Ⅳ尾上松助	ニポ　Ⅰb 紫	10—77A B
89		与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)Ⅶ松本幸四郎・(お富)Ⅵ尾上梅幸・(安蔵)Ⅳ尾上松助	トキ　Ⅰa 黒	10—78A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(4)　母は悲しく手負いに取り付き	13135-B (1885)	
(5)　力み返って弥左衛門＊	13136-A (1886)	
(6)　さもそうずさもありなん	13136-B (1887)	
(1)　へえええどうかああごゆっくりと	8914(4651)	
(2)　おう与三えてめえに話をした	8914(4569)	
(3)　今夜はねあいにくうちのだんなも	8915(4570)	
(4)　ええそれじゃあわしがそのわらじ銭	8915(4571)	
(5)　ええありがとうございますおい	8916(4572)	≡10—77A
(6)　ええ御新造さんえおかみさんえ	8916(4573)	≡　　B
(7)　まだ木更津にいたころにゃあ	8917(4574)	
(8)　ええちげえねえちげえねえ	8917(4575)	
(9)　なにめんぼくないことはない	8918(4576)	
(10)　へえええわっちはお富の兄で	8918(4577)	
(11)　大きにお待ち遠様でございました	8919(4578)	
(12)　まあなんでもいいからなそりゃ	8919(4579)	
(13)　おう与三えおらもうぐっちょりに	8920(4580)	
(14)　欲張るわけじゃねえがなあ	8920(4581)	
(1)　さあ藤八つぁんまあどうぞ	5885(J-2054)	
(2)　ええおっしゃるとおり参られた	5885(J-2055)	
(3)　ええどうかまあ一つおねげえ	5886(J-2056)	
(4)　おっおっおっ安てめえそれで	5886(J-2057)	
(5)　しがねえ恋の情けがあだ	5887(J-2058)	
(6)　こうこう気休めもてえげえに	5887(J-2059)	
(7)　なるほどこの女の身寄りと	5888(J-2060)	
(8)　てめえ安じゃあねえかい	5888(J-2061)	
(9)　よおい与三それじゃどうしても	5889(J-2062)	
(10)　おお安おらあなんにも忘れた物あ	5889(J-2063)	
(1)　おうお兄いえどうだいえ	5044-A (3715BF)	
(2)　しがねえ恋の情けがあだ	5044-B (3717BF)	
(1)　おい兄いどうだいええ	35023-A (50001A, 14820)	カビ
(2)　しがねえ恋の情けがあだ	35023-B (50001B, 14821)	
(＊)　……		
(5)　ええありがとうございますおい	8916(4572)	≡10—65A
(6)　ええ御新造さんえおかみさんえ	8916(4573)	≡　　B
(＊)　……		
(1)　ええもし御新造さんえ＊	331(〃)	
(2)　しがねえ恋の情けがあだ	332(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
90	**若木仇名草** 若木屋二階座敷の場	(蘭蝶)XIII守田勘弥・(此糸)初瀬浪子・(若糸)村田美弥子 (歌) VII富士松加賀太夫 (三) 富士松富士三郎	ニポ Ib 赤	10—79A B 80A B
90	**若木仇名草** 若木屋此糸部屋の場	(お宮)村田嘉久子・(此糸)初瀬浪子 (歌) VII富士松加賀太夫	ニポ Ic 赤	10—81A B

陰　囃　子

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
(1)	**芝居囃子の色々**	(対話) <梅屋勝之輔>他質問者一人 (実演) (歌) <杵屋六八>(三)<小川政之助>	D.C.C. Ia 赤	10—82A 83A 82B 83B
(2)	**春の巻上　三人吉三巴白浪**	III杵屋栄蔵社中	ビク Vb 黒	10—84A
	春の巻下　伊賀越道中双六			B
	夏の巻上　伊勢音頭恋寝刃			85A
	夏の巻下　まつり			B
	秋の巻上　島衛月白浪			86A
	秋の巻下　篭釣瓶花街酔醒			B
	冬の巻　鞍馬山暗闇(上)			87A
	(下)			B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　名にし負う隅田にそえし	15044-A (9400)	
(2)　あとに蘭蝶不審顔	15044-B (?)	
(3)　四谷で初めて会うたとき	15045-A (9402)	
(4)　ああもし」引きとむそでを	15045-B (9403)	
(*)　……		
(7)　蘭蝶殿に身を立てさせ	15878-A (9398)	
(8)　ようようと心を定め	15878-B (9399)	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　鞠唄(とんとんとん)・琴唄(君の香り)・大小入り合方	1373, 1733(ナシ)	題字はペン書き遠心式
(2)　大小入り合方・雀踊り	1373(ナシ)	(1)の裏は(3)
(3)　雀踊り・唄入り大太鼓入り（恋すちょう)・幽霊三重	ナシ	(2)の裏は(4)
(4)　幽霊三重・にんば・しゃぎり	1734(ナシ)	
(1)　ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・どん・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	50538-A (〃)	
(2)　駅路入り馬子唄(箱八)・山おろし・早め合方・三つ太鼓・大小入り合方・ごん・竹笛入り合方(繁蔵)・早双盤合方・つっかけ・かけり・三絃入り早笛・しゃぎり	50538-B (〃)	
(3)　波の音・只合方・唄入り四丁目(赤い物)・早禅の勤め・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)・駅路入り馬子唄(伊勢は津)・しゃぎり	50539-A (〃)	
(4)　木遣唄入り・聖天・人に立てられ唄入り・木遣くづし合方・四丁目入り合方・三絃入り屋台囃子・屋台囃子・しゃぎり	50539-B (〃)	
(5)　あほだら・新内よう・風の音・新内流し・虫の合方・虫笛・鶏笛・本神楽・新内前弾・しゃぎり	50263-A (〃)	
(6)　唄入り大小太鼓騒ぎ(送りましょかよ)・風の音・本釣鐘・凄み合方・夜番太鼓・金棒・三味線入り騒ぎ・早め合方(梅の栄前弾)・しゃぎり	50263-B (〃)	
(7)　山おろし・早禅合方・大薩摩（それ月も)・せり合方	50264-A (〃)	
(8)　こだま入り合方・唄浄瑠璃(追っかけ行かんと)・修羅囃子合方・夜神楽合方・かけり・大太鼓入り合方・	50264-B (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
(3)	歌舞伎合方集	(三) Ⅵ杵屋弥吉連中 (囃) 住田又三郎	コロ Ⅹa 黒	10—88A B
(4)	長唄芝居之囃子	Ⅵ杵屋弥三郎連中	ビク Ⅰa 黒	10—89
(5)	正月 寿曾我対面	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—90A
	二月 鳥居前忠信			B
	三月 楼門五三桐			91A
	四月 鈴ケ森			B
	五月 夜討曾我			92A
	六月 お祭佐七			B
	七月 四谷怪談（おんぼぼり）			93A
	八月 伊勢音頭			B
	九月 菊畑			94A
	十月 加賀騒動（紅葉山）			B
	十一月 暫			95A
	十二月 義士討入			B
(6)	忠臣蔵十二ケ月 大序	常磐津(歌)常磐津和歌太夫・(三)常磐津和歌吉	ニポ Ⅰa・Ⅰb 赤	10—96A
	二段目			B

詞章	音盤番号	備考
しゃぎり		
(1) 三つ太鼓・一つ鉦・お前の袖唄・おかしみ合方・大小入り合方(忠弥)・羯鼓の合方	25539-A (Ⓝ31363)	
(2) 唄入り四丁目(赤い物)・ごん・露は尾花唄・狸囃子・大太鼓入り合方(幕外六方)・浪の音・佃唄入り(吹けよ川風)	25539-B (Ⓝ31364)	
(1) 唄入り駅路(大坂離れて)・唄入り踊り地(花に遊ばば)	11359 (B11359, E381)	
(1) 管絃・壱調・対面三重・岩戸神楽・肥前節・三保神楽	142-A (1810BF)	
(2) 遠寄せ・早三つ太鼓・大太鼓入り合方(山姥)・さらし・雷序・どろどろ・大太鼓入り合方(幕外六方)	142-B (1811BF)	
(3) 大薩摩(それ緑林)・三絃入り楽・磬入り・かけり・寺鐘	224-A (1812BF)	
(4) 駅路入り馬子唄(箱八)・浪の音・早禅の勤め・一つ鉦・本釣鐘・竹笛入り合方(木の葉)・ごん・忍び三重	224-B (1813BF)	
(5) A. 牢番合方・雨の音・大薩摩(すでに建久)・かけり B. 石段合方・大小・三つ太鼓	297-A (1814BF)	
(6) 唄入り聖天(初恋の)・菖蒲浴衣合方・木遣くずし合方・三絃入り屋台囃子	297-B (1815BF)	
(7) 木魚入り合方・水の音・佃合方・薄どろどろ・寝鳥合方・大どろどろ・一つ鉦・竹笛入り合方(君は春咲く)・狸囃子・本釣鐘	398-A (1816BF)	
(8) 唄入り踊り地(伊勢に遊ばば)太鼓入り・本釣鐘・竹笛入り音頭唄入り(桜花)	398-B (1817BF)	
(9) 修羅囃子・調べ入り合方(供奴)・大小入り合方(供奴)・序の舞・恋慕合方・早舞	473-A (1818BF)	
(10) こだま入り合方・山おろし・砧・本釣鐘・木の葉落とし合方・虫の合方(謡　よもつきじ)・虫笛	473-B (1819BF)	
(11) 早神楽・時の太鼓・大薩摩(咸宮万里の)・片しゃぎり	533-A (1820BF)	
(12) 本調子早め合方・四つ太鼓・合方(チチレチリチツ)・八千代くずし合方・修羅囃子合方・大小・大小入り合方(忠弥・なぎなた)	533-B (1821BF)	
(1) 天王立・置鼓・床(かこうありといえども)	3322(〃)	
(2) 調べ・床(わき能過ぎて)・序の舞・	3323(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		清元(歌)清元喜久太夫		
	三段目	(三)清元順三郎		97A
	四段目	義太夫(歌)竹本重寿太夫 (三)野沢市造		B
	五段目	長唄(歌)Ⅲ中村兵蔵 (三)杵屋新右衛門		98A
	六段目	(囃)Ⅹ田中伝左衛門		B
	七段目			99A
	八段目			B
	九段目			100A
	十段目			B
(7)	十二ケ月			
	三月　花色廓夜賑	(歌)　Ⅲ中村兵蔵 (三)　杵屋新右衛門・Ⅺ杵屋六三郎・杵屋六一郎 (囃)　Ⅹ田中伝左衛門社中	ニポ　Ⅰb・Ⅰc 赤	10-101A
	四月　大名行列			B
	五月　菖蒲鑑誉太刀風			102A
	六月　祭札行事			B
	七月　<船遊>			103A
	八月　<大漁祝>			B
(8)	正　月　宝船	(歌)　Ⅱ吉住小三蔵・吉住小四郎 (三)　杵屋彦之助	ライ　Ⅰa 赤・橙・緑	10-104A
	二　月　梅の御殿			B
	三　月　鳥居前の桜			105A
	四　月　両国の賑い			B

詞章		音盤番号	備考
	早舞		
(3)	浄瑠璃(やどっこい桜桜と)・大拍子	3460(〃)	
(4)	床(おんから見送り)・本釣鐘・床メリ・愁三重・送り三重	3324(〃)	
(5)	雨の音・早笛・山おろし・床(あわやと見送る)・ごん・忍び三重・床と上下・風の音	3325(〃)	
(6)	床(身の誤りに)・隣柿の木唄・竹笛入り合方(忠六)・本釣鐘・風の音	3326(〃)	
(7)	唄入り踊り地(花に遊ばば)・独吟(父よ母よ)・床(あたり見回し)	3327(〃)	
(8)	山おろし・駅路・浄瑠璃(鐘がな鳴るかよ)	3463(〃)	
(9)	尺八・床(つるのすごもり)・風の音	3328(〃)	
(10)	忘れ貝唄・二人椀久合方・斎藤合方・楽三段目合方	3329(〃)	
(*)	……		
(*)	……		
(3)	唄入り通り神楽(夜桜)・唄入り太鼓騒ぎ(送りましょかよ)・本釣鐘・風の音・更けて合方・火の用心声・新内流し・按摩笛・土手の提灯唄入り跡すががき	750(〃)	
(4)	跡の立場唄入り・山おろし・大小入り行列三重・駅路入り馬子唄(箱八)	751(〃)	
(5)	時の太鼓・修羅囃子・三絃入り修羅囃子・三絃入り中の舞(本調子)	752(〃)	
(6)	唄入り聖天(筑摩祭り)・神輿太鼓・三絃入り屋台囃子・菖蒲浴衣合方・聖天・しゃぎり	753(〃)	
(7)	波の音・佃合方・竹笛入り音頭唄入り(待宵)・佃唄入り(佃佃と)	754(〃)	
(8)	波の音・浜唄(沖はなぎようて)・千鳥合方・沖の大船唄太鼓入り・浜唄(磯のなあ)	755(〃)	
(*)	……		
(1)	長き夜の・通り神楽入り合方・鞠唄(一つとや)・まごさ・三絃入り屋台囃子・ゆうべ夢見た唄入り・波乗り舟の	70530(〃)	杵屋六四郎新作
(2)	琴唄(逢う瀬うれしき)・管絃・本調子合方・只唄(伊予の井桁)・風の音・早め合方(本調子)・しゃぎり	70531(〃)	
(3)	空も弥生唄入り太鼓入り・大拍子合方・早大拍子・初恋の唄入り双盤大拍子・早双盤	70532(〃)	
(4)	深く契りし唄入り・題目太鼓・三絃入り弩弓・早め合方(三下り)・米山唄入り・角力太鼓・三絃入り辻打	70533(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	五月　菖蒲の間			106A
	六月　神田祭礼			B
	七月　船戦			107A
	八月　夜の廓			B
	九月　菊見の宴　其一			108A
	其二			B
	十月　山中の暗闘其一			109A
	其二			B
	十一月　雨夜の鐘			110A
	十二月　雪の一夜			B
(9)	宮嶋だんまり	(歌)　芳村伊久四郎・松島庄三九 (三)　杵屋栄八郎・杵屋栄美三郎 (囃)　六郷吉兵衛社中	ニト　Ⅳa 赤	10-111A B
	御所五郎蔵(格子先)			112A
	三人吉三（大川端庚申堂）			B
10	十二ケ月 秋の巻	市村座附長唄囃子連中	オリ　Ⅶa 紫	10-113A
	冬の巻			B
(11)	しゃぎり	?	デンオン　Ⅰa 青	10-114

詞章		音盤番号	備考
(5)	調べ・本調子合方・早舞(謡：山河草木)・八千代恋慕合方	70534(〃)	
(6)	唄入り聖天(人に立てられ)・木遣くずし合方・只合方・四丁目入り合方	70535(〃)	
(7)	波の音・浜唄(磯のなあ)・千鳥合方・ほら貝・大小入り合方(修羅囃子)・三絃入りつっかけ・かけり	70536(〃)	
(8)	太鼓入り流行唄(いやと)・太鼓入り踊り地・一人椀久唄入り(じたいわれら)・大小太鼓騒ぎ・波の音・更けて合方・ごん・新内流し・風の音・あれ又唄	70537(〃)	
(9)	修羅囃子・調べ入り合方・序の舞合方・琴唄(夢は巫山)・獅子とら唄入り	70538(〃)	
(10)	二番目しゃぎり	70543(〃)	
(11)	山おろし・大薩摩(それ全山)・大太鼓入りせり合方	70539(〃)	
(12)	山おろし・こだま合方(忍車)・双盤入り竹笛入り合方(繁蔵)・三絃入り大べし夜神楽・かけり	70540(〃)	
(13)	四つ竹唄入り(東上総)キン入り・木魚入り合方・風の音・一つ鉦入りお前の袖唄・雨の音	70541(〃)	
(14)	三絃入り禅の勤め・雪おろし・村でなあ唄・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)一つ鉦入り・三絃入り早禅	70542(〃)	
(1)	浜唄(沖はなぎようて)・浪の音・大薩摩(それ咸宮万里の)・せり合方	4051-A(〃)	
(2)	本釣鐘・こだま入り合方・浪の音・唄浄瑠璃上げ(群れ立つ羽音)・三絃入り大べし夜神楽・かけり・唄入り大太鼓入り(様に会う夜)・しゃぎり	4051-B(〃)	
(1)	風の音・本釣鐘・竹笛入り待宵唄・八千代獅子合方・大小・竹笛	4147-A(〃)	
(1)	ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	4147-B(〃)	
(*)	……		
(3)	どろどろ・寝鳥入り合方一つ鉦入り・三絃入り屋台囃子・唄入り聖天(井出の山吹)	60185-A (61009)	
(4)	一声・山おろし・ごん・竹笛入り合方(だんまり)こだま砧入り・唄入り角兵衛(冬は木母)・しゃぎり	60185-B (61010)	
(1)		1480(ナシ)	題字はペン書き遠心式

題名番号	題　名	奏　演　者	題　紙	整理番号
1	**己が罪** A．房州根本浜の場① B．房州根本浜の場②	(作兵衛)木下録三郎・(環)久保田清・(隆弘)朝霧実　〔陰囃子入〕	オリ　Ⅵa 黒	10-121A B 122A B
2	**婦系図** 湯島天神社の場	(お蔦)喜多村緑郎・(主税)伊志井寛・(万吉)Ⅰ村田正雄・(声色屋)雪岡光次郎・西脇滋 (歌)　清元延春寿 (三)　清元延光枝 (陰)　Ⅲ中村兵蔵社中	コロ　Ⅻb 紫	10-123A B 124A B 125A B 126A B 127A B 128A B
3	**仮名屋小梅** A．うた島の場 B．酔月の場	(小梅)河合武雄・(一重)喜多村緑郎・(兼吉・千助)松本要次郎 (三)　春日とよ晴 〔陰囃子入〕	キング　Ⅰa 赤	17-151A B 152A B
3	**仮名屋小梅** 浜町河岸の場	(小梅)河合武雄・(兼吉)河合明石　〔陰囃子入〕	トキ　Ⅰa 黒	10-129A B
4	**酒中日記** 大河内の場	(大河)井上正夫・(お政)英太郎・(三輪)児島三郎	ニポ　Ⅰb 赤	10-130A B
5	**塵境** A．水車小屋の場① B．水車小屋の場②	(お松)花柳章太郎・(仙吉)梅島昇・(六造)藤村秀夫　〔洋楽入〕	ニポ　Ⅰc 赤	10-131A B 132A B
6	**大尉の娘** A．慎蔵内の場① B．慎蔵内の場②	(露子)花柳章太郎・(慎蔵)藤村秀夫	ニポ　Ⅰb 赤	10-133A B 134A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) A．おとうちゃんおかあちゃん (2) 御前様奥様玉坊はかわいそうな (3) B．ああ奥様」おお玉坊さん (4) そんなに親切に言ってくれると	2496-A (〃) 2496-B (〃) 2497-A (〃) 2497-B (〃)	
(1) さえ返る春の寒さに (2) 人目を」いい声ね」忍び (3) だってさついぞいっしょに (4) おいおい外の事とは違う (5) ちょうど十二の夏だった (6) 人間ってえやつはなあ (7) あらまたふさいてるのね (8) あたしねえこんな事言うと (9) ですから死ねと言ってくだはい (10) 死んでもかまわんとおっしゃった (11) そしておまえはこれからどうして (12) これが頼みと手を取りて	B 81 (M210856) B 81 (M210857) B 82 (M210858) B 82 (M210859) B 83 (M210860) B 83 (M210861) B 84 (M210862) B 84 (M210863) B 85 (M210864) B 85 (M210865) B 86 (M210866) B 86 (M210867)	原作　泉鏡花
(1) A．あねえさんいけやせん (2) あぶないあぶない小梅さん (3) B．おっお梅何しに帰って来た (4) 何を言やがるおまえの意地も	G-22002 (G 5) G-22002, G-6 (6) G-22003, G-7 (7) G-22003 (G 8)	30cm 原作伊原青々園 脚色真山青果
(1) 淡路島通う千鳥恋のつじうら (2) ？　だれです」おい兼吉	1915 (〃) 1916 (〃)	キズ
(1) あなた」あおまえちょうどいい (2) 奥さん一体どうしたんです	15188-A (〃) 15188-B (〃)	キズ
(1) (序) A．だな様おらあだんな様に＊ (2) さあ婚礼済んだぞうむ花婿どん＊ (3) B．朝は悲しやあの水車＊ (4) さあみんなこっちへはいれ＊	15421-A (11548) 15421-B (11549) 15422-A (11550) 15422-B (11551)	作　小山内薫
(1) A．ねえおとう様」あ」あのう＊ (2) B．露子露子眠っておるのか (3) 本当ですかおとう様 (4) ねえおとう様いいでしょう	15046-A (10137) 15046-B (10138) 15047-A (〃) 15047-B (10140)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	**通夜物語** 根津権現社の場	(清)山崎長之輔・(丁山)河原市松・(鉄三)木下録三郎 〔陰囃子入〕	ニポ Ⅰa 赤	10-135A B 136A B
8	**流るる星**	山崎長之輔・河原市松・木下録三郎 〔陰囃子入〕	ニポ Ⅰa 赤	10-137A B
9	**生さぬ仲** 目黒火の番小屋の場	(渥美)井上正夫・(まさ子)英太郎	ニポ Ⅰc 赤	10-138A B
10	**春の潮** 神楽堂の場	(秀夫)山崎長之輔・(お葉)河原市松・(お光)木下録三郎 〔陰囃子入〕	ニポ Ⅰa 赤	10-139A B
11	**二筋道** A. 髪結内の場 B. そば屋の場	(おすが)河合武雄・(おきよ)喜多村緑郎 (歌) 春日とよ喜 (三) 春日とよ晴 〔陰囃子入〕	キング Ⅰa 赤	17-153A B 154A B
12	**不如帰** 逗子浜の場	秋月桂太郎一座 〔陰囃子入〕	オリ Ⅲa 灰	10-140A B
12	**不如帰** 逗子浜の場	(浪子)花柳章太郎・(武男)藤村秀夫・(お幾)石川幸三郎 〔陰囃子入〕	ニポ Ⅰb 赤	10-141A B 142A B
13	**名人長次** A. 清兵衛内の場① B. 長次内の場 C. 清兵衛内の場②	新生新派 <(長次)花柳章太郎・(清兵衛)大矢市次郎・(お島)森赫子・(兼松)伊志井寛・(幸兵衛)柳永二郎・(お柳)喜多村緑郎> 〔陰囃子入〕	ニツチク Ⅰa 青	17-155A B 156A B 157A B 158A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) なべ焼きうどん」おおびっくりした (2) 道が悪いからおまえ (3) おとっつぁんもう堪忍して (4) 清さんだっておまえみたいな	824(〃) 825(〃) 826(〃) 827(〃)	
(1) 書生さんこの易で見るとね (2) ○○○なんでそんな顔をするんだ	830(〃) 831(〃)	
(1) おとう様ではわたしは夫の (2) ああもし父をどうなされます	15367-A (10573) 15367-B (10574)	キズ
(1) ああ寒いちょいとおみっつぁん (2) あなたがお医者にならなきゃあ	828(〃) 829(〃)	
(1) A. 道は二筋ふたりの心 (2) B. ねえおきよさんおまえさんね (3) いえね芸者が悪いって理屈は (4) だからさおまえさんが本当に	G-12002(G1) G-12002(G2) G-12003(G3) G-12003(G4)	30cm 作　瀬戸英一
(1) あなた大そういい月ですわね (2) 若様どうもお待たせをいたしました	B 964(〃) B 965(〃)	
(1) まあだんな様今夜は (2) 早いもんさすぐ銀婚式に (3) あなたまた合奏が始まってよ (4) 本当うれしいわあたし	10143(〃) 10144(〃) 10145(〃) 10146(〃)	
(1) A. おとっつぁん何をするんだよ (2) で何かこの金を持って来たのは (3) B. もうけえって来るだろうと (4) 兼今けえったぞ兼」お帰んなさい (5) さこのお金はさっき両国の親方が (6) おかみさんあなた泣いて泣いて (7) ねえおかみさん仏壇の仕事が (8) C. ええうるせえしゃみせんなんか	155586, H501 (M55586) 255587. H501 (M55587) 155588, H502 (M55588) 255589, H502 (M55589) 155590, H503 (M55590) 255591, H503 (M55591) 155592, H504 (M55592) 255593, H504 (M55593)	30cm 作　川口松太郎 カビ

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
				159A B

16 新　劇

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	**秀吉と淀君**	(秀吉)東儀鉄笛・(淀君)河村菊枝	トキ　Ⅰa 赤	10-151A B
2	**マ　ツ**	(ガンゾオ)藤村秀夫・(トナアミイ)三好栄子・(マツオオ)Ⅲ阪東寿三郎・(チイヨオ)石河薫・(ゲンバ)山口俊雄 〔洋楽入〕	コロ　Ⅹa 黒	10-152A B 153A B

18 大 衆 劇

181 軽 演 劇

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	**愛の終点**	(秋山)曾我廼家五郎・(小谷)曾我廼家蝶六 〔陰囃子入〕	コロ　Ⅹa 黒	10-161A B 162A B
2	**吾妻草紙** A. 両国船宿の場 B. 徳兵衛内の場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニポ　Ⅰb 赤	10-163A B 164A B
3	**アラビヤ夜話** 赤太郎内の場	(赤太郎)Ⅰ実川延二郎	ニポ　Ⅰa 赤	9—299B
4	**欧洲みやげ**	曾我廼家五郎一座	オリ　Ⅲb 灰	10-165A B
5	**啞の旅行** A. 神戸港の場 B. ロンドン街頭の場	A. (大野)Ⅰ沢村宗之助・(繁勇)村田嘉久子・(お花)藤間房子・(事務長)森	トキ　Ⅰa 紫	10-166A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(9)　なあ親方両国の清兵衛と言やあ (10)　親方親方は知ってるはずだ	155594, H505 (M55594) 255595, H505 (M55595)	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　？　」でもきのうは＊ (2)　それからこうじゃ流すちの輪の	171(〃) 172(〃)	作　松居松葉
(1)　えろはにほはとえろはにほはと (2)　さあガンゾオわしのこの眼の前で (3)　新入生の母親でございます (4)　おおわたしはつれない松の木	25771-A (№40248) 25771-B (№40249) 25772-A (№40250) 25772-B (№40251)	原作タケダ・イヅモ 翻案エム・シー・マアカス 脚色田中総一郎

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　おいおいおいおいそこへ行くのは (2)　おいおいおいおいきりんカフエの (3)　秋山ただ今」小谷君お帰り (4)　さあこっちへはいれ」まああんた	26654-A (№41508) 26654-B (№41509) 26655-A (№41510) 26655-B (№41511)	作　一堺漁人
(1)　A．徳兵衛さんこれからは (2)　徳兵衛さん命にかけてわたしゃ (3)　B．おおおとっつぁんこれに (4)　おやっさんおやっさんあんた	5717(〃) 5718(〃) 5719(〃) 5720(〃)	
(1)　困ったねえぼくだって心配	195(〃)	
(1)　ねえ諸君今晩の六時三十分に (2)　おいおいおいどうするんだよ	A 922(〃) A 923(〃)	
(1)　A．ああびっくりした」大野はん (2)　B．パイパアエキストラスペシャル	63(〃) 64(〃)	作　太郎冠者

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
		律子・(事務員)河村菊枝・(豆奴)水野早苗 (陰)　Ⅹ田中伝左衛門社中 B．(巡査)Ⅶ松本幸四郎・(双田)Ⅳ尾上松助・(新聞売)松本銀杏		
6	乙　女　心	曾我廼家五郎・十郎 〔陰囃子入〕	オリ黒　Ⅰa	10-167A
7	京　人　形	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ黒　Ⅴb	10-168A B 169A B
8	喧嘩友達	(亀吉)曾我廼家五九郎・(勝太郎)曾我廼家一奴・(おつね)木村光子・(お袖)武智桜子　〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ紫　Ⅶa	10-170A B 171A B
9	木枯らし	(泥棒)曾我廼家五郎・(蒲原)曾我廼家蝶六	ニポ赤　Ⅲa	10-172A B
10	心の脱線 A．日新亭前の場 B．栗岡部屋の場	(矢野)曾我廼家五郎・(栗岡)蝶六・(お静)大磯・蝶七・致雄　〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニト赤　Ⅰa	10-173A B 174A B
11	堺の富蔵	曾我廼家五郎・十郎 〔陰囃子入〕	オリ黒　Ⅰa	10-167B
12	震災の五郎 A．刹那の巻 B．食糧の巻 C．脱出の巻	曾我廼家五郎	オリ黒　Ⅵa	10-175A B 176A B
13	短慮の刃 A．浅草寺の場 B．江戸城堀の場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕	ニト赤　Ⅰa	10-177A B
14	茶　音　頭 A．須磨の浦磯馴茶屋の場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ黒　Ⅵa	10-178A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　　？	A 337 (337)	
(1)　今そこへ行てごあいさつを (2)　やあ松の位の太夫職が (3)　　？ (4)　さあ人形見て置けこれ人形よ	1957-A (〃) 1957-B (〃) 1958-A (〃) 1958-B (〃)	
(1)　ああああまたけんかを始めたよ (2)　おまえさん隣のだれもいない処へ＊ (3)　ただ今おとっつぁんまた (4)　おいおつねどうしたんだい	60179-A (60856) 60179-B (60857) 60180-A (60858) 60180-B (60859)	
(1)　おおおおお裏口が明いていたので (2)　おお今表へ止まった自動車は	17212-A (NE31313) 17212-B (NE31314)	(2)キズ
(1)　A．おいおいおいおい栗岡君今の (2)　矢野はんあんたまだいになはり (3)　B．やあおつたさん二階から失礼 (4)　やいおのれ」何さらすのや	456-A (〃) 456-B (〃) 457-A (〃) 457-B (〃)	(3)キズ
(1)　世間を知らぬ悲しさに	A 338 (338)	
(1)　A．ああ地震だ地震だ地震だ (2)　B．おおおおよくわかったね (3)　ああ夜が明けたねきょうは (4)　C．なに東京駅へ汽車開通の	2645-A (〃) 2645-B (〃) 2646-A (1602) 2646-B (〃)	
(1)　A．杉森殿しばらくしばらく (2)　B．箕浦殿ただ今御下城で	529-A (〃) 529-B (〃)	
(1)　A．おう喜六さんとうとう寝て (2)　おう喜六さんお目ざめかいな	2001-A (〃) 2001-B (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
	B．相模屋の場			179A B 180A B
15	**茶屋違い** A．八代駅の場 B．松井内奥座敷の場	(中井)志賀廼家淡海・(駅長)伊吹・(改札係)美賀美・(松井)白石・(家令)浪緑・(古城)曾我廼家十太郎・(女中)中村綾子 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ Ⅵb 黒	10-181A B 182A B
16	**日本橋** A．日本橋の場① B．日本橋の場②	(清水)曾我廼家五郎 (山野)曾我廼家蝶六 〔陰囃子入〕	オリ Ⅰa 黒	10-183A B
17	**旗行列の歌** A．清水寺の場 B．山岡内の場	曾我廼家五郎・蝶六・大磯・秀蝶一座〔陰囃子入〕 〔柝入〕	コロ Ⅹa 黒	10-184A B 185A B
18	**晩餐会**	曾我廼家五九郎一座 〔洋楽入〕	リガ Ⅱa 黒	10-186A B
19	**百行の基** A．浅間温泉の場 B．西川会社焼跡の場	(西川)曾我廼家五郎・大磯・蝶六・十童・笑将・五楽・三郎・小次郎・致雄〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニト Ⅰa 赤	10-187A B 188A B
20	**良心**	曾我廼家五郎一座	オリ Ⅴb 黒	10-189A B 190A B
21	**若き日の影**	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕	ニト Ⅰa 赤	10-191A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(3)　B．これ座頭さんあすこに見えて (4)　ええもう表のお客様まで忘れて (5)　さあさあさ座頭さん (6)　里は都のひつじさる」だれじゃ	2002-A(〃) 2002-B(〃) 2003-A(〃) 2003-B(〃)	
(1)　A．八代」八代」もしもしもし (2)　B．無礼者どこへ行くか」へい (3)　おおた退屈でどもならんな (4)　まあおじょうずでございますこと	3994-A(〃) 3994-B(〃) 3995-A(〃) 3995-B(〃)	
(1)　A．清水さん」え」こんな残念な (2)　B．まちがいましたら御免	A381(〃) A382(〃)	
(1)　A．やいおのれどうぞ一文と＊ (2)　あなたまことに失礼でございますが (3)　B．どうも皆さん御心配を (4)　林さんお手かずついでに	25489-A(№31305) 25489-B(№31306) 25490-A(№31307) 25490-B(№31308)	
(1)　ときに野々山夫婦はどうした＊ (2)　ええ畜生そんなやつだ＊	65749-A(73024) 65749-B(73025)	作　津村京村
(1)　A．おい宿屋の番頭さん」へえ (2)　どうだいあの順礼を買って (3)　B．おいだれかおらんか帰ったぞ (4)　おおおお有松君か」おお西川	454-A(〃) 454-B(〃) 455-A(〃) 455-B(〃)	
(1)　だれですどなたですか (2)　おいおいおい奥様変な事を (3)　全くそうだわねえあかの他人の (4)　おい今帰ったおい」ああだんな様	1959-A(〃) 1959-B(〃) 1960-A(〃) 1960-B(〃)	
(1)　おかあさんこんにちは」おおおお (2)　まあ改まったなんじゃいな	612-A(〃) 612-B(〃)	(1)キズ

182 剣　　劇

題番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	**会津の小鉄**	(小鉄)山口俊雄・(長次郎・佐七)吉田正雄・(お高)三好栄子・(黒川)中田正造・(又五郎)小笠原茂夫外新声劇一座〔陰囃子入〕〔柝入〕	オリ Ⅵa 赤	10-201A B 202A B
2	**清水治郎長** 治郎長内の場	(治郎長)栗島狭衣・(おつね)葛城文子・磯川元春・川部五朗〔陰囃子入〕	オリ Ⅵb 赤	10-203A B

183 中間演劇

題番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	**国定忠治** 赤城天神山の場	(忠治)沢田正二郎・(浅太郎)田中介二・(定八)金井謹之助・(惣次)中井哲・(円蔵)野村清一郎・(巌鉄)小倉健男	ニト Ⅰa 赤	10-211A B 212A B
1	**国定忠治** A. 赤城天神山の場 B. 山形屋の場	新国劇幹部連〔陰囃子入〕	オリ Ⅶa 紫	10-213A B 214A B
1	**国定忠治** 山形屋の場	沢田正二郎一座〔陰囃子入〕	ニト Ⅳc 赤	10-215A B 216A B
1	**国定忠治** 山形屋の場	沢田正二郎一座〔陰囃子入〕	ニト Ⅳc 赤	10-217A B 218A B
2	**白野弁十郎** 金光院の場	(白野)沢田正二郎・(村瀬)中井哲・(雷蔵)南吉太郎・(千種)久松喜世子・(浄栄)二葉早苗 (陰)　音羽幸太郎社中	ビク Ⅴb 黒	10-219A B 220A B 221A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) おいおい小鉄待て待て (2) それでねえ小鉄さん」なんだい (3) ばかにするねえ山賊ふぜいに (4) 黙れ柏屋長次郎ならびに	3407-A (〃) 3407-B (〃) 3408-A (〃) 3408-B (〃)	
(1) あの安五郎の親分様お客様で (2) ほらよさ銭を持って行きな	2943-A (〃) 2943-B (〃)	

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) ああ夜露のせいか急にひんやり (2) 川田屋のとっつぁん年をとり (3) 忠治どん何を隠そう (4) 円蔵どんだね」さようで	821-A (〃) 821-B (〃) 822-A (〃) 822-B (〃)	
(1) A. 親分日光の円蔵兄い今まで (2) B. ああこれはまっぴら御免 (3) はあそうしてやりゃこの喜右衛門 (4) おれの名めえを手のひらに書き	60284-A (61219) 60284-B (61220) 60285-A (61221) 60285-B (61222)	
(1) あああ景気のいいのは (2) おめっちのような土っぽじりに (3) はあそうしてやりゃはあこの (4) おれの名めえを手のひらに書き	59098-A (リ89) 59098-B (リ90) 59099-A (91) 59099-B (リ92)	名優追憶盤〔10—217〕の前編
(1) ああこれで一ついやなこたあ (2) なあ藤蔵」え」おめえも商売なら (3) ですがお貸し元それじゃあ (4) おうわけえ衆客人が呼んでるんだ	59100-A (10) 59100-B (カ11) 59101-A (カ12) 59101-B (カ13)	名優追憶盤〔10—215〕の続編
(1) おお村瀬様大変でございます (2) ああ秋の落ち葉か」あの柔らかい (3) ほんにわたくし共はお互いに (4) 何もかもみんなあなたで (5) 雷蔵そんなに泣くなよおい (6) あいいいい月だおい村瀬	50345-A (〃) 50345-B (〃) 50346-A (〃) 50346-B (〃) 50347-A (〃) 50347-B (〃)	原作エドモン・ロスタン 訳　楠山正雄 補綴額田六福

題名番号	題　　名	奏　　演　　者	題　　紙	整理番号
3	**城山の月** 可愛ヶ岳の場	沢田正二郎一座	ニト　Ⅰa 黒	10-222A B
3	**城山の月** 城山洞窟の場	沢田正二郎一座	ニト　Ⅰa 黒	10-223A B
4	**大菩薩峠** 竜之助内の場	沢田正二郎一座	ニト　Ⅰa 黒	10-224A B 225A B 226A B 227A B
4	**大菩薩峠** 庵原村寺の場	沢田正二郎一座	ニト　Ⅰa 黒	10-228A B 229A B
5	**月形半平太** A．嬉し野門外の場 B．井筒屋の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト　Ⅰa 黒	10-230A B 231A B 232A B
6	**富岡先生** A．富岡内の場 B．裏山の場	(富岡)沢田正二郎・(お種)久松喜世子・(細川)野村清一郎・(倉蔵)根岸若之助・(お梅)二葉早苗・(関沢)佐藤一郎・(宇源次)南吉太郎 (陰)　新国劇音調部員	ビク　Ⅴb 黒	10-233A B 234A B
7	**箕輪の心中** お時内の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト　Ⅰa 黒	10-235A B 236A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1)　○○○○○おはんも死なんか (2)　わかりもしたもうこうなったら	1080-A(〃) 1080-B(〃)	
(1)　おおいい月でごわすの今夜は (2)　承知不承知を言う前にわしゃ	1081-A(〃) 1081-B(〃)	
(1)　豆腐なま揚げがんもどき豆腐 (2)　尺八が聞こえているな (3)　あなたその兵馬がおまえ様を (4)　ええなりますともままになるなら (5)　ええあのころの事をよく考えて (6)　ときに吉田殿貴殿宇津木兵馬と (7)　今のねずみは仏壇の中へ (8)　どうしてそんなできる義理では	458-A(〃) 458-B(〃) 459-A(〃) 459-B(〃) 460-A(〃) 460-B(〃) 461-A(〃) 461-B(〃)	
(1)　机様たいそうお待ち申しました (2)　拙者ゆえにとんだ迷惑をかけて (3)　ふぐたい天の兄のかたき (4)　おおおまえは七兵衛さん	462-A(〃) 462-B(〃) 463-A(〃) 463-B(〃)	
(1)　A．さあ○よ○○しをぬけて (2)　もうお帰りでございますか (3)　B．ちょうど良い所で会ったな (4)　わしにとってはこの上もない (5)　受けてください」ついでください (6)　はかなかった恋の忘れがたみ	891-A(〃) 891-B(〃) 892-A(〃) 892-B(〃) 893-A(〃) 893-B(〃)	(4)キズ
(1)　A．お嬢様」ええ」だんな様も (2)　きさまわしの娘をねらっとるな (3)　おとうさん」梅」はあ」志は (4)　B．先生先生」おとうさん	50360-A(〃) 50360-B(〃) 50361-A(〃) 50361-B(〃)	
(1)　(陰)おおおいつの間にやら日が (2)　もしさっきのふみを見て (3)　おもしろいと言えばいつもは (4)　ふたりのためには結ぶの神の	537-A(〃) 537-B(〃) 538-A(〃) 538-B(〃)	

189　博多ニワカ

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	**先祖の抵当**	(金兵衛)印野久次郎・(良助)博多玄海・(良助女房)浜田虎三　〔析入〕	タイ　Ⅰa 赤	10-241A B

19　脚本朗読

題名番号	題　　名	奏　演　者	題　　紙	整理番号
1	**ハムレット** 王城広間の場	(朗読)　坪内逍遙	コロ　Ⅸc 青	10-251A B 252A B
2	**沓手鳥孤城落月** A．大阪城奥殿の場 B．石垣外の場 C．桜門外の場	(朗読)　坪内逍遙	ポリ　Ⅰa 赤	10-253A B 254A B 255A B 256A B 257A B 258A B 259A B

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) 良助さんおんなるな」おおなんごと (2) そこで物は相談じゃがなあ	56596-A (16282) 56596-B (16283)	作　浜田虎三

詞　　章	音盤番号	備　　考
(1) ハムレット第三幕第一場 (2) 世にある世にあらぬそれが (3) 御前おかたみの賜わり物をば (4) ああ神神様お正気にもどして	35389-A (M38135) 35389-B (M38136) 35390-A (M38137) 35390-B (M38138)	
(1) A．ほととぎす孤城の落月 (2) 小車今も今とてその事 (3) この内常盤木懐刀を抜き (4) なんじゃすがれすがれとは (5) 饗庭局このとき顔を上げて (6) 淀の方かっとなって淀君 (7) 正栄尼見かねて正栄尼 (8) この途端大野修理亮＊ (9) B．ほととぎす孤城の落月 (10) C．第二場本丸桜門前 (11) 市の正市の正いかに老病とは (12) 市の正じゅじゅ十兵衛 (13) 出雲守すりゃいよいよ (14) と大御所うなずき馬をとどめる	7501-A (3915BF) 7501-B (3916BF) 7502-A (3917BF) 7502-B (3919BF) 7503-A (3920BF) 7503-B (3921BF) 7504-A (3922BF) 7504-B (3923BF) 7505-A (3924BF) 7505-B (3925BF) 7506-A (3926BF) 7506-B (3927BF) 7507-A (3928BF) 7507-B (3929BF)	作　坪内逍遙

題名場名表(演劇)

11 能

題名番号	題名	表音	題名略号	別名
1	嵐山	アラシヤマ	嵐山	
2	蟻通	アリドオシ	蟻通	
3	杜若	カキツバタ	杜若	
4	加茂	カモ	加茂	賀茂
5	鞍馬天狗	クラマテング	鞍馬	
6	小督	コゴオ	小督	
7	胡蝶	コチョオ	胡蝶	
8	桜川	サクラガワ	桜川	
9	隅田川	スミダガワ	隅田	角田川
10	殺生石	セッショオセキ	殺生	
11	高砂	タカサゴ	高砂	
12	竹生島	チクブシマ	竹生	
13	忠霊	チュウレイ	忠霊	
14	鶴亀	ツルカメ	鶴亀	月宮殿
15	天鼓	テンコ	天鼓	
16	融	トオル	融	
17	難波	ナニワ	難波	
18	羽衣	ハゴロモ	羽衣	
19	鉢木	ハチノキ	鉢木	
20	花筐	ハナガタミ	花筐	花形見
21	船弁慶	フナベンケイ	船弁	
22	松風	マツカゼ	松風	
23	松虫	マツムシ	松虫	
24	三井寺	ミイデラ	三井	
25	紅葉狩	モミジガリ	紅葉	

題名番号	題名	表音	題名略号	別名
26	山姥	ヤマンバ	山姥	
27	熊野	ユヤ	熊野	湯谷
28	弱法師	ヨロボシ	弱法	

12 狂言

題名番号	題名	表音	題名略号	別名
1	靱猿	ウツボザル	靱猿	
2	柿山伏	カキヤマブシ	柿山	
3	不聞座頭	キカズザトオ	不聞	不見不聞

狂言小謡

題名番号	題名	表音	題名略号	別名
1	暁	アカツキ	暁	暁の明星・暁明星・暁の星・あか月
2	七つ子	ナナツゴ	七子	七つに成子・七ツ成子・七ツ子・北嵯峨
3	子の日	ネノヒ	子日	
4	福の神	フクノカミ	福神	

13 歌舞伎

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	青砥稿花紅彩画	アオトゾオシハナノニシキエ	青砥	浜松屋の場	浜
				稲瀬川の場	稲
2	明烏夢泡雪	アケガラスユメノアワユキ	夢泡	山名屋浦里部屋の場 (山名屋)奥庭の場	
3	赤穂義士伝	アコオギシデン	赤穂	三島藤家の場	藤
				三島本陣の場	本
4	伊賀越道中双六	イガゴエドオチュウスゴロク	伊賀	伊賀上野街道の場	
5	伊勢音頭恋寝刃	イセオンドコイノネタバ	伊勢	二見ヶ浦の場	二
				油屋の場	油
6	一谷嫩軍記	イチノタニフタバグンキ	一谷	須磨の浦の場	須
				直実陣屋の場	直
7	茨木	イバラキ	茨木		
8	妹背山婦女庭訓	イモセヤマオンナテイキン	妹背	入鹿館の場	
9	いろは仮名四十七訓	イロハガナシジュウナナモジ	四十	弥作内の場① 七太夫内の場 弥作内の場②	
10	江戸育お祭佐七	エドソダチオマツリサシチ	江戸	菊本の場 菊本裏手の場	菊
				小糸内の場 柳原土手の場	小柳
11	絵本太功記	エホンタイコオキ	絵本	さつき内の場	
12	大杯觴酒戦強者	オオサカズキシュセンノツワモノ	大杯	内藤館の場	
13	近江源氏先陣館	オオミゲンジセンジンヤカタ	近江	盛綱陣屋の場	
14	大森彦七	オオモリヒコシチ	大森	谷川の場	
15	女殺油地獄	オンナコロシアブラノジゴク	女殺	豊島屋の場	
16	鏡山錦楓葉	カガミヤマニシキノモミジバ	鏡山	鏡山の場	

題番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
17	篭釣瓶花街酔醒	カゴツルベサトノヨイザメ	篭釣	八橋部屋の場	八
				立花屋屋根の場	立
18	梶原平三誉石切	カジワラヘイゾオホマレノイシキリ	梶原	星合寺の場	
19	復讐談高田馬場	カタキウチタカタノババ	復讐	安兵衛内の場	安
				高田馬場付近の場	
				高田馬場の場	高
20	敵討襤褸錦	カタキウチツズレノニシキ	襤褸	大安寺堤の場	
21	仮名手本忠臣蔵	カナデホンチュウシングラ	仮名	鶴ケ岡八幡社の場	鶴
				足利館長廊下の場	足
				戸塚道行の場	戸
				塩冶館の場	塩
				(塩冶館)門外の場	
				山崎街道の場	山
				与市兵衛内の場	与
				一力の場	一
				東海道道行の場	東
				由良之助内の場	由
				楠屋の場	楠
				師直館の場	師
22	鐘もろとも恨鮫鞘	カネモロトモウラミノサメザヤ	鐘諸	丹波屋の場	丹
				坂町裏道の場	坂
				千日前墓所の場	千
23	神明恵和合取組	カミノメグミワゴオノトリクミ	神明	喜三郎内の場	喜
				辰五郎内の場	辰
24	勧進帳	カンジンチョオ	勧進		
25	勧善懲悪覗機関	カンゼンチョオアクノゾキガラクリ	勧善	長庵内の場	長
				赤羽根橋の場	赤
				平河天神裏門の場	平
26	鬼一法眼三略巻	キイチホオゲンサンリャクノマキ	鬼一	鬼一館の場	

題番号	題名	表音	題略号	場名	場略号
27	木曾街道膝栗毛	キソカイドオヒザクリゲ	木曾	亀屋の場	
28	吉様参由縁音信	キチサママイルユカリノオトズレ	吉様	釜屋の場	
29	俠客春雨傘	キョオカクハルサメガサ	俠客	吉原仲の町の場	
30	桐一葉	キリヒトハ	桐一	大阪城淀君部屋の場	淀
				大阪城黒書院の場	黒
31	極付幡随長兵衛	キワメツキバンズイチョオベエ	極付	水野内湯殿の場	
32	天衣紛上野初花	クモニマゴオウエノノハツハナ	天衣	松江館玄関の場	松
				入谷村の場	入
				大口屋寮の場	大
33	鞍馬山だんまり	クラマヤマダンマリ	鞍暗		
34	黒手組曲輪達引	クロデグミクルワノタテヒキ	黒手	不忍池の場	不
				吉原仲の町の場	吉
35	慶安太平記	ケイアンタイヘイキ	慶安	江戸城堀の場	
36	傾城阿波の鳴門	ケイセイアワノナルト	阿波	どんどろ大師の場	
37	恋女房染分手綱	コイニョオボオソメワケタズナ	恋女	由留木館の場	
38	恋飛脚大和往来	コイビキャクヤマトオオライ	恋飛	井筒屋表座敷の場 (井筒屋)奥座敷の場 (井筒屋)表座敷の場	
39	勾当内侍	コオトオノナイシ	勾当		
40	小袖曾我薊色縫	コソデソガアザミノイロヌイ	小袖	稲瀬川百本杭の場	稲
				白蓮内の場	白
41	寿曾我対面	コトブキソガノタイメン	寿曾		
42	西郷と豚姫	サイゴオトブタヒメ	西郷		
43	三千両黄金蔵入	サンゼンリョオコガネノクライリ	三千		
44	三人吉三廓初買	サンニンキチサクルワノハツガイ	三人	両国橋北河岸の場	
45	楼門五三桐	サンモンゴサンノキリ	楼門	南禅寺の場	
46	錣引	シコロビキ	錣引		

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
47	実録先代萩	ジツロクセンダイハギ	先代	亀千代館の場	
48	忍夜恋曲者	シノビヨルコイワクセモノ	忍夜		
49	暫	シバラク	暫		
50	島衛月白浪	シマチドリツキノシラナミ	島衛	招魂社の場	
51	十二時会稽曾我	ジュウニトキカイケイソガ	会稽	祐経仮屋の場	
52	修禅寺物語	シュゼンジモノガタリ	修禅	夜叉王内の場	
53	新皿屋舗月雨暈	シンサラヤシキツキノアマガサ	新皿	磯部内玄関の場 (磯部内)奥庭の場	
54	心中天網島	シンジュウテンノアミジマ	天網	河内屋の場	河
				紙屋の場	紙
55	水滸伝雪挑	スイコデンユキノダンマリ	水滸		
56	菅原伝授手習鑑	スガワラデンジュテナライカガミ	菅原	都大路の場	
57	鈴ケ森	スズガモリ	鈴森		
58	増補桃山譚	ゾオホモモヤマモノガタリ	増桃	伏見城奥庭の場	
59	曾我綉俠御所染	ソガモヨオタテシノゴショゾメ	俠御	五条坂仲の町の場 甲屋の場 五条坂廓の場	仲 甲 廓
60	伊達競曲輪鞘当	ダテクラベクルワノサヤアテ	曲輪		
61	壇浦兜軍記	ダンノウラカブトグンキ	壇浦	堀川御所の場	
62	忠臣いろは実記	チュウシンイロハジッキ	実記	丈左衛門内の場	
63	忠臣蔵後日建前	チュウシングラゴニチノタテマエ	後日	鳥羽駛の場	鳥
				与市兵衛内の場	与
64	土蜘	ツチグモ	土蜘		
65	土屋主税	ツチヤチカラ	土屋	土屋館の場	
66	壺坂霊験記	ツボサカレイゲンキ	壺坂	沢市内の場	
67	積恋雪関扉	ツモルコイユキノセキノト	積恋		
68	梅雨小袖昔八丈	ツユコソデムカシハチジョオ	梅雨	永代橋の場	永

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
				新三内の場	新
				閻魔堂橋の場	閻
69	東海道四谷怪談	トオカイドオヨツヤカイダン	四谷	隠亡堀の場	
70	藤十郎の恋	トオジュウロオノコイ	藤十	宗清奥座敷の場	
71	唐人塚	トオジンズカ	唐人	長崎丸山揚屋の場	
72	時今也桔梗旗揚	トキワイマキキョオノハタアゲ	時今	本能寺の場	
73	鳥辺山心中	トリベヤマシンジュウ	鳥辺	四条河原の場	
74	博多小女郎浪枕	ハカタコジョロオナミマクラ	博多	船中の場	
75	橋弁慶	ハシベンケイ	橋弁		
76	番町皿屋敷	バンチョオサラヤシキ	番町	播磨内の場	
77	一つ家	ヒトツヤ	一家		
78	双蝶々曲輪日記	フタツチョオチョクルワニッキ	双蝶	与兵衛内の場	
79	二つの櫓	フタツノヤグラ	二櫓	東の芝居楽屋の場	
80	沓手鳥孤城落月	ホトトギスコジョオノラクゲツ	沓手	大阪城糒庫の場	
81	本朝廿四孝	ホンチョオニジュウシコオ	本朝	謙信館奥庭の場	
82	宮島だんまり	ミヤジマダンマリ	宮島		
83	処女翫浮名横櫛	ムスメゴノミウキナノヨコグシ	処女	薩埵峠の場 赤間屋の場	薩 赤
84	紫被布千鳥浮織	ムラサキヒフチドリノウキオリ	紫被	松井館玄関の場	
85	伽羅先代萩	メイボクセンダイハギ	伽羅	鶴喜代館奥殿の場 (鶴喜代館奥殿)床下の場	鶴 床
				問注所の場	問
86	戻橋	モドリバシ	戻橋	戻橋の場 二条通りの場	
87	夜討曾我狩場曙	ヨウチソガカリバノアケボノ	夜討	祐経仮屋の場 松ケ崎の場 頼朝仮屋裏手の場	祐 松 裏
				頼朝仮屋の場	頼

題番号	題名	表音	題略号	場名	場略号
88	義経千本桜	ヨシツネセンボンザクラ	千本	伏見稲荷社の場	伏
				大物浦の場	大
				釣瓶酢屋の場	釣
89	与話情浮名横櫛	ヨワナサケウキナノヨコグシ	与話	多左衛門内の場	
90	若木仇名草	ワカキノアダナグサ	若木	若木屋二階座敷の場 (若木屋)此糸部屋の場	

15 新派

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	己が罪	オノガツミ	己罪	房州根本浜の場	
2	婦系図	オンナケイズ	婦系	湯島天神社の場	
3	仮名屋小梅	カナヤコウメ	仮名	うた島の場	歌
				酔月の場	酔
				浜町河岸の場	浜
4	酒中日記	シュチュウニッキ	酒中	大河内の場	
5	塵境	ジンキョオ	塵境	水車小屋の場	
6	大尉の娘	タイイノムスメ	大尉	慎蔵内の場	
7	通夜物語	ツヤモノガタリ	通夜	根津権現社の場	
8	流るる星	ナガルルホシ	流星		
9	生さぬ仲	ナサヌナカ	生仲	目黒火の番小屋の場	
10	春の潮	ハルノウシオ	春潮	神楽堂の場	
11	二筋道	フタスジミチ	二筋	髪結内の場 そば屋の場	
12	不如帰	ホトトギス	不如	逗子浜の場	
13	名人長次	メイジンチョオジ	名人	清兵衛内の場① 長次内の場 清兵衛内の場②	

16 新劇

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	秀吉と淀君	ヒデヨシトヨドギミ	秀吉		
2	マツ	マツ	マツ		

18 大衆劇

181 軽演劇

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	愛の終点	アイノシュウテン	愛終		
2	吾妻草紙	アズマソオシ	吾妻	両国船宿の場	
				徳兵衛内の場	
3	アラビヤ夜話	アラビヤヤワ	夜話	赤太郎内の場	
4	欧洲みやげ	オオシュウミヤゲ	欧州		
5	唖の旅行	オシノリョコオ	唖旅	神戸港の場	
				ロンドン街頭の場	
6	乙女心	オトメゴコロ	乙女		
7	京人形	キョオニンギョオ	京人		
8	喧嘩友達	ケンカトモダチ	喧嘩		
9	木枯らし	コガラシ	木枯		
10	心の脱線	ココロノダッセン	心脱	日新亭前の場 栗岡部屋の場	
11	堺の富蔵	サカイノトミゾオ	堺富		
12	震災の五郎	シンサイノゴロオ	震災		
13	短慮の刃	タンリョノヤイバ	短慮	浅草寺の場	
				江戸城堀の場	
14	茶音頭	チャオンド	茶音	須磨の浦磯馴茶屋の場 相模屋の場	
15	茶屋違い	チャヤチガイ	茶屋	八代駅の場 松井内奥座敷の場	
16	日本橋	ニホンバシ	日本	日本橋の場①	
				日本橋の場②	
17	旗行列の歌	ハタギョオレツノウタ	旗行	清水寺の場 山岡内の場	

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
18	晩餐会	バンサンカイ	晩餐		
19	百行の基	ヒャッコオノモト	百行	浅間温泉の場 西川会社焼跡の場	
20	良心	リョオシン	良心		
21	若き日の影	ワカキヒノカゲ	若日		

182　剣劇

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	会津の小鉄	アイズノコテツ	会津		
2	清水治郎長	シミズノジロチョオ	清水	治郎長内の場	

183　中間演劇

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	国定忠治	クニサダチュウジ	国定	赤城天神山の場	赤
				山形屋の場	山
2	白野弁十郎	シラノベンジュウロオ	白野	金光院の場	
3	城山の月	シロヤマノツキ	城山	可愛ケ岳の場	可
				城山洞窟の場	城
4	大菩薩峠	ダイボサツトオゲ	大菩	竜之助内の場	竜
				庵原村寺の場	庵
5	月形半平太	ツキガタハンペイタ	月形	嬉し野門外の場	
				井筒屋の場	
6	富岡先生	トミオカセンセイ	富岡	富岡内の場 裏山の場	
7	箕輪の心中	ミノワノシンジュウ	箕輪	お時内の場	

184　博多ニワカ

題名番号	題名	表音	題名略号	場名	場名略号
1	先祖の抵当	センゾノテイトオ	先祖		

19　脚本朗読

題名番号	題　　名	表　　音	題名略号	場　　名	場名略号
1	ハムレット	ハムレット	ハム	王城広間の場	
2	沓手鳥孤城落月	ホトトギスコジョオノラクゲツ	沓手	大阪城奥殿の場 石垣外の場 桜門外の場	

題名場名表作成要項

第1条　音盤カード記入規定（以下「規定」と略称）第11条により、当研究所の所蔵する音盤の整理に便なことを目的として、統一題名を設定する。その際、所蔵する他の資料の題名との関連性に注意を払う。

第2条　規定第12条により、独立した小演目に分割し得る演目においては、各小演目の題名を用いる。

第3条　題名の設定に当っては、題名の俗称・通称・略称を用いないが、現行題名の普及度を考慮し、必ずしも初演題名に拠らない。

第4条　題名の文字づかいは、規定第2条第1項により、当用漢字字体表による字体、またはそれに準ずる字体を用いる。

第5条　題名は、前条までの目的と注意とに従い、各種目ごとに基準を設けて決定する。

第6条　規定第14条における、本来二場以上にわたる演目においては、場の名称を題名表に添える。

第7条　場の名称は、規定第16条により、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いない。

第8条　場の名称の決定に際しては、本文を尊重し、従来の慣用には従わない。

別　表　3

（略）

奏演者代数表(歌舞伎)

凡　　例

1. 本表は、本巻目録で使用した歌舞伎の奏演者名の世代数をローマ数字で示し、襲名した年および前名・後名を付記した。
2. 奏演者名は、歌舞伎俳優とその他の奏演者とを別表にし、それぞれ芸名の五十音順に配列した。
3. 前名欄・後名欄では、姓に変更のない場合、姓を省略した。

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
Ⅲ	浅尾大吉	大正 7	友吉・関十郎	
Ⅵ	嵐吉三郎	明治 35	中村雀三郎	
Ⅱ	市川荒次郎	明治 43	Ⅱ福蔵	
Ⅱ	市川荒太郎	明治 40	保太郎・保之助	
Ⅳ	市川市蔵	明治 23	坂東豊作	
Ⅱ	市川右団治	明治 42	伊藤右之助	
Ⅸ	市川海老蔵	昭和 15	松本金太郎・Ⅸ高麗蔵	Ⅺ団十郎
Ⅲ	市川莚升	大正 4	Ⅱぼたん	
Ⅱ	市川猿之助	明治 43	Ⅰ団子	猿翁
Ⅳ	市川男女蔵	大正 6	Ⅳ男寅	Ⅲ左団次
Ⅳ	市川九蔵	明治 41	銀蔵・Ⅳ茂々太郎	Ⅷ団蔵
Ⅳ	市川紅若	明治 26	中村千代松・中村米太郎・中村源之助	
Ⅱ	市川小太夫	大正 7	蝙蝠	
Ⅷ	市川高麗蔵	明治 36	金太郎・Ⅳ染五郎	Ⅶ松本幸四郎
Ⅱ	市川左升	明治 39	左升松	
Ⅱ	市川左団次	明治 39	Ⅰぼたん・Ⅰ小米・Ⅱ莚升	
Ⅱ	市川寿猿	昭和 5	笑猿	
Ⅱ	市川松蔦	明治 45	左喜松・莚若	
Ⅳ	市川新升	大正 5	Ⅱ福之助	
Ⅵ	市川寿美蔵	明治 40	高丸・小満之助・登升	Ⅲ寿海
Ⅴ	市川染五郎	昭和 5	松本純蔵	Ⅷ松本幸四郎
Ⅰ	市川たかし	昭和 10		Ⅲ松蔦・Ⅶ門之助
Ⅰ	市川段猿	大正 9	笑猿次	
Ⅲ	市川段四郎	昭和 5	Ⅱ団子	
Ⅶ	市川中車	大正 7	尾上当次郎・中山鶴五郎・Ⅶ八百蔵	

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
Ⅱ	市川箱登羅	明治 21	登美六	
Ⅷ	市川八百蔵	大正 7	松尾	Ⅷ中車
XV	市村羽左衛門	明治 36	坂東竹松・Ⅵ家橘	
Ⅶ	市村家橘	大正 14	Ⅳ竹松	XVI羽左衛門
Ⅳ	市村竹松	明治 43		Ⅶ家橘・XVI羽左衛門
Ⅵ	大谷友右衛門	大正 9	中村翫兵衛・中村玩・中村おもちゃ・中村駒助・Ⅴ中村東蔵	
Ⅱ	尾上伊三郎	明治 44	菊松	Ⅴ松助
Ⅱ	尾上卯三郎	明治 9	卯多市	
Ⅰ	尾上梅十郎	明治 44	朝蔵	
Ⅶ	尾上栄三郎	大正 9	Ⅲ丑之助	
Ⅵ	尾上菊五郎	明治 36	幸三・Ⅱ丑之助	
Ⅲ	尾上菊三郎	明治 20	登美松	
Ⅱ	尾上幸蔵	明治 4	坂東市之助	
Ⅲ	尾上多賀之丞	昭和 2	市川鬼三郎・Ⅴ市川鬼丸	
Ⅲ	尾上多見蔵	大正 7	Ⅱ坂東鶴之助・多見之助	
Ⅵ	尾上梅幸	明治 36	西川栄之助・Ⅰ栄之助・Ⅴ栄三郎	
Ⅳ	尾上松助	明治 14	松本小勘子・市村橘五郎・梅五郎	
Ⅳ	尾上紋三郎	明治 41	栄蔵・幸之助	
Ⅳ	片岡愛之助	明治 35	中村霞香	
Ⅳ	片岡市蔵	明治 42	Ⅲ亀蔵・Ⅳ十蔵	
Ⅳ	片岡我童	明治 34	東吉・Ⅱ土之助	XII仁左衛門
XII	片岡仁左衛門	昭和 11	東吉・Ⅱ土之助・Ⅳ我童	
Ⅱ	河原崎権十郎	大正 8	市川薫・Ⅱ市川権三郎	
Ⅲ	沢村源十郎	明治 40	多見吉・笑童・正太郎・喜久三	
Ⅳ	沢村源之助	明治 15	Ⅱ清子・清三郎・Ⅱ清十郎	
Ⅶ	沢村宗十郎	明治 41	Ⅳ源平・Ⅲ訥升	
Ⅰ	沢村宗之助	明治 22		
Ⅴ	沢村田之助	大正 9	Ⅲ由次郎	曙山
Ⅶ	沢村訥子	明治 15	市川千之助・中村千之助	
Ⅷ	沢村訥子	昭和 2	大助・伝次郎	
Ⅳ	沢村訥升	大正 15	Ⅴ源平	市川松莚・Ⅷ宗十郎

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
Ⅱ	実川延若	大正 4	Ⅰ延二郎	
Ⅰ	実川延二郎	明治 19		Ⅱ延若
Ⅴ	助高屋高助	大正 9	高丸	
Ⅴ	中村歌右衛門	明治 44	Ⅰ児太郎・Ⅳ福助・Ⅴ芝翫	
Ⅰ	中村歌門	明治 44	Ⅰ梅丸・Ⅱ梅之助	Ⅲ仲助
Ⅱ	中村翫右衛門	大正 9	Ⅱ梅丸・Ⅲ梅之助	
Ⅰ	中村鴈治郎	明治 11	実川鴈(雁)二郎・吉田玉太郎	
Ⅱ	中村翫助	明治 23	芝次郎	
Ⅰ	中村吉右衛門	明治 30		
Ⅱ	中村芝鶴	大正 8	Ⅱ由丸・Ⅲ歌之助	
Ⅳ	中村芝雀	明治 24	嵐笑太郎・笑太郎	Ⅲ雀右衛門
Ⅲ	中村雀右衛門	大正 6	嵐笑太郎・笑太郎・Ⅳ芝雀	
Ⅲ	中村時蔵	大正 5	Ⅱ米吉	
Ⅴ	中村福助〈成駒屋〉	大正 5	Ⅱ児太郎	
Ⅳ	中村福助〈高砂屋〉	明治 40	Ⅱ政治郎	Ⅲ梅玉
Ⅳ	中村もしほ	昭和 4	Ⅲ米吉	Ⅻ勘三郎
Ⅱ	坂東勝太郎	大正 11	かつみ	Ⅳ秀調
Ⅲ	坂東亀三郎	大正 10		Ⅶ薪水・Ⅶ彦三郎・Ⅻ市村羽左衛門
Ⅲ	坂東秀調	明治 37	市川升次郎・Ⅰ勝太郎	
Ⅲ	阪東寿三郎	大正 1	長次郎	
Ⅲ	坂東竹三郎	大正 8	子鶴	Ⅳ尾上菊次郎
Ⅵ	坂東彦三郎	大正 4	尾上英造・Ⅶ尾上栄三郎	
Ⅶ	坂東又太郎	昭和 3		
Ⅶ	坂東三津五郎	明治 39	Ⅱ八十助	
Ⅵ	坂東簑助	昭和 3	Ⅲ八十助	Ⅷ三津五郎
Ⅱ	坂東村右衛門	明治 45	秀雄・市勝	
Ⅶ	松本錦吾	大正 5	市川錦吾	
Ⅶ	松本幸四郎	明治 44	市川金太郎・Ⅳ市川染五郎・Ⅷ市川高麗蔵	
Ⅻ	守田勘弥	明治 39	坂東三田八	

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
Ⅵ	岡安喜三郎	大正 9	嘉郎	
Ⅰ	柏伊三郎			
Ⅱ	柏扇吉	大正 8		Ⅱ田中凉月
Ⅲ	堅田喜三郎		望月喜三郎	
Ⅲ	杵屋栄蔵	明治 39	栄二〈次〉郎	
Ⅵ	杵屋弥吉	明治 28		
Ⅵ	杵屋弥三郎	明治 45	定元	
XIV	杵屋六左衛門	大正 5	XII喜三郎	
XI	杵屋六三郎	大正 12	六二郎・Ⅳ六太郎	
Ⅱ	清元喜久太夫	明治 41		
Ⅴ	田中佐十郎	大正 10	伝治	
Ⅷ	田中佐太郎	大正 8		XI伝左衛門
X	田中伝左衛門	明治 44	礼三郎・Ⅴ源助・Ⅰ柏扇吉	Ⅰ凉月
Ⅲ	常磐津 松尾太夫	明治 39	Ⅱ小和登太夫・Ⅱ三登勢太夫	
Ⅲ	常磐津 文字兵衛	大正 5	Ⅲ八百八	文字翁
Ⅲ	豊沢力松			伝平
Ⅲ	中村兵蔵			
Ⅲ	野沢吉作	明治 41	吉千代・吉兵	
Ⅲ	野沢錦糸	大正 7	一弥・Ⅵ吉兵衛門	
Ⅴ	富士田新蔵	大正 14	銀五郎・勇蔵	Ⅵ音蔵
Ⅶ	富士田千蔵	昭和 14	音三久	
Ⅶ	富士松加賀太夫	明治 35	小津賀太夫・津賀太夫・Ⅱ富本豊紫太夫・Ⅲ富士太夫	
Ⅸ	望月太左衛門	昭和 2	Ⅲ長佐久	
Ⅱ	吉住小三蔵			
Ⅵ	芳村伊十郎	明治 26	富士田千平・Ⅲ金五郎・Ⅴ伊四郎	Ⅷ伊三郎・Ⅰ大薩摩芳英太夫・Ⅳ大薩摩文太夫・十寸見舛魚
Ⅳ	芳村孝次郎	明治 45	杵屋勝造・松永和孝・中村瓢二・中村永五郎	Ⅳ松永和楓・和風

奏演者代数表作成要項

第1条　奏演者の代数は、芸能界通行の代数に従い、考証による改訂は行なわない。

第2条　奏演者が故人の場合は、信用度の高い文献を根拠とするが、現存する場合は、当人の意見を尊重する。

第3条　二種以上の代数が行なわれる場合は、考証により、もっとも適当と思われるものを採用する。

索　引

1　題名場名索引

2　奏演者索引

索引1　題名場名索引

凡　例

1　この索引は、項目名を五十音に配列し、所載の頁を記した。
2　本書に収めた演目の名称について、題名および段名・場名の、通称・俗称・略称・別称等より、本書に用いた題名・場名を知ることが出来るように作成した。
3　段名・場名は末尾の「の段」「の場」を省略して項目名とした。ただし「山の段」「蔵の段」「非人の段」など、省略して用いられないものには付けた。
4　題名の発音が同じでも文字づかいの異なるものは、それぞれの項目名としたが、同じ語を頭に置いた二つ以上の項目は、（　）を用いて一項目にまとめた。
　　例　阿古屋(琴責・三曲)は「阿古屋」「阿古屋琴責」「阿古屋三曲」の三項目を一項目にまとめたもの。
ただし、「○○内」と「○○住家」とは、適宜に一つだけ挙げた。

［ア］

相生松　336
会津の小鉄　448
愛想づかし　384江戸,386竜釣,416侠御
愛の終点　442
青砥稿花紅彩画　378
青葉時浮名横櫛　424処女
青山播磨邸　422番町
赤垣(出立)　94,96義士
赤垣源蔵(出立・徳利)　94,96義士
明石の島蔵　410島衛
暁　376
茜屋　268～284艶容
赤間屋　424処女
明烏六花曙　8,10,340
明烏夢泡雪　378
明智光秀　384絵本,420時今
揚巻助六　88紙子
揚屋　96,98廓文,126～130碁太
赤穂義士伝　378,380
阿漕(浦)　196,198勢州
阿漕の平治(住家)　196,198勢州
阿古屋(琴責・三曲)　224～230,416壇浦
朝顔(日記・話)　150～162生写
浅茅ケ原　422一家
朝比奈上使　92,94岸姫
足利家奥御殿　424伽羅
足利御殿　62,64加賀
足利館(裏門・長廊下)　68,70仮名
足利館(奥庭・尾上部屋・長廊下・門外)　62,64加賀
足利館(殿中・長廊下)　388,390仮名
芦刈　210摂津
芦屋道満大内鑑　10
東路　12～20伊賀
吾妻草紙　442
仇討　380伊賀
安宅(新関・関)　88,90,396,398勧進
安達原　54～60奥州
安達三　54～60奥州

仇情浮名諷　430若木
油屋(大座敷・店先)　380,382伊勢
油屋(奥庭)　24,26伊勢
油屋(蔵前・質店)　218,220染模
尼ヶ崎　34～54,384絵本
阿弥陀寺　264,266箱根
天下知桔梗旗上　420時今
荒木又右衛門　380伊賀
嵐山　366
アラビヤ夜話　442
蟻通　366
阿波の鳴門　98～106,402阿波
安寿厨子王　326由良

［イ］

飯原(兵衛)館　92,94岸姫
伊賀上野の仇討　380伊賀
伊賀越道中双六　12～22,380
伊賀越乗掛合羽　12～22伊賀
伊賀八　22伊賀
いがみの権太　326～332,426千本
碇知盛　426千本
生駒山　96楠昔
十六夜清心　404小袖
いざり(勝五郎・の仇討)　264,266箱根
石川五右衛門　406,408楼門
石切梶原　386,388梶原
井筒屋(表座敷・奥座敷)　402恋飛
伊勢音頭恋寝刃　24,26,380,382
磯部邸(玄関・奥庭)　410新皿
一条戻橋　210,212増大,424戻橋
一の谷組打　26,382一谷
一の谷陣屋　26～32,382一谷
一谷嫩軍記　26～32,382
一力(茶屋)　78,80,392,394仮名
猪名川内　198,200千両
稲川内　198,200千両
稲妻表紙　416曲輪
稲瀬川(勢揃)　378青砥
稲瀬川百本杭　404小袖
茨木　382
妹背の門松　218,220染模
妹背山婦女庭訓　32
伊予松山谷間　386大森
入谷村　400天衣
入鹿御殿　384妹背
入鹿館　210摂津,384妹背
入墨新三　418梅雨
いろは送り　182～196菅原
いろは仮名四十七訓　384
いろは蔵武士鑑　94,96義士
岩川内　198,200千両

［ウ］

浮世柄比翼稲妻　416曲輪
討入　394仮名,426夜討
鞍猿　374
移籬仇名草　430若木
鰻谷　136,138桜鍔
馬切り　404三千
梅王松王桜丸　412菅原
梅川忠兵衛　306～312冥途,402恋飛
梅忠　306～312冥途,402恋飛
梅の由兵衛　306迎駕
梅春侠客御所染　414,416侠御
梅由(聚楽町)　306迎駕
浦里時次郎　8,10明烏,378夢泡
恨の鮫鞘　136,138桜鍔,396鐘諸
裏門　68,70仮名

［エ］

絵合太功記　32～54,384絵本
永代橋(橋詰)　418梅雨
江戸桜清水清玄　402黒手
江戸城堀　402慶安
江戸育お祭佐七　384

江島育根生児菊　378青砥
戎屋(内)　150～162生写
絵本太功記　32～54,340,384
縁切り　384江戸,386籠釣,416侠御
閻魔堂橋　418梅雨
塩屋(判官)館　72,390仮名

[オ]

扇ヶ谷　72,390仮名
逢坂山新関　418積恋
奥州安達原　54～60
逢州殺し　416侠御
欧洲みやげ　442
近江源氏先陣館　60,386
大井川　150～160生写
大江山酒呑童子(話)　148酒呑
大川端(庚申塚・出会)　406三人
大口屋大庭　24,26伊勢
大口屋暁雨　398侠客
大口屋寮　400天衣
大阪城黒書院　400桐一
大阪城糠庫　422沓手
大阪城淀君寝所　398桐一
大土蜘蛛　418土蜘
大庭先敵討　62,64加賀
大杯鵠酒戦強者　386
大星閑居　82～86,394仮名
大森彦七　386
岡崎(雪降り)　22伊賀
お軽勘平　68,70,390仮名
おかる身売り　72～78,390,392仮名
奥座敷　24,26伊勢,402恋飛
奥庭　8,10明烏,62,64加賀,
214～218増忠,296～306本朝,
378夢泡,414増桃,422本朝
お駒才三　112～116恋娘
お里沢市　418壺坂
お七　220,222伊達
唖の旅行　442
お俊伝兵衛　230～248近頃
お嬢吉三　406三人
お染半九郎　420鳥辺
お染久松　170～178新版,218,220染模
落人　390仮名
お辻内　134金毘
お妻八郎兵衛　136,138桜鍔,396鐘諸
侠客春雨傘　398侠客
男成鳧女定九郎　416後日
音菊弁天小僧　378青砥
乙女心　444
お富与三郎　424処女,428与話
お夏清十郎　132,134寿連
鬼薊廓恋　404小袖
鬼薊清吉　404小袖
鬼退治　148酒呑
尾上岩藤　62,64加賀
尾上部屋　62,64加賀
己が罪　438
お半長右衛門　66,68桂川
帯屋　66,68桂川
お房徳兵衛　64重井
お祭佐七　384江戸
お三輪　32,384妹背
面影如月帖　336
お柳別れ　138～148卅三
御山　248～262壺坂
親譲御所五郎蔵　414,416侠御
婦系図　438
女河内山　424紫被
女殺油地獄　386
女定九郎　416後日
女舞剣紅楓　60
隠亡堀　420四谷

[カ]

会稽曽我　410会稽

街道　138～148卅三
加賀騒動　386鏡山
鏡山(旧錦絵)　62,64加賀
加賀見山旧錦絵　62,64
鏡山錦楓葉　386
瓦鑵寺(のだんまり)　412水滸
書置　220太平
杜若　366
柿山伏　374
籠釣瓶花街酔醒　386
かさね　336
重井筒　64
重井筒屋　64重井
梶原平三誉石切　386,388
霞ヶ関　390仮名
復讐談高田馬場　388
敵討稚文談　134金毘
敵討襤褸錦　64,388
形見草四谷怪談　420四谷
筐の片袖　118～126御所
勝五郎小屋　264箱根
合邦(内)　200～210合邦
桂川連理柵　66,68
加藤清正　414増桃
加藤正清本城　266,268八陣
仮名手本忠臣蔵　68～86,388～394
仮名屋小梅　438
鐘もろとも恨鮫鞘　396
賀の祝　180,182菅原
歌舞伎合方集　432
兜あらため　388仮名
兜軍記　224～230,416壇浦
甲屋(縁切り)　416侠御
嘉平次住家　148出世
鎌倉河岸　384江戸
鎌倉三代記　86,88
鎌三　86,88鎌倉
鎌腹　94義士,384四十
紙子仕立両面鑑　88
紙治　162～170,410,412天網
神明恵和合取組　396
紙屋(治兵衛)内　164～170,412天網
紙屋治兵衛　162～170,410,412天網
髪結新三　418梅雨
亀千代館　408先代
亀屋　398木曽
加茂　366
烏　378夢泡
烏啼き　62,64加賀
河庄　162,164,410,412天網
河内郡領館　178菅原
河内屋　162,164,410,412天網
神崎(与五郎)東下り　378,380赤穂
勘作住家　264日蓮
勧進帳　88,90,396,398
勧善懲悪覗機関　398
観音霊験記　248～262,418壺坂
観音霊場記　248～262壺坂
勘平切腹　72～78,390,392仮名

［キ］

鬼一法眼三略巻　90,92,398
祇園一力　392,394仮名
祇園女御九重錦　138～148卅三
不聞座頭　374
菊畑　398鬼一
菊本(裏手)　384江戸
喜三郎内　396神明
義士討入　394仮名
義士外伝　384四十,388復讐
義士忠臣蔵　94,96義士
岸姫松轡鑑　92,94
義士銘々伝　94,96,378,380赤穂,
384四十,388復讐
木曽街道膝栗毛　398
北の新地河庄　162,164天網

義太夫入門　338,340
義太夫　節と手順　6
吉様参由縁音信　398
狐忠信　332,334,426千本
狐火　296～306,422本朝
狐別れ　10芦屋
喜内住家　220太平
絹川村閑居　86,88鎌倉
碪拍子　96楠昔
儀兵衛笑い　66,68桂川
紀三井寺　98～106阿波
木村長門守　400桐一
木遣　138～146卅三
久作内　170～178新版
暁雨　398侠客
侠客御所五郎蔵　414,416侠御
侠客春雨傘　398
京人形　444
切られお富　424処女
切られ与三　428与話
桐一葉　398,400
極付幡随長兵衛　400
近八　60,386近江
金門五三桐　406,408楼門

［ク］

楠昔噺　96
楠屋　394仮名
樟紀流花見幕張　402慶安
葛の葉(子別れ)　10芦屋
九段目　82～86,394仮名
沓掛村　110恋女
工藤仮屋　410会稽,426夜討
工藤祐経館　404寿曽
工藤館討入　426夜討
国定忠治　448
首実検　26～32一谷,60近江,
182～196菅原
熊谷陣屋　26～32,382一谷
熊谷呼び返し　26,382一谷
組打　26,382一谷
天衣紛上野初花　400
蔵の段　218,220染模
蔵場　218,220染模
蔵前　218,220染模
鞍馬天狗　366
鞍馬山たんまり　402
車場　412,414菅原
車引　412,414菅原
廓文章　96,98
曲輪簿　96,98廓文
廓の鞘当　416曲輪
黒手組曲輪達引　402
黒手組の助六　402黒手

［ケ］

慶安太平記　402
けいせい阿波の鳴門　98～106,
402阿波
傾城阿波の鳴戸　98～106
傾城阿波の鳴門　402
契情阿波の鳴門　98～106,402阿波
傾城恋飛脚　306～312,402冥途
けいせい青陽鵲　404三千
傾城反魂香　106
傾城名筆吃又平　106反魂
芸廻し　148七福
毛剃(久右衛門)　420博多
毛谷村(六助)　286彦山
喧嘩友達　444
喧嘩場　68,70,388,390仮名
源左衛門内　94,96義士
源氏店(妾宅・強請)　428与話
謙杖切腹　54～60奥州
謙信館　296～306本朝
謙信館奥庭　422本朝

源蔵戻り　182～196菅原
源平布引滝　108,110
玄冶店　428与話

［コ］

小揚　12～20伊賀
小網町宿屋　286花雲
恋歌(の意趣)　68,70,388,390仮名
恋十　110,112,402恋女
小糸内　384江戸
小糸佐七　384江戸
恋女房染分手綱　110,112,342,402
恋飛脚大和往来　306～312冥途,402
恋湊博多諷　420博多
恋娘昔八丈　112～116
格子先　416侠御
麹町村井長庵宅　398勘善
講釈場　380赤穂
庚申塚　406三人
河内山(宗俊)　400天衣
河内山と直侍　400天衣
勾当内侍　404
幸兵衛内　22伊賀
郡山屋敷　12伊賀
木枯らし　444
国性爺合戦　116,118
小督　366
心の脱線　444
小桜責め　108,110源平
五三桐　406,408楼門
御祝儀(寿・式)三番叟　130,132寿式
五条坂(出合・仲の町)　414侠御
孤城の落月　422沓手
五条橋　90,92鬼一
御所桜堀川夜討　118～126
御所三　118～126御所
御所五郎蔵　414,416侠御
御所模様扇重縫　414,416侠御
小四郎恩愛　60近江
小袖曾我薊色縫　404
小袖曾我対面　404
御存鈴が森　414鈴森
碁太平記白石噺　126～130
往古模様扇重縫　414,416侠御
炬燵　164～170,412天網
五段目　72,390仮名
胡蝶　366,368
御殿　384妹背,424伽羅
御殿(場)　312～326伽羅
御殿場　424伽羅
琴唄　150～162生写,224～230壇浦
琴責　224～230,416壇浦
寿三番叟　130,132寿式
寿式三番叟　130,132
寿連理の松　132,134
五人男　378青砥
此糸部屋　430若木
小糸蘭蝶　430若木
小春治兵衛　162～170,410,412天網
小堀政談　398吉様
小牧山(城中)　288～292日吉
駒木山城中(奥御殿)　288～292日吉
米洗い　312～326伽羅
米屋町　306冥途
五郎助住家　288～292日吉
子別れ　10芦屋,110,112恋女,
98～106,402阿波,286花雲,
402恋女
権九郎　402黒手
権太　426千本
権八　414鈴森
金毘羅利生記　134金毘,284,286花上

［サ］

西郷と豚姫　404
西国三十三所花野山　248～262壷坂

堺の富蔵　444
魚屋宗五郎　410新皿
坂町裏道　396鑓諸
酒屋　268～284艶容
嵯峨や御室　408忍夜
逆櫓(松)　292,294平仮
鷺の森　34絵本
桜川　368
桜時雨　134
佐倉宗五郎　286花雲
桜鍔恨鮫鞘　136,138
佐倉曙(義民物語)　286花雲
桜町侘住居　134桜時
桜丸切腹　180,182菅原
佐次兵衛内　132,134寿連
佐田村　180,182菅原
さつき内　34～54,384絵本
薩埵峠　424処女
座頭沢市眼病平癒　248,262壺坂
座頭沢市住居　418壺坂
廓花対編笠　416曲輪
柳巷晴着薊色縫　404小袖
花街模様薊色縫　404小袖
真田三代記　86,88鎌倉
佐野次郎左衛門　386籠釣
佐野八橋　386籠釣
三郎兵衛内　134桜時
鞘当　416曲輪
皿屋敷　410新皿,422番町
猿廻し　230～248近頃
沢市内　248～262,418壺坂
沢市信心　248～262壺坂
三勝内　60女舞
三勝半七　60女舞,268～284艶容
三吉愁嘆　110,112恋女
三吉(子)別れ　110,112,402恋女
三曲　224～230,416壇浦
三十三ヶ所壺坂　248～262壺坂
三十三ヶ所花野山　248～262壺坂
三拾三ヶ所花野山　418壺坂
卅三間堂棟由来　138～148,340
山椒太夫　326由良
三世津太夫の逆櫓　340
三千両黄金蔵入　404
三代記　86,88鎌倉
三段目　68,70,388,390仮名
三人吉三廓初買　406
三人吉三巴白浪　406三人
三人上戸　108,110源平,264,266箱根
三幅対上野風景　400天衣
山門　406,408楼門
楼門五三桐　406,408

［シ］

仕返し　62,64加賀
敷皮の五郎　426夜討
式三番　130,132寿式
時雨雲村井破傘　398勘善
時雨の炬燵　164～170,412天網
重の井子別れ　110,112,402恋女
重若万才　34絵本
錣引　408
獅子ヶ城楼門　116,118国性
四十七訓　384四十
四十七刻忠箭計　394仮名
侍従太郎館　118～126御所
四条河原　420鳥辺
地震加藤　414増桃
七太夫内　384四十
七段目　78,80,392,394仮名
質店　218,220染模
七福神黄金の入船　148七福
七福神宝の入船　148
実録先代萩　408
実録伊達　408先代
実録忠臣蔵　418土屋

実録の助六　398侠客
志渡寺　284,286花上
不忍池　402黒手
忍夜恋曲者　408
忍夜孝車寄　408忍夜
芝居囃子の色々　430
暫　408,410
治部右衛門内　294双蝶
島田駅宿屋　150～162生写
島衛月白波　410
清水一角　416実記
清水治郎長　448
下総屋　286花雲
しゃぎり　436
十段目　34～54,384絵本
重重人重小町桜　418積恋
十二ヶ月　434,436
十二時会稽曽我　410
十人斬　24,26,380,382伊勢
十番斬　426夜討
十兵衛殺し　398勘善
十郎兵衛住家　98～106阿波
修禅寺物語　148,410
酒戦の強者　386大杯
酒中日記　438
十種香　296～306本朝
出世太平記　148
酒呑童子岩屋　148酒呑
酒呑童子枕言葉　148
聚楽町(由兵衛内)　306迎駕
春・夏・秋・冬　430
巡礼歌　98～106,402阿波
生写朝顔話　150～162,342
正月～十二月　432,434
将鑑閉居　106反魂
招魂社(鳥居前)　410島衛
丈左衛門内　416実記
丞相名残　178菅原
倡女誠長田忠孝　402鞍暗
白井権八　414鈴森
白石噺　126～130碁太
白滝　264箱根
白太夫内　180,182菅原
白浪五人男　378青砥
白野弁十郎　448
城木屋　112,114恋娘
白子屋お駒　112～116恋娘
城山の月　450
城(明)渡し　390仮名
塵境　438
震災の五郎　444
新三内　418梅雨
新皿屋敷朧月影　410新皿
新皿屋舗月雨暈　410
心中網島噺　162～170心中
心中紙屋治兵衛　410,412天網
心中重井筒　64重井
心中天網島　162～170,340,410,412
新関(所)　22伊賀,88,90,396,398勧進
新地茶屋　162,164,410,412天網
新版歌祭文　170～178,340
陣屋　26～32,382一谷,386近江
新吉原(揚屋)　126～130碁太
神霊佐倉曙　286花雲

［ス］

水滸伝雪挑　412
菅原伝授手習鑑　178～196,340,412,414
杉の森(御坊・砦・籠城)　34絵本
宿祢太郎詮議　178菅原
祐経仮屋　410会稽,426夜討
助六　402黒手
鮓屋　326～332,426千本
鈴ヶ森　114,116恋娘,414
鈴森対澤杭　414鈴森

雀　312～326伽羅
裾野の対面　410会稽
須磨の浦(組打)　26,382一谷
隅田川　368
角力場　198,200千両
百度平住家　134金毘

［セ］

勢州阿漕浦　196,198
勢揃い　378青砥
関所　22伊賀
関取千両幟　198,200
関の扉　418積恋
施行　264,266箱根
摂州合邦辻　200～210
殺生石　368
摂津国長柄人柱　210
切腹　390,392仮名
先陣館　386近江
先祖の抵当　452
先代萩　312～326,424伽羅,408先代
千太島蔵　410島衛
船中　420博多
千日前墓所　396鑑諸
餞別　264箱根
千本桜　326～334,426千本
千本松原　12～20伊賀
千両幟　198,200千両

［ソ］

惣五郎住家　286花雲
増補朝顔日記　150～162生写
増補大江山　210,212
増補女舞剣紅楓　60女舞
増補菅原伝授手習鑑　212,214
増補関取千両幟　198,200千両
増補忠臣蔵　214～218
増補(源平)布引滝　108,110源平
増補花雲佐倉曙　286花雲
増補桃山譚　414
相馬の古御所　408忍夜
曾我討入　426夜討
曾我会稽山　410会稽
曾我十番斬　426夜討
曾我綉侠御所染　414,416
訴訟　180,182菅原
袖萩祭文　54～60奥州
其面影稲妻草紙　416曲輪
其俤対編笠　416曲輪
蕎麦屋　394仮名
染模様妹背門松　218,220
染分手綱　110,112,402恋女

［タ］

大晏寺(堤)　388檻襤
大安寺堤　64檻襤
大尉の娘　438
対決　424伽羅
太功記　32～54,384絵本
大黒天の歌　148七福
大黒屋　126～130碁太
太十　34～54,384絵本
大序　388仮名
大尽の錆刀　78,80,392,394仮名
大福屋　126～130碁太
太平記忠臣講釈　220
大菩薩峠　450
対面　404曾我,410会稽
題目石前　414鈴森
大物の浦　426千本
大文字屋　88紙子
高砂　368
高田の馬場(の仇討)　388復讐
焚き出し喜三郎内　396神明
滝の段　264,266箱根
滝夜叉(姫)　408忍夜

武智陣所　32絵本
竹の間　312～326伽羅
多左衛門内　428与話
忠信　332,334千本
立花屋屋根　386籠釣
辰五郎内　396神明
伊達競曲輪鞘当　416
伊達家奥殿　408先代
伊達騒動　408先代,424伽羅
伊達娘恋緋鹿子　220,222
伊達館　312～326,408先代,424伽羅
谷川　386大森
谷底　248～262壺坂
環の宮明御殿　54～60奥州
玉三　222,224玉藻
玉藻前曦袂　340
民谷坊太郎　284,286花上
田村麿鈴鹿合戦　196,198勢州
太郎詮議　178菅原
端午の節句　96楠昔
壇浦兜軍記　224～230,342,416
丹波屋　396鐘諸
丹波与作　402恋女
だんまり　402鞍暗,412水滸,424宮島
短慮の刃　444

［チ］

近頃河原の達引　230～248,342
竹生島　368
茶音頭　444
茶屋　162,164,410,412天網,402恋飛
茶屋裏手堀端　384江戸
茶屋違い　446
茶屋場　78,80,392,394仮名
忠九　82～86,394仮名
忠七　78,80,392,394仮名
中将姫(古跡の松)　288鶴山
忠臣いろは実記　416
忠臣義士伝　94,96義士
忠臣蔵　68～86仮名,378赤穂,384四十,416実記
忠臣蔵後日建前　416
忠臣蔵十二ヶ月　432
忠臣講釈　220太平
忠弥　402慶安
忠霊　368
忠六　72～78,390,392仮名
長庵内　398勘善
千代田城本丸外堀端　402慶安
寿亀荒木新舞台　424宮島

［ツ］

杖の折檻　88,90,396,398勧進
月形半平太　450
土蜘　418
土屋主税　418
つづれの錦　388檻禮
綱館　382茨木
壺坂観音霊験記　248～262,342,418壺坂
壺坂寺　248～262壺坂
壺坂霊験記　418
妻八　396鐘諸
積恋雪関扉　418
梅雨小袖昔八丈　418
鶴ケ岡(八幡社)　388仮名
鶴亀　368
鶴喜代館　424伽羅
釣瓶鮓屋　326～332,426千本
通夜物語　440

［テ］

豊島屋(店先)　386女殺
鉄砲渡し　390仮名
手習鑑　412,414菅原
寺子屋　182～196菅原

天鼓　370
天神堤　264箱根
殿中(刃傷)　68,70,388,390仮名
天人お七　398吉様
天人香　398吉様
天網島(時雨炬燵)　164～170,410,412天網
天保六花撰　400天衣

[ト]

戸板返し　420四谷
東海道道行　394仮名
東海道四谷怪談　420
藤十郎の恋　420
唐人塚　420
道中双六　380伊賀
道明寺　178菅原
遠眼鏡　22伊賀
融　370
時桔梗出世請状　420時今
時今也桔梗旗揚　420
時今天下知皐哉　420時今
徳太夫住家　96楠昔
徳利の別れ　94,96義士
土佐将鑑閑居　106反魂
戸塚山中　390仮名
鳥羽畷　416後日
鳥羽離宮　108,110源平
富岡先生　450
知盛　426千本
吃又　106反魂
吃の又平　106反魂
豊臣太平記　148出世
豊成館　288鵲山
鳥居前　426千本
鳥井又助住家　62加賀
鳥辺山　230～248近頃
鳥辺山心中　420
どんどろ(大師)　402阿波
どんぶりこ　96楠昔

[ナ]

内藤館　386大杯
直実陣屋　26～32,382一谷
直侍　400天衣
長唄芝居之囃子　432
長崎丸山揚屋　420唐人
長局　62,64加賀
長門守諫言　400桐一
仲の町　398侠客,402黒手,414侠御,416曲輪
長町縁切　60女舞
流るる星　440
長廊下　62,64加賀,68,70,388,390仮名
名古屋帯雲稲妻　416曲輪
生さぬ仲　440
七つ子　376
七つ目　78,80,392,394仮名
難波　370
名橘誉石切　386,388梶原
鳴響安宅新関　88,90勧進
鳴門　98～106,402阿波
南禅寺(山門)　406,408楼門
南与兵衛住家　422双蝶

[ニ]

廿四孝　296～306,422本朝
二条通り　424戻橋
贋迎え　178菅原
日蓮記　264日蓮
日蓮聖人御法海　264
日露戦記歓迎会余興　336
二度曠着昔八丈　418梅雨
新口村　306～312冥途
日本橋　446
刃傷　68,70,388,390仮名

［ヌ］

布引(滝)　108,110源平
沼津(宿はずれ)　12～20伊賀
濡乙鳥比翼稲妻　416曲輪
ぬれ合羽　390仮名

［ネ・ノ］

子の日　376
野崎村　170～178新版
のらこや猫実見　336

［ハ］

灰屋紹由　134桜時
羽織落とし　306冥途
博多小女郎浪枕　420
白蓮内　404小袖
箱根滝　264箱根
箱根霊験覿仇討　264,266
羽衣　370
橋弁慶　90,92鬼一,420
橋本　294双蝶
旗行列の歌　446
馬盥(の光秀)　420時今
八陣(八)　266,268八陣
八陣守護城　266,268
八蔵内　110恋女
八段目　80,82,394仮名
鉢木　370,372
八郎兵衛内　136,138桜鍔
艶容女舞衣　268～284,342
艶姿女舞衣　268～284艶容
花籠　72仮名
花筐　372
花曇佐倉曙　286花雲
花菖蒲慶安実記　402慶安
花上野誉碑　284,286
花雲佐倉曙　286
桜花吹雪月横櫛　424処女
浜松町辰五郎内　396神明
浜松屋(店先)　378青砥
ハムレット　452
早舞　374
春霞宝人形　148七福
春雨傘　398侠客
春の潮　440
曠小袖往昔八丈　418梅雨
判官切腹　72,390仮名
晩餐会　446
半鐘の段　220,222伊達
幡随長兵衛　400極付,414鈴森
番町皿屋敷　422

［ヒ］

東の芝居楽屋　422二檣
引窓　294,422双蝶
彦山権現誓助剣　286
彦山六つ目　286彦山
久吉居城　288～292日吉
膝栗毛　398木曾
秀吉と淀君　442
一つ家　422
非人の仇討　388襤褸
非人の段　64襤褸
火の見櫓　220,222伊達
鵠山古跡松　288
鵠山姫捨松　288鵠山
日向島　306嬢景
百行の基　446
百本杭　404小袖
日吉丸稚桜　288～292
ひらかな盛衰記　292,294
平河天神裏門　398勘善
広助さわり集　342

［フ］

封印切　402恋飛
封文梅吉様　398吉様
深川閻魔堂橋　418梅雨
福島逆櫓松　292,294平仮
福の神　376
藤川(新関)　22伊賀
武士と馬士　378,380赤穂
伏見稲荷社　426千本
伏見街道雨宿　416後日
伏見城奥庭　414増桃
二筋道　440
二つ玉　72,390仮名
双蝶々曲輪日記　294,422
二つの櫓　422
二見ヶ浦　380伊勢
船遊び　148七福
船弁慶　372
古手屋八郎兵衛　136,138桜鍔
不破名古屋　416曲輪
文楽糸の調べ　336,338

[へ]

平作内　12～20伊賀
平作切腹　12～20伊賀
平治住家　196,198勢州
平太郎住家　138～148卅三
弁慶上使　118～126御所
弁上　118～126御所
弁天小僧　378青砥
弁天娘女男白浪　378青砥

[ホ]

法皇御殿　108,110源平
星合寺　386,388梶原
糒庫　422沓手
不如帰　440
時鳥侠客御所染　414,416侠御
沓手鳥孤城落月　422,452
早苗鳥伊達聞書　408先代
堀川(猿廻し)　230～248近頃
堀川御所　224～230,416壇浦
堀端　402慶安
堀部安兵衛　388復讐
本城　266,268八陣
本蔵下屋敷　214～218増忠
本朝廿四孝　296～306,422
本能寺　420時今

[マ]

牧山邸　416実記
馬子唄　110,112恋女
政右衛門屋敷　12伊賀
政岡忠義　312～326,424伽羅
将門　408忍夜
政清本城　266,268八陣
またかのお関　424紫被
又助住家　62加賀
又助切腹　62加賀
マツ　442
松井家玄関先　424紫被
松江邸玄関先　400天衣
松右衛門住家　292,294平仮
松王首実検　182～196菅原
松王下屋敷　212,214増菅
松王丸内　212,214増菅
松ヶ崎　426夜討
松風　372
松坂町土屋邸　418土屋
松下(嘉平次)住家　148出世
松島千太　410島衛
松平長七郎　404三千
松波琵琶　108,110源平
松の間　68,70,388,390仮名
松虫　372
飯焚　312～326伽羅
摩耶山　408鍬引

丸橋忠弥　402慶安
万歳唄　248～262壷坂
万歳の曲　338
饅頭娘　12伊賀

［ミ］

三井寺　372
三浦大助紅梅靮　386,388梶原
三浦之助(母)閑居　86,88鎌倉
三浦(之助)別れ　86,88鎌倉
身売り　72～78,390,392仮名
三笠山御殿　384妹背
三島藤家　378,380赤穂
三島本陣　378,380赤穂
水野邸(湯殿)　400極付
道真下館　180,182菅原
三千歳　400天衣
道春館　222,224玉藻
道行恋のおだまき　32妹背
道行旅路の花聟　390仮名
道行旅路の嫁入　80,82,390仮名
道行初音旅　332,334千本
三日太平記　148出世
光秀母内　34～54,384絵本
湊町　132,134寿連
箕輪の心中　450
三保浦松月横櫛　424処女
宮城野信夫　126～130碁太
都大路　412,414菅原
宮島だんまり　424
宮嶋だんまり・御所五郎蔵・三人吉三　436
妙心寺(砦)　32絵本

［ム］

迎駕籠死期茜染　306迎駕
迎駕野中の井戸　306
迎駕籠野中隠井　306迎駕
昔縞織本場八丈　418梅雨
昔飛脚大和往来　306～312冥途
嬢景清八島日記　306
処女翫浮名横櫛　424
宗清離れ座敷　420藤十
無筆の書置　136,138桜鍔
村井長庵(功破傘)　398勘善
紫被布千鳥浮織　424

［メ］

名人長次　440
名人のおもかげ　374
冥途の飛脚　306～312,342,402恋飛
名筆傾城鑑　106反魂
名筆吃又平　106反魂
名筆反魂香　106反魂
伽羅先代萩　312～326,342,424
銘々伝　94,96義士
め組の喧嘩　396神明
盲景清　306嬢景

［モ］

文字ヶ関　420博多
元船　420博多
求女殺し　404小袖
戻橋　210,212増大,424
戻橋恋の角文字　424戻橋
物語　26～32,382一谷
紅葉狩　374
紅葉山　386鏡山
桃山御殿奥庭　414増補
桃山譚　414増補
盛綱陣屋　60近江
師直館　394仮名
問注所(対決)　424伽羅

［ヤ］

八重垣姫　422本朝

八百屋お七　220,222伊達
櫓太鼓　198,200千両
櫓のお七　220,222伊達
弥左衛門内　326～332,426千本
弥作鎌腹　94義士,384四十
弥次喜多　398木曾
夜叉王住家　148,410修禅
保名住家　10芦屋
安兵衛内　388復讐
八橋部屋　386篭釣
八つ目　22伊賀,98～106阿波,
266,268八陣
宿屋　150～162生写
柳　138～148卅三
柳原土手(仕返し)　384江戸
屋根上捕物　386篭釣
八幡(引窓)　294双蝶
八幡屋(引窓)　422双蝶
山崎街道　72,390仮名,416後日
山科(閑居)　82～86仮名
大和橋　404三千
山名屋(奥庭・二階)　8,10明烏,
378夢泡
山の段　326由良
山伏問答　396,398勧進
山姥　374

[ユ]

夕霧(伊左衛門)　96,98廓文
夕霧阿波鳴渡　96,98廓文
床下　424伽羅
ゆかりの色紫頭巾　430若木
雪責　8,10明烏,288鵲山,378夢泡
雪のだんまり　412水滸
雪暮夜入谷畦道　400天衣
湯殿の長兵衛　400極付
熊野　374
由良裏山　326由良
由良之助内　82～86,394仮名
由良湊千軒長者　326
由留木館　110,112,402恋女

[ヨ]

与市兵衛内　72～78,390,392仮名,
416後日
夜討曾我狩場曙　426
吉田社頭　412,414菅原
吉田屋(座敷)　96,98廓文
義経千本桜　326～334,426
由兵衛内　306迎駕
与次郎内　230～248近頃
吉原揚屋　8,10明烏,126～130碁太
吉原仲の町　398侠客,402黒手,416曲輪
吉原百人斬　386篭釣
四段目　72,390仮名
四谷怪談　420四谷
淀君寝所　398桐一
世善知相馬旧殿　408忍夜
与兵衛内　294,422双蝶
頼朝仮屋　426夜討
頼光鬼退治　148酒呑
頼光館　418土蜘
弱法師　374
与話情浮名横櫛　428

[ラ・リ]

頼光館　418土蜘
蘭蝶　430若木
両国橋北河岸　406三人
良心　446

[レ]

霊験曾我籬　414鈴森
恋慕の倭歌　68,70,388,390仮名
連理の松　132,134寿連

［ロ］

廊下　62,64加賀
楼門　116,118国性
六助住家　286彦山
六段目　72～78,390,392仮名
六波羅琴責　224～230,416壇浦

［ワ］

若木仇名草　430
若き日の影　446
若木屋(此糸部屋・二階座敷)　430若木
若葉梅浮名横櫛　424処女
渡辺綱館　382茨木
笑い薬　150～162生写

索引2　奏演者索引

凡　例

1　この索引は奏演者名を五十音順に配列し、その下に所載の頁を記した。
2　本流義太夫および女義太夫の専門奏演者については、姓名のうち名を取って（　）の中に姓を添えた。また必要な場合は代数をローマ数字で示した。
3　素人義太夫の奏演者および囃子伴奏者等については、姓名の明白な限り姓名全体をとった。姓に準じて使用されている地名等は姓と同等に取り扱った。なお素人義太夫の奏演者等については、姓名のうちの名でも掲げ、→印を付して姓名全体を示すことにした。
4　襲名改名等のために、同一人に二つ以上の名がある時は、それぞれの位置にそれぞれの名による奏演の頁数を掲げたが、たがいに参照できるように、→印を付して示すことにした。

［ア］

II相生太夫(竹本)
8,98,164,170,198,
230,264
III相生太夫(竹本)
132,334
愛助
246
愛之助
90
阿賀皆春
284
赤松赤松
210
秋月桂太郎一座
440
III浅尾大吉
386,396,422
朝霧　実
438
朝重(竹本)
48
IV浅造(鶴沢)
10,32,46,62,64,90,92,
100,110,114,142,148,
154,166,174,192,222,
254,266,274,288,290,
300,308,318,334
朝太夫(竹本)
36,138,170,182,224,232,
234,268,288,312
アサヒオーケストラ
240,256
浅見真健
368
油屋席いし子
→石子
212
油屋席米二
80,82,212,334
油屋席若いし
212
綾菊(竹本)
102,156,278,320
綾助(竹本)
86,278,294
I綾之助(竹本)
92,144,240,278,320
嵐巌右衛門
388
VI嵐吉三郎
382,388,414
嵐　小笑
388
嵐　立花
386
嵐　璃徳
388
粟津清亮
262
粟谷益二郎
368

［イ］

い京

→小西い京
Ⅴ生駒太夫(豊竹)
152,250,272
いし
80,82,334
伊志井寛
438,440
石河　薫
442
石川幸三郎
440
いし子
→油屋席いし子
石子
→油屋席いし子
80,82,334
石田清吉
366 ～ 374
石之助
80,82,334
Ⅴ和泉太夫(豊竹)
192
磯川元春
448
伊丹幸梅八
324
市川荒司
396
Ⅱ市川荒次郎
396,400,402,410,422,
426,428
Ⅱ市川荒太郎
386,396,402,404,412
Ⅳ市川市蔵
402,418
Ⅱ市川右団治
384,402
Ⅸ市川海老蔵
396
市川筵女
380
市川筵升
386,410
Ⅱ市川猿之助
386,398,400,408,410,
420,426
Ⅳ市川男女蔵
378,410,418,428
市川河十郎
388
Ⅳ市川久蔵
398
市川紅若
382,386,400,414,416
Ⅱ市川小太夫
398,400,410,416
Ⅷ市川高麗蔵
→Ⅶ松本幸四郎
396,400
市川才十郎
388
市川左近
410
Ⅱ市川左升
384 ～ 388,410,422,
426
Ⅱ市川左団次
386,402,410,420,422
Ⅱ市川寿猿
426
市川松筵
410
Ⅱ市川松蔦
382,410,420,422
Ⅳ市川新升
384
Ⅵ市川寿美蔵
386,402,408,410,420
Ⅴ市川染五郎
→松本純蔵
396
Ⅰ市川たかし
388
Ⅰ市川段猿
400
Ⅲ市川段四郎
398,410,426
Ⅶ市川中車
382,402,408,414,422
市川時子
378
Ⅱ市川箱登羅
382,402,418
市川松三郎
390
Ⅷ市川八百蔵
398,408,410,420
市作
132,220
一二(鶴沢)
168,196,244
一助
90
市之助(野沢)
32,174,192
ⅩⅤ市村羽左衛門
378,380,384 ～ 390,
394 ～ 428
Ⅶ市村家橘
→Ⅳ竹松
378,388 ～ 392,396,
404,414,416
市村座付長唄囃子連中
436

Ⅳ市村竹松
→Ⅶ家橘
404,412
一弥(野沢)
110,316
一噌鋏二
368
一噌又六郎
374
一噌要三郎
366,374
糸吉(竹本)
22,110,112,156,224,
336
稲丸(野沢)
80,88,210
井上里貴司
54,80,106,148,218,324,
326,332
井上正夫
438,440
岩井小仙
→小仙(竹本)
330
巌太夫(豊竹)
44,190,238,254,274,
290
岩崎如水
134,164,170
印野久次郎
452

［ウ］

卯三郎(鶴沢)
142,252
Ⅲ歌助(野沢)
80,210,334
梅島　昇
438
梅八
→伊丹幸梅八
梅屋勝昭
132
梅屋勝之輔
430
梅屋勝松
132,220
梅屋金太郎
132,220
梅屋竹次
132
梅屋福一郎
132
梅屋松助
220
Ⅰ梅若万三郎
366,368,372,374
梅若六郎<景昭>
366 ～ 370

［エ］

栄三
90
越子(豊沢)
158
円光(竹本)
144,240
猿幸
132,262
Ⅴ燕三(鶴沢)
332
猿作(豊沢)
230
猿三郎(豊沢)
226
Ⅳ猿糸(豊沢)
→Ⅵ友次郎
→十文字楼
12,182,184,230
Ⅴ猿糸(豊沢)
→竹三郎
→Ⅶ広助
56,68,72,98,118,128,
140,150,152,212,236,
272,290,332
Ⅲ燕四(鶴沢)
→Ⅶ才治
34,120,134,164,298,
306,314
猿七(豊沢)
10
Ⅱ猿二郎(豊沢)
→Ⅳ仙糸
98,140,170,198,226,
340,342
猿太郎(豊沢)
90,172,236,252,334
猿都糸(豊竹)
258
円之助
90
Ⅴ猿之助(豊沢)
132,134,150,164,170,
174,226,228,240,262,
276,300,336

［オ］

大倉喜太郎
368
大倉宣利
370
Ⅲ大島太夫(竹本)
126,138,170
Ⅲ大隅太夫(竹本)

26,28,136,232,248,326
Ⅳ大隅太夫(竹本)
→Ⅰ静太夫
44,70,108,110,124,
132,190,192,204,218,
238,254,294
Ⅵ大谷友右衛門
378,388,390,396,398,
404,414,418,428
大槻十三
368
大矢市次郎
440
小笠原茂夫
448
岡田紫男
374
Ⅵ岡安喜三郎
382～386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432
小川源次
394
小川政之助
430
小川勇次
212
小倉健男
448
音羽幸太郎
448
Ⅱ尾上伊三郎
418
Ⅱ尾上卯三郎
378,380,384,410,412
尾上卯十郎
380,384
尾上卯多次
380
Ⅶ尾上栄三郎
400,406,422,426
尾上華幸
426
尾上蟹十郎
410
Ⅵ尾上菊五郎
378,396,410,414,418,
426
Ⅲ尾上菊三郎
378,396,414,418,426
尾上喜久太郎
378,380,384
尾上岐三郎
380
尾上元太郎
12,60,246
Ⅱ尾上幸蔵
378,384,392,400,404,
414,416,424～428
尾上昇鶴
380
Ⅲ尾上多賀之丞
390,410
Ⅲ尾上多見蔵
388,422
Ⅵ尾上梅幸
378～386,394～400,
404,408,416,418,422～
428
Ⅰ尾上梅十郎
378
Ⅳ尾上松助
380,384,398,400,412,
418,424～428,444
Ⅳ尾上紋三郎
426
Ⅳ織太夫(竹本)
→Ⅷ綱太夫
→Ⅱつばめ太夫
130,132,294

［カ］

皆春　→阿賀皆春
鏡太夫(竹本)
32,132,174,192,220,
336
角太夫(竹本)
38,68,72,118,150,224,
234,264,312,332
Ⅰ柏伊三郎
378,396,410,418
Ⅱ柏　扇吉
382～386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432
柏　扇十郎
398
春日とよ喜
440
春日とよ晴
438,440
Ⅳ片岡愛之助
384
Ⅳ片岡市蔵
384
片岡卯左衛門
386
Ⅳ片岡我童
→ⅩⅡ仁左衛門
404,406
片岡当次郎
378
ⅩⅡ片岡仁左衛門
→Ⅳ我童

388 ～ 392,396,428
片岡門童
388
Ⅲ堅田喜三郎
396
Ⅳ勝市(野沢)
→Ⅰ勝太郎
24,48,58,68,70,76,
122,124,152 ～ 156,
190,192,198,254,264,
266,276,290,294,310,
330,334
勝三郎(野沢)
334
勝三(野沢)
80
Ⅰ勝太郎(野沢)
→Ⅳ勝市
122,152,184,292,306
Ⅱ勝太郎(野沢)
332
勝之助(野沢)
134
勝八(鶴沢)
262
Ⅳ勝平(野沢)
→Ⅱ喜左衛門
230,274,308
葛城文子
448
金井謹之助
448
叶女(竹本)
254
金子亀五郎
366,368
Ⅳ叶(鶴沢)
→Ⅳ鶴太郎
18,20,96 ～ 100,130,
142,166,174,184,190,
210,246,248,252,266,
270,286,294,308,326
叶太夫(竹本)
8,266,270
叶太郎(鶴沢)
18,20,174,212,246,248
亀子
→南地亀子
亀太郎(鶴沢)
170
河合明石
438
河合武雄
438,440
川崎利吉
368,374
川部五朗
448
河原市松
440
河村菊江
380,442,444
Ⅱ河原崎権十郎
390
寛市(鶴沢)
22,96,234
Ⅱ観西翁(鶴沢)
12,46,54
Ⅲ寛治郎(鶴沢)
→団治郎
→Ⅵ団六
12,246,306
観世織雄
368
観世清廉
372
観世左近<元滋>
366,370,372
観世銕之丞<華雪>
368
観世元規
368
観世元正
368
Ⅰ観世喜之
372
寛八
90

[キ]

亀鶴
284
菊太郎
80,82,334
Ⅱ喜左衛門(野沢)
→Ⅳ勝平
332
喜三郎(野沢)
174,276
貴若
10,146,340,342
喜昇(豊竹)
176,178,244,260,304
紀庄末八
306
北新地北助
312
北新地吉助
312
北助
→北新地北助
北村一郎
368
喜多村緑郎

438,440
喜多六平太<能心>
366～370,374
吉男(野沢)
8
Ⅸ吉五郎(野沢)
132
吉左(野沢)
12,60,246,334
Ⅲ吉作(野沢)
114,214,238,290,340,
342
Ⅳ吉三郎(野沢)
→Ⅶ吉兵衛
138,164,248,270,
312
吉季(鶴沢)
174
吉助
→北新地吉助
吉房(野沢)
88
Ⅶ吉兵衛(野沢)
→Ⅳ吉三郎
138,150,250,270
吉松(野沢)
8,24,66,92,110,122,
140,214,216,264,266,
292,316
Ⅷ吉弥(野沢)
10,24,46,58,62,64,68,
76,88,102,110,124,130,
142,156,166,174,192,
206,210,222,240,254,
274,276,284,300,308,
318,330
Ⅲ杵屋栄蔵
380,386,388,398,402
～410,422,424,428,
430
杵屋栄八郎
406,416,424
杵屋栄美三郎
406,416,424
杵屋勝志郎
396
杵屋十作
386
杵屋新右衛門
390,394,434
杵屋新三郎
382～386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432,434
杵屋彦之助
434
Ⅵ杵屋弥吉
432
Ⅵ杵屋弥三郎
432
杵屋六一郎
406,434
ⅩⅣ杵屋六左衛門
408
ⅩⅠ杵屋六三郎
434
杵屋六八
430
木下録三郎
438,440
貴鳳
170,210
木村光子
444
京枝(竹本)
194
京子(竹本)
194
京山小円
210
旭嬢(竹本)
→長広
86,208,280
喜代三
90
清元梅次
378
Ⅱ清元喜久太夫
378,390,434
清元順三郎
390,434
清元東三郎
378
清元延春寿
438
清元延光枝
438
金吾(野沢)
284,324
Ⅳ錦糸(野沢)
332
銀司
→西村銀司
金昇(豊竹)
54,130,178,244,246,
260
金松
90
金奴
→山村金奴

[ク]

陸路太夫(竹本)
→Ⅱ七五三太夫

132,222
久保田清
438
粂造(野沢)
152,250,272
栗島狭衣
396,448

[ケ]

Ⅵ源吉(豊沢)
→仙之助
72,94
Ⅱ源路太夫(竹本)
44,132,266
Ⅶ源太夫(竹本)
24,30,42,44,66,68,70,76,
80,96,110,116,122,142,
152,154,190,198,214,
216,226,238,264,266,
274,290 ～ 294,316,332
元太郎
→尾上元太郎
玄番米子
→昇之助
104,168,208

[コ]

幸　梅八
→伊丹幸梅八
幸喜
→新橋幸喜
幸　五郎
370
幸　悟朗
374
Ⅱ古靱太夫(豊竹)
→Ⅰ津ばめ太夫
→山城少掾
12,18,40,42,56,58,62,
72,76,78,86,120,130,
132,138,142,152,172,
188,200 ～ 204,214,216,
226,236,252,264,286,
290,294,328,330
小円
→京山小円
越子(竹本)
158,240
越喜美(竹本)
124,130,144,174,194,
290,302
越寿(竹本)
278
越登太夫(竹本)
10,32,46,62,64,78,88,
90,100,110,114,142,
148,154,166,174,192,
210,222,238,254,266,
274,288,290,300,308,
318,334
Ⅱ越名太夫(竹本)
→Ⅳ南部太夫
32,78,166,274,308,334
Ⅲ越名太夫(竹本)
332
越巴
→原田越巴
児島三郎
438
湖州
→大音湖州
ⅩⅠ小庄(鶴沢)
218
小住(豊沢)
80,86,88,104,144,158,
168,176,194,242,256,
258,266,278,280,294,
310,320,340,342
古住太夫(豊竹)
332
小清(竹本)
156,194,256
小仙(竹本)
→岩井小仙
48,50,102,134,156,208,
240,278,310,326,330
小綱(鶴沢)
132
後藤桃水
214
後藤梅雪
230
後藤楓江
230
小土佐(竹本)
174,240,256,302
小西い京
22,96,306
小春太夫(竹本)
→Ⅳ伊達太夫
102,142,154,174,274,
300,318
小豊後(竹本)
116,144,194,278,302,
310,320
Ⅶ駒太夫(豊竹)
100,110,142,166,174,
274,316,342
駒登久(豊竹)
258
駒若(竹本)
102,144,156,174,240,
256,320
小竜(豊沢)

242
金春惣右衛門<国泰>
368,374

[サ]

Ⅵ才治
→Ⅲ燕四
100,142,166,174,274
斎田喜一郎
370
斎藤山生
210,246
坂井音次郎
368
相模太夫(竹本)
266
三九二(竹本)
116
作之助(野沢)
238
桜間金太郎
366,370,374
笹村分銅
26
薩摩太夫(豊竹)
174,228,240,276,300,
336
佐藤一郎
450
Ⅴさの太夫(竹本)
106,188,198
沢田正二郎
448
沢村其答
412
Ⅲ沢村源十郎
386,424
Ⅳ沢村源之助
416,422,424
Ⅶ沢村宗十郎
380,382,388,390,398,
406,408,412 ～ 420
Ⅰ沢村宗之助
398,442
Ⅴ沢村田之助
412,418
沢村千鳥
388,390
Ⅶ沢村訥子
386
Ⅷ沢村訥子
428
Ⅳ沢村訥升
382
沢村連舎
412
Ⅷ三二(鶴沢)
10,146
三生(鶴沢)
144,156,174,240,320
山生
→斎藤山生
三造
90
三蝶(竹本)
58,60,102,144,156,224,
240,256,278,302,310,
320
三之助(鶴沢)
144,174
三平(鶴沢)
102,156,278,320
三木
→三木三木

[シ]

志賀廼家伊吹
446
志賀廼家淡海
446
志賀廼家浪緑
446
志賀廼家白石
446
志賀廼家美賀美
446
重寿太夫(竹本)
10,102,276,310,320
茂山真一
374,376
茂山政次
374
Ⅹ茂山千五郎<Ⅰ千作>
374,376
Ⅴ錣太夫(竹本)
8,24,38,40,56,66,74,78,
96,98,114,118,120,128,
136,138,140,152,164,
170,198,200,214,222,
226,236,250,266,270,
272,290,298,306,308,
314,332,340,342
児雀
→鈴木児雀
Ⅰ静太夫(竹本)
→Ⅳ大隅太夫
70,78,88,122,210,
218,226,284,294
Ⅱ実川延若
→延二郎
380,386,392,396,402
～ 406,414,422
Ⅰ実川延二郎
→延若

394,404,410,442
Ⅶ島太夫(豊竹)
→Ⅹ若太夫
78,80,218,226,300
Ⅰ七五三太夫(竹本)
118,288
Ⅱ七五三太夫(竹本)
→陸路太夫
七五三之助(竹本)
116
周太郎
→三宅周太郎
春華(竹本)
102
昇華(豊竹)
292
昇菊(豊竹)
48,124
昇之助(豊竹)
→玄番米子
50,80,88,104,116,124,
130,144,168,176,194,
224,240,256,278,320,
330
如水
→岩崎如水
新靱太夫(豊竹)
22
進義会連中
178
Ⅱ新左衛門(豊沢)
8,24,26,40,54,56,66,80,
96,106,114,118,128,136,
138,140,148,150,152,
164,170,200,218,222,
226,250,266,270,286,
288,298,306,308,314,
324,326,332,338
Ⅲ新三郎(豊沢)
170,220,246
新三郎社中
336,338
新二(豊沢)
18,174
新七(豊沢)
110,128,214
信昇
→村上信昇
新次郎(豊沢)
18,174
新造(豊沢)
38,74,80,98,150,190,
198,236,246,254,262,
290,292,298,306,312
新太郎(豊沢)
96
新橋幸喜
286

［ス］

末千代(竹本)
144,242
末八
→紀庄末八
杉山立枝
370
Ⅴ助高屋高助
388,390,412
鈴木児雀
134
隅栄太夫
254
住繁(豊沢)
88,176
住田又三郎
432
Ⅴ住太夫(竹本)
268
住広(竹本)
50,144,158
隅若太夫(竹本)
334

［セ］

清一(鶴沢)<ｾｲｲﾁ>
92,252,334
清一(鶴沢)<ｾｲｶｽﾞ>
124,130,144,174,194,
290,302
清三郎(鶴沢)
148,210,216
清糸(竹本)
168,220,242
Ⅳ清二郎(鶴沢)
→藤蔵
44,80,102,132,142,154,
174,218,238,266,274,
300,318,332,342
清二郎
90
清三(鶴沢)
174
清松(竹本)
242
清丸(鶴沢)
92,148,152,154,174,
218,272,300,334
清亮
→粟津清亮
Ⅲ清六(鶴沢)
18,26,28,40,42,56,62,
76,86,120,136,138,
142,152,188,200 ～
204,216,236,248,252,

264,286,290,326
Ⅳ清六(鶴沢)
→Ⅴ徳太郎
→政二郎
10,12,40,42,58,72,78,
120,132,172,178,188,
202,214,216,236,252,
316,326
赤松
→赤松赤松
関和童
216,218
摂津大掾(竹本)
296,298
せつ奴
90
仙市(豊沢)
68,192
仙勝(豊沢)
262
仙喜代(豊沢)
126,130,242,292,302
仙作(豊沢)
334
仙三郎(豊沢)
80,228,254
Ⅳ仙糸(豊沢)
→Ⅱ猿二郎
26,42,58,66,70,76,
80,86,102,110,116,
124,130,142,162,190,
192,212,228,238,254,
264,274,276,290,320,
332
仙三
→安原仙三
仙之助(豊沢)
→Ⅵ源吉
114,232,248
仙久(竹本)
240
扇ぶり
80,82,334
仙平(豊沢)
20,32,50,58,60,68,76,
78,102,110 ～ 116,124,
126,144,156,158,176,
194,208,224,242,256,
258,262,266,280,302,
310,320,330,332
仙松(豊沢)
246
千隆
→堀井千隆
仙竜(豊竹)
158,256,266,280,310

［ソ］

宗吉(竹沢)
236
曽我廼家一奴
444
曽我廼家大磯
444,446
曽我廼家五九郎
444,446
曽我廼家小次郎
446
曽我廼家五楽
446
曽我廼家五郎
442 ～ 446
曽我廼家三郎
446
曽我廼家十太郎
446
曽我廼家十童
446
曽我廼家十郎
444
曽我廼家笑将
446
曽我廼家蝶七
444
曽我廼家蝶六
442 ～ 446
曽我廼家秀蝶
446
曽我廼家致雄
444,446
祖太夫(豊沢)
94
ⅠⅩ染太夫(竹本)
26,34,36,182,200,232,
266

［タ］

大音胡州
20
高木ふく子
262
高造
90
高安道喜
368
Ⅲ田喜太夫(竹本)
→Ⅴ常子太夫
220,222,310
竹三郎(豊沢)
→Ⅴ猿糸,Ⅶ広助
150,166,170,186,210,
250,312
竹沢仲造
390,392,422

竹柴蟹助
222
武智桜子
444
竹本一登太夫
386,410,412
竹本井菱太夫
392,422
竹本音女太夫
424
竹本鏡太夫
388,390
竹本岸太夫
394
竹本琴路太夫
386,420
竹本小松太夫
392,412
竹本重寿太夫
382 ～ 394,402,412,
424,434
竹本松葉太夫
416
Ⅰ竹本米太夫
390,392
辰太夫(豊竹)
78,88,90,334
伊達子(竹本)
168
Ⅳ伊達太夫(竹本)
→小春太夫
220,332,342
伊達若(竹本)
88
田中介二
448
Ⅴ田中佐十郎
382 ～ 386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432
Ⅷ田中佐太郎
382 ～ 386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432
田中社中
80
Ⅹ田中伝左衛門
382 ～ 400,404,408,
410,414 ～ 420,426,
432,434,444
田中伝左衛門社中
332
田中伝次
418
田中伝二郎
74
田中伝四郎社中
50
田中保清
374
玉子
→富田屋玉子
団伊三(豊沢)
132,334
団光(鶴沢)
116,144,194,278,302,
310,320
団司(豊竹)
50,104,168,176,194,
256,258,280,302,320
団二(豊沢)
210
団路(竹本)
26,242
団七(豊沢)
106,188,198
Ⅱ団二郎(竹沢)
226
Ⅲ団二郎(竹沢)
→Ⅶ団六
→Ⅹ弥七
32,228,238
団治郎(鶴沢)
→Ⅲ寛治郎
→Ⅵ団六
168,170,250,338
団艶(竹本)
258
Ⅱ団八(豊沢)
94
Ⅲ団平(豊沢)
232,248
Ⅵ団六(竹沢)
→Ⅲ寛治郎
→団治郎
24,32,40,44,56,98,114,
118,128,140,154,198,
200,210,214,216,226,
236,238,250,266,288,
290,294,298,340,342
Ⅶ団六(竹沢)
→Ⅲ団二郎
→Ⅹ弥七
132,264,294

［チ］

千駒太夫(豊竹)
220
長之助(豊沢)
50,168,176,194,240,
242,330

［ツ］

蔦之助(豊沢)

102
II津太夫(竹本)
12,230
III津太夫(竹本)
→I文太夫
14～18,28,36,38,72,
74,106,108,112,118,
162,184,234,292,326
綱右衛門(鶴沢)
132,222,300
綱佐(鶴沢)
248
綱助(鶴沢)
102,178,240
IV綱造(鶴沢)
30,44,82,118,130,180,
182,206,234,248
VIII綱太夫(竹本)
→IV織太夫
→IIつばめ太夫
64,84,118,338
綱歳(竹本)
254
綱之助(鶴沢)
34
綱之助(豊沢)
50,60,144,158,228,304,
324
V常子太夫(竹本)
→III田喜太夫
334
常次郎
→原田常次郎
I津ばめ太夫(竹本)
→II古靱太夫
→山城少掾
92,130,140,180,182,
214
IIつばめ太夫(豊竹)
→IV織太夫
→VIII綱太夫
26,32,48,58,70,78,80,
86,90,102,110,124,
130,156,162,192,228,
254,266,276,290,310,
320,330,334
IIIつばめ太夫(豊竹)
132,332
坪内逍遙
452
鶴栄(鶴沢)
48,242,258
鶴沢市作
388,392
鶴沢小次郎
386
鶴沢才二郎
424
鶴沢友太郎
410,412,418,424
鶴沢八重蔵
424
鶴沢勇七
422
鶴寿太夫(竹本)
148,210
IV鶴太郎(鶴沢)
→IV叶
30,96,170,184,226,234,
248
鶴登太夫(竹本)
34

[ト]

東猿(竹本)
176,258
東歌(豊沢)
20,112,176,242
東儀鉄笛
442
東重(豊沢)
18,20,68,104,176,242,
256,264,278,320
桃水
→後藤桃水
藤蔵(鶴沢)
→IV清二郎
28
道八(鶴沢)
70,108,110,124,132,
190,192,204,218,238,
254,294,336
東広(竹本)
18,20,26,32,50,68,76,
78,96,110～116,124,
126,130,148,158,176,
194,208,242,258,
264～268,280,286,
320,330,332
東馬鶴(豊沢)
158,208,292
時子
168
VII時太夫(豊竹)
134,164,298,306
常磐津菊三郎
424
III常磐津松尾太夫
408,418,424
III常磐津文字兵衛
408,418,424
常磐津和歌吉
394,432
常磐津和歌太夫

394,432
Ⅴ徳太郎(鶴沢)
→Ⅳ清六
→政二郎
40,74,140,164,170,198,
200,222,272,308,332
徳若(鶴沢)
150,234
土佐尾(竹本)
52,92,320
Ⅵ土佐太夫(竹本)
138,150,164,248,250,
270,312
殿太夫(竹本)
26,36,98,108,126,128,
170,288,298
Ⅳ富治(豊沢)
250
富田屋玉子
306,324
友衛門(鶴沢)
32,132,214,220,222,310,
334
友駒(鶴沢)
16,20,132
Ⅵ友次郎(鶴沢)
→Ⅳ猿糸
→十文字楼
14,16,28,36,38,72,74,
106,108,112,162,234,
292,328,330,336,340,
342
十文字楼(鶴沢)
→Ⅳ猿糸
→Ⅵ友次郎
68,214,312,326
Ⅱ友造(鶴沢)
96,234
友之助(竹本)
52,158
Ⅲ友之助(鶴沢)
16,192
友花(鶴沢)
68,214,312,326
友道(鶴沢)
116
友若(鶴沢)
14,44,154,216,228,266
豊沢才三郎
382,384
豊沢重次郎
386
豊沢扇之助
388
豊沢団信
394
Ⅲ豊沢力松
416
豊造(鶴沢)
170
豊竹巌太夫
388 ～ 392,422
豊竹越太夫
418

［ナ］

直三郎(鶴沢)
22
中井　哲
448
長勝(竹本)
88
Ⅴ仲助(鶴沢)
126,138,170
仲造(竹沢)
276,310,320
中田正造
448
仲太郎(鶴沢)
170
長広(竹本)
→旭嬢
52,92,104,126,144,158,
176,196,208,214,218,
258,280,286,288,302,
322
永藤呂篤
286
中村綾子
446
Ⅴ中村歌右衛門
404 ～ 408,422
中村歌十郎
404
中村　扇
382
中村魁車
380,402,418,422
中村歌扇
402,406,424
Ⅰ中村歌門
386
Ⅱ中村翫右衛門
400,426
Ⅰ中村鴈治郎
380,382,388,392,398,
402,410 ～ 414,418 ～
422
Ⅱ中村翫助
418
Ⅱ中村雁童
414
中村鴈之助
382

Ⅰ中村吉右衛門
382,386,392,398,400,
414
中村吉之丞
382,398,400
Ⅱ中村芝鶴
404
Ⅳ中村芝雀
→Ⅲ雀右衛門
392,404,412
中村芝十郎
378
Ⅲ中村雀右衛門
→Ⅳ芝雀
392,402,410,412,422
中村新三郎
382,394,416,418
中村新三郎社中
336,338
中村辰之亟
400,424
Ⅲ中村時蔵
382,398,404,414,422
中村成三
382
Ⅲ中村兵蔵
392,394,406,434
Ⅲ中村兵蔵社中
438
Ⅳ中村福助<高砂屋>
380,382,394,402,412,
414,418,420,422
Ⅴ中村福助<成駒屋>
386
Ⅳ中村もしほ
398
中村六広
382,384,408,410,414,
426,432
中村蕗香
396
南地亀子
178
南地福助
146,178
Ⅲ南部太夫(竹本)
170,182,184,234
Ⅳ南部太夫(竹本)
→Ⅱ越名太夫
10,24,46,58,64,68,76,
102,110,124,130,142,
156,166,174,192,206,
222,240,254,274,276,
300,308,318,330

[ニ]

錦太夫(竹本)
68,80,166,192
西村銀司
288
に昇(豊竹)
176,178
西脇　滋
438

[ヌ・ネ]

沼　艸雨
374
根岸若之助
450

[ノ]

野口政吉
368 ～ 372
野沢市造
394,434
Ⅲ野沢吉作
388
野沢清登
416
Ⅲ野沢錦糸
386,420
野村清一郎
448,450
野村万斎
376
昇太夫(竹本)
26,48,92,144,148,174,
200,228,240,276,290,
300,302

[ハ]

梅幸(花沢)
278
梅雪
→後藤梅雪
博多玄海
452
巴住(豊竹)
146,176,322
長谷川
222
八造(野沢)
166,174,220,240,336,
338
初瀬浪子
378,430
初音
248
英　太郎
438,440
花柳章太郎
438,440
浜田虎三

452
浜名名木
116
林長三郎
382,418
原田越巴
→原田常次郎
112
原田常次郎
→原田越巴
32
V播磨太夫(竹本)
150
春子(豊沢)
130,278
II春子太夫(竹本)
54,114,138,150,164,
250,266,270,286,288
298
II坂東勝太郎
426
III坂東亀三郎
418
III坂東秀調
382～388,402,420,
422
III阪東寿三郎
386,396,404,406,424,
442
III坂東竹三郎
428
阪東徳三郎
382,416,418
VI坂東彦三郎
378,410,418,426
VII坂東又太郎
402
VII坂東三津五郎
388～400,418,422
阪東三津児
378
VI坂東蓑助
416,424
II坂東村右衛門
384,400,402,418,426,
428
坂東録三郎
390,396

[ヒ]

東席豆吉
212
美光(竹本)
242,258
瓢(竹本)
146
久松喜世子
448,450
美朝(竹本)
146,176,258,322
秀弥
90
雛玉(竹本)
244
雛駒(竹本)
224,242,280
雛寿(竹本)
20
雛昇(竹本)
104,126,130,168,208,
224,242,244,258,292,
302
IV雛太夫(竹本)
38,74,80,98,110,128,
150,186,198,214,236,
290,298,312
雛朝(竹本)
242
雛世(竹本)
258
兵市(野沢)
174,220
兵吉(豊沢)
26,48,92,144,148,174,
200,228,240,276,290,
300,302
IV広作(豊沢)
26,34,36,182,200,
232,266
広二(豊沢)
334
広次(豊沢)
92,148
VI広助(豊沢)
296,298
VII広助(豊沢)
→V猿糸
→竹三郎
6,8,22～28,32,56,60,
64,66,70～74,78,82,
86,88,92～98,108,112,
114,120,128,138,140,
148,152,162,164,170,
180,186,196,210,212,
218,220,222,246,250,
272,284～288,298,
308,314,328,334,342
広太郎(鶴沢)
332
広春(竹本)
86,106,116,158,208,
280,284,292,312
広兵衛(豊沢)
98,228

[フ]

楓江
→後藤楓江
ふく子
→高木ふく子
福助
→南地福助
福太郎(鶴沢)
254
福之助(竹本)
52,158
福原春之助
132
福原百之助社中
132
藤江又喜
374
富士田音松
396
Ⅴ富士田新蔵
396
Ⅶ富士田千蔵
396
藤田多賀造
368～372
富士田太郎
74,80
富士田徳松
396
富士田勇吉
396
Ⅶ富士松加賀太夫
430
富士松富士三郎
430
藤間房子
378,442
藤村秀夫
438,440,442
二葉早苗
448,450
Ⅰ文太夫(竹本)
→Ⅲ津太夫
184,292,306
二三竜(鶴沢)
102,168,196,244
分銅
→笹村分銅
文福(竹本)
52
文楽社中
32

[ホ]

宝生九郎<重英>
370
宝生九郎<知栄>
366～374
宝生新
366,368
堀井千隆
80,88

[マ]

真砂
284,324
政二郎(鶴沢)
→Ⅳ清六
→Ⅴ徳太郎
8,38
増見仙太郎
366,370
松川社中
70,76,332
松島寿三郎
396
松島庄三九
406,416,424
松十郎(豊沢)
170,224,232
松四郎(豊沢)
156
松太郎(豊沢)
36,138,170,182,224,
232,234,268,288,312
松之輔(野沢)
134
松本銀杏
444
Ⅶ松本錦吾
398,420
松本錦四郎
378,382,384,390,396,
400
Ⅶ松本幸四郎
→Ⅶ市川高麗蔵
378,382～396,400,
404～408,412～420,
424～428,444
松本純蔵
→Ⅴ市川染五郎
388
松本要次郎
438
豆吉
→東席豆吉
豆之助(豊竹)
196

[ミ]

三木三木
20
美佐尾(鶴沢)

240,256
三須錦吾<錦掌>
368,372
水野早苗
444
三須平司
366,374
南吉太郎
448,450
宮城らく
96
三宅周太郎
338,340
宮太夫(豊竹)
334
三好栄子
442,448

[ム]

無関居士
54
武藤達三
374
村上信昇
210,212,246,248
村田嘉久子
430,442
Ⅰ村田正雄
438
村田美弥子
430

[メ]

名木
→浜名名木

[モ]

Ⅶ文字太夫(竹本)
→Ⅶ八十太夫
88
望月吉三次
220
望月社中
92,334
望月太意五郎
220
望月太意蔵
334
望月太意之助
220
望月太喜一郎
382～386,394,398,
404,408,410,414,420,
426,432
望月太計夫
258
ⅠⅩ望月太左衛門
396,408,422
望月太津市郎
212
望月太津次郎
212
望月太明三郎
332
望月太明蔵
334
望月朴清
336
望月芳三郎
212
望月連中
82
素八(竹本)
176
素女(竹本)
176
森　赫子
440
ⅩⅢ守田勘弥
378,382～388,392,
396～400,406～410,
416,428,430
森　律子
442
紋左衛門(鶴沢)
44,274

[ヤ]

八重造(鶴沢)
132,220,336
弥七(竹沢)
8,98,164,170,198,230,
264
Ⅹ弥七(竹沢)
→Ⅲ団二郎
→Ⅶ団六
64,84,118,338
安原仙三
340
Ⅶ八十太夫(竹本)
→Ⅶ文字太夫
78
Ⅵ弥太夫(竹本)
62,72,78,94
柳永二郎
440
山口俊雄
442,448
山崎長之輔
440
山城少掾(豊竹)
→Ⅱ古靭太夫
→Ⅰ津ばめ太夫
10,28,178,316,326

山村金奴
34
II山本東次郎<則忠>
374
山脇和泉<元照>
374

[ユ]

勇次
→小川勇次
Ⅳ勇造(鶴沢)
118,288
Ⅴ勇造(鶴沢)
38,150,234,312
雪岡光次郎
438

[ヨ]

吉川蘭瓶
210
II吉住小三蔵
434
吉住小四郎
434
吉住小扇次
386
吉田正雄
448
芳太郎(豊沢)
224
芳之助(鶴沢)
18,70,92,122,218,226,
236,294,334
芳村伊久四郎
406,416,424
Ⅵ芳村伊十郎
382,398,406,408,416,
418,422
芳村喜三郎
394
芳村孝次郎
398
米子
→玄番米子
米二
→油屋席米二
米太夫(竹本)
18,24,70,174

[ラ]

らく
→宮城らく
蘭瓶
→吉川蘭瓶

[リ]

里貴司
→井上里貴司
力松(豊沢)
50,80,88,104,116,130,
144,168,194,224,240,
256,278,330
II竜助(豊沢)
268

[ロ]

呂篤
→永藤呂篤
呂玉(豊竹)
88
六郷吉兵衛
406,416,424
六郷吉兵衛社中
334
六郷新右衛門
398
呂昇(豊竹)
10,20,52,54,60,80,88,94,
98,104,106,112,116,126,
130,134,138,146,148,
158,160,168,176,178,
196,200,208,210,218,
220,224,244,246,258
～ 264,268,280,282,288,
292,302,304,310,312,
322,324,332,340,342
呂之助(豊竹)
54,60,106,116,130,162,
212,228,246,262,284,
292,304,306,312,324

[ワ]

若いし
→油屋席若いし
X若太夫(豊竹)
→Ⅶ島太夫
30,44,82,206
Ⅲ和佐太夫
26,36,54,62,98,108,
126,128,170,196,288,
298
和広(豊竹)
20,54,262

後記

本書は、『音盤目録Ⅰ』(昭和４１年３月３０日発行)と『音盤目録Ⅱ』(昭和４６年３月３０日発行）との合本復刻である。ただし、レコードの検索本位に考えて、またページ数を制限する必要もあるので、原本所載の次の各稿を割愛した。

Ⅰの付載論考

「邦楽レコードの変遷――義太夫節を中心として――」(佐藤道子)

Ⅰ～Ⅳ共通の付録

「音盤カード記入規定」

「音盤分類表」

「音盤題紙識別表」

ⅠおよびⅡの索引のうち「詞章索引」

「音盤目録 Ⅰ」は〈音楽〉のうちの〈義太夫節〉のみを、「音盤目録 Ⅱ」は〈演劇〉の各ジャンルを対象としている。したがって、本書の目次および本文を見ると、「音盤目録 Ⅰ」は「2 音楽 24 三味線楽 243 義太夫節」、「音盤目録 Ⅱ」は「1 演劇 11 能」のような番号を付して始まっているが、これは、芸能部作成の「音盤分類表」(507 ページに抄録を掲げた）の分類番号に基づくものである。「音盤分類表」の詳細を知りたい方は『音盤目録』Ⅰ～Ⅳのいずれかを参照願いたい。

「題名索引」と「奏演者索引」は、ⅠとⅡとを通して五十音順に検索できるように、また題名は「題名場名表」に所定のもの以外の通称、略称からも引けるように配慮して、新たに作成し直した。

原本『音盤目録Ⅰ』は１９６６年当時の芸能部全員が、『音盤目録Ⅱ』は７１年当時の主として演劇研究室員が作業に当たったが、今回の合本作成は主として音楽舞踊研究室が担当し、索引の作成には仁尾洋子氏に協力いただいた。なお、ⅠとⅡ原本刊行時からの担当者全員の氏名を最後に掲げた。

音盤分類表（抄）

1 演 劇
10 演劇一般
11 能
12 狂言
13 歌舞伎
14 人形劇〈24 三味線楽〉に属さないもの
15 新派
16 新劇
17 民族演劇
18 大衆劇
180 大衆劇一般
181 軽演劇
182 剣劇
183 中間演劇
184（欠）
185（欠）
186 ショー
187（欠）
188（欠）
189 大衆劇雑
19 演劇雑〔脚本朗読〕〔組踊〕など

2 音 楽
20 音楽一般
21 雅楽
22 中世音楽
23 近世音楽〈24 三味線楽〉に属さないもの
24 三味線楽
240 三味線楽一般
241 河東節・一中節
242 豊後節
243 義太夫節
－0 義太夫節一般
－1 本流義太夫節
－2 女義太夫節
－3 歌舞伎義太夫節
－4（欠）
－5（欠）
－6（欠）
－7 郷土義太夫節
－8 素人義太夫節
－9 義太夫節雑
244 長唄
245 三味線小曲
246 新三味線楽
247 郷土三味線楽
248（欠）
249 三味線楽雑
25 新日本音楽
26 西洋音楽
27 民族音楽
28 大衆音楽
29 音楽雑

3 舞 踊

4 巷間芸能

5 郷土芸能

6 郷土音楽

7 その他の芸能

正　誤　表

訂　正　箇　所			誤	正
Ⅰ P. 74	奏演者欄	5段目		[竹笛入]
P. 78	奏演者欄	3段目	(かおる)	(おかる)
P. 91	詞章欄	1段目	むむ眼にさえぎり	むむまなこにさえぎり
P.220	題紙欄	5段目	フジ Ⅰa 黒	フジオンバン Ⅰa 黒
P.248	奏演者欄	8段目	大隅太夫	Ⅲ大隅太夫
P.258	題名欄	12段目	霊坂観音霊験記	壺坂観音霊験記
P.327	備考欄	4段目		30cm
Ⅱ P.382	奏演者欄	7段目	＜Ⅵ吉村伊十郎＞	＜吉村伊久四郎＞
P.382	奏演者欄	7段目		(三)＜杵屋栄二＞
P.398	題紙欄	2段目	トキ Ⅱa	トキ Ⅱa 銀
P.403	備考欄	8段目		(1)(2)カケ
P.467	奏演者名		9段目　尾上梅十郎	17段目(梅幸の次)へ移動

音盤目録作成係

浦山　政雄
横道萬里雄
三隅　治雄
佐藤　道子
前嶋　茂子

石田百合子
宮本　瑞夫
仲井幸二郎
松本　雍

玉木　清子
阿部　順子
斎藤　靖子

羽田　昶
仁尾　洋子

印　刷　1999年3月25日
発　行　1999年3月31日

東京国立文化財研究所蔵
音盤目録 I・II

編　集　東京国立文化財研究所芸能部

発　行　東京国立文化財研究所
東京都台東区上野公園13－27

印　刷　(有)外為印刷所
東京都台東区浅草2－28－31